

## 【SX2 遺物包含層】

### (1) 堆積状況と分布範囲 (図版 4-120 ~ 4-121)

丘陵北東部の北斜面、11-3 区に位置し、南南東から北北西に向かって下る浅い谷地形に形成された幅 23.5m、奥行き 18.5m の遺物包含層である。包含層は大きく 1 ~ 3 層に分けられるが、最下層の 3b 層は包含層形成以前の旧表土 (III 層対応) と考えられる。1 ~ 2 層の厚さはもっとも厚いところで約 80cm である。

#### [1 層]

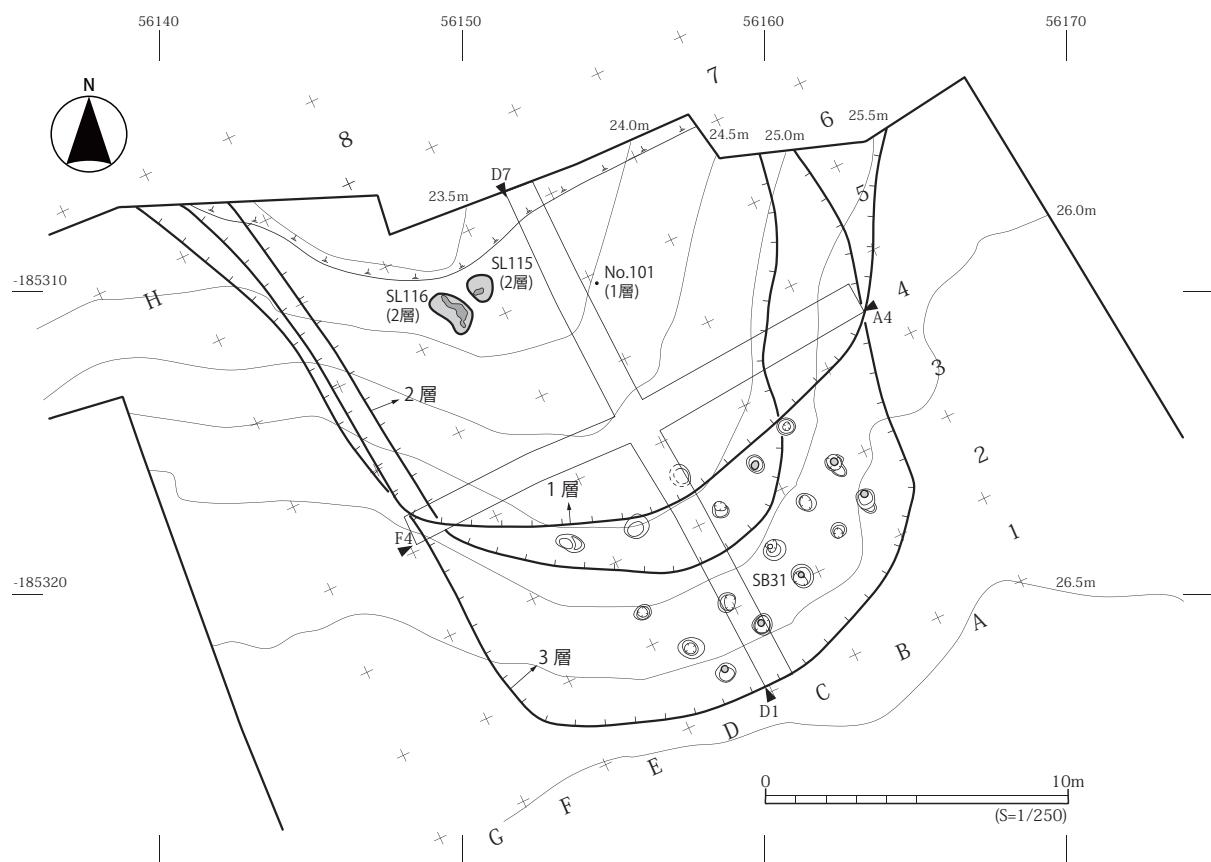
斜面中央から下方にかけて  $21 \times 15\text{m}$  の範囲に最大 50cm の厚さで分布する。褐色ないしにぶい黄褐色土で、炭化物、焼土粒をわずかに含む。

#### [2 層]

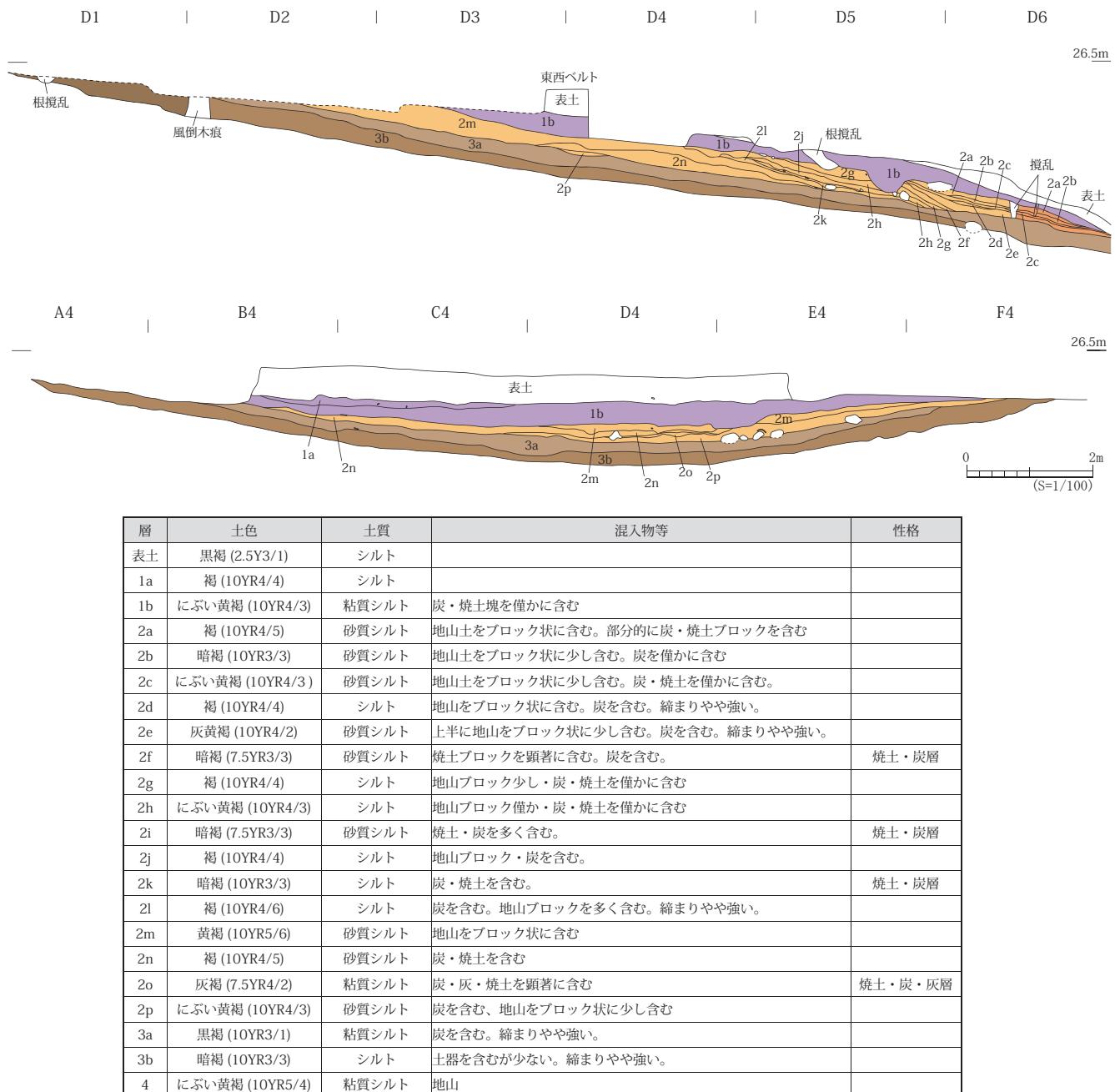
斜面中央から下方にかけて  $16 \times 17\text{m}$  の範囲に最大 40cm の厚さで分布する。地山ブロックを含む褐色土層や焼土や炭を含む暗褐色土層などが互層をなす層群で、16 層に細分される。暗褐色土層の 2b 層・2i 層には、C4・D4 ~ 6・E5 において炭・焼土の密度が極めて高い箇所が認められる。2c 層上面では SL115・116 炉跡が検出されている。2 層最下部 /3a 層上面からは縄文土器がまとまって出土する状況が見られた。

#### [3 層]

包含層基底となる層で、包含層範囲全体に最大 50cm の厚さで分布する。上部の 3a 層は黒褐色土で炭化物や遺物を含む。3b 層は暗褐色土で遺物をほとんど含まない。



図版 4-120 SX2 遺物包含層平面図



図版 4-121 SX2 遺物包含層断面図

## (2) SX2 出土土器

[表土・検出] (図版 4-122、図版 4-136、写真図版 97)

検討対象土器は 110 点で、2 点を掲載した。図版 4-122-1 は、横位刺突列と附加条を伴う斜行縄文が施される。

[1 層] (図版 4-122 ~ 4-123、図版 4-136、写真図版 97 ~ 98)

検討対象土器は 322 点で、13 点を掲載した。

図版 4-122-2 は加飾のない粘土紐貼付文、図版 4-122-3 は押圧の加えられた貼付文、短沈線、刺突列、図版 4-122-4 は刻目の加えられた貼付文が施されている。

図版 4-122-5、6、4-123-1、3 は末端ループ文、図版 4-123-2、4～6 は非結束羽状縄文が施され、さらに図版 4-123-1 には横位沈線文、図版 4-123-2 には横位撲糸圧痕文が加えられる。

## [2 層] (図版 4-124～4-132、図版 4-137～図版 4-139、写真図版 98～105)

検討対象土器は 1129 点で、46 点を掲載した。

器種は深鉢を主体とし、少量の鉢 (図版 4-132-1、4-128-3)、浅鉢 (図版 4-132-2) を伴う。

深鉢の器形は、体部から口縁部にかけて直立気味に立ち上がるもの (図版 4-124-3)、体部が緩やかに開きながら立ち上がり、くびれて口縁部が外反するもの (図版 4-126-2 等)、体部が膨らみ、くびれて口縁部が外反するもの (図版 4-127-1 等)、体部から口縁部にかけて緩やかに内彎しながら立ち上がるもの (図版 4-130-1)、体部が緩やかに開きながら立ち上がり、口縁部が内彎するもの (図版 4-125-1)、体部が緩やかに開きながら立ち上がり、くびれて口縁部が内彎して開くもの (図版 4-125-2 等) などが見られる。鉢は、体部から口縁部にかけて外傾するもの (図版 4-132-1)、底部から体部が直立し、強くくびれて口縁部が内彎するもの (図版 4-128-3) がある。浅鉢は体部から口縁部が外反する (図版 4-132-2)。口縁部形態は平縁と波状口縁があり、小さな突起を伴うものも少なくない。底部形態は、平底 (図版 4-127-1 等)、上底 (図版 4-130-1 等) がある。

文様は、沈線文、刺突文が見られるが、その数は少なく、回転施文の縄文のみの土器が多い。

縄文は、斜行縄文 (図版 4-131-2 等)、非結束羽状縄文 (図版 4-124-7 等)、末端ループ文 (図版 4-127-3 等) が主で、他に結束第 1 種羽状縄文 (図版 4-127-4 等)、側面ループ文 (図版 4-138-1) 等がある。末端ループ文は、ループの部分だけを重層施文するものがほとんどである。縄文は底面にも施文される (図版 4-130-1 等)。

縄文以外の文様は、横位沈線文 (図版 4-124-3、4)、円形竹管の刺突文 (図版 4-124-8 等)、刺突列がめぐるもの (図版 4-124-7、9 等) 等がある。

これらの全ての土器の胎土に纖維が含まれる。

上記と異なる特徴を持つ土器として、図版 4-124-1 は、口縁部が無文で、口唇部に粘土紐が貼付される。図版 4-124-2 は、横位刺突列と盲孔が見られる。図版 4-132-3 は、刻目と刺突列が施される。

## [3 層] (図版 4-132～図版 4-135、図版 4-139～4-140、写真図版 105～107)

検討対象土器は 889 点で、41 点を掲載した。

器種はほとんど深鉢であるが、鉢が 1 点出土している (図版 4-135-2)。

深鉢の器形は、体部から口縁部にかけて直立気味に立ち上がるもの (図版 4-133-4 等)、直線的に外傾するもの (図版 4-133-1 等)、体部が開き、口縁部が内彎するもの (図版 4-133-2 等) 等が見られる。鉢は、体部から口縁部にかけて直線的に外傾する (図版 4-135-2)。口縁部形態は平縁が多いが、波状口縁 (図版 4-134-1 等) もある。底部形態は平底と見られるもの (図版 4-135-2)、丸底 (図版 4-135-4) が出土している。

文様は、撲糸圧痕文、刻目、刺突、貼付文等が見られる。撲糸圧痕の文様は、口縁部から体部上半にかけて渦巻状、蕨手状、横線、斜線等の撲糸圧痕を組み合わせ、間に刻目を加える構成を取るもの (図版 4-133-1 等) が最も多い。横線と刻目の比較的簡素なもの (図版 4-133-6 等) もある。他

に撲糸圧痕に横位貼付文が伴うもの（図版 4-134-3）がある。

外面はほぼ縄文のみで、外縁部や口唇部に刻目や刺突が施されるもの（図版 4-134-6、7 等）が見られる。口縁下に横位貼付文がめぐるもの（図版 4-134-4）もある。回転施文の縄文だけの土器（図版 4-134-9 等）があり、掲載資料は多くないが、実際の出土量は最も多い。

縄文は、斜行縄文、非結束羽状縄文が多く、他に撲糸文（図版 4-135-3）等が見られる。底面にも縄文が施される（図版 4-135-4 等）。

#### [その他]（図版 4-135、写真図版 108）

上記以外に、SX2 出土で出土層を詳細に捉えられない土器を補足資料として 3 点掲載した。カクラン、層不明の土器がある。

### （3） SX2 出土土製品（図版 4-141、写真図版 108）

土製品と見られる 2 点すべてを掲載した。図版 4-141-1、2 は、いずれも円盤状土製品である。また、図版 4-141-3 は焼土塊（焼成粘土塊）である。中沢遺跡調査区全域からまとまった量が出土しているが、当包含層からの出土量が最も多く、遺物収納箱で 4 箱分の出土量がある。

### （4） SX2 出土石器・石製品

SX2 では、石器・石製品が 1243 点出土している。器種別の点数は、石鏃 67 点、尖頭器 11 点、石錐 4 点、石匙 23 点、籠状石器 5 点、打製石斧 6 点、礫器 2 点、磨製石斧 1 点、板状石器 1 点、楔形石器 10 点、不定形石器 55 点、磨石・敲石類 294 点、砥石 1 点、石皿・台石類 35 点、他の礫石器 1 点、剥片 668 点、石核 46 点、円盤状石製品 1 点、石錐 4 点、男根状石製品 1 点、石棒・石剣類 3 点、線刻礫 2 点、その他の石製品 2 点である。

#### [表土・検出]

表土・検出からは 50 点出土し、不定形石器 2 点、磨石・敲石類 27 点、石皿・台石類 1 点、剥片 14 点、石核 4 点、男根状石製品 1 点、石棒・石剣類 1 点である。

#### [1 層]（図版 4-142、写真図版 177）

1 層からは 302 点出土し、石鏃 19 点、尖頭器 2 点、石錐 1 点、石匙 3 点、籠状石器 2 点、打製石斧 1 点、楔形石器 3 点、不定形石器 16 点、磨石・敲石類 37 点、石皿・台石類 11 点、他の礫石器 1 点、剥片 196 点、石核 9 点、石錐 1 点である。

石鏃は、基部の形態が凹基で抉りが浅いもの（図版 4-142-1、図版 4-142-2）が主体的にみられる。図版 4-142-3 の石匙は、つまみ部に対して先端部が縦型のものである。籠状石器は左右対称で刃部がやや開くもの（図版 4-142-4）と橢円形の平面形状を呈するものがみられる。磨石・敲石類は円礫・橢円礫を素材とし、磨面や敲打痕、凹痕、剥落痕を持つもの（図版 4-142-5）が主体を占めている。図版 4-142-6 の石錐は、両縁辺の対になるか所に主に剥離が施されている。

## [2層] (図版 4-142～4-145、写真図版 177～178)

2層からは 512 点出土し、石鏃 28 点、尖頭器 7 点、石錐 2 点、石匙 14 点、籠状石器 2 点、打製石斧 1 点、礫器 1 点、楔形石器 2 点、不定形石器 18 点、磨石・敲石類 152 点、砥石 1 点、石皿・台石類 12 点、剥片 257 点、石核 11 点、石錘 2 点、線刻礫 1 点、その他の石製品 1 点である。

石鏃は、基部の形態が凹基のものが最も多く、そのなかで抉りが深いもの（図版 4-142-7）と抉りが浅いもの（図版 4-142-8、図版 4-142-9）がみられる。尖頭器は、基部が突出するもの（図版 4-143-1）とつまみ部が作出されているもので柳葉形を呈するもの（図版 4-143-2、図版 4-143-3）がみられる。石錐は、両端に尖頭部を有するものである（図版 4-143-7）。石匙は、つまみ部に対して先端部が縦型のもの（図版 4-143-4）が最も多くみられる。それ以外に、図版 4-143-5 のような先端部がつまみ部に対して斜方向に長いものもみられる。また、図版 4-143-6 のような未成品もみられる。図版 4-143-8 の籠状石器は、左右対称で全体の形状が橢円形を呈するものである。不定形石器は、剥片等の縁辺に二次加工を施すものが主体であり、図版 4-143-9 は縁辺の大半に連続的な二次加工が施されている。それ以外に、写真図版 178-3 のように、両面に面的な加工が施されているが、片面は素材面を大きく残すものがみられる。磨石・敲石類は、円礫・橢円礫を素材とし、磨面や敲打痕、凹痕、剥落痕を複合的に持つもの（図版 4-143-10、図版 4-144-2～4、図版 4-145-1、2）が主体であるが、70mm 以下の小形の礫を素材とし、磨面をもつもの（図版 4-143-11）も多くみられる。また、それよりは少ないが側面稜部に幅の狭い磨面を有するもの（図版 4-144-1）も確認できる。

## [3層] (図版 4-145～4-146、写真図版 178～179)

3層からは 325 点出土し、石鏃 14 点、尖頭器 1 点、石錐 1 点、石匙 5 点、籠状石器 1 点、打製石斧 3 点、礫器 1 点、磨製石斧 1 点、板状石器 1 点、楔形石器 5 点、不定形石器 17 点、磨石・敲石類 66 点、石皿・台石類 9 点、剥片 182 点、石核 13 点、石錘 1 点、石棒・石剣類 2 点、線刻礫 1 点、その他の石製品 1 点である。

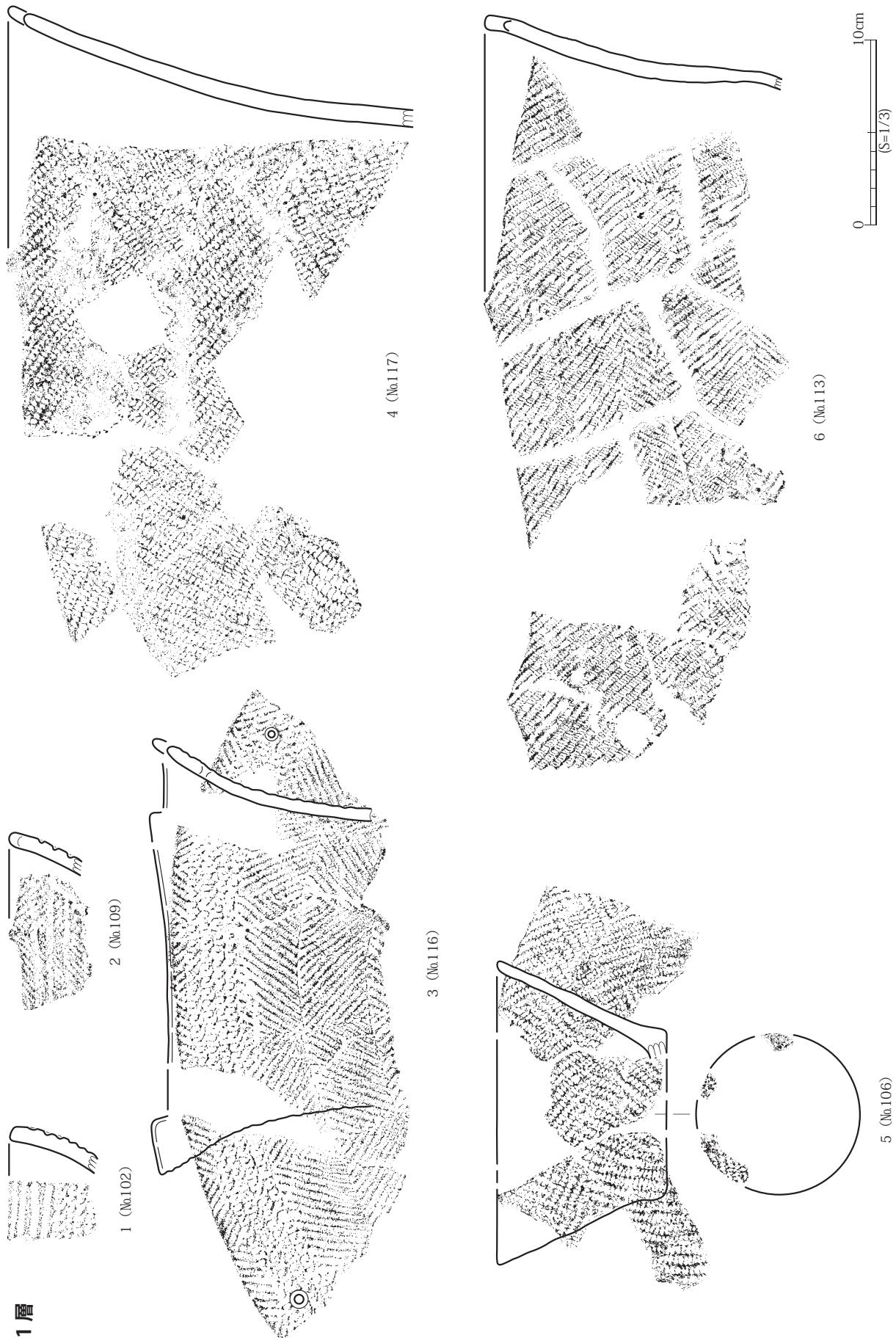
石鏃は、基部の形態が平基のもの（図版 4-145-5、6、写真図版 -178-15）が最も多く、次いで抉りが浅い凹基のもの（図版 4-145-3、4）がみられる。石匙は、つまみ部に対して先端部が縦型のもの（図版 4-145-7、8）が主体を占める。打製石斧は、刃部がやや開くもの（図版 4-146-1）と全体の形状が橢円形を呈するものがみられる。写真図版 179-2 の礫器は、長軸端部の片側のみに二次加工が施されているものである。磨石・敲石類は、円礫・橢円礫を素材とし、磨面や敲打痕、凹痕、剥落痕を持つものが主体であり、図版 4-146-2 は剥落痕のみがみられるものである。石皿・台石類は、無縁のものが主体を占め、断面形は平坦なもの（図版 4-146-3）と内湾するものがみられる。図版 4-146-4 の石棒・石剣類は、敲打と研磨により成形されているが、研磨は一部のみに限られているものである。

## [層不明・攪乱]

層不明・攪乱からは 37 点出土し、石鏃 3 点、尖頭器 1 点、石匙 1 点、不定形石器 1 点、磨石・敲石類 11 点、石皿・台石類 2 点、剥片 10 点、石核 8 点である。

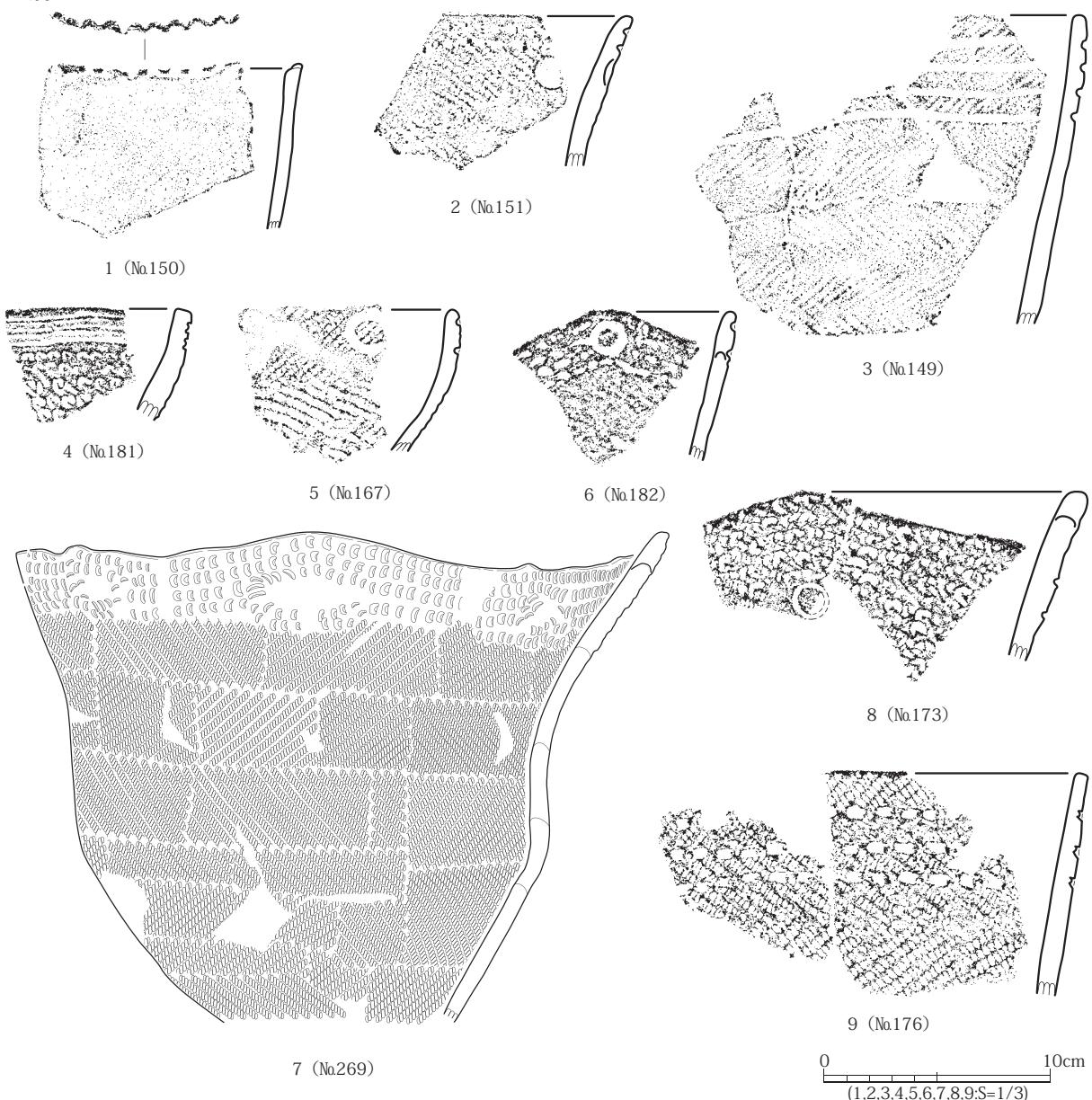


図版 4-122 SX2 出土土器 (1)



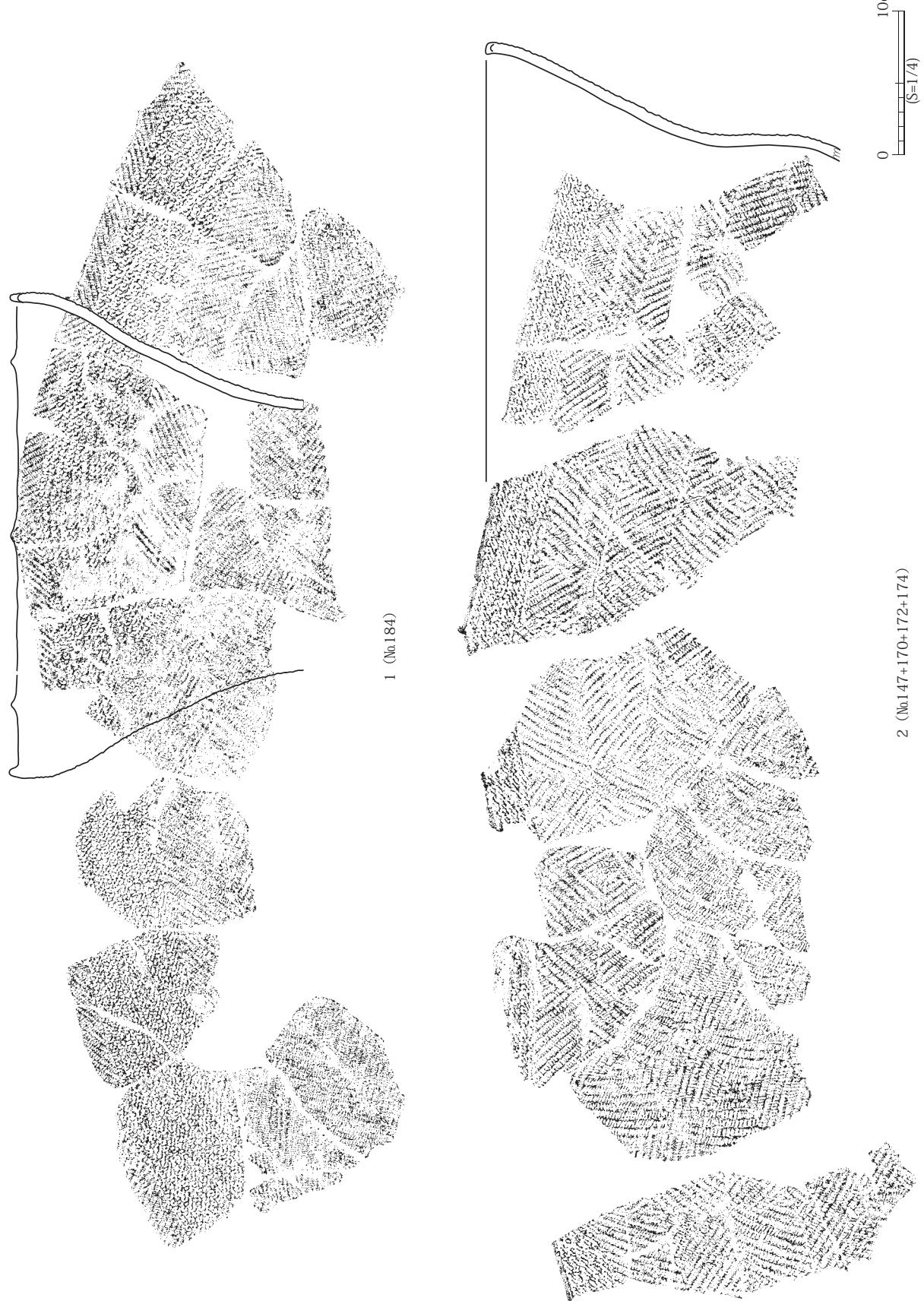
図版 4-123 SX2 出土土器 (2)

2層



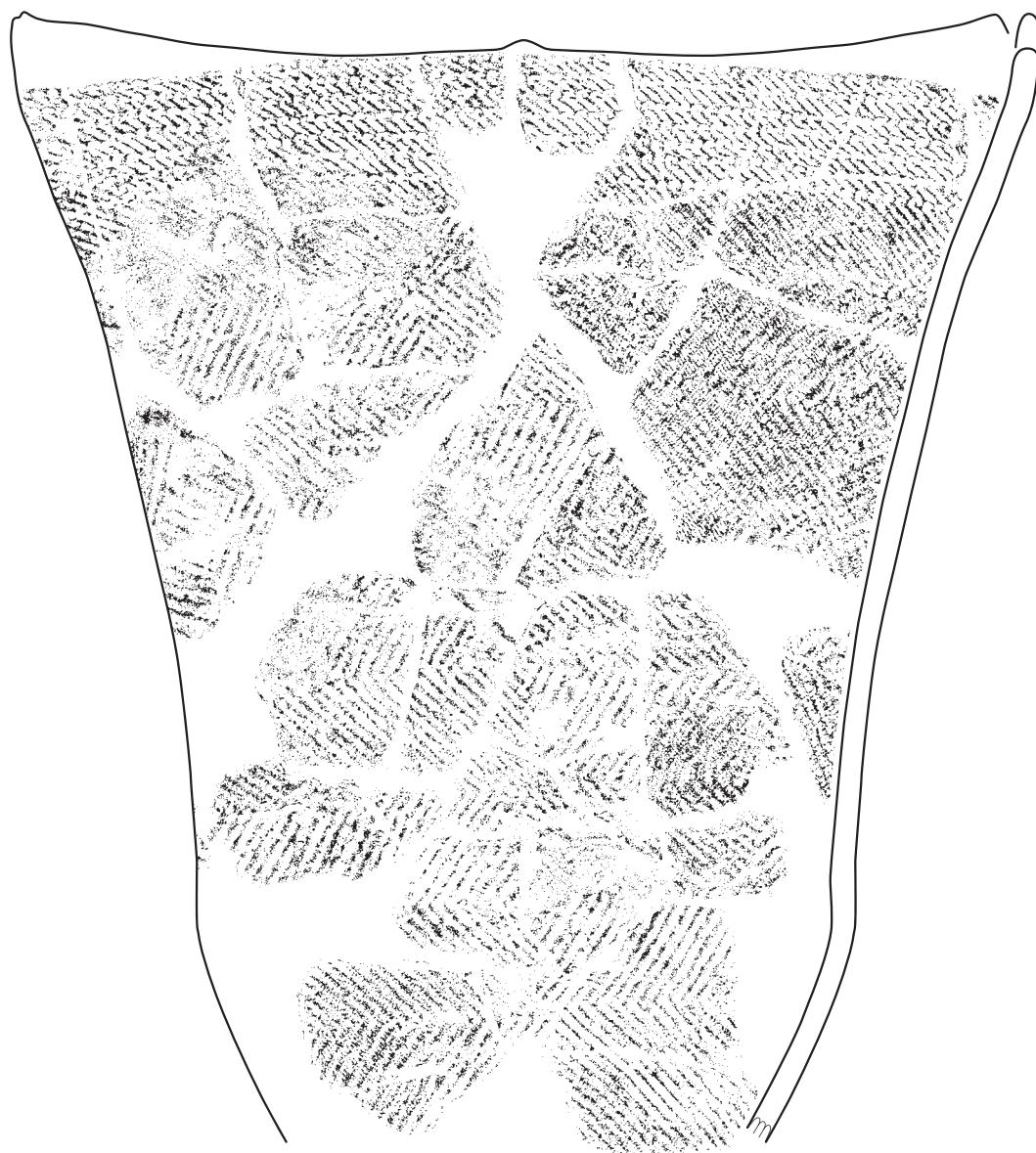
図版 4-124 SX2 出土土器 (3)

2層



図版 4-125 SX2 出土土器 (4)

2層



1 (No.185)

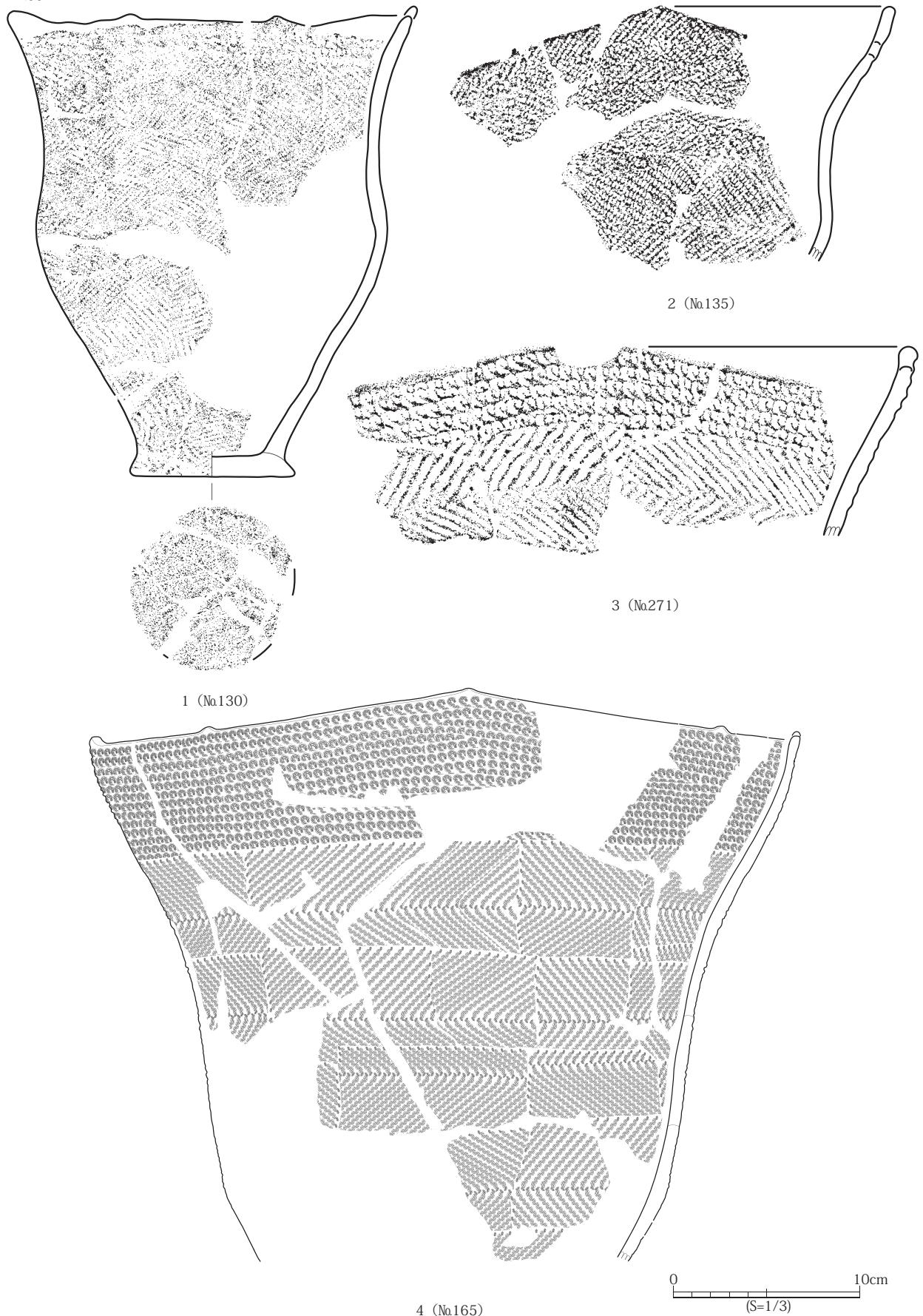


2 (No.270+273)

0 10cm  
(S=1/3)

図版 4-126 SX2 出土土器 (5)

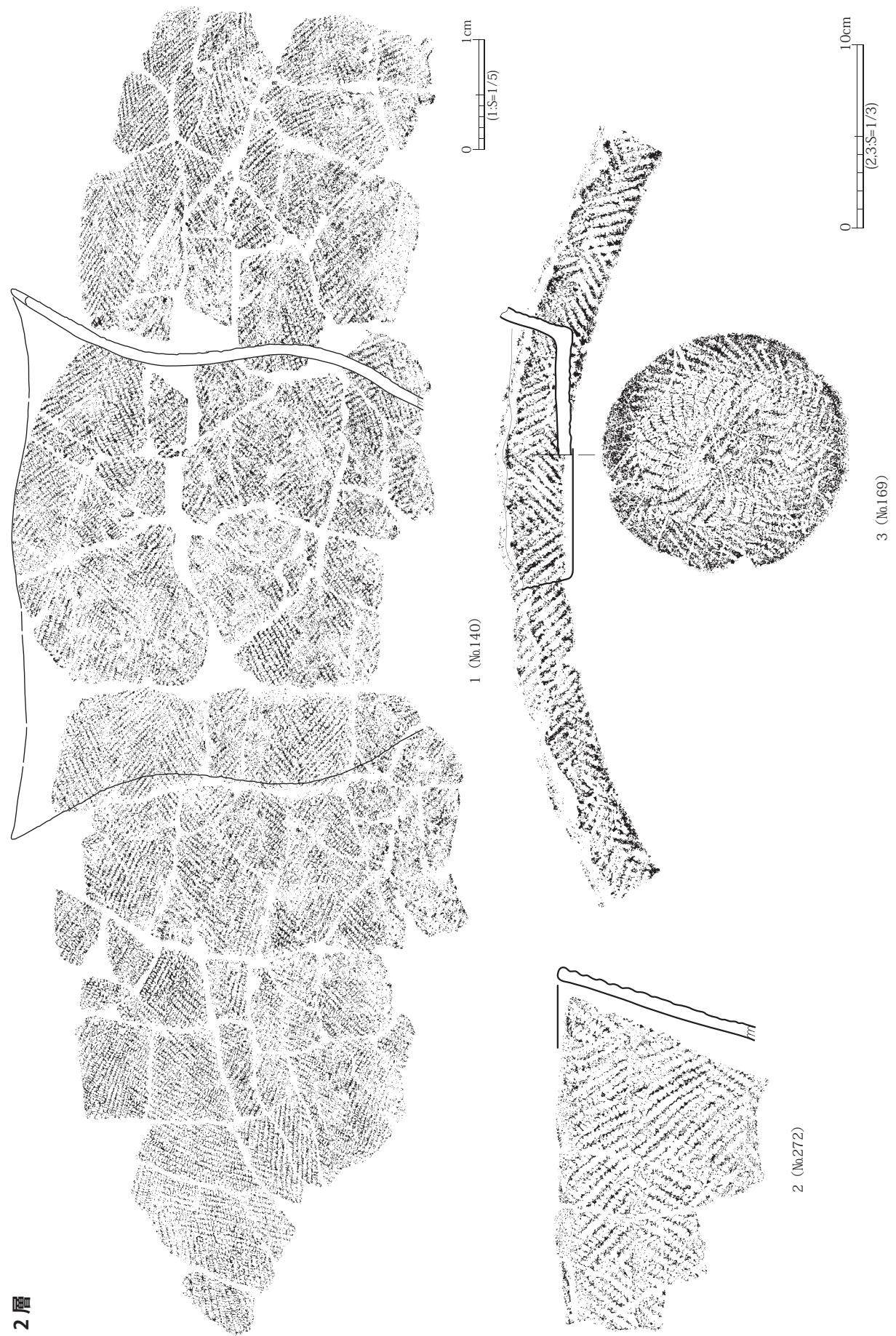
2層



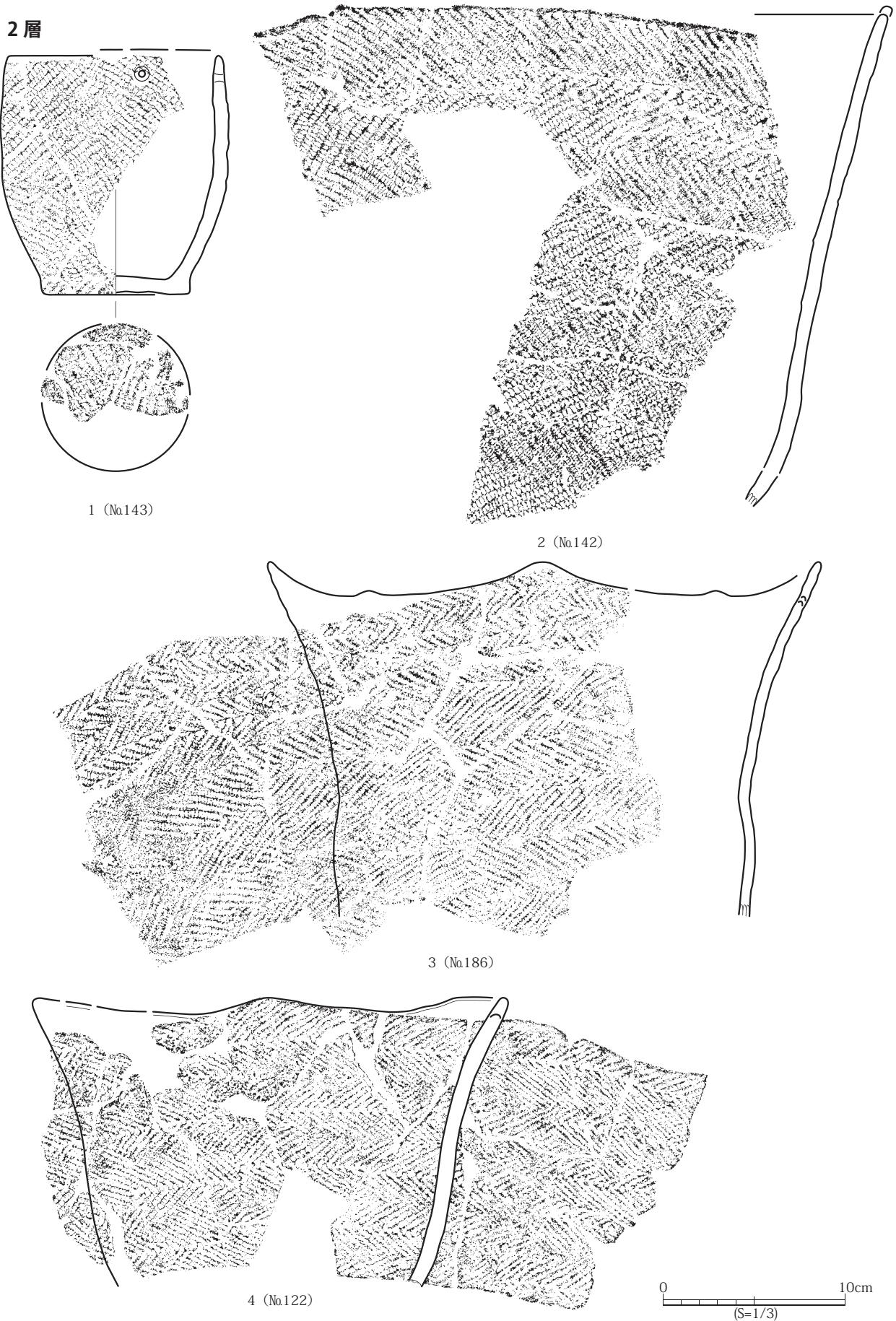
図版 4-127 SX2 出土土器 (6)



図版 4-128 SX2 出土土器 (7)



図版 4-129 SX2 出土土器 (8)

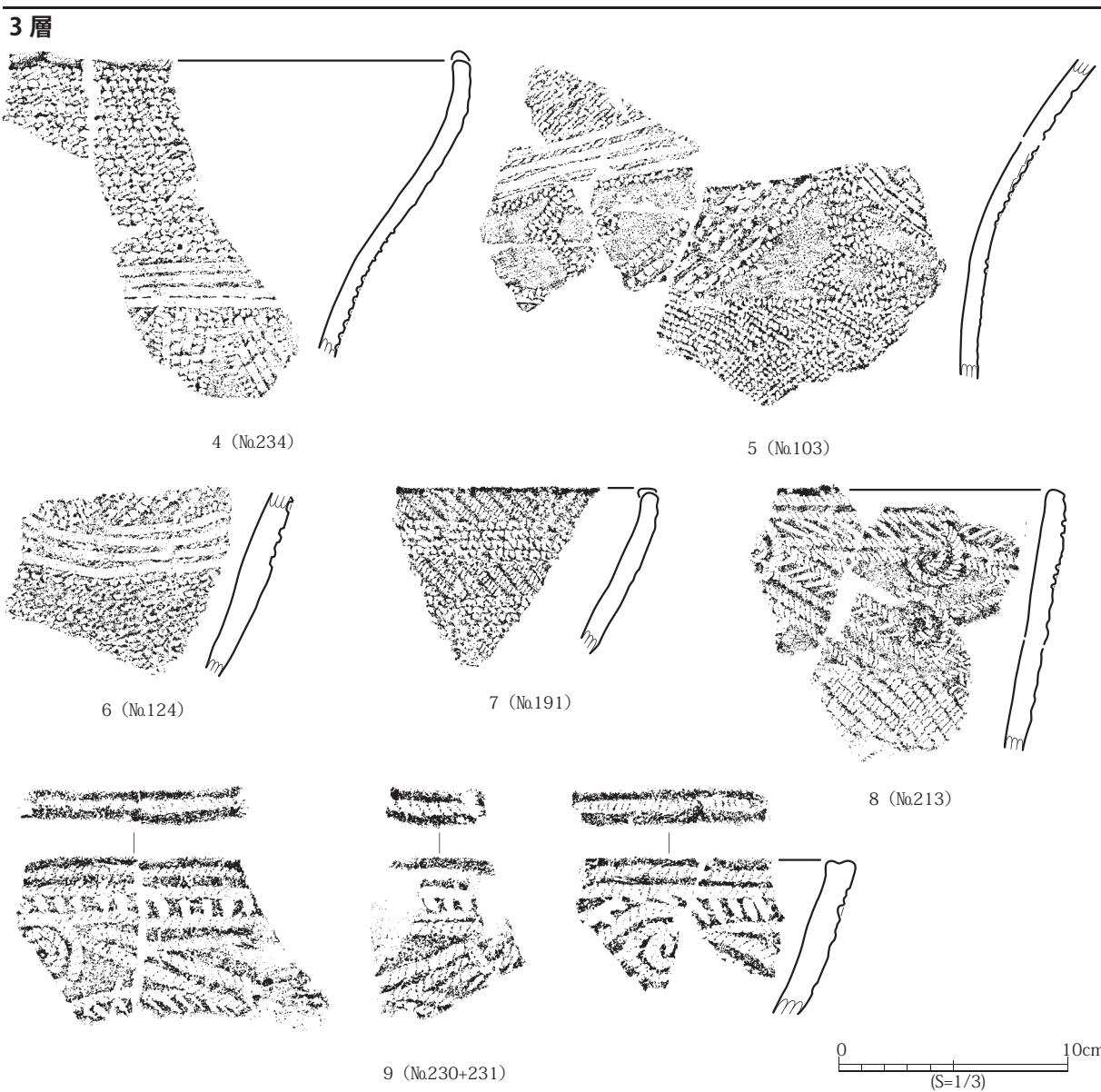
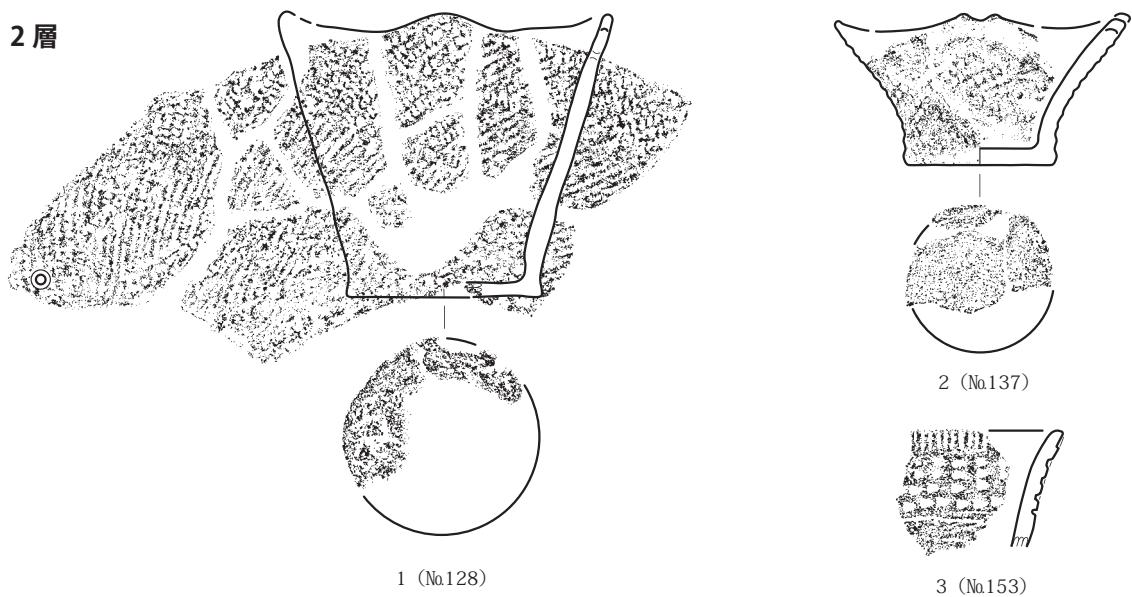


図版 4-130 SX2 出土土器 (9)



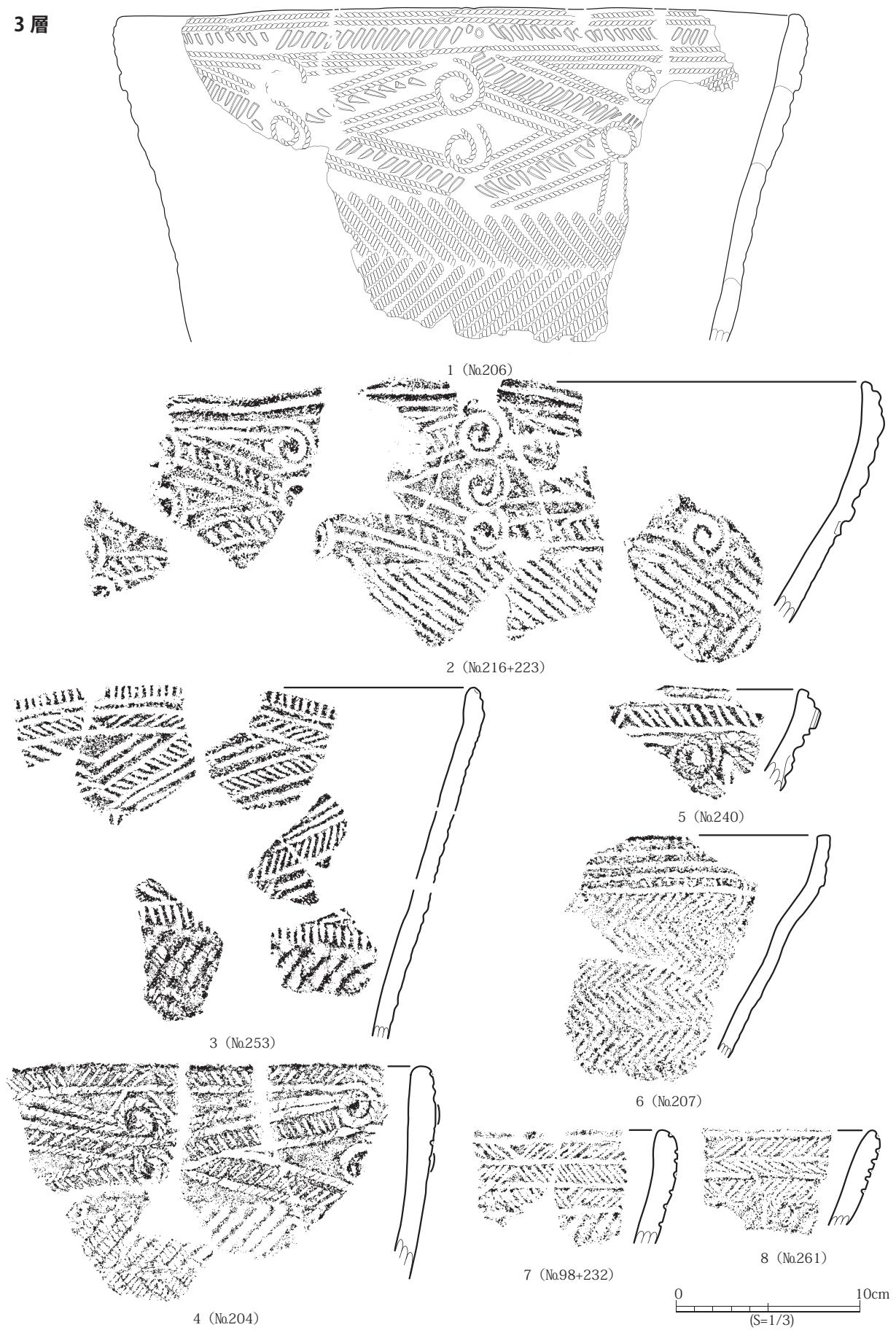
0 10cm  
(S=1/3)

図版 4-131 SX2 出土土器 (10)



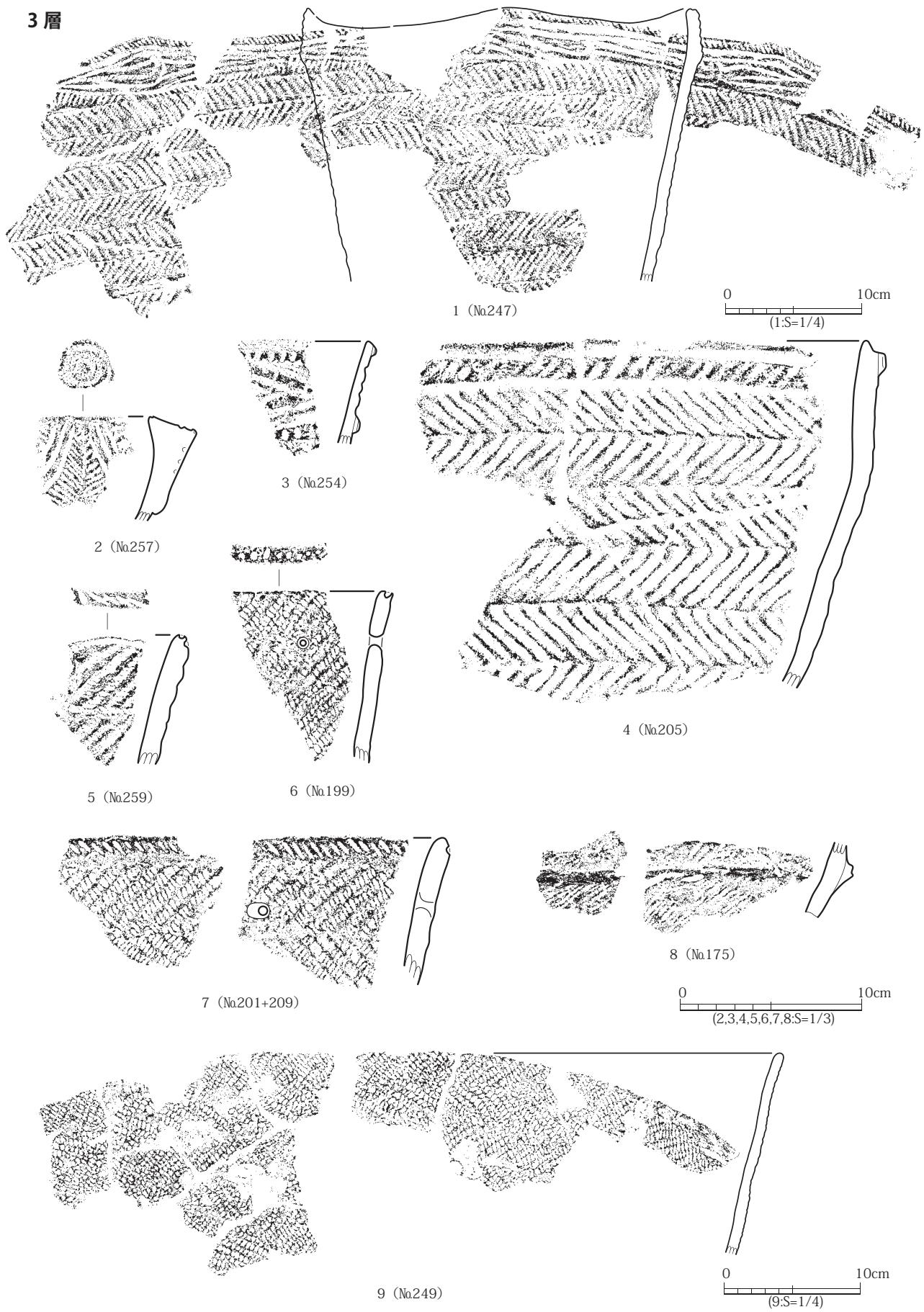
図版 4-132 SX2 出土土器 (11)

3層



図版 4-133 SX2 出土土器 (12)

3層



図版 4-134 SX2 出土土器 (13)

3層



1 (No.233)



2 (No.264)

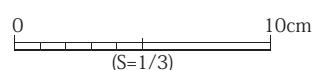


3 (No.244)

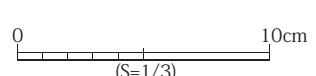
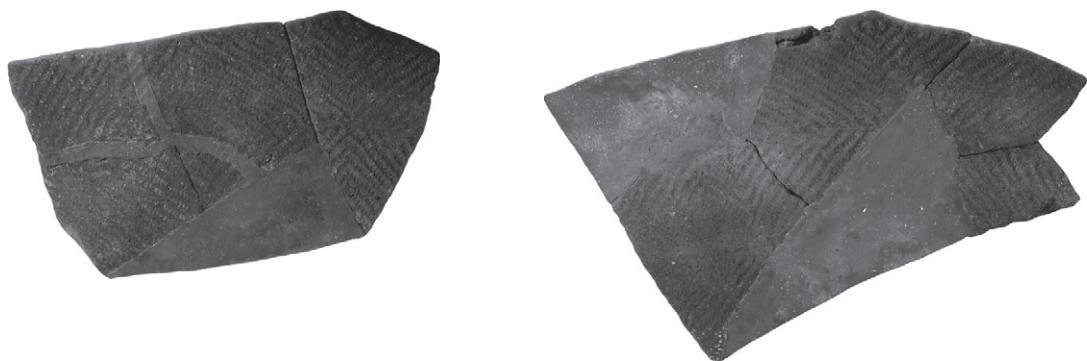
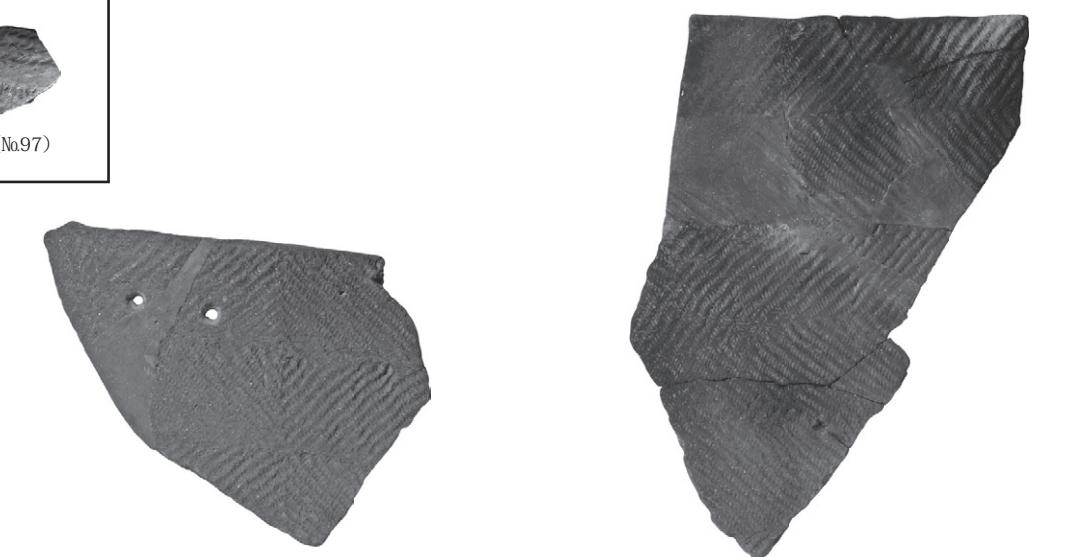
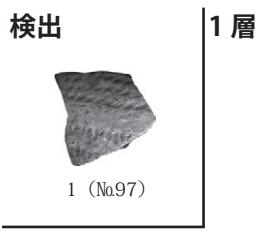
層不明



5 (No.284)

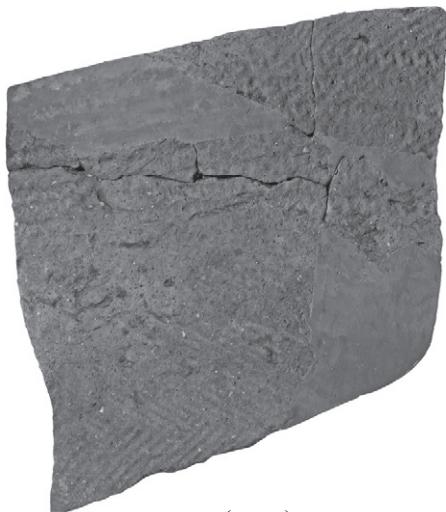


図版 4-135 SX2 出土土器 (14)



図版 4-136 SX2 出土土器 (15)

2層



1 (No.138)



2 (No.144)



3 (No.166)



4 (No.155)



5 (No.154)



0 10cm  
(S=1/3)

図版 4-137 SX2 出土土器 (16)

2層



1 (No.145)

2 (No.120)

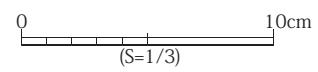


3 (No.163)



4 (No.156)

5 (No.177)

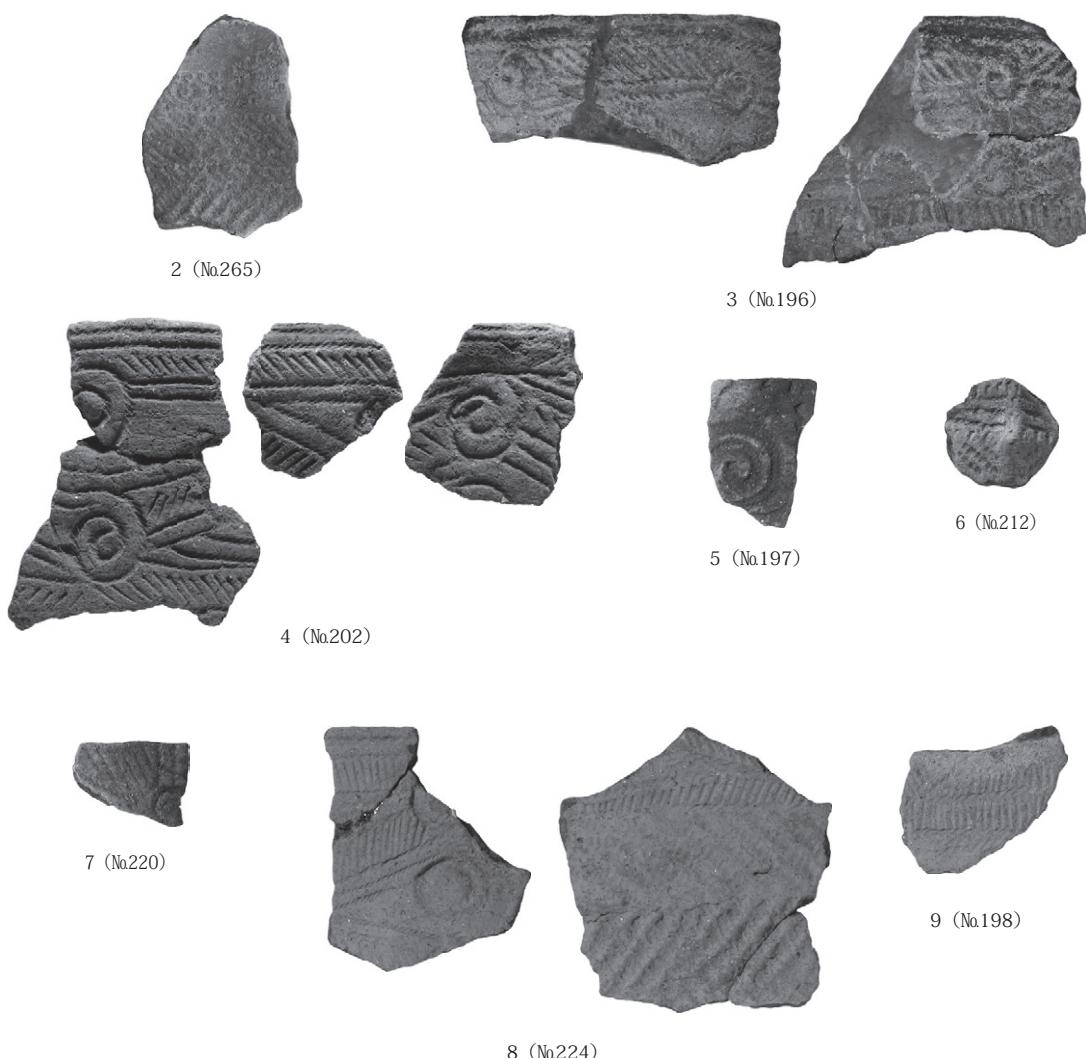


図版 4-138 SX2 出土土器 (17)

2層



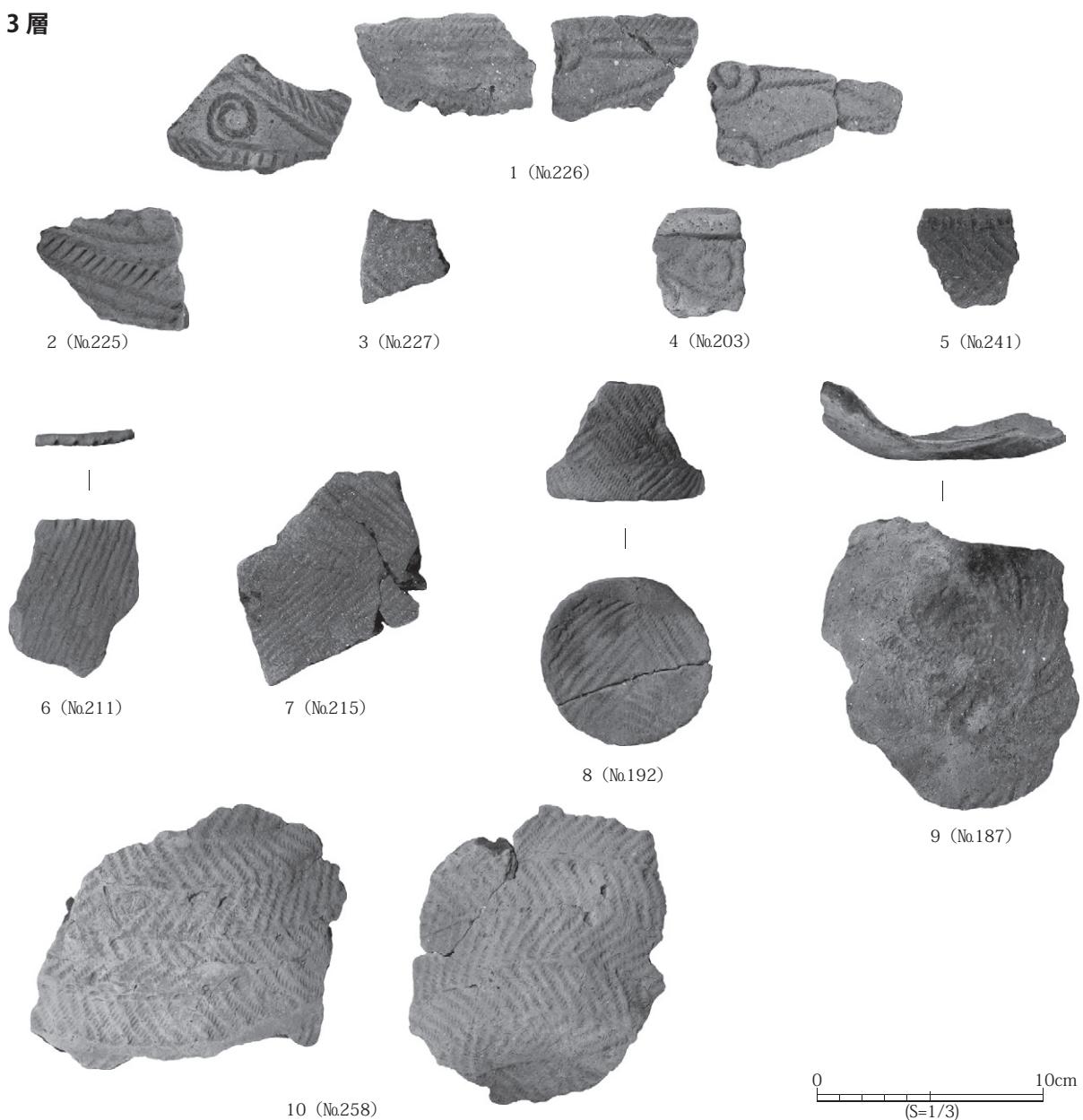
3層



0 10cm  
(S=1/3)

図版 4-139 SX2 出土土器 (18)

3層

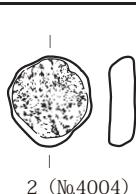
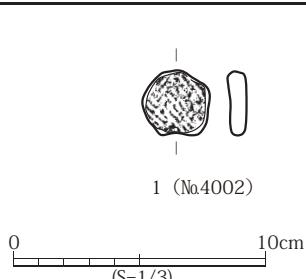


搅乱

層不明

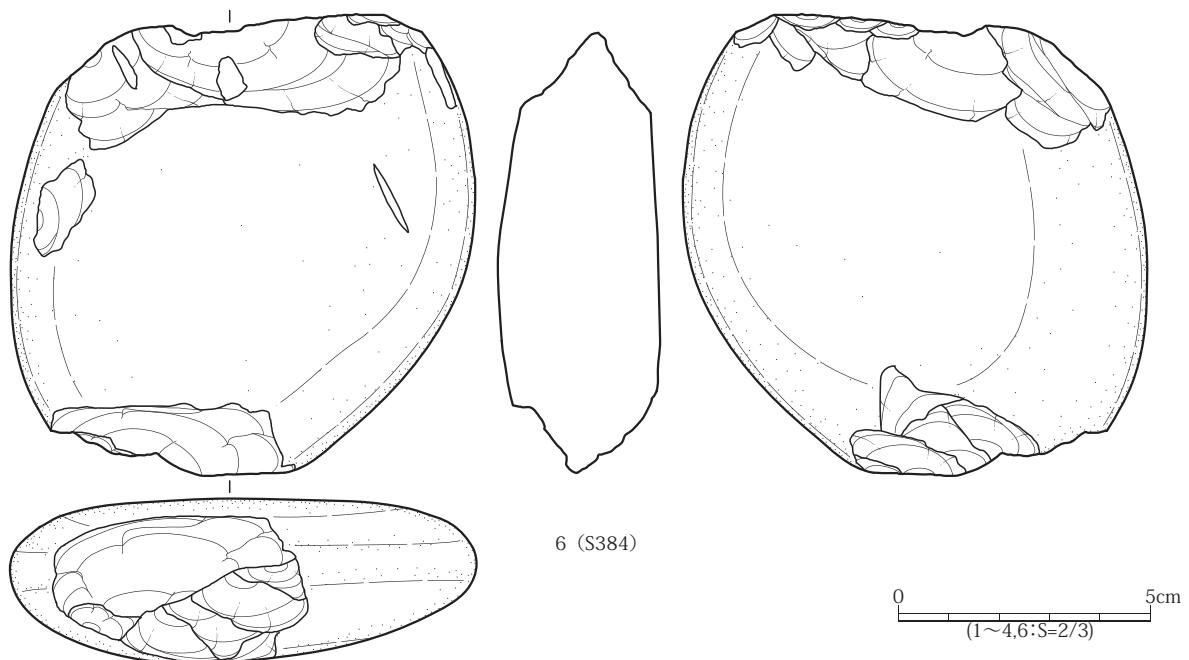
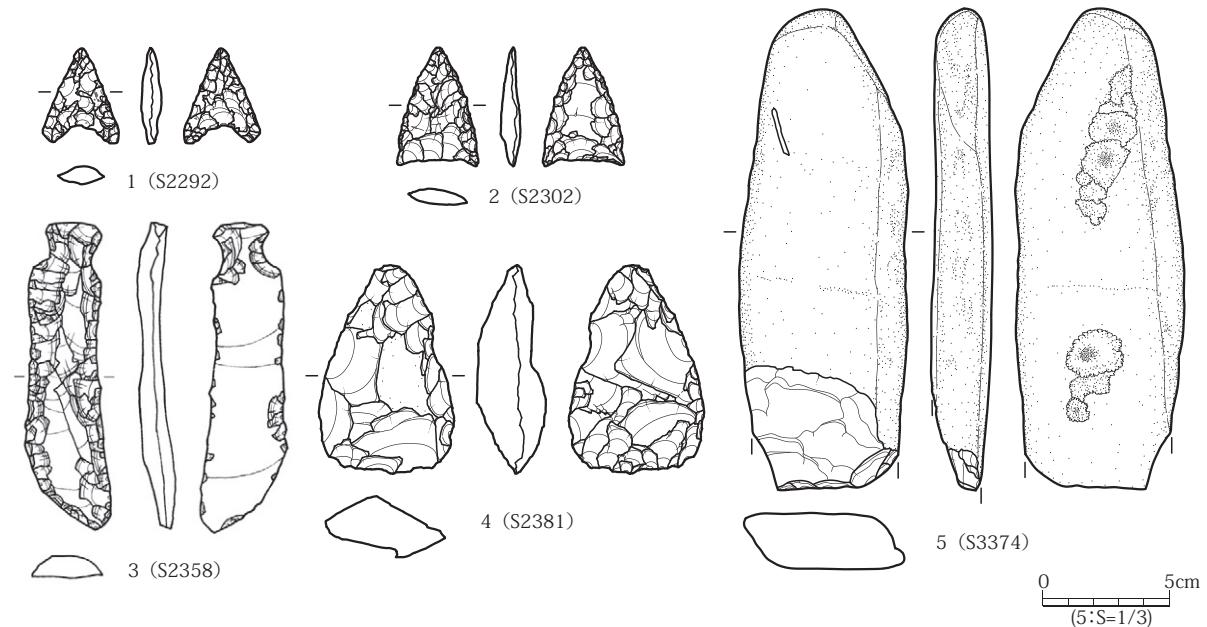


図版 4-140 SX2 出土土器 (19)

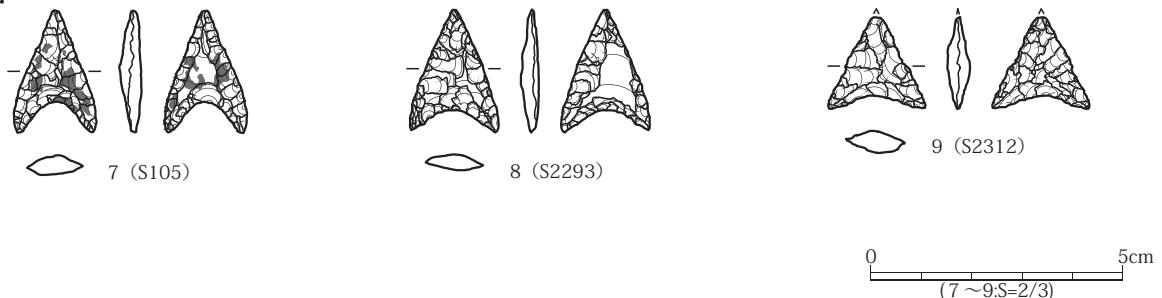


図版 4-141 SX2 出土土製品

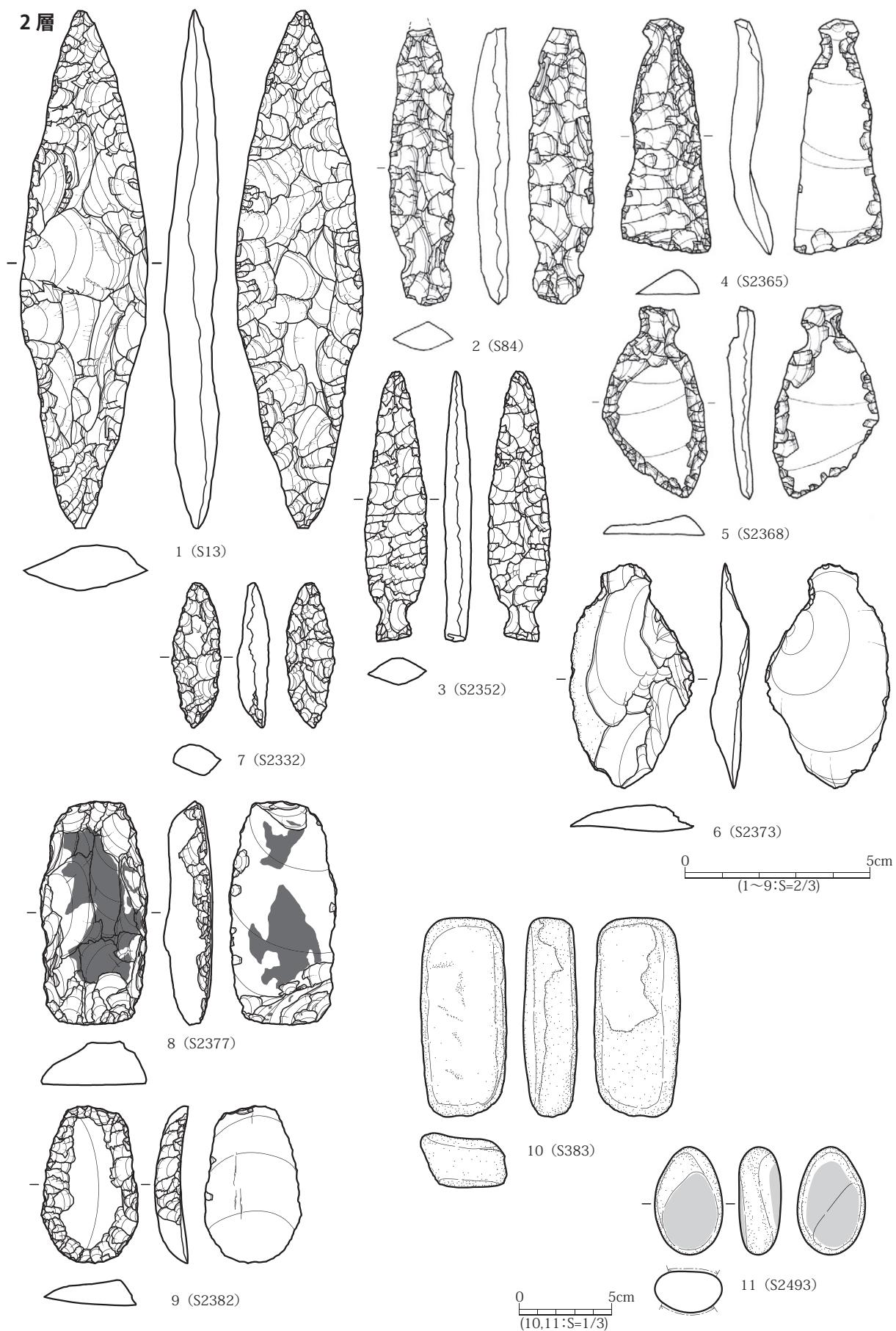
1層



2層

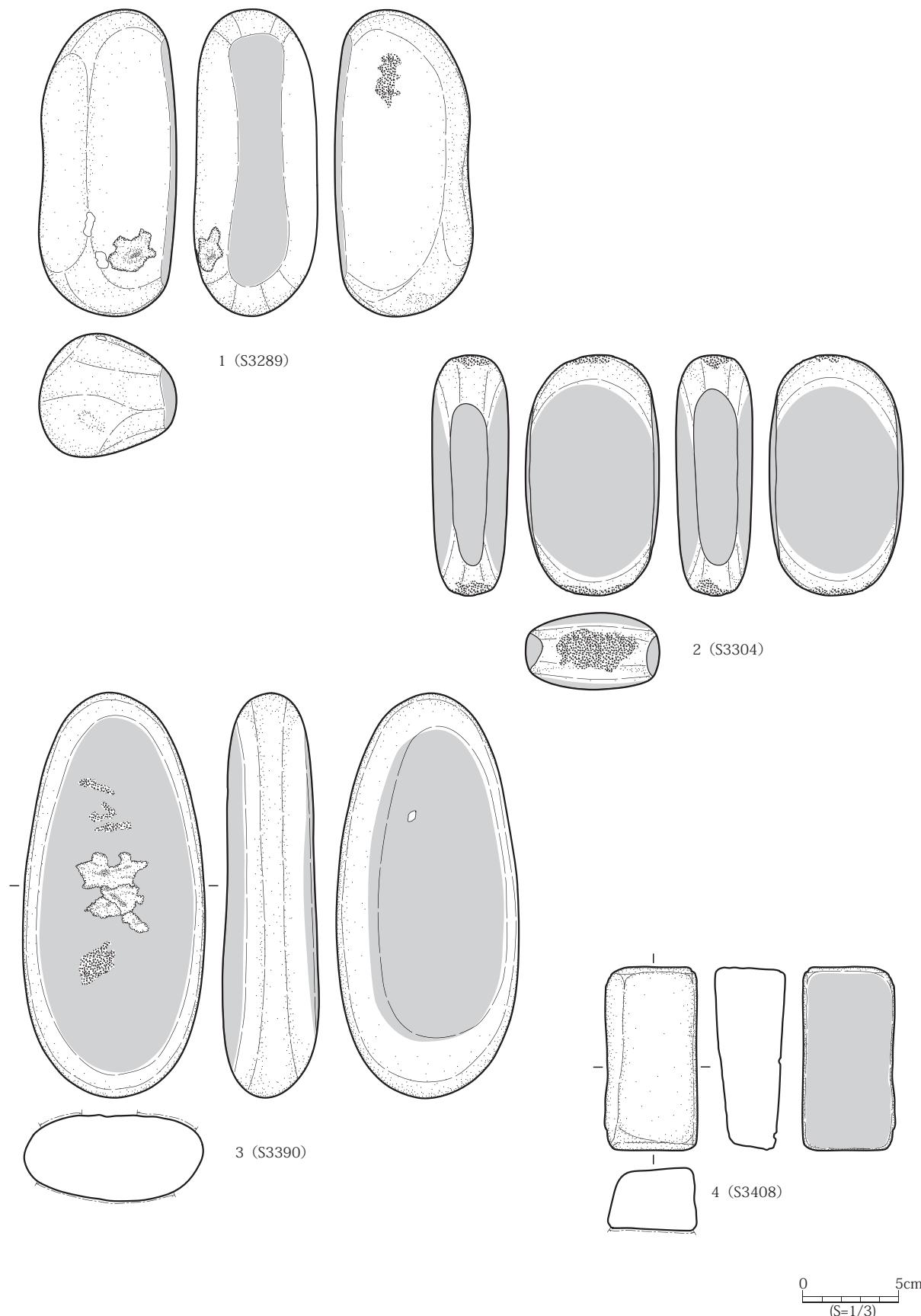


図版 4-142 SX2 出土石器・石製品 (1)



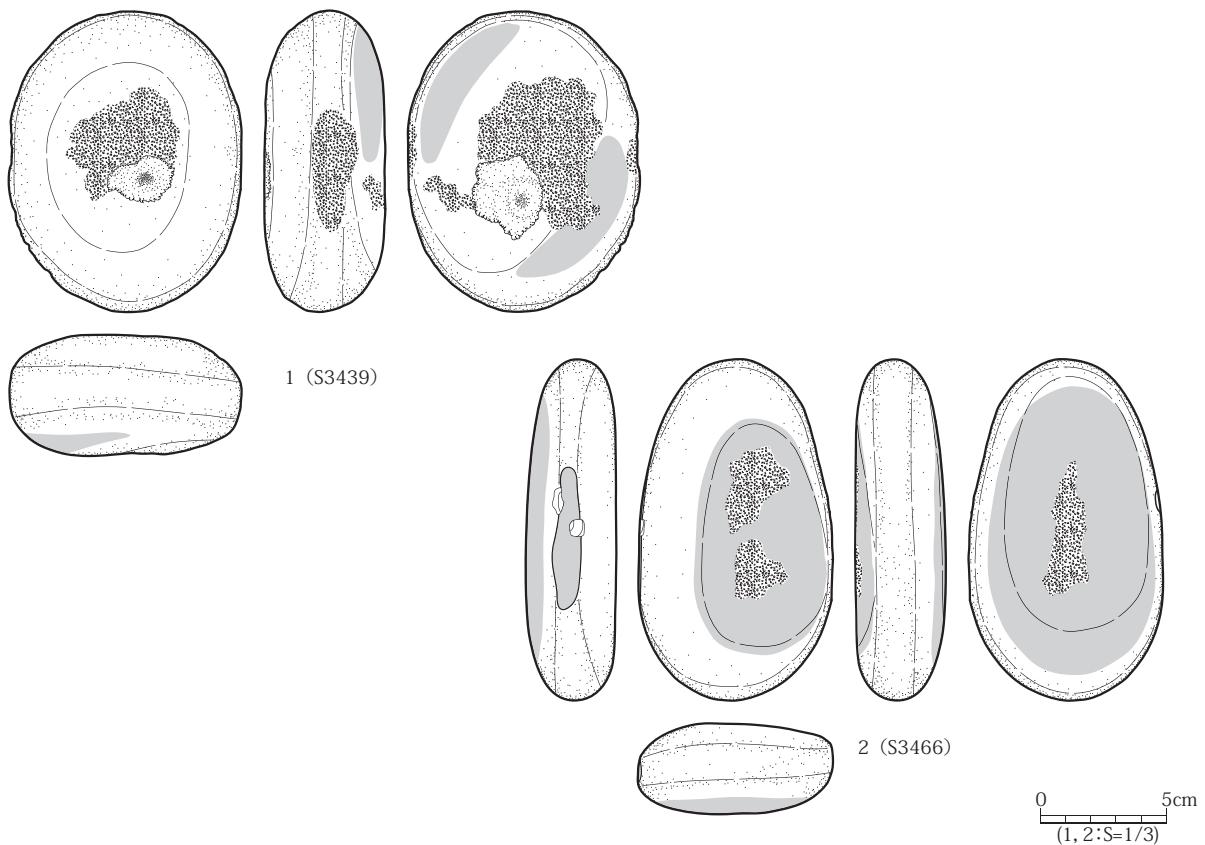
図版 4-143 SX2 出土石器・石製品 (2)

2層

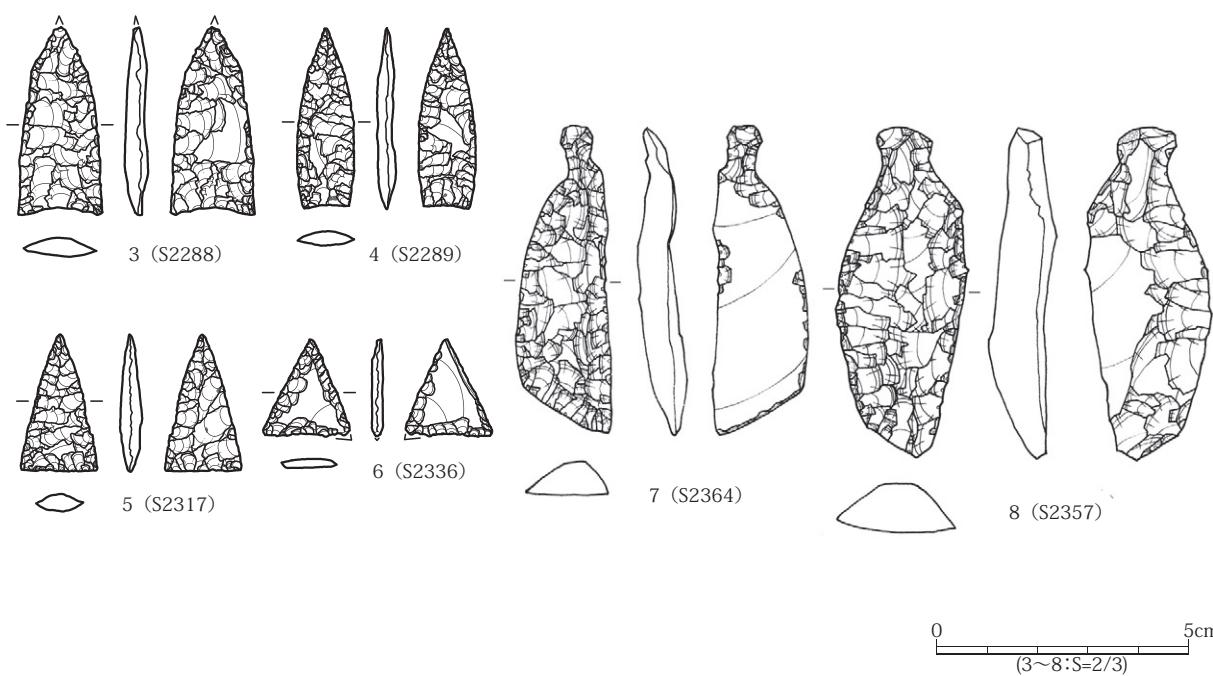


図版 4-144 SX2 出土石器・石製品 (3)

2層

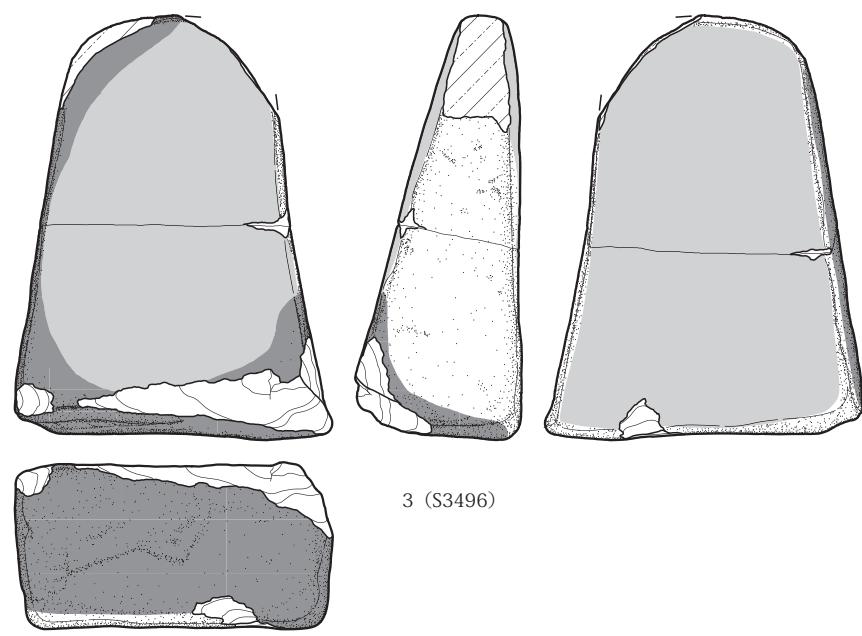
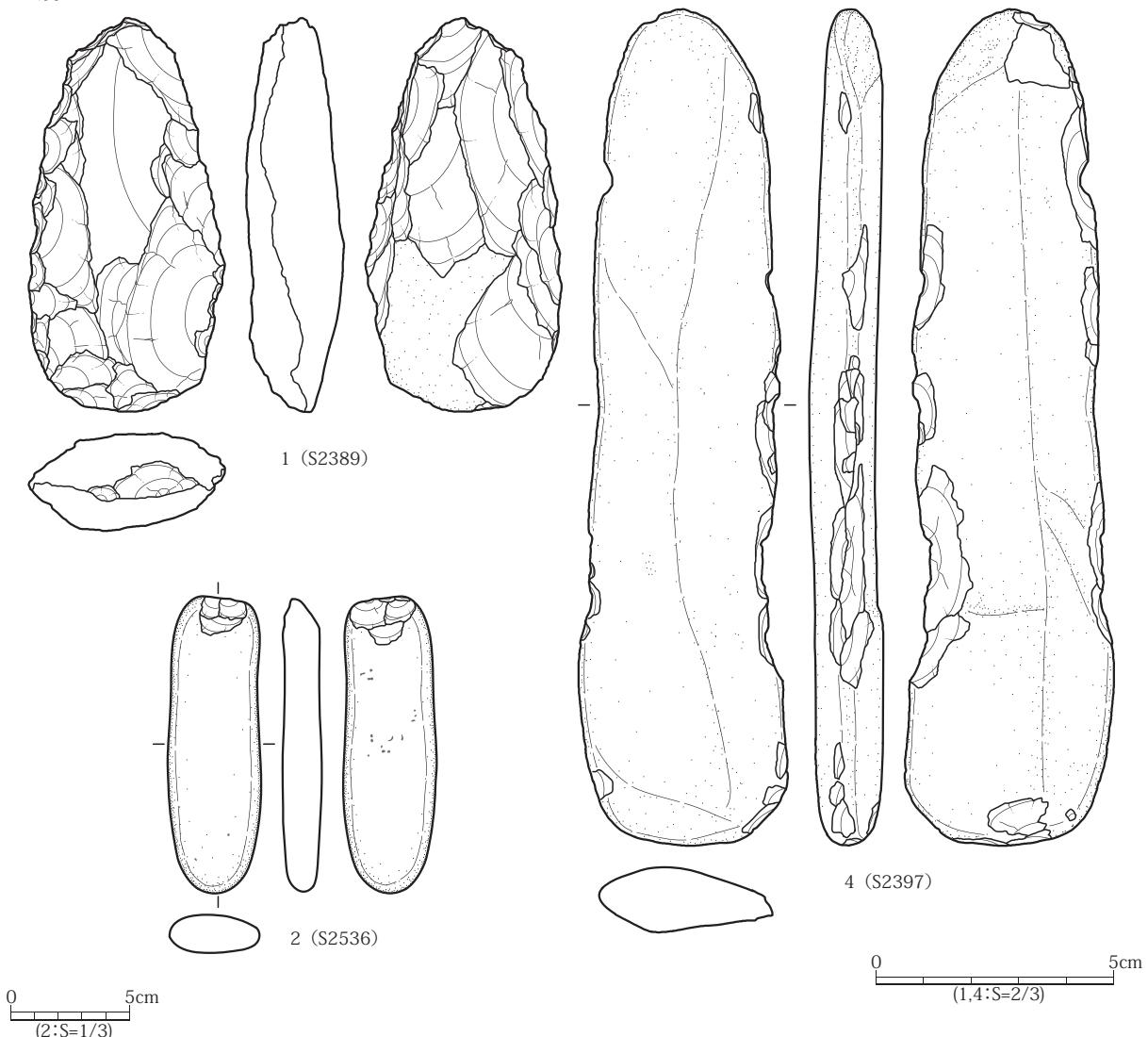


3層



図版 4-145 SX2 出土石器・石製品 (4)

3層



図版 4-146 SX2 出土石器・石製品 (5)

〈SX2 出土土器観察表〉

図	登録No	グリッド	層位	器種類型	装飾類型	部位	形態(法量)	装飾・調整	纖維	写真 図版
122-1	99	北	表土	深鉢	IV～VI G1	口縁部	平縁	【外面】横位刺突列・斜行繩文(LR) + 附加条( $\ell$ )	含	97-1
122-2	101	C-5	1層	深鉢	VII～VIII B	口縁部～体部	平縁+突起	【外面】梯子状貼付文・斜行繩文(LR)		97-3
122-3	104	D-6	1層	深鉢 B	IV～VI A1	口縁部～体部上半	平縁	【外面】斜位短沈綫横列・横位貼付文+押圧・横位刺突列、擦痕	含	97-2
122-4	114	E-6	1層	深鉢 B3	IV～VI A1a	口縁部～体部上半	平縁([推]口径30cm)	【外面】横位・縦位・環状貼付文+刻目、S字状連鎖撚糸文(0段)	含	97-4
122-5	107	D-6	1層	深鉢 C3	II J3b	口縁部～体部下半	波状縁([推]口径22cm)	【外面】重層末端ループ文(RL)、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	97-5
122-6	105	D-6 トレンチ	1層	深鉢 B	II J3b	口縁部～体部上半	波状縁(?)+突起	【外面】重層末端ループ文(RL)、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	97-6
123-1	102	CD1～3トレンチ	1層	深鉢	II C	口縁部	平縁	【外面】横位沈線文、重層末端ループ文(RL)	含	97-7
123-2	109	D-5	1層	深鉢	II I	口縁部	平縁+突起	【外面】横位撚糸压痕文(RL)、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	97-8
123-3	116	F-6	1層	深鉢 B2	II J3b	口縁部～体部上半	波状縁([推]口径25cm)	【外面】重層末端ループ文(RL)、非結束羽状繩文(LR, RL)【その他】補修孔	含	97-9
123-4	117	F-6	1層	深鉢 B	II J5	口縁部～体部上半	平縁+突起	【外面】非結束羽状繩文(LR, RL)	含	98-1
123-5	106	D-6 トレンチ	1層	鉢 A	II J5	口縁部～底部	平縁([推]口徑15.3cm)、平底([推]底径8.4cm)	【外面】非結束羽状繩文(LR, RL)【底面】斜行繩文(LR)	含	98-2
123-6	113	D-6	1層	深鉢 B	II J5	口縁部～体部上半	平縁+突起([推]口径27cm)	【外面】非結束羽状繩文(LR, RL)	含	98-3
124-1	150	F-4	2層	深鉢	VII B	口縁部～体部	平縁+貼付文	【口唇部】波状貼付文【外面】斜行繩文(L)		98-4
124-2	151	G-7	2層	深鉢	IV～VI G1	口縁部	平縁	【外面】横位刺突列・盲孔・斜行繩文(RL)	含	98-5
124-3	149	F-5	2層	深鉢 A1	II C	口縁部～体部上半	平縁	【外面】横位沈線文、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	98-7
124-4	181	C-5	2層	深鉢	II C	口縁部	平縁	【外面】横位沈線文、重層末端ループ文(RL)	含	99-1
124-5	167	E-5	2層	深鉢 C	II C	口縁部	平縁	【外面】環状沈線文、非結束羽状繩文(LRL、RL)	含	99-2
124-6	182	C-5	2層	深鉢	II G	口縁部	波状縁	【外面】刺突文(円形竹管)、横位刺突列(半截竹管)、斜行繩文(RL)	含	99-3
124-7	269		2層	深鉢 B2	II G	口縁部～体部下半	波状縁+突起([推]口径32cm)	【外面】横位・弧状刺突列(半截竹管)、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	98-6
124-8	173	E-6	2層	深鉢	II G	口縁部	波状縁	【外面】刺突文(円形竹管)、重層末端ループ文(RL)	含	99-4
124-9	176	E-6	2層	深鉢	II G	口縁部	平縁	【外面】横位刺突列、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	99-5
124-10	152	F-6	2層	深鉢 B2	II J3b	口縁部～体部下半	波状縁+突起([推]口径40cm)	【外面】重層末端ループ文(RL)、非結束羽状繩文((LR, RL)、(LRL, RLR))【その他】補修孔	含	99-6
125-1	184	D-5	2層	深鉢 C2	II J3b	口縁部～体部上半	平縁+突起(口径33cm)	【外面】重層末端ループ文(RL)、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	99-7
125-2	147・ 170・ 172・ 174	E-5	2層	深鉢 C3	II J3b	口縁部～体部上半	平縁+突起	【外面】重層末端ループ文(LR)、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	100-1
126-1	185	E-6	2層	深鉢 C3	II J3b	口縁部～体部下半	平縁+突起(口径41cm)	【外面】重層末端ループ文(RL)、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	101-1
126-2	270・ 273		2層	深鉢 B2	II J	口縁部	波状縁([推]口径32cm)	【外面】結節繩文(0段、特殊)、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	100-2
127-1	130	D-3	2層	深鉢 B3	II J3b	口縁部～底部	平縁+突起([推]口径26cm)、平底(底径8.6cm)	【外面】重層末端ループ文(RL)、非結束羽状繩文(LR, RL)【底面】繩文(原体不明)、木葉痕	含	101-2
127-2	135	D-4	2層	深鉢 C3	II J3b	口縁部～体部	波状縁+突起([推]口径24cm)	【外面】重層末端ループ文(LR, RL(羽状))、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	101-3
127-3	271		2層	深鉢	II J3b	口縁部	波状縁+凹み	【外面】重層末端ループ文(RL)、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	101-4
127-4	165	E-5	2層	深鉢 C3	II J3b	口縁部～体部下半	波状縁+突起([推]口径38cm)	【外面】重層末端ループ文(RLR)、結束第1種羽状繩文(LRL, RLR)	含	102-1
128-1	131	D-4	2層	深鉢 B2	II J3b	口縁部～体部下半	平縁([推]口徑42cm)	【外面】重層末端ループ文(LR)、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	102-2
128-2	129	D-3	2層	深鉢 B2	II J3b	口縁部～底部	平縁+突起([推]口径20cm)、平底(底径7.4cm)	【外面】重層末端ループ文(LR)、非結束羽状繩文(LR, RL)【底面】斜行繩文(LR)【その他】補修孔	含	102-3
128-3	126	CD-1～3トレンチ	2層	鉢 D	II J3b	口縁部～底部	平縁+突起(口径13cm)	【外面】重層末端ループ文(LR)、斜行繩文(RL)	含	102-4
128-4	162	E-5	2層	深鉢 C or 鉢 D	II J3b	口縁部～体部上半	平縁	【外面】重層末端ループ文(LR)、非結束羽状繩文(LRL, RLR)	含	102-5
129-1	140	D-5、E-6	2層	深鉢 B3	II J5	口縁部～体部下半	平縁(口徑45cm)	【外面】非結束羽状繩文(LR, RL)	含	103-1
129-2	272		2層	深鉢	II J5	口縁部	平縁	【外面】非結束羽状繩文(LR, RL)	含	103-2
129-3	169	E-5	2層	深鉢	II J5	体部下半～底部	上底(底径13.6cm)	【外面】非結束羽状繩文(LR, RL)【底面】非結束羽状繩文(LR, RL)【その他】追加成形繩文施文、内面炭化物付着(年代測定実施)	含	103-3
130-1	143	D-6	2層	深鉢 C1	II J5	口縁部～底部	平縁([推]口徑12cm)、上底(底径8.1cm)	【外面】非結束羽状繩文(LR, RL)【底面】斜行繩文(LR)【その他】補修孔、追加成形繩文施文	含	103-4
130-2	142	D-6	2層	深鉢 B	II J5	口縁部～体部下半	平縁+突起(口徑46cm)	【外面】非結束羽状繩文(LR, RL)	含	103-5
130-3	186	F-5	2層	深鉢 B2	II J5	口縁部～体部下半	波状縁+突起([推]口徑30cm)	【外面】非結束羽状繩文(LR, RL)	含	104-1
130-4	122	C-4	2層	深鉢 B2	II J6	口縁部～体部下半	波状縁([推]口徑26cm)	【外面】結束第1種羽状繩文(LR, RL)	含	104-2
131-1	164	E-4、F-4	2層	深鉢 B3	II J6	口縁部～体部下半	平縁(口徑43cm)	【外面】結束第1種羽状繩文(LR, RL)	含	104-3
131-2	171	E-6	2層	深鉢 C	II J1a	口縁部～体部	平縁	【外面】斜行繩文(RL)【内面】指頭痕【その他】補修孔	含	104-4
132-1	128	D-4 トレンチ	2層	鉢 A	II J1a	口縁部～底部	平縁+突起(口徑12.8cm)、平底(底径7.8cm)	【外面】斜行繩文(LRL)【底面】繩文(原体不明)【その他】補修孔	含	105-1
132-2	137	D-5	2層	浅鉢 B	II J1a	口縁部～底部	波状縁([推]口径10.8cm)、平底(底径6cm)	【外面】斜行繩文(LRL)【底面】ナデ	含	105-2
132-3	153	C-3	2層	深鉢	I G1	口縁部	平縁	【外面】縦位刻目横列、横位刺突列、繩文(原体不明)	含	105-3
132-4～6	B-5 (103 はD-6トレンチ、124 はCD-1～3トレンチ) 234・ 103・ 124		3層 (103 は1層、 124は 2層)	深鉢 C3	II C	口縁部～体部上半	平縁+突起	【外面】横位・弧状沈線文、斜位刺突列、縦位・斜位押引文(角棒 or 棘齒)、重層末端ループ文(LR)、非結束羽状繩文(LRL, RLR)	含	105-4 ～6
132-7	191	B-5	3層	深鉢	II J3b	口縁部	平縁+突起	【外面】重層末端ループ文(RL)、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	105-7
132-8	213	D-5	3層	深鉢 A1	I IIb	口縁部	平縁	【外面】横位・斜位・渦巻状撚糸压痕文(L) + 刻目、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	105-9
132-9	230・ 231	C-5	3層	深鉢	I IIb	口縁部	平縁	【口唇部】撚糸压痕文(L, R)【外面】横位・斜位・渦巻状撚糸压痕文(L, R) + 刻目	含	105-10
133-1	206	D-3	3層	深鉢 A2	I IIb	口縁部～体部上半	平縁([推]口径37cm)	【外面】横位・斜位・渦巻状撚糸压痕文(L, R) + 刻目、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	105-8

図	登録No	グリッド	層位	器種類型	装飾類型	部位	形態(法量)	装飾・調整	織維	写真 図版
133-2	216・ 223	E-4 トレン チ	3層	深鉢 C	I IIb	口縁部	平縁	【外面】横位・斜位・渦巻状撚糸圧痕文(R) +刻目、非結束羽状縊文(LR、RL)	含	106-1
133-3	253	E-3	3層	深鉢 A2	I IIb	口縁部	平縁	【外面】横位・斜位・渦巻状撚糸圧痕文(L) +刻目、非結束羽状縊文(LR、RL)	含	106-2
133-4	204	D-3	3層	深鉢 A1	I IIb	口縁部	平縁 ((推) 口径 42cm)	【外面】横位・斜位・渦巻状撚糸圧痕文(R) +刻目、非結束羽状縊文(LR、RL)	含	106-3
133-5	240	C-5	3層	深鉢	I IIb	口縁部	平縁	【外面】横位・斜位・渦巻状撚糸圧痕文(R) +刻目	含	106-6
133-6	207	E-2	3層	深鉢 C2	I IIb	口縁部	平縁	【外面】横位・斜位・渦巻状撚糸圧痕文(L) +刻目、非結束羽状縊文(LR、RL)	含	106-7
133-7・ 8	98・ 232・ 261	E-6	3層	深鉢	I IIb	口縁部	平縁	【外面】横位・斜位・渦巻状撚糸圧痕文(R) +刻目、斜行縊文(LR)	含	106-4・5
134-1	247	D-5	3層	深鉢 C2	I IIb	口縁部	波状縁 ((推) 口径 29cm)	【外面】横位・斜位・弧状撚糸圧痕文(L) +刻目、非結束羽状縊文(LR、RL)	含	106-8
134-2	257	E-2	3層	深鉢	I IIb	口縁部	波状縁(突起)	【口唇部】撚糸圧痕文(L) 【外面】縦位貼付文、弧状沈線文+刻目	含	106-9
134-3	254	E-3	3層	深鉢	I IIa	口縁部	平縁	【外面】横位貼付文+撚糸圧痕(L)、斜位・横位・渦巻状撚糸圧痕文(L)	含	106-10
134-4	205	C-3	3層	深鉢 A	I A2	口縁部	平縁	【外面】横位貼付文+斜行縊文(LR)、非結束羽状縊文(LR、RL)	含	107-1
134-5	259	E-4	3層	深鉢	I F2	口縁部	平縁	【口唇部】刻目 【外面】斜位・横位・渦巻状撚糸圧痕文(L)、斜行縊文(LR)	含	107-2
134-6	199	C-4	3層	深鉢	I G2	口縁部	平縁	【口唇部】刺突(縊端?) 【外面】斜行縊文(LR) 【その他】補修孔	含	107-3
134-7	201・ 209	C-3 トレン チ、DE-4 ト レンチ	3層	深鉢	I F2	口縁部	平縁	【外面】斜位刻目横列、非結束羽状縊文(LR、RL) 【その他】補修孔	含	107-4
134-8	175	B-6	3層	深鉢	I A	体部		【外面】横位貼付文+撚糸圧痕(L)、斜行縊文(LR)	含	107-5
134-9	249	D-3	3層	深鉢 A2	I J5	口縁部	波状縁	【外面】非結束羽状縊文(LR、RL)	含	107-6
135-1	233	B-5	3層	深鉢 A1	I J5	口縁部	平縁	【外面】非結束羽状縊文(LR、RL)	含	107-7
135-2	264	F-6	3層	鉢 A	I J5	口縁部～底部	平縁 ((推) 口径 13cm)、平底 ((推) 底径 6.5cm)	【外面】非結束羽状縊文(LR、RL)	含	107-10
135-3	244	C-3	3層	深鉢 B	I J11	口縁部	平縁	【口唇部】撚糸文(L) 【外面】撚糸文(L)	含	107-8
135-4	222	E-4	3層	深鉢	I J5	底部	平底	【外面】非結束羽状縊文(LR、RL)	含	107-9
135-5	284	層不明	深鉢	I IIb	体部			【外面】撚糸圧痕文(L、R) +刻目	含	108-1
136-1	97	東	検出	深鉢	II I	口縁部	平縁	【外面】撚糸圧痕文(RL)、重層末端ループ文(RL)	含	-
136-2	111	D-6	1層	深鉢	II J5	口縁部～体部上半	波状縁	【外面】非結束羽状縊文(LR、RL)	含	-
136-3	115	E-6	1層	深鉢	II J5	口縁部～体部下半	平縁	【外面】非結束羽状縊文(LR、RL、無文部あり)	含	-
137-1	138	D-4	2層	深鉢	II J3b	口縁部～体部上半	波状縁	【外面】重層末端ループ文(LR)、非結束羽状縊文(LR、RL)	含	-
137-2	144	E-6	2層	深鉢	II J3b	口縁部～体部上半	平縁	【外面】重層末端ループ文(RL)、非結束羽状縊文(LR、RL)	含	-
137-3	166	E-5	2層	深鉢	II J3b	口縁部～体部下半	波状縁	【外面】重層末端ループ文(RL)、結合第1種羽状縊文(LR、RL)	含	-
137-4	155	B-6	2層	深鉢	II J3b	体部上半～下半		【外面】重層末端ループ文(RL)、非結束羽状縊文(LR、RL)	含	-
137-5	154	C-5	2層	深鉢	II J3b	口縁部～体部上半	平縁	【外面】重層末端ループ文(RL)、非結束羽状縊文(LR、RL)	含	-
138-1	145	E-6	2層	深鉢	II J4	口縁部～体部	平縁	【外面】側面ループ文(RL)	含	-
138-2	120	C-3	2層	深鉢	II J5	口縁部～体部上半	平縁	【外面】非結束羽状縊文(LR、RL)	含	-
138-3	163	E-5	2層	深鉢	II J5	口縁部～体部上半	平縁	【外面】非結束羽状縊文(LR、RL)	含	-
138-4	156	C-6	2層	深鉢	II J5	口縁部～体部下半	平縁	【外面】非結束羽状縊文(LRL、RLR) +結節	含	-
138-5	177	E-6	2層	深鉢	II J5	口縁部	平縁+突起	【外面】非結束羽状縊文(LR、RL)	含	-
138-6	161	D-3	2層	深鉢	I I	口縁部	波状縁	【外面】貼付文+刻目、撚糸圧痕文(L) +刻目	含	-
139-1	136	D-5	2層	深鉢	II J1a	口縁部～体部	平縁+突起	【口唇部(突起)】押圧 【外面】斜行縊文(RL)	含	-
139-2	265	F-6	3層	深鉢	II J3c	体部		【外面】重層末端ループ文(RL)、異方向施文、斜行縊文(LR)	含	-
139-3	196	D-3	3層	深鉢	I I	口縁部	平縁	【外面】撚糸圧痕文(R、L) +刻目	含	-
139-4	202	D-3	3層	深鉢	I I	口縁部	平縁	【外面】撚糸圧痕文(R) +刻目	含	-
139-5	197	D-3	3層	深鉢	I I	口縁部	平縁	【外面】撚糸圧痕文(R、L) +刻目	含	-
139-6	212	D-4	3層	深鉢	I I	口縁部～体部上半	波状縁	【外面】撚糸圧痕文(R、L) +刻目、非結束羽状縊文(LR、RL) 【その他】No.282(P1116出土)と同一個体	含	-
139-7	220	E-2	3層	深鉢	I I	口縁部	平縁	【外面】撚糸圧痕文(R) +刻目	含	-
139-8・ 9	224・ 198	E-4	3層	深鉢	I I	口縁部～体部上半	平縁	【外面】撚糸圧痕文(R) +刻目、非結束羽状縊文(LR、RL)	含	-
140-1	226	E-3	3層	深鉢	I I	口縁部	平縁	【外面】撚糸圧痕文(R、L) +刻目	含	-
140-2	225	E-3	3層	深鉢	I I	体部		【外面】撚糸圧痕文(R、L) +刻目	含	-
140-3	227	E-4 トレン チ	3層	深鉢	I I	体部		【外面】撚糸圧痕文(R、L) +刻目、非結束羽状縊文(LR、RL)	含	-
140-4	203	D-3	3層	深鉢	I I	口縁部	平縁	【外面】貼付文+斜行縊文(RL)、撚糸圧痕文(R)	含	-
140-5	241	C-3	3層	深鉢	I I	口縁部	平縁	【外面】貼付文+撚糸圧痕文(R)、非結束羽状縊文(LR、RL)	含	-
140-6	211	D-4	3層	深鉢	I F	口縁部	平縁	【外面】刻目文、斜行縊文(LR、縦走気味)	含	-
140-7	215	F-4	3層	深鉢	I I	口縁部	小波状縁	【口唇部】撚糸圧痕文(LR) 【外面】非結束羽状縊文(LR、RL)	含	-
140-8	192	B-5	3層	深鉢	I J5	体部下半～底部	上底(底径 7.4cm)	【外面】非結束羽状縊文(LR、RL) 【底面】斜行縊文(RL)	含	-
140-9	187	D-2	3層	深鉢	I J5	体部下半～底部	平底(底径 6.9cm)	【外面】非結束羽状縊文(LR、RL) 【底面】斜行縊文(RL)	含	-
140-10	258	E-4	3層	深鉢	I J5	体部下半～底部	平底	【外面】非結束羽状縊文(LR、RL) 【底面】非結束羽状縊文(LR、RL)	含	-
140-11	100		搅乱	深鉢	IV～VI G	口縁部	波状縁	【外面】刺突文	含	-
140-12	276		層不明	深鉢	I A	口縁部		【外面】貼付文+撚糸圧痕文(R)、非結束羽状縊文(LR、RL)	含	-

〈SX2 出土土製品観察表〉

図	登録No	グリッド	層位	器種	法量	装飾・調整	織維	写真 図版
141-1	4002	D-4	2層	円盤状土製品	最大長 2.7cm、幅 2.6cm、厚さ 0.7cm	【表面】斜行縊文(R) 【縁辺】打ち欠き	含	108-3
141-2	4004	E-2	3層	円盤状土製品	最大長 3.6cm、幅 3.3cm、厚さ 1cm	【表面】縫文? 【縁辺】打ち欠き、磨滅	含	108-4
141-3	4003	C-5	3層	焼土塊	最大長 4.5cm、幅 3.4cm、厚さ 2.1cm	なし(不整形)	含	-

〈SX2 出土石器観察表〉

No.	登録 No.	グリッド	層位	器種	類型	石材	長 (mm)	幅 (mm)	最大厚 (mm)	重量 (g)	被熱	自然面	残存	備考	写真 図版
142-1	S2292	C5	1	石鏹	I b2A	珪化凝灰岩	18.7	14.9	4.0	0.6	0	0	完形		177-1
142-2	S2302		1	石鏹	I b1B	珪化凝灰岩	23.8	16.1	3.6	1.1	0	0	完形		177-2
142-3	S2358	B3	1	石匙	I b5	珪質頁岩	59.9	16.4	6.8	5.2	0	0	ほぼ完形		177-3
142-4	S2381	D6	1	籠状石器	I a1	珪化凝灰岩	41.3	26.9	12.9	12.6	0	1	完形		177-4
142-5	S3374		1	磨石・敲石類	I i	結晶片岩	190.0	63.4	21.5	414.5	0	1	ほぼ完形		177-5
142-6	S384	D6	1	石錐	I	玄武岩質安山岩	89.8	91.7	32.9	377.0	0	1	完形		177-6
142-7	S105	B4	2	石鏹	I a2A	頁岩	24.3	16.1	3.9	1.0	0	0	完形		177-7
142-8	S2293	C3	2	石鏹	I b2B	珪質頁岩	24.0	17.6	3.5	1.0	0	0	完形		177-8
142-9	S2312		2	石鏹	I b2A	珪質頁岩	18.4	18.9	4.4	0.8	0	0	完形		177-9
143-1	S13		2	尖頭器	I b1	珪質頁岩	139.7	34.2	14.9	50.9	0	0	完形	洞部下半に付着物	177-10
143-2	S84	C5	2	尖頭器	II b2	珪質頁岩	74.1	17.1	9.4	11.7	0	0	ほぼ完形		177-11
143-3	S2352	E5	2	尖頭器	II b1	珪質頁岩	72.8	16.8	7.5	8.1	0	0	完形	先端に櫛状剥離痕	177-12
143-4	S2365	S132	2	石匙	I d3	珪質頁岩	63.6	24.4	9.7	9.9	0	0	完形		177-15
143-5	S2368	F6	2	石匙	III b5	珪質頁岩	50.5	27.6	6.4	6.7	0	0	完形		177-14
143-6	S2373		2	石匙	未成品	頁岩	60.6	33.5	8.7	12.8	0	1	完形		177-16
143-7	S2332		2	石錐	I b	珪質頁岩	39.2	13.2	8.1	3.9	0	0	完形		177-13
143-8	S2377	E5	2	籠状石器	I b2	珪質頁岩	60.1	29.3	12.8	27.8	0	0	完形		178-1
143-9	S2382	D4	2	不定形石器	III c	珪質頁岩	41.9	26.0	8.0	9.0	0	0	完形		178-2
-	S2403	E6	2	不定形石器	II b	珪質頁岩	26.9	26.5	10.4	7.5	0	1	完形		178-3
143-10	S383	C4	2	磨石・敲石類	I a	安山岩	107.3	47.5	28.8	233.0	0	1	完形		178-5
143-11	S2493	Po106	2	磨石・敲石類	III	玄武岩質安山岩	57.8	36.1	22.7	69.8	0	1	完形		178-4
144-1	S3289	F6	2	磨石・敲石類	II a	安山岩	155.0	69.7	68.8	1216.0	0	1	完形		178-7
144-2	S3304	E3	2	磨石・敲石類	I b	玄武岩質安山岩	124.6	69.1	39.8	552.0	0	1	完形		178-6
144-3	S3390	C5	2	磨石・敲石類	I f	玄武岩質安山岩	210.0	93.0	49.6	1482.5	0	1	完形		178-8
144-4	S3408		2	磨石・敲石類	I a	ひん岩	94.7	46.7	37.0	335.5	0	1	完形		178-9
145-1	S3439	E6	2	磨石・敲石類	I c	砂岩	118.2	92.2	47.3	756.0	0	1	完形		178-11
145-2	S3466		2	磨石・敲石類	I f	玄武岩質安山岩	134.7	76.5	34.8	555.0	0	1	完形		178-10
145-3	S2288	C1	3	石鏹	I b5A	珪質頁岩	37.1	16.4	4.4	2.7	0	0	完形		178-12
145-4	S2289	E4	3	石鏹	I b5A	珪質頁岩	35.5	11.3	3.6	1.4	0	0	完形		178-13
145-5	S2317	D6	3	石鏹	II 2A	珪質頁岩	27.1	14.8	4.0	1.2	1	0	完形		178-14
-	S2318	D3	3	石鏹	II 4A	珪質頁岩	24.6	14.0	3.7	1.0	0	0	完形		178-15
145-6	S2336	B3	3	石鏹	II 2C	珪質頁岩	19.2	16.9	2.0	0.7	0	0	完形		178-16
145-7	S2364	C3	3	石匙	I b3	珪質頁岩	59.9	18.4	8.0	7.7	0	0	完形		178-18
145-8	S2357	C2	3	石匙	I b4	珪質頁岩	64.8	25.9	11.6	18.1	0	0	完形		178-17
146-1	S2389	F6	3	打製石斧	I a1	安山岩	82.6	40.6	19.2	78.8	0	1	完形		179-1
-	S2392	C4	3	礫器	I a1	玄武岩質安山岩	125.2	67.7	27.5	316.5	0	1	完形	磨石・凹石から転用	179-2
146-2	S2536	B3	3	磨石・敲石類	I n	玄武岩質安山岩	123.9	38.9	16.0	128.8	0	1	完形		179-3
146-3	S3496	C3	3	石皿	I b	細粒閃綠岩	325.0	255.0	130.0	15100.0	1	1	完形		179-4
146-4	S2397	C6	3	石棒・石劍類	III b	粘板岩	174.0	44.1	14.0	139.0	0	1	完形		179-5

## 【SX3 遺物包含層】

### (1) 堆積状況と分布範囲

15-1 区の丘陵北東斜面に位置し、南西から北東に向かって下る深い谷地形に形成されている（図版 4-147）。包含層は大きく 1～5 層に分かれ、斜面下端では低湿化する。6 層は基本層 III 層（包含層堆積前の旧表土）にあたり、谷地形を全体的に覆う。斜面下方は最終的に計画範囲外となつたため、トレンチ調査のみで包含層の広がりを確認した。遺物は 1～2 層、3～4 層、5～6 層のまとまりで取り上げている。

#### [1 層]

中央部から斜面下方にかけて  $12 \times 17\text{m}$  の範囲に最大 85cm の厚さで分布する。黒褐色基調の層と黄褐色基調の層の互層をなす層群である。砂質シルトを基調とし、一部粘質シルト層が見られる。斜面上方においては炭化物を含む。

#### [2 層]

斜面下方、奥行き 12m 以上に渡って最大 20cm の厚さで分布する。オリーブ褐色を呈する砂質シルト層で火山灰を多く含み、火山灰の二次堆積層と考えられる。東西トレンチの東側延長部において検出し、さらにトレンチ外に伸びる。D8 において火山灰サンプルを採取した。

#### [3 層]

斜面下半の  $12 \times 21\text{m}$  の範囲に最大 30cm の厚さで分布する。黄褐色の粘質土を基調とし、炭化物や焼土ブロックを含む層群である。含有物の多寡などにより細分され、それぞれ明黄褐色～黒褐色を呈する。斜面下端の低湿化した 3c 層中では獸骨等が残存しており、E9 グリッドにおいて周囲の土壤のサンプルを採取した。また、C6 グリッド周辺の 3 層下部の土壤サンプルからは、剝片・チップが 7806g 検出された。

#### [4 層]

中央部から斜面下方にかけて  $18 \times 17\text{m}$  の範囲に最大 40cm の厚さで分布する。赤褐色シルトを基調とし、炭・焼土を多く含む層と、黄褐色シルトを基調とする層の互層からなる層群である。含有物の多寡などにより 12 層に細分され、焼土を極めて多量に含む層や、地山土主体の層が見られる。下部からは SL125 炉跡が検出されている。

#### [5 層]

斜面全体的に分布するが、特に斜面上方で厚く最大 40cm を測る。暗褐色土で、色調は 6 層に近いが、炭・焼土・遺物を含む。

### (2) SX3 内の地割れ痕跡

E～F・5～7 グリッドにおいて検出した。面的に検出したのは、 $4 \times 1.5\text{m}$  の範囲に平行して伸びる 2 条で、4 層下部で検出した。上幅は最大 70cm で、溝堆積土上部には 3 層ないし 4 層から落ち込んだと見られる土器が、下部には小礫が多く含まれる。またこれらの北側延長に当たる南北トレンチ断面において、4～6 層が V 字状に落ち込む状況が認められた。1 層に覆われ 4 層上面からの

深さは 70cm で地山上部へ達する。これらは一連のものと考えられ、土層断面から 4 層より新しく 1 層より古いものと捉えられる。堆積土中から縄文土器深鉢（図版 4-169）が出土している。

### (3) SX3 出土土器

〔表土・検出〕（図版 4-149～4-150、図版 4-170、写真図版 109）

検討対象土器は 445 点で、20 点を掲載した。

図版 4-149-2 は、角張った箇所のある土器であるが、全体の形状は不明である。図版 4-149-3 は、体部が膨らみ、頸部でくびれ、短い口縁部が外反する波状口縁の深鉢で、半截竹管による沈線文が施される。図版 4-149-4・5 は、撚糸文を地文とし、細い粘土紐貼付文に刺突が加えられる。他に、粘土紐貼付文や沈線文等の土器が出土している。

〔1～2 層〕（図版 4-150～4-152、図版 4-170、写真図版 110～111）

検討対象土器は 721 点で、22 点を掲載した。図版 4-150-3、5 は、口縁部外面と口唇部に粘土紐貼付文が施される。図版 4-150-4 は、撚糸文が縦に回転施文される。図版 4-151-2 は粘土紐貼付文と短沈線文、図版 4-151-1 は沈線文、図版 4-150-6 は半截竹管の沈線文が施される。図版 4-150-7、8、図版 4-151-3、4 は、加飾のある粘土紐貼付文を主とする文様が施される。図版 4-151-5 は結束第 1 種羽状縄文、図版 4-152-1 は末端ループ文と非結束羽状縄文が施される。

〔3～4 層〕（図版 4-152～4-167、図版 4-171～4-173、写真図版 111～121）

検討対象土器は 3725 点で、85 点を掲載した。3～4 層出土土器は、各グリッドで上下関係により区分して取り上げられたが、層の区分に厳密に対応するものではない。このため、グリッドごとに取り上げられた 3～4 層出土土器に断面での層の区分を反映させ、7 列を 3～4 層上部、5～6 列を 3～4 層上部～下部、2～4 列を 3～4 層下部とし、さらに 3～4 層の底部で取り上げられたものを 4 層出土と見なして扱うこととした。以下、これらの区分に従って記述する。

#### 《3～4 層上部出土土器》

図版 4-152-2 は、体部から口縁部が直立する小型の深鉢で、口縁部に指頭押圧が加えられた横位貼付文、体部に斜格子状の沈線文が施される。

#### 《3～4 層上部～下部出土土器》

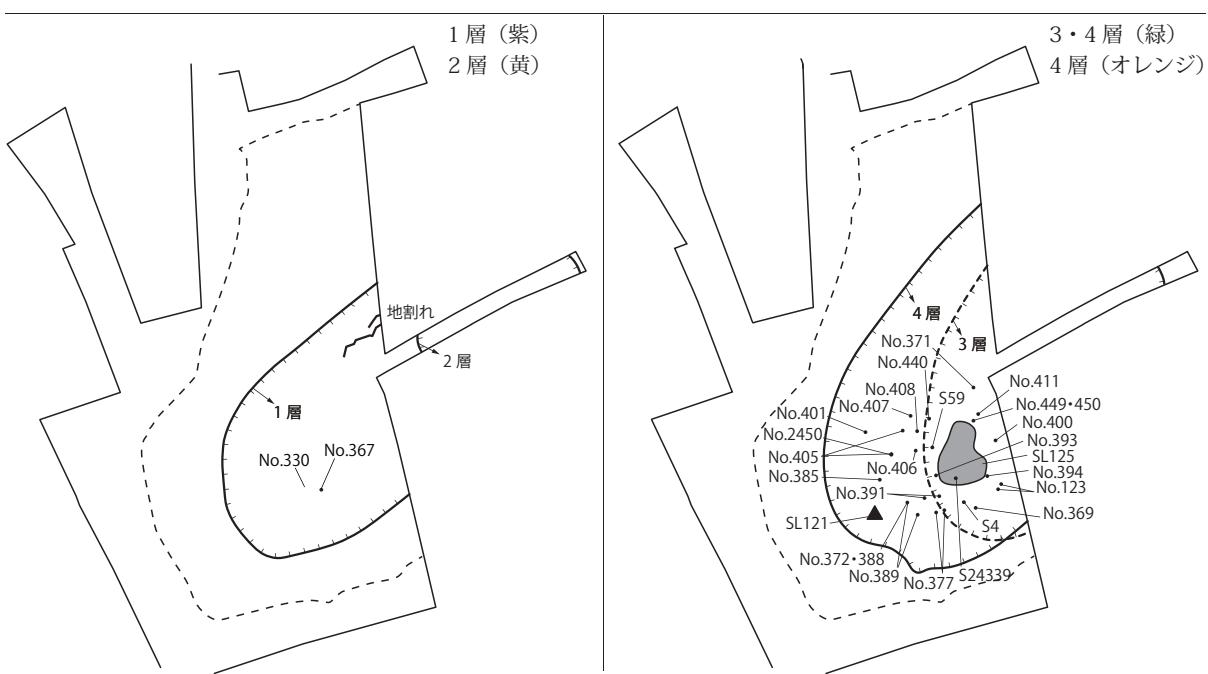
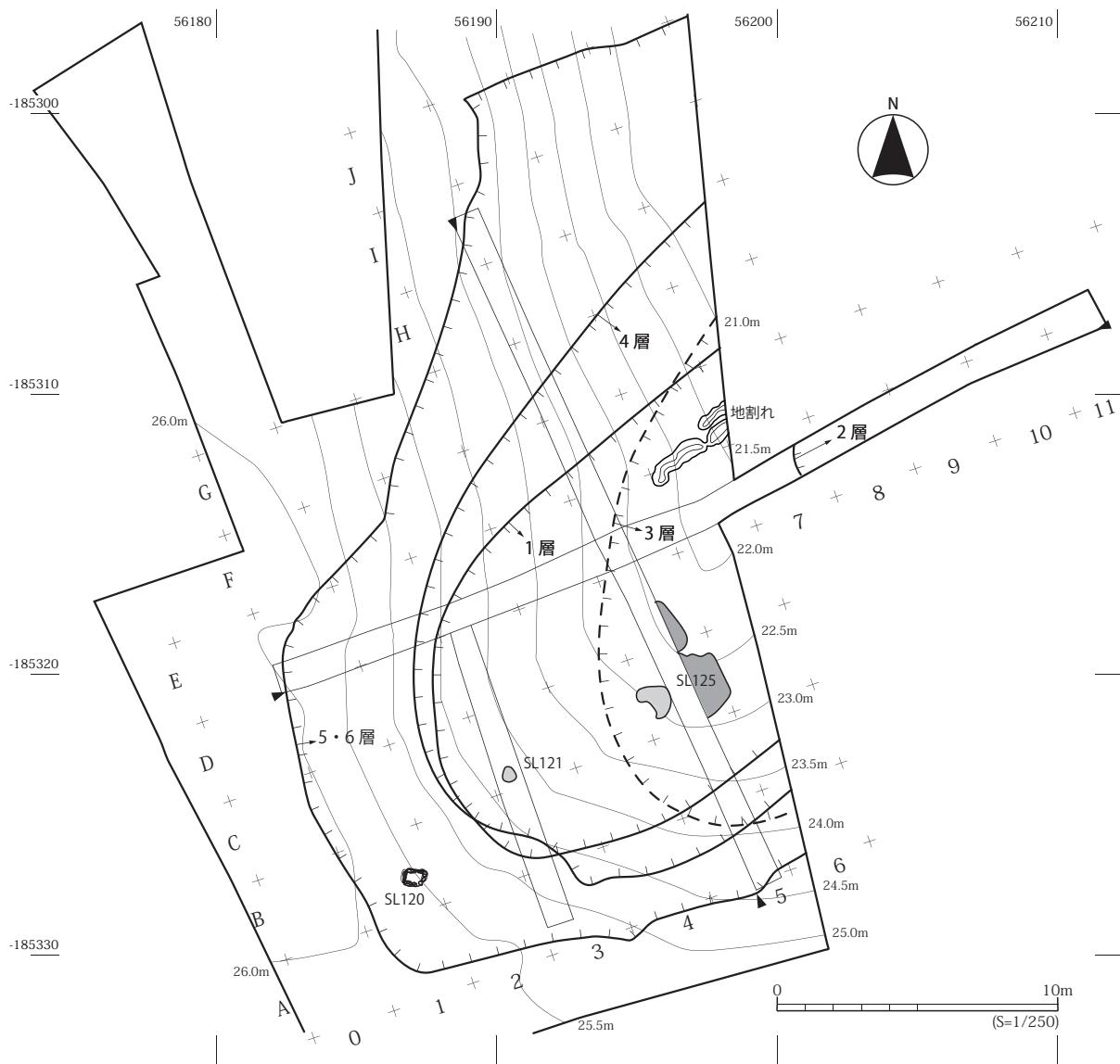
器種はほとんど深鉢で、少量の鉢（図版 4-157-1）が出土している。

文様は多様で、加飾のある粘土紐貼付文（図版 4-152-3、4-154-1 等）、棒状工具の沈線文（図版 4-153-1）、半截竹管の沈線文（図版 4-152-4、4-153-2）、半截竹管の沈線に刺突を加えるもの（図版 4-153-5、4-155-1）、末端ループ文（図版 4-155-6）、横位刺突列とコンパス文（図版 4-155-5）、非結束羽状縄文（図版 4-156-1）等がある。図版 4-155-4 は、口縁部に末端ループ文が重層施文されているが、縦位刺突列によって区切られ、その右側は羽状縄文となっている。

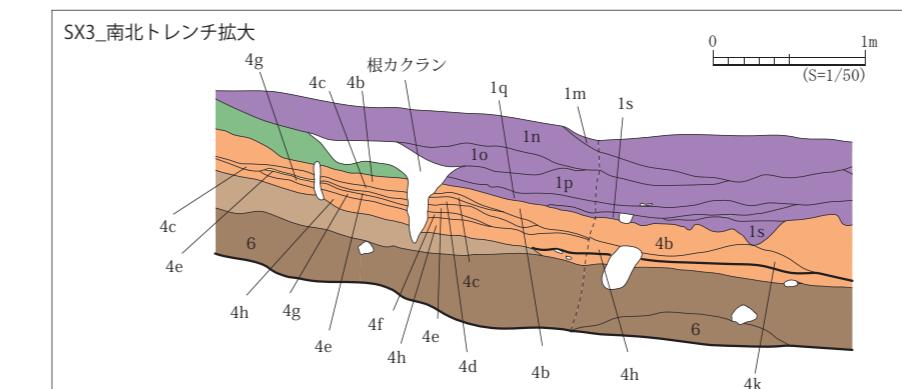
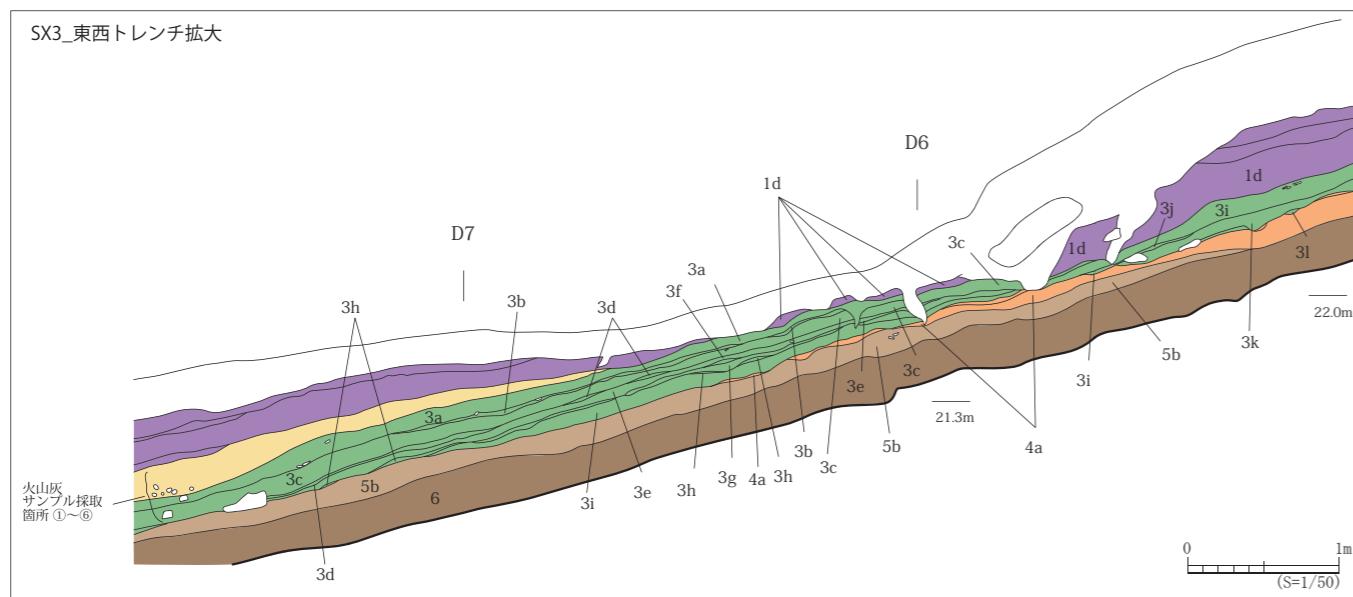
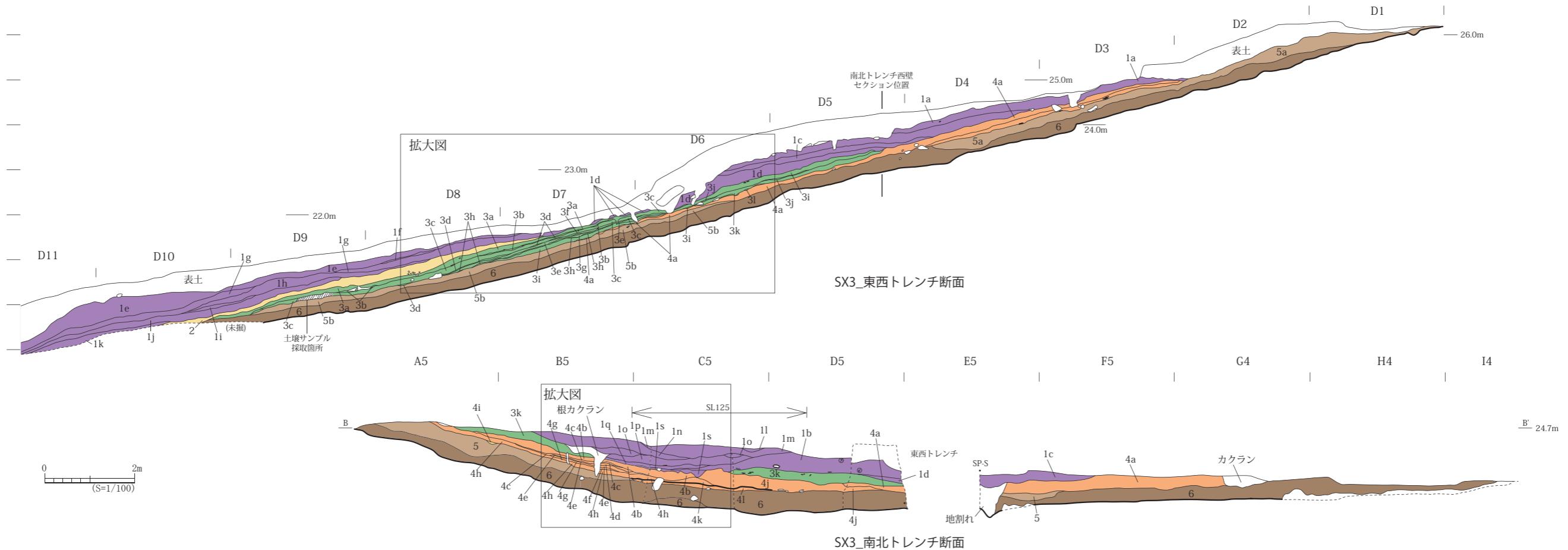
#### 《3～4 層下部出土土器》

器種は深鉢を主体とし、少量の鉢（図版 4-163-5）を伴う。

深鉢の器形は、体部が緩やかに開きながら立ち上がり、くびれて口縁部が外反するもの（図版



図版 4-147 SX3 遺物包含層平面図



層	土色	土質	混入物等
1a	にぶい黄褐色(10YR4/3)	砂質シルト	炭を少し含む。焼土ブロックを含む
1b	灰黄褐色(10YR4/2)	砂質シルト	炭を僅かに含む
1c	黒褐色(10YR3/2)	砂質シルト	炭化物を少し含む
1d	暗褐色(10YR3/3)	砂質シルト	炭化物を僅かに含む
1e	灰黄褐色(10YR4/2)	砂質シルト	炭化物を僅かに含む
1f	暗灰褐色(2.5Y4/2)	粘質シルト	
1g	黒褐色(2.5Y4/2)	砂質シルト	
1h	黄褐色(2.5Y4/1)	砂質シルト	
1i	にぶい黄褐色(2.5Y6/4)	砂質シルト	
1j	灰黄褐色(10YR4/2)	砂質シルト	
1k	暗褐色(10YR3/3)	砂質シルト	
1l	黒褐色(10YR3/2)	シルト	
1m	にぶい黄褐色(10YR4/3)	シルト	炭を僅かに含む
1n	褐色(10YR4/4)	シルト	炭・焼土を含む
1o	黄褐色(10YR5/6)	シルト	炭を僅かに含む
1p	明黄褐色(2.5Y6/6)	シルト	炭を僅かに含む。礫を含む。
1q	にぶい黄褐色(10YR5/4)	シルト	礫を含む。
1r	黒褐色(10YR2/2)	シルト	炭を多く含む。焼土僅かに含む
1s	黄褐色(2.5Y5/6)	シルト	炭を含む
2	オリーブ褐色(2.5Y4/4)	砂質シルト	火山灰二次堆積
3a	暗灰褐色(2.5Y4/2)	砂混じり粘質シルト	炭化物を含む
3b	黄褐色(2.5Y5/3)	砂質シルト	炭を極僅かに含む
3c	黒褐色(7.5Y3/2)	砂混じり粘質シルト	炭化物・骨・貝片・焼土ブロックを含む
3d	明黄褐色(2.5Y6/6)	砂質シルト	炭を僅かに含む
4g	褐色(7.5Y4/1)	粘質シルト	
4c	黄褐色(2.5Y5/4)	粘質シルト	
4b	灰褐色(10YR4/2)	粘質シルト	
4e	暗褐色(2.5Y5/6)	砂質シルト	
4f	褐色(2.5Y4/2)	粘質シルト	
4g	にぶい黄褐色(10YR5/4)	シルト	
4h	明褐色(7.5Y5/6)	シルト	
4i	にぶい黄褐色(10YR6/4)	シルト	
4j	赤褐色(2.5Y4/6)	シルト	ほんと焼土で構成
4k	暗赤褐色(10YR3/4)	SL124 被熱範囲	
4l	黄褐色(2.5Y5/6)	シルト	炭・焼土を僅かに含む
5a	暗褐色(10YR3/3)	砂質シルト	
5b	黒褐色(10YR3/2)	粘質シルト	
6	黒褐色(10YR2/1)	粘質シルト	
7	にぶい黄褐色(2.5Y6/4)	砂質シルト	地山

図版 4-148 SX3 遺物包含層断面図



4-160-2 等)、体部が膨らみ、くびれて口縁部が外反するもの(図版 4-159-1 等)、体部が緩やかに開きながら立ち上がり、くびれて口縁部が内彎して開くもの(図版 4-160-1)、体部が膨らみ、くびれて口縁部が内彎するもの(図版 4-158-1 等)などが見られる。鉢は、体部から口縁部にかけて外傾する(図版 4-163-5)。口縁部は平縁と波状口縁があり、小さな突起を伴うものもある。底部形態は、上底(図版 4-159-1)が確認される。

文様は、粘土品貼付文、沈線文、刺突文、押引文が見られ、多様であるが、数としては回転施文の縄文のみの土器が多い。

縄文は、斜行縄文(図版 4-163-5 等)、非結束羽状縄文(図版 4-164-1 等)、末端ループ文(図版 4-159-2 等)が主である。末端ループ文は、ループの部分だけを重層施文するものがほとんどで、中には無文部を残して異なる方向に施文し、幾何学的な意匠を構成するもの(図版 4-159-1)もある。縄文は底面にも施文される(図版 4-159-1 等)。

縄文以外の文様は、縦位貼付文と沈線文(図版 4-158-1)、沈線文と刺突文(図版 4-158-2)、半截竹管の沈線文と円形竹管の刺突文(図版 4-157-5・6)、半截竹管の押引文(図版 4-159-3・4)等がある。

これらの全ての土器の胎土に纖維が含まれる。

上記と異なる特徴を持つ土器として、図版 4-157-2 は加飾のない貼付文、図版 4-157-3 は半截竹管の沈線文、図版 4-157-4 は口縁部外面が無文となる。図版 4-164-2、3 には横位貼付文が施され、後者には撲糸圧痕文が展開する。

#### 《4 層出土土器》

形態、文様とも、3～4 層下部出土土器と共通点が多い。器種は深鉢が主体で、少量の鉢(図版 4-166-1、4、4-167-2)が伴う。図版 4-166-1 は底部から体部が直立し、強くくびれて外に開き、口縁部が内彎する鉢である。回転施文の縄文は、斜行縄文(図版 4-166-4 等)、非結束羽状縄文(図版 4-166-2 等)、末端ループ文(図版 4-165-3 等)がある。末端ループ文の中には、異方向施文が見られる(図版 4-165-1)。

これらの全ての土器の胎土に纖維が含まれる。

上記と異なる特徴を持つ土器として、図版 4-164-4 は指頭押圧を加えられた貼付文と斜位短沈線が施される。

#### [5～6 層] (図版 4-167～4-168、図版 4-173、写真図版 122)

検討対象土器は 822 点で、8 点を掲載した。器種はすべて深鉢である。図版 4-167-3、4 は、撲糸圧痕文間に刻目が加えられる。図版 4-167-5 は、横位貼付文がめぐり、口縁部に撲糸圧痕文が施される。図版 4-167-6 は、非結束羽状縄文が施される。図版 4-168-1 は、縦位絡条体圧痕文が施される。いずれも胎土に纖維が含まれる。

#### [その他] (図版 4-168、写真図版 122～123)

上記以外に、SX3 出土で出土層を詳細に捉えられない土器を補足資料として 7 点掲載した。1～4 層、3～6 層、層不明の土器がある。図版 4-168-3 は、渦巻状の貼付文、櫛歯状工具の押引文、半截竹管の沈線文が施される。図版 4-168-6 は、結束第 1 種羽状縄文が施され、口縁部に刻目を加え

られた貼付文と刺突列がめぐる。

#### [地割れ] (図版 4-169、写真図版 123)

検討対象土器は 58 点で、4 点を掲載した。図版 4-169-1 は、S 字状連鎖撚糸文が施され、口縁部に刻目が加えられた横位貼付文がめぐる。図版 4-169-2 は、S 字状連鎖撚糸文が施文される。

#### (4) SX3 出土土製品 (図版 4-174、写真図版 123)

土製品と見られる 6 点をすべて掲載した。土偶と見られるものと円盤状土製品がある。図版 4-174-5 は、板状土偶の一部と見られ、沈線による区画内に刺突が加えられる。図版 4-174-1～4、6 は、土器片を加工した円盤状土製品で、図版 4-174-1、2、6 は最大長が 10cm を超える大型品である。

#### (5) SX3 出土石器・石製品

SX3 では、石器・石製品が 4100 点出土している。器種別の点数は、石鏃 113 点、尖頭器 28 点、石錐 114、石匙 45 点、範状石器 17 点、打製石斧 9 点、礫器 6 点、磨製石斧 16 点、楔形石器 14 点、不定形石器 123 点、磨石・敲石類 372 点、砥石 8 点、石皿・台石類 66 点、剥片 3158 点、石核 75 点、円盤状石製品 5 点、石錐 1 点、玦状耳飾 3 点、扁平円形状石製品 3 点、有孔石製品 1 点、ヘラ状石製品 1 点、男根状石製品 3 点、石棒・石劍類 12 点、線刻礫 2 点、異形石器 2 点、その他の石製品 1 点である。

#### [表土・検出] (図版 4-175、写真図版 180)

表土・検出からは、170 点出土し、石鏃 4 点、尖頭器 3 点、石匙 4 点、打製石斧 1 点、磨製石斧 1 点、不定形石器 5 点、磨石・敲石類 53 点、石皿・台石類 12 点、剥片 74 点、石核 6 点、玦状耳飾 1 点、扁平円形状石製品 2 点、石棒・石劍類 3 点、線刻礫 1 点である。

石鏃は、基部の形態が抉りが浅い凹基のもの (図版 4-175-1、2) である。石匙は、つまみ部に対して先端部が縦型のもの (図版 4-175-3) と斜方向に長いもの (図版 4-175-4) である。磨石・敲石類は、円礫・橢円礫を素材とし、磨面や敲打痕、凹痕、剥落痕を持つもの (図版 4-175-5、6) やそれらを複合的にもつものが主体である。図版 4-175-7 の玦状耳飾は、平面形が円形で断面形が扁平なものである。

#### [1～2層] (図版 4-176～4-177、写真図版 180～181)

1～2層からは 1023 点出土し、石鏃 35 点、尖頭器 1 点、石錐 5 点、石匙 12 点、範状石器 6 点、打製石斧 2 点、礫器 1 点、磨製石斧 3 点、不定形石器 22 点、磨石・敲石類 58 点、砥石 3 点、石皿・台石類 14 点、剥片 839 点、石核 18 点、石錐 1 点、男根状石製品 1 点、石棒・石劍類 2 点である。

石鏃は、抉りの浅い凹基のもの (図版 4-176-1) が主体を占めている。石錐は、一端に錐部を有するものが主体であり、図版 4-176-2 の石錐は剥片の一端を加工して錐部を作出しているものである。石匙は、つまみ部に対して先端部が縦型のもの (図版 4-176-3) が主体的にみられ、それ以外に斜方向に長いもの (図版 4-176-4) や横型のものがみられる。図版 4-176-5 の打製石斧は、左右対称で、平面形が橢円形を呈するものである。写真図版 181-1 の礫器は、長軸端部以外の周縁の一部で、片

側のみに二次加工が施されるものである。砥石は多数の溝がみられるもので、図版 4-177-1 と図版 4-177-2 は片面のみにみられ、ともに石皿・台石類から転用したものである。図版 4-177-3 の男根状石製品は、平面形が二等辺三角形状を呈しており、断面は橢円形である。丸みを帯びた頭部が作出されており、その頭頂部には切り込みが入れられている。全面は、研磨により丁寧に加工されている。胴部に比べて頭部は非常に小さく作り出されている。

### [3～4層] (図版 4-178～4-182、写真図版 182～184)

3～4層からは 1891 点出土し、石鏸 55 点、尖頭器 17 点、石錐 4 点、石匙 22 点、箆状石器 8 点、礫器 3 点、磨製石斧 9 点、楔形石器 9 点、不定形石器 68 点、磨石・敲石類 136 点、砥石 4 点、石皿・台石類 18 点、剥片 1499 点、石核 25 点、円盤状石製品 3 点、玦状耳飾 1 点、有孔石製品 1 点、ヘラ状石製品 1 点、男根状石製品 2 点、石棒・石剣類 4 点、異形石器 1 点、その他の石製品 1 点である。

石鏸は、基部の形態が凹基のものと平基のもの (図版 4-178-2, 5) が同程度みられる。凹基のものには、抉りが浅いもの (図版 4-178-1, 4) が主体を占めるが、抉りが深いもの (図版 4-178-3) もみられる。尖頭器は、つまみ部を有するものが多くみられ、その中でつまみ部に対しては幅広なもの (図版 4-178-9) と同程度の幅のもの (図版 4-178-6, 8) がある。それ以外には基部が突出するもの (図版 4-178-7) や未成品 (図版 4-179-1) もみられる。石匙は、つまみ部に対して先端部が縦型のもの (図版 4-179-3～9) が主体を占め、それ以外には斜方向に長いもの (図版 4-179-2, 10) や未成品もみられる。箆状石器は、左右対称で刃部がやや開くもの (図版 4-179-12, 13) と全体の形状が橢円形を呈するもの (図版 4-179-11) が同程度みられる。楔形石器は、対になる 2 辺 1 組に両極剥離痕が観察されるもの (図版 4-180-1) が主体を示す。磨石・敲石類は、円礫・橢円礫を素材とし、磨面や敲打痕、凹痕、剥落痕を持つもの (図版 4-180-2～4、図版 4-181-1, 2) が主体であるが、側面稜部に幅の狭い磨面を有するもの (図版 4-180-5) も多くみられる。また、それよりも点数は少ないが 70mm 以下の小形の礫を素材とし、磨面を有するもの (図版 4-180-6) もみられる。図版 4-181-3 の砥石は細粒閃緑岩製で、中心に 1 条の溝がみられる。円盤状石製品は、縁辺を主に敲打により成形しているもの (図版 4-181-4) である。図版 4-181-5 の玦状耳飾は、未成品である。図版 4-182-1 の有孔石製品は全面が研磨され、中心に貫通孔がみられる。図版 4-182-2 のヘラ状石製品は、棒状の礫を素材とし、一端に穿孔途中と考えられる孔がみられる。図版 4-182-4 の男根状石製品は、橢円形の礫を素材とし、全体に研磨を施し、丸みを帯びた頭部を作出している。胴部は頭部に向かうにつれて細くなるように加工されている。全体的に被熱を受けている。図版 4-182-5 の男根状石製品は、全面に研磨を施し、断面が橢円形の棒状に加工しており、丸みを帯びた橢円形状の頭部が作出されている。胴部は頭部に向かって徐々に幅が狭くなっている。胴部が欠損している。図版 4-182-3 の異形石器は、両側辺に抉りを入れて作出したつまみ部を有するもので、つまみに対して先端部が横方向に長く、先端部が内湾し、2 個の突起状に加工されているものである。

### [5～6層] (図版 4-183～4-186、写真図版 184～186)

5～6層からは 397 点出土し、石鏸 12 点、尖頭器 5 点、石錐 2 点、石匙 6 点、箆状石器 3 点、打製石斧 6 点、磨製石斧 3 点、楔形石器 2 点、不定形石器 15 点、磨石・敲石類 90 点、砥石 1 点、

石皿・台石類 14 点、剥片 216 点、石核 14 点、円盤状石製品 2 点、玦状耳飾 1 点、扁平円形状石製品 1 点、石棒・石剣類 1 点、線刻礫 1 点、異形石器 1 点、石器模造品 1 点である。

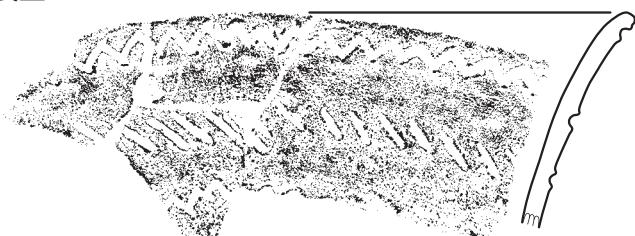
尖頭器は、基部が突出するもの（図版 4-183-2）、つまみ部を有し柳葉形を呈するもの（図版 4-183-1）、基部を半円形に調整しているもの（図版 4-183-3）がみられる。石匙は、つまみ部に対して先端部が縦型のもの（図版 4-183-4～6）が主体を占める。鎌状石器は、左右対称で全体が橢円形を呈するもの（図版 4-184-1、2）と左右非対称のものがみられる。打製石斧は、左右対称で刃部がやや開くもの（図版 4-184-4）と全体の形状が橢円形を呈するもの（図版 4-184-3）がみられる。楔形石器は、対になる 2 辺 1 組と 2 辺 2 組（図版 4-185-1）に両極剥離痕がみられるものがみられる。磨石・敲石類は、円礫・橢円礫を素材とし、磨面や敲打痕、凹痕、剥落痕を持つもの（図版 4-185-3）が主体であるが、側面稜部に幅の狭い磨面を有するもの（図版 4-185-2）も多くみられる。また、280mm 以上の大形の礫を素材としているもの（図版 4-185-4）もみられる。石皿・台石類は、無縁のものであり、図版 4-186-1 は断面形が平坦を呈している。図版 4-186-2 の玦状耳飾は、未成品である。図版 4-186-3 の異形石器は、両側辺に抉りを入れて作出したつまみ部を有するものである。つまみ部の形状は 2 個の突起状に加工されている。片面には面的な加工を施しているが、その逆面は、つまみ部と先端部を中心に加工がみられるのみである。

#### 〔層不明・攪乱〕（図版 4-186、写真図版 186）

層不明・攪乱からは 155 点出土し、石鏸 3 点、尖頭器 2 点、石錐 1 点、石匙 1 点、礫器 2 点、不定形石器 8 点、磨石・敲石類 25 点、剥片 104 点、石核 6 点、石棒・石剣類 2 点、石器模造品 1 点である。

石鏸は、基部の形態が平基のもの（図版 4-186-4）と凹基のものがみられる。尖頭器は、基部に両側から抉りを入れてつまみ部を作出しているもの（図版 4-186-5）と基部を直線的に調整しているもの（図版 4-186-6）がみられる。

表土



1 (No.286)



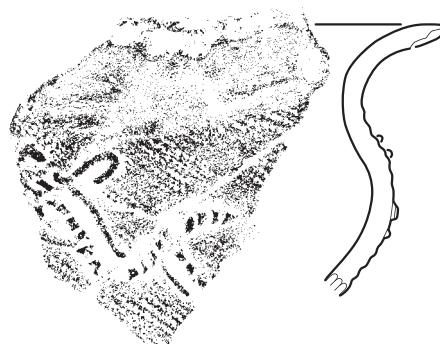
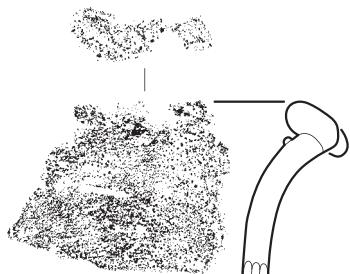
検出



2 (No.293)

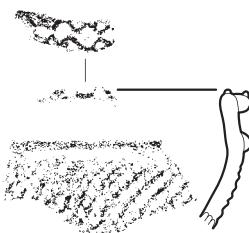


3 (No.314)

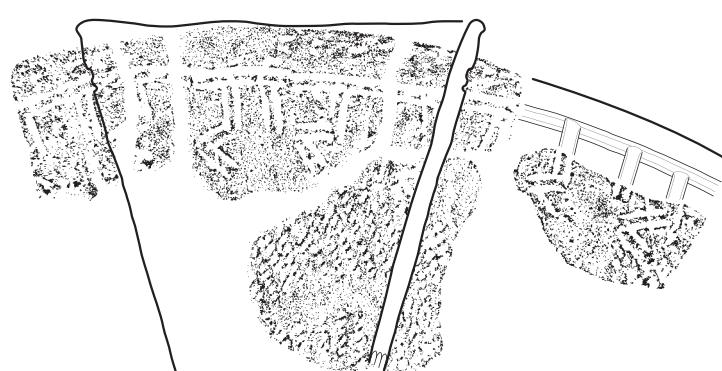


7 (No.316)

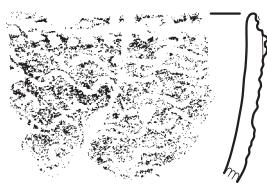
6 (No.299)



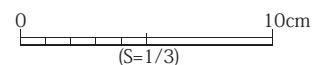
8 (No.306)



10 (No.294)

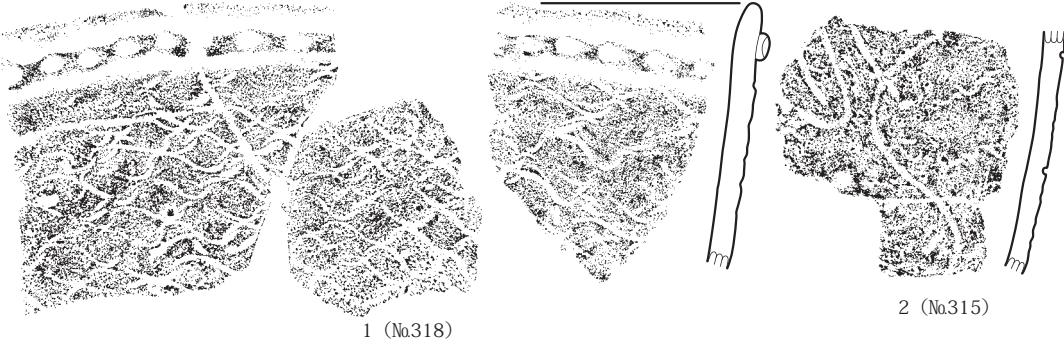


9 (No.317)

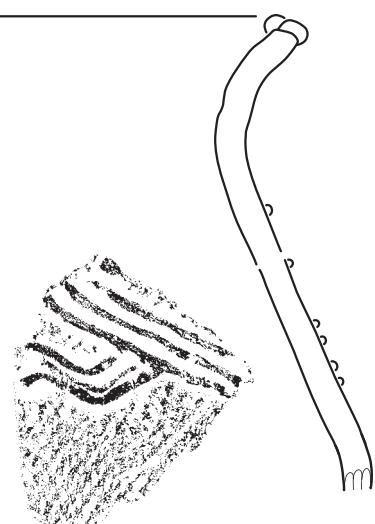
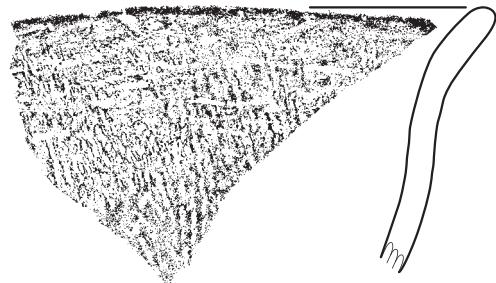
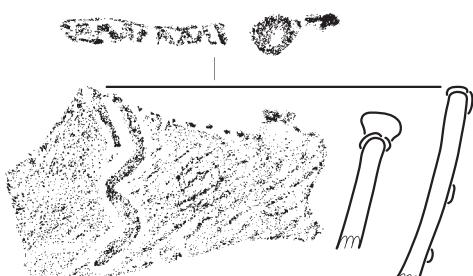


図版 4-149 SX3 出土土器 (1)

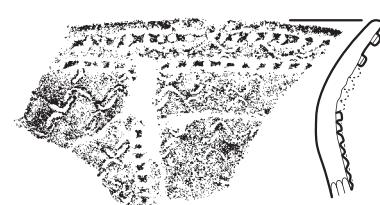
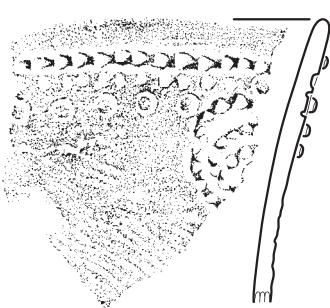
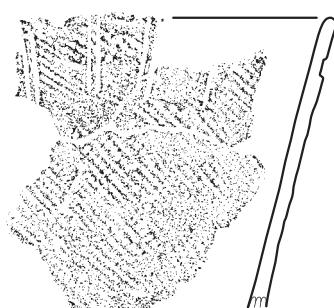
検出



1~2層

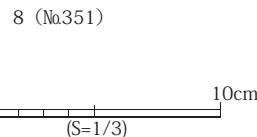


5 (No.333)



6 (No.336)

7 (No.334)

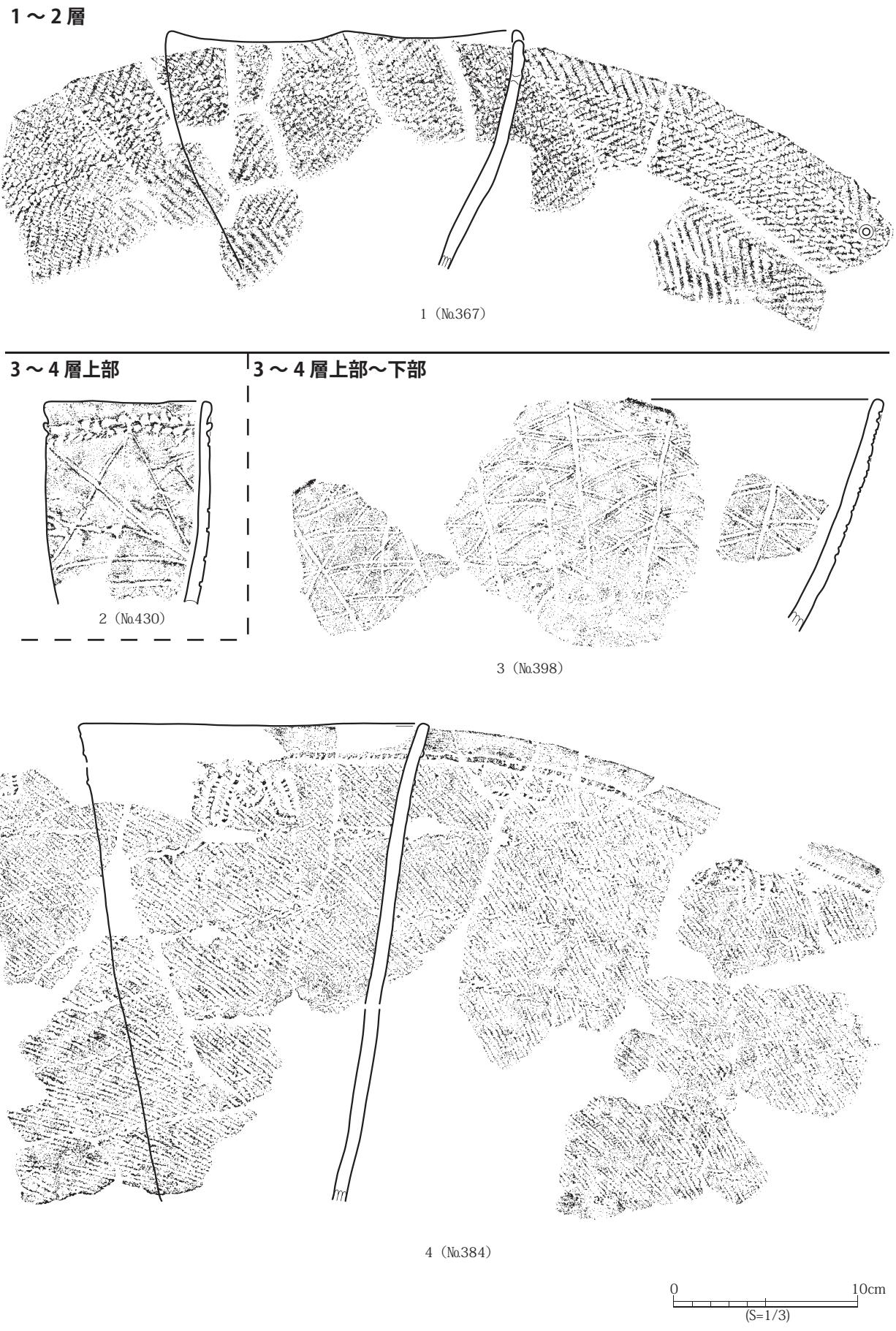


図版 4-150 SX3 出土土器 (2)

1~2層

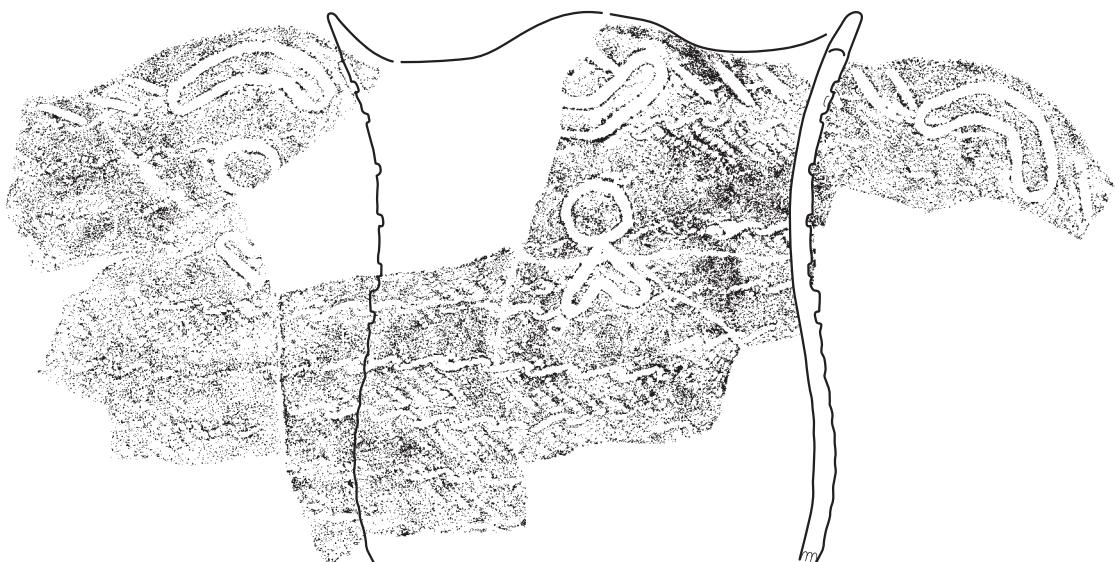


図版 4-151 SX3 出土土器 (3)

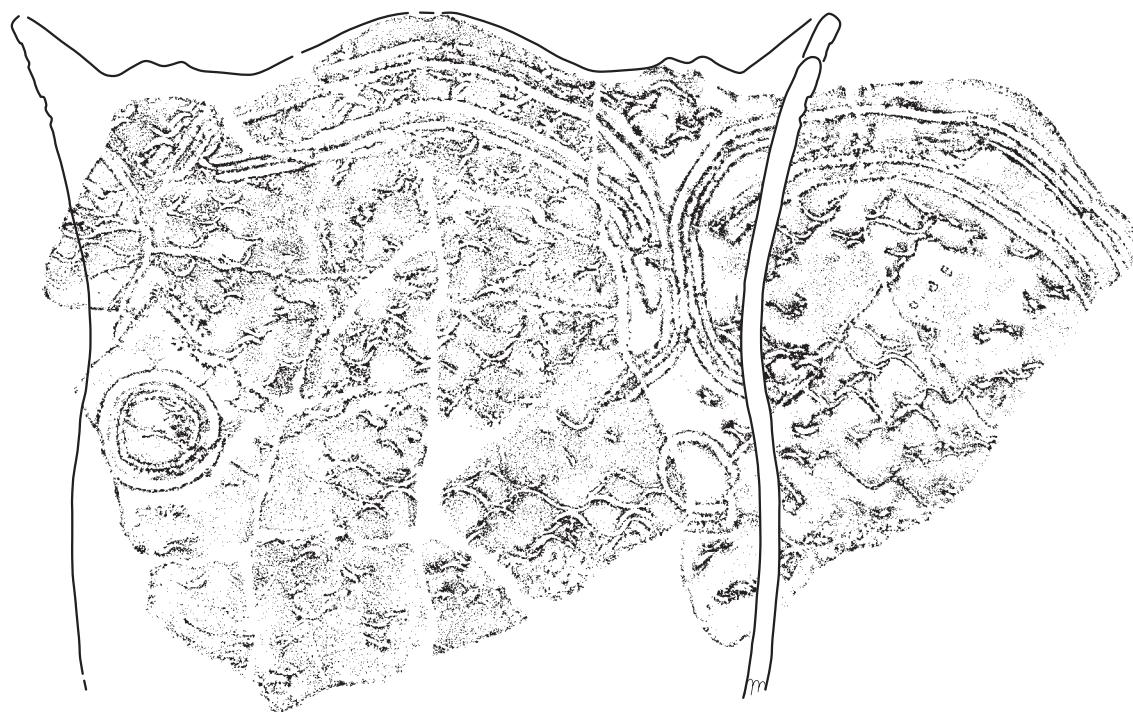


図版 4-152 SX3 出土土器 (4)

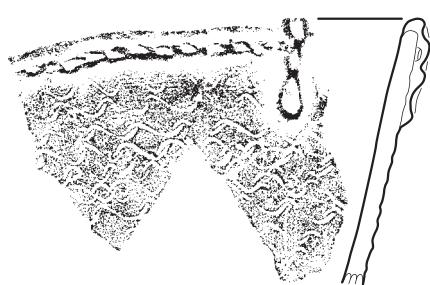
3～4層上部～下部



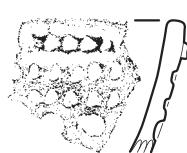
1 (No.362+422)



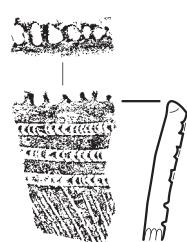
2 (No.411)



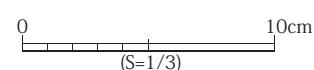
3 (No.413)



4 (No.471)



5 (No.350)



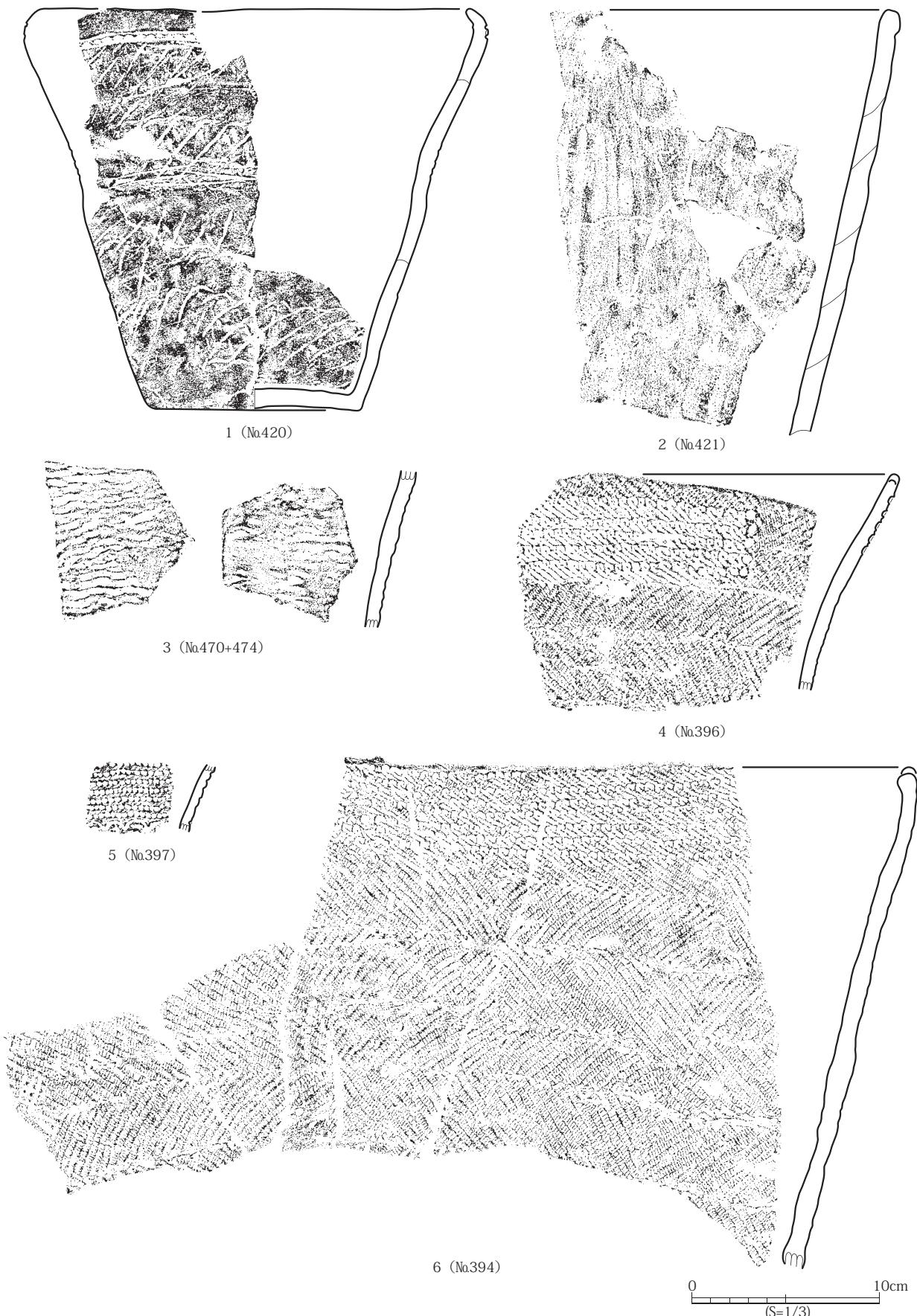
図版 4-153 SX3 出土土器 (5)

3～4層上部～下部



図版 4-154 SX3 出土土器 (6)

3～4層上部～下部



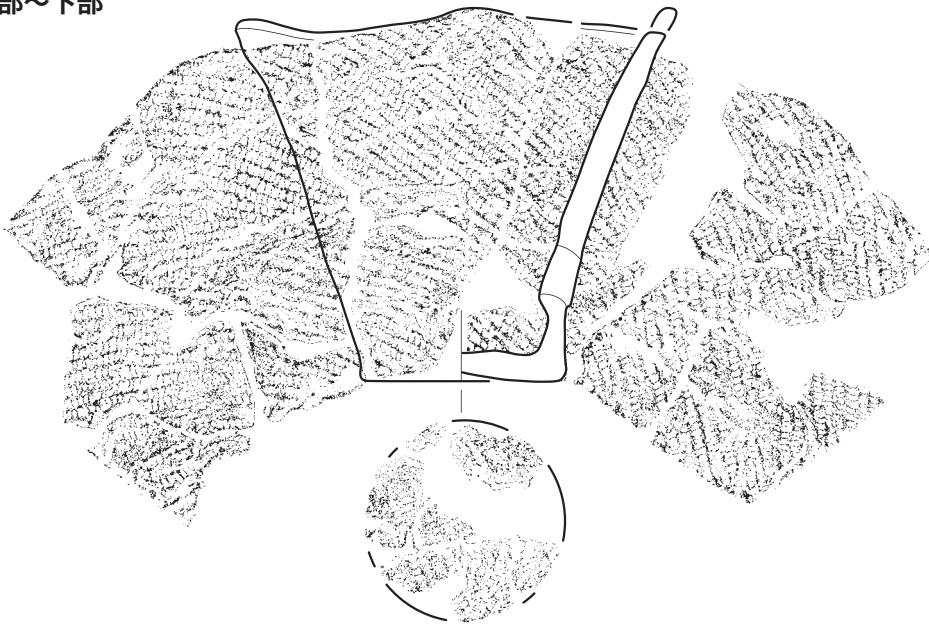
図版 4-155 SX3 出土土器 (7)

3～4層上部～下部



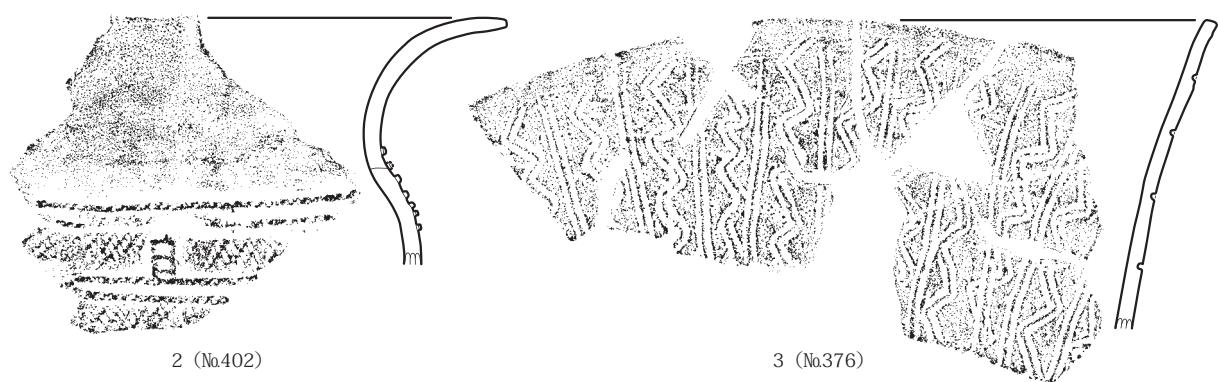
図版 4-156 SX3 出土土器 (8)

3～4層上部～下部



1 (No.369)

3～4層下部



2 (No.402)

3 (No.376)



4 (No.373)

0 10cm  
(4:S=1/4)



5 (No.423)

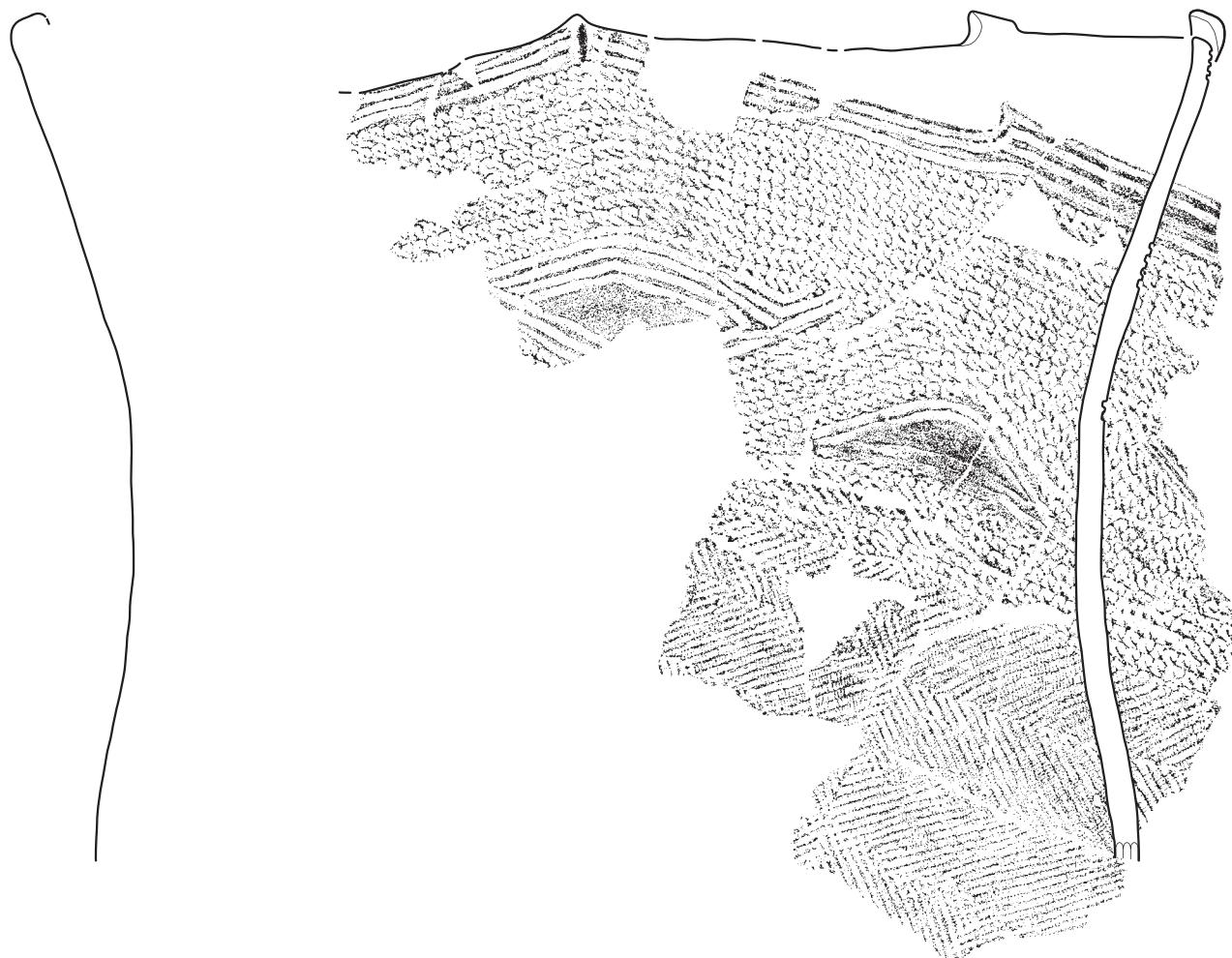


6 (No.392)

0 10cm  
(1,2,3,5,6:S=1/3)

図版 4-157 SX3 出土土器 (9)

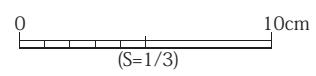
3～4層下部



1 (No.388)



2 (No.406)



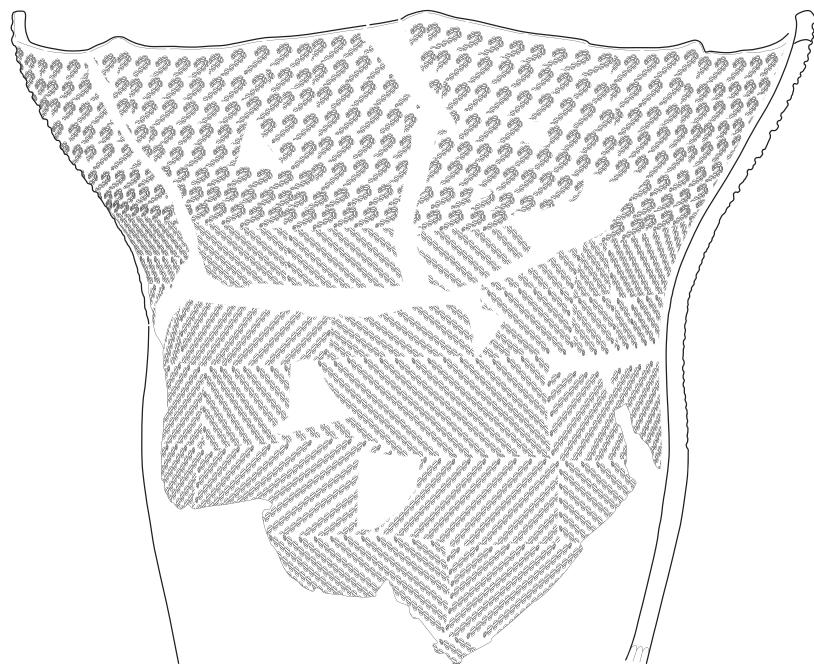
図版 4-158 SX3 出土土器 (10)

3 ~ 4 層下部

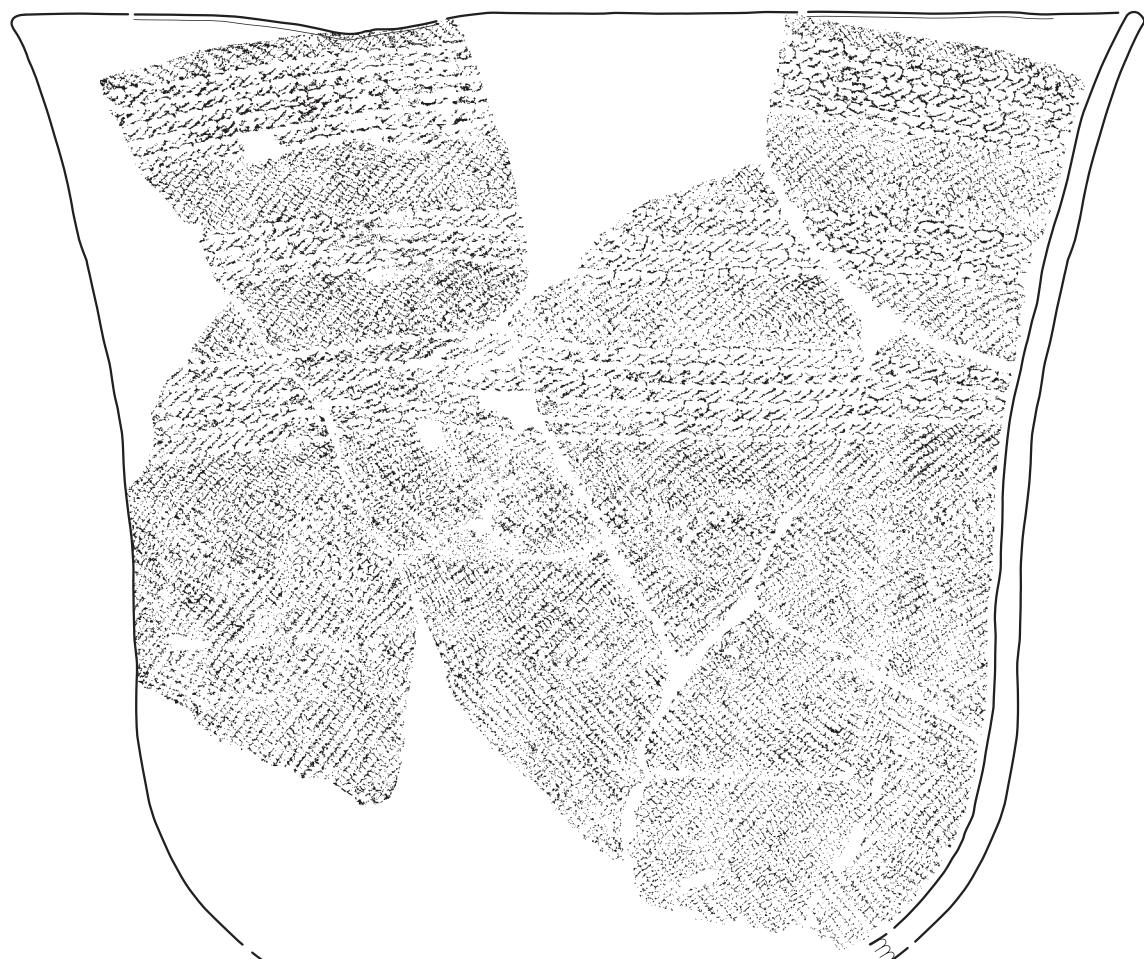


図版 4-159 SX3 出土土器 (11)

3～4層下部



1 (No.372)



2 (No.377)

0 10cm  
(S=1/3)

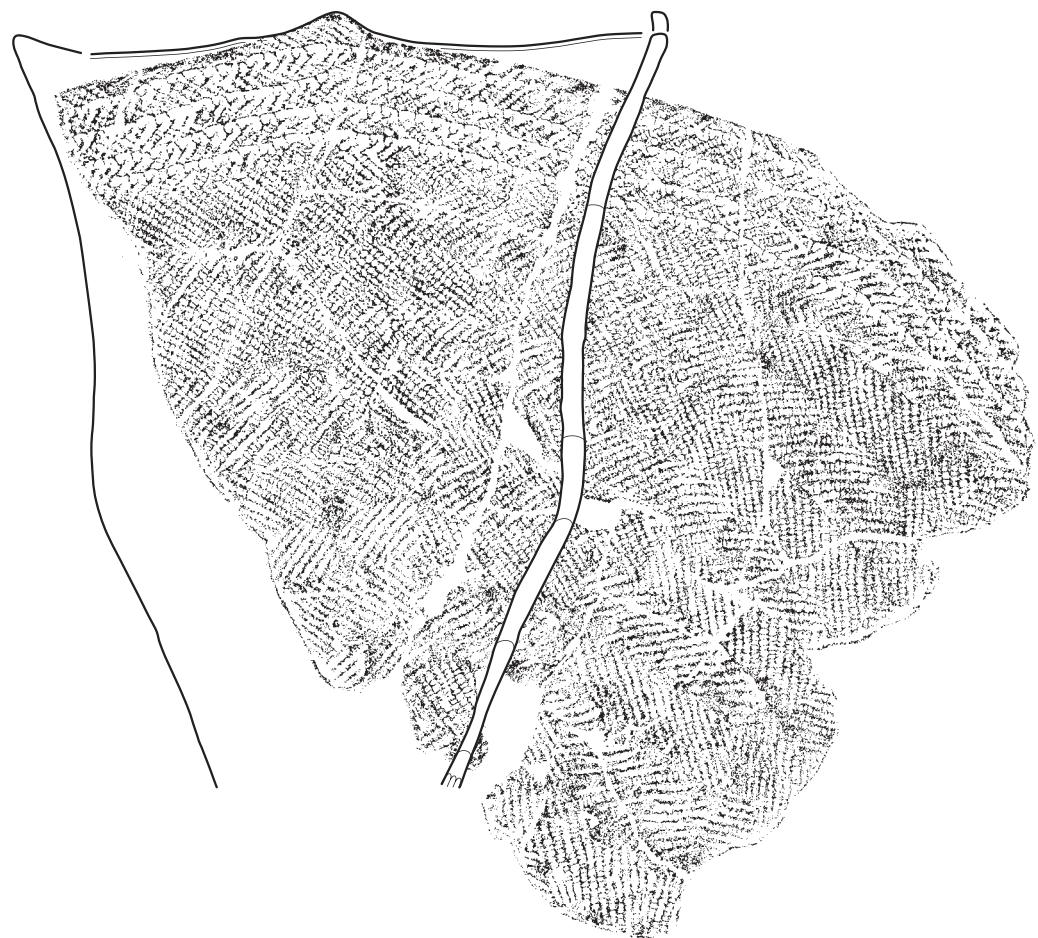
図版 4-160 SX3 出土土器 (12)

3～4層下部



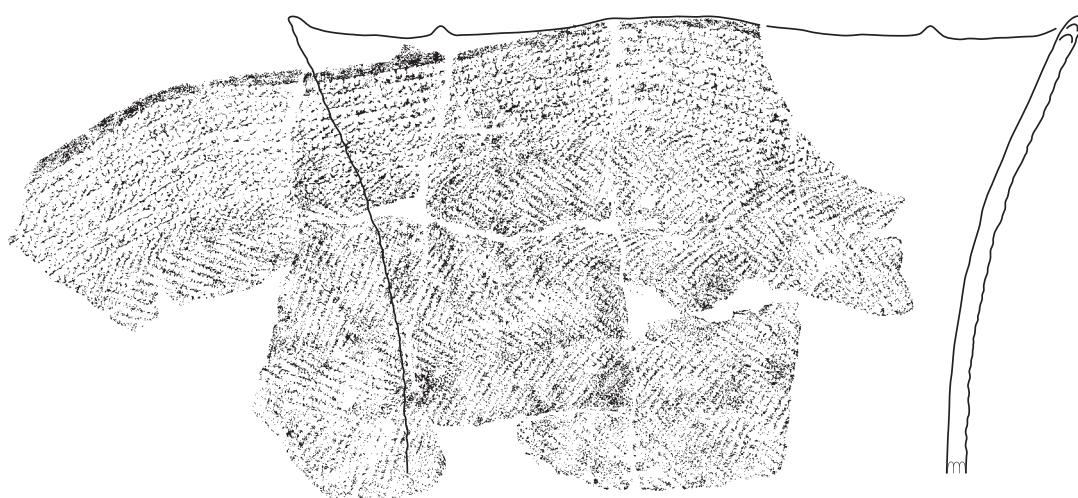
図版 4-161 SX3 出土土器 (13)

3～4層下部



1 (No.408)

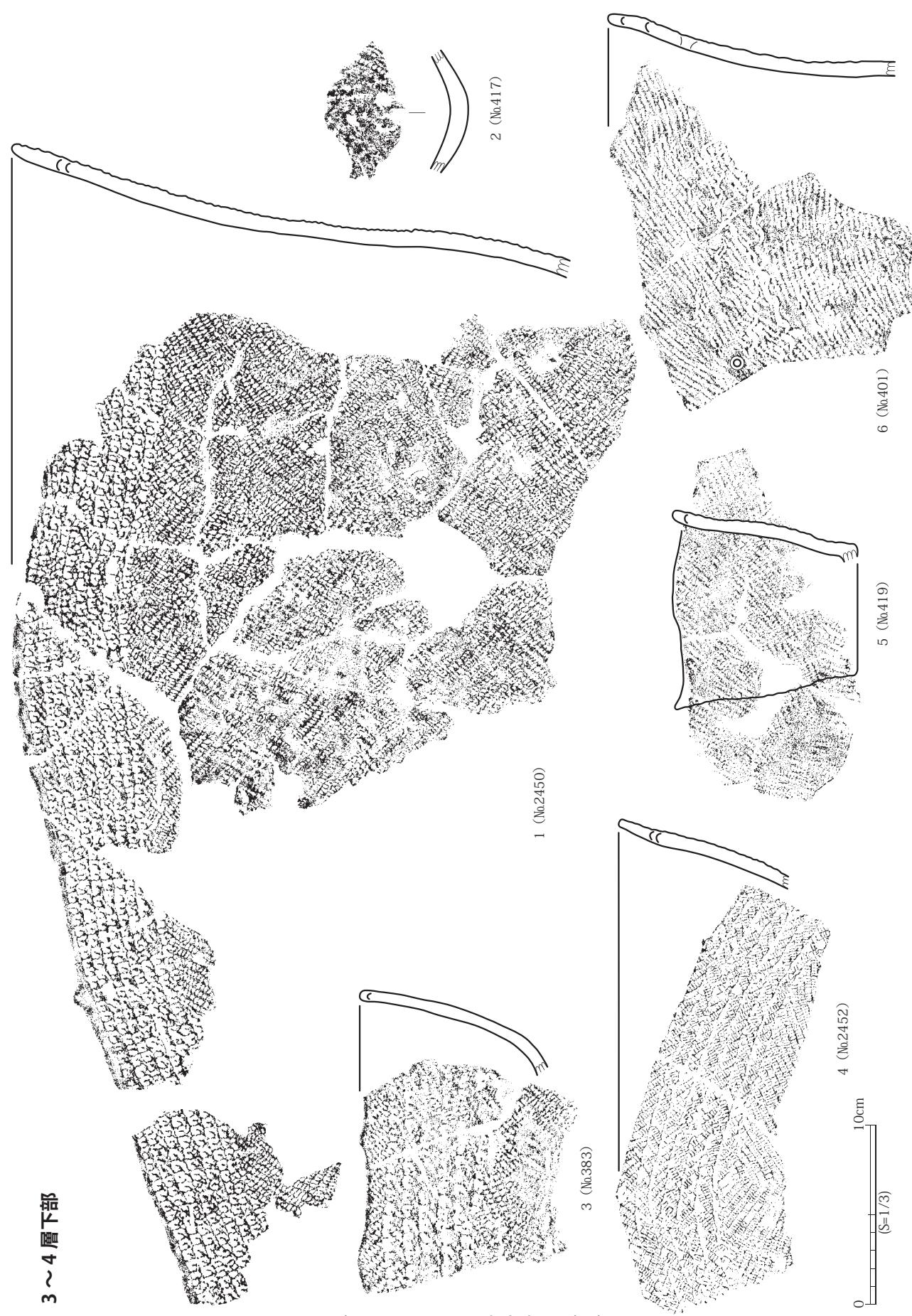
0 10cm  
(S=1/3)



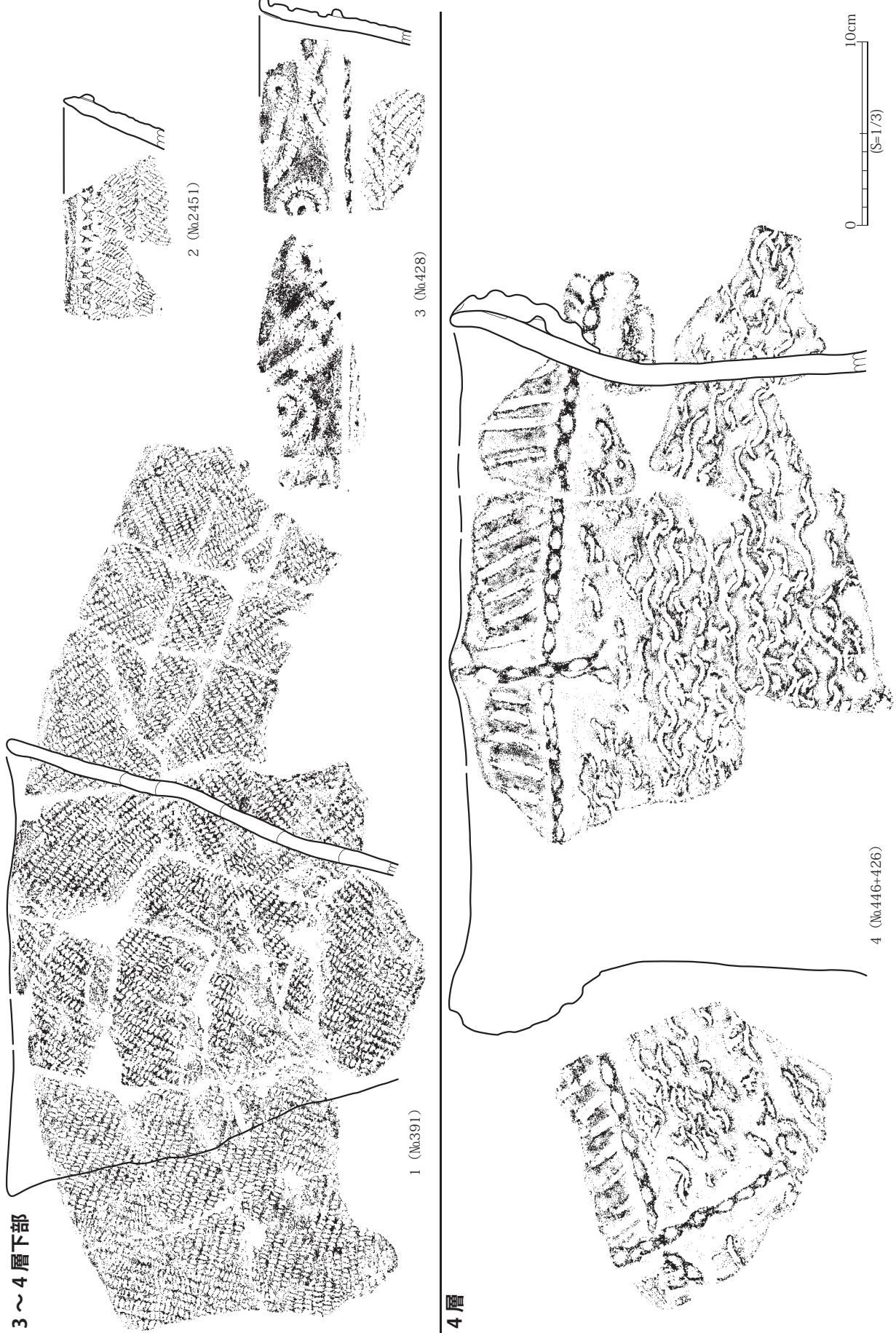
2 (No.405)

0 10cm  
(S=1/4)

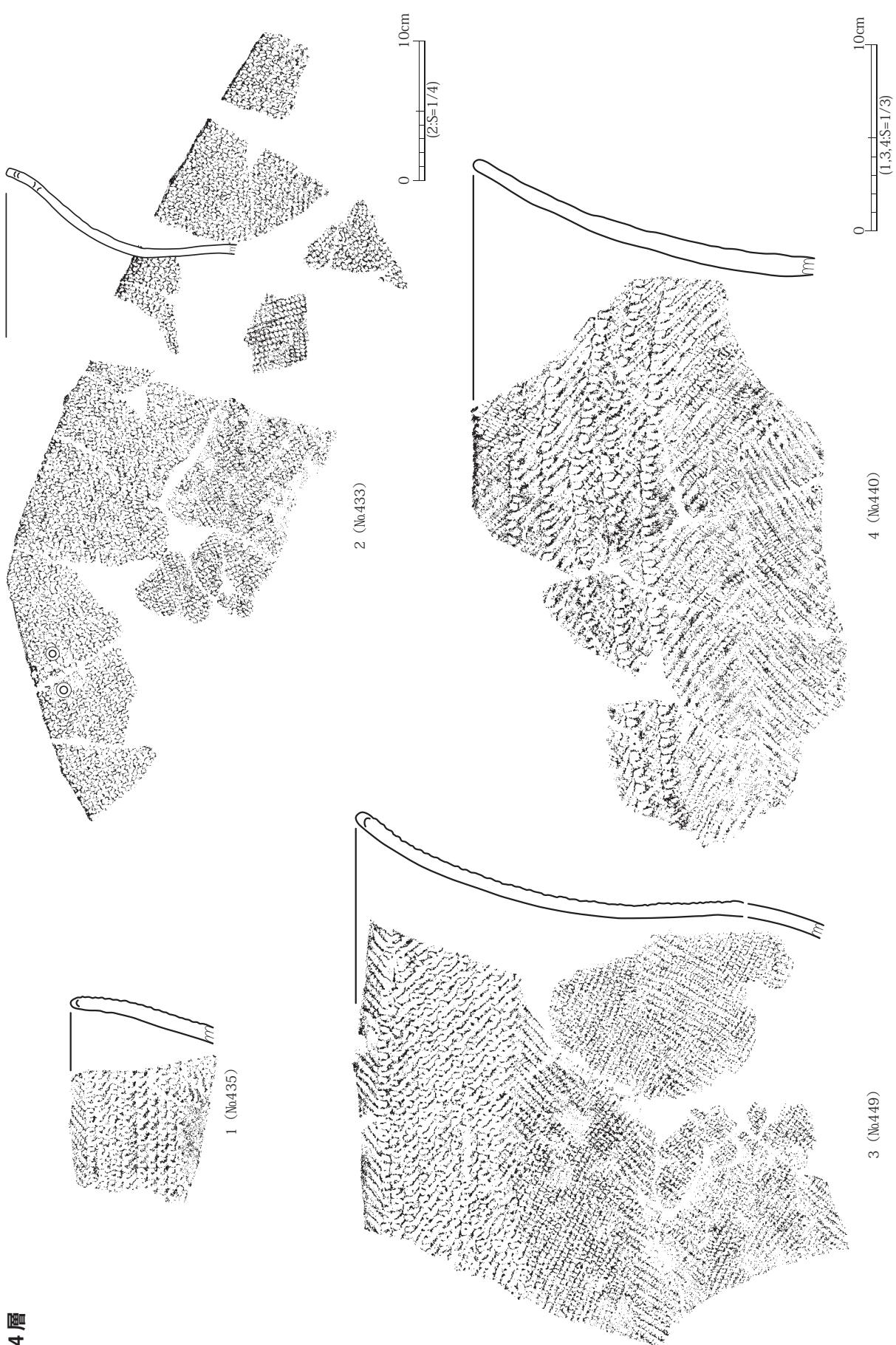
図版 4-162 SX3 出土土器 (14)



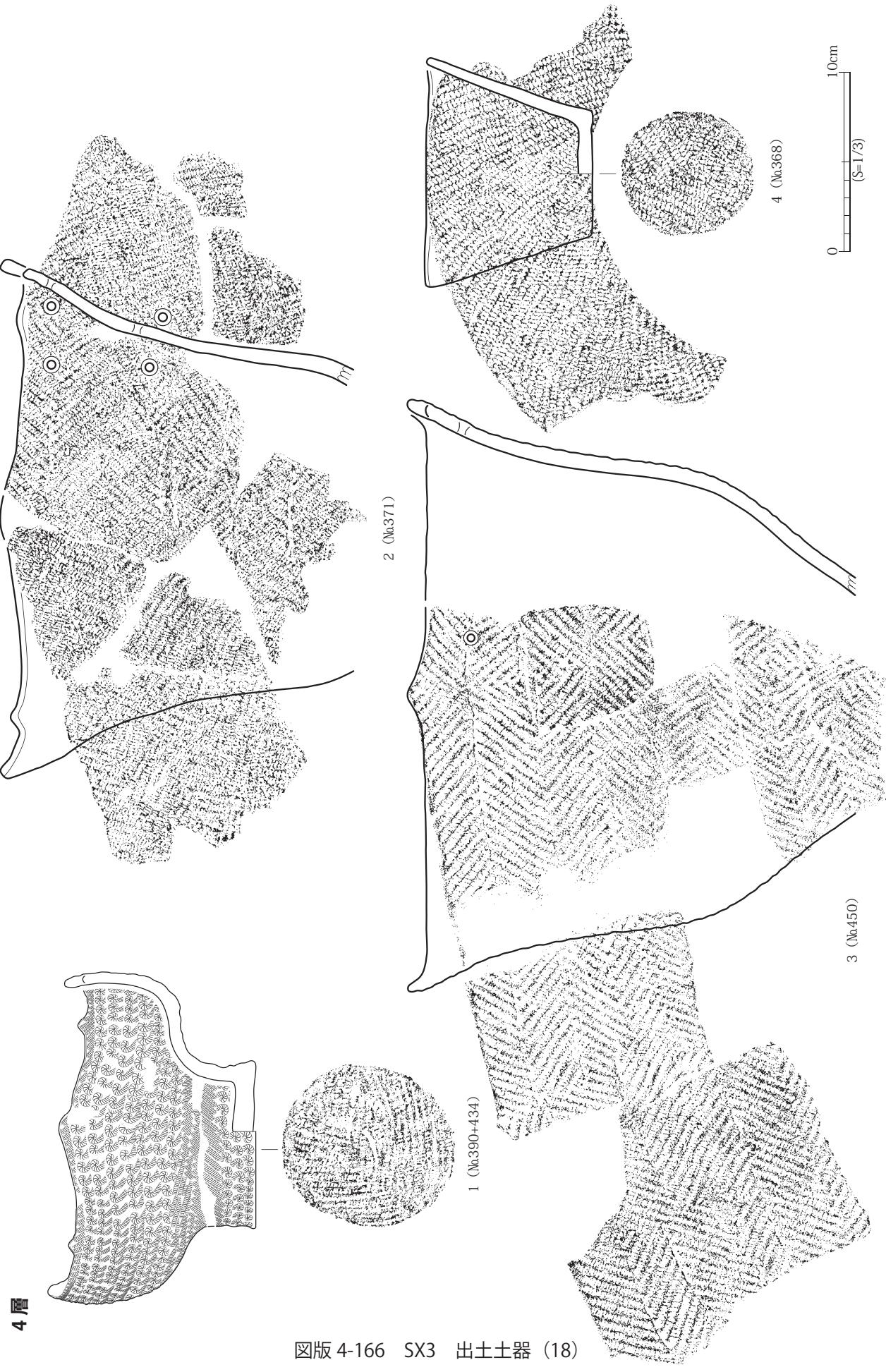
図版 4-163 SX3 出土土器 (15)



図版 4-164 SX3 出土土器 (16)



図版 4-165 SX3 出土土器 (17)



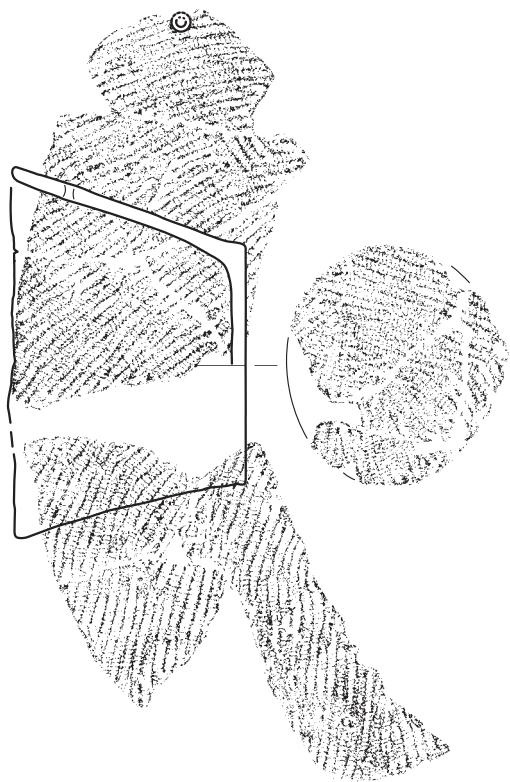
図版 4-166 SX3 出土土器 (18)

4層



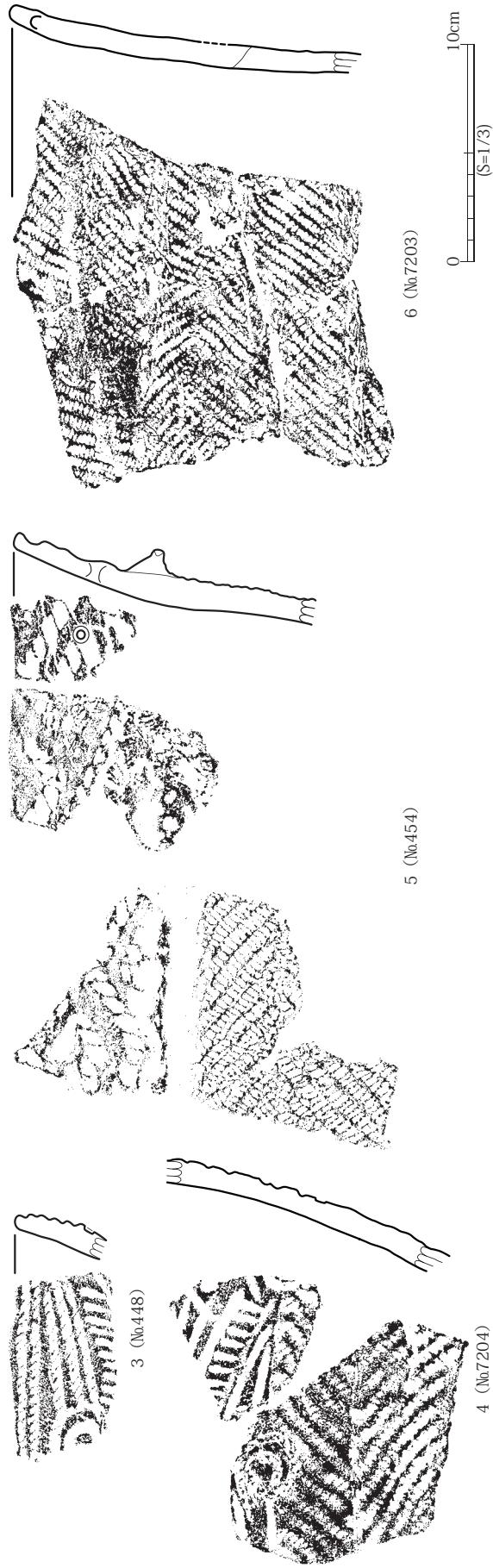
1 (No.431)

5~6層



2 (No.445)

3 (No.448)



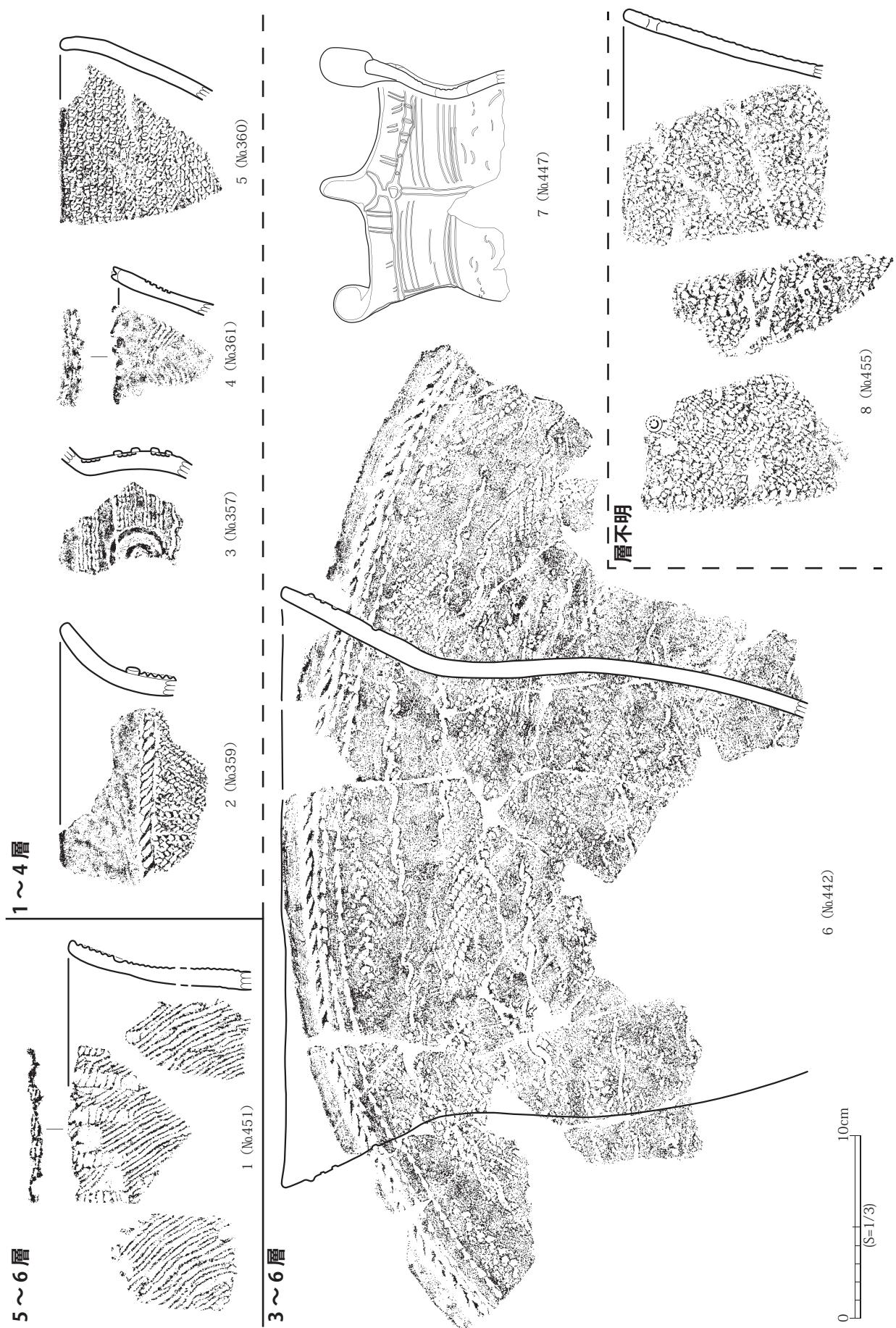
5 (No.454)

6 (No.7203)

4 (No.7204)

10cm  
(S=1/3)

図版 4-167 SX3 出土土器 (19)

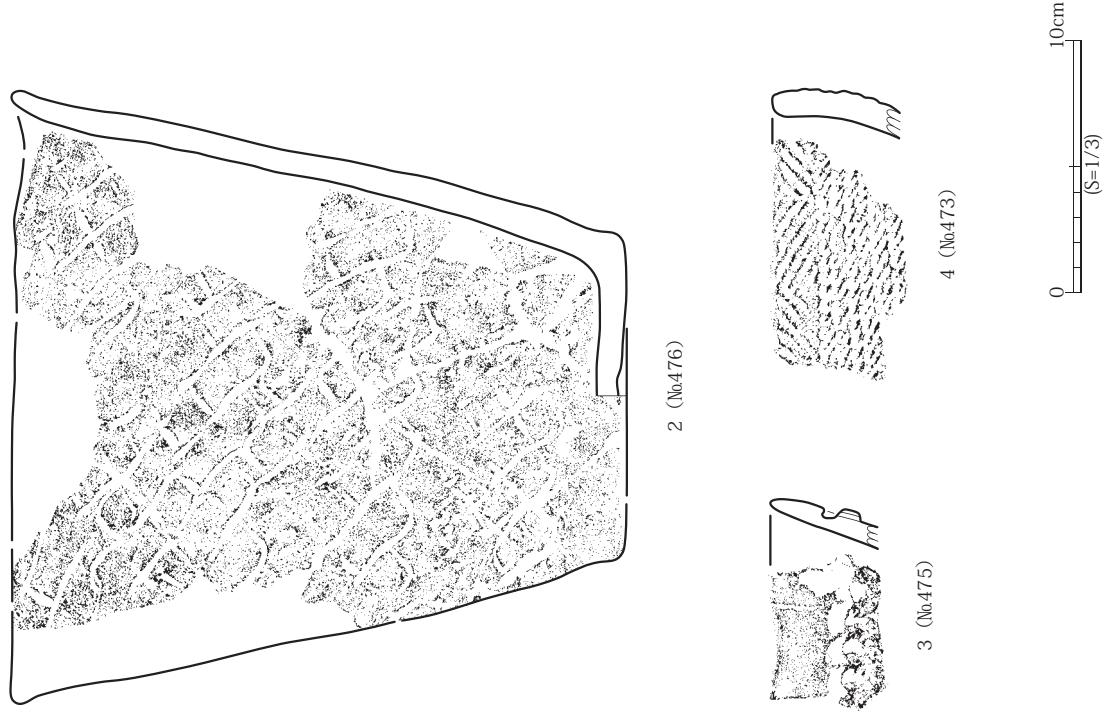


図版 4-168 SX3 出土土器 (20)

地割九 (NC128)



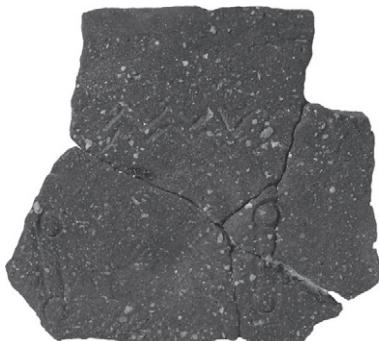
図版 4-169 SX3 出土土器 (21)



表土



1 (No.289)



2 (No.288)

検出



3 (No.319)



4 (No.300)



5 (No.311)



6 (No.305)



7 (No.308)



8 (No.307)



9 (No.296)



10 (No.301)

1～2層



11 (No.7205)



12 (No.332)



13 (No.338)



14 (No.348)



15 (No.345)



16 (No.354)



17 (No.344)



18 (No.355)



19 (No.323)

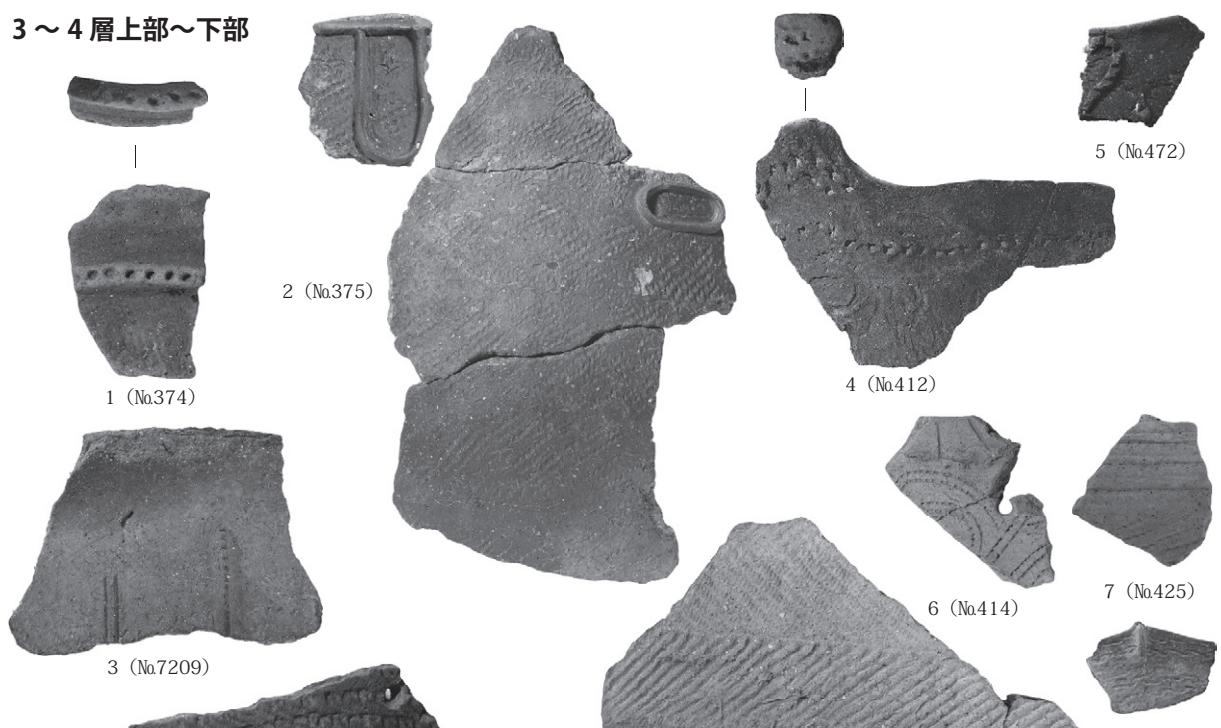


20 (No.340)

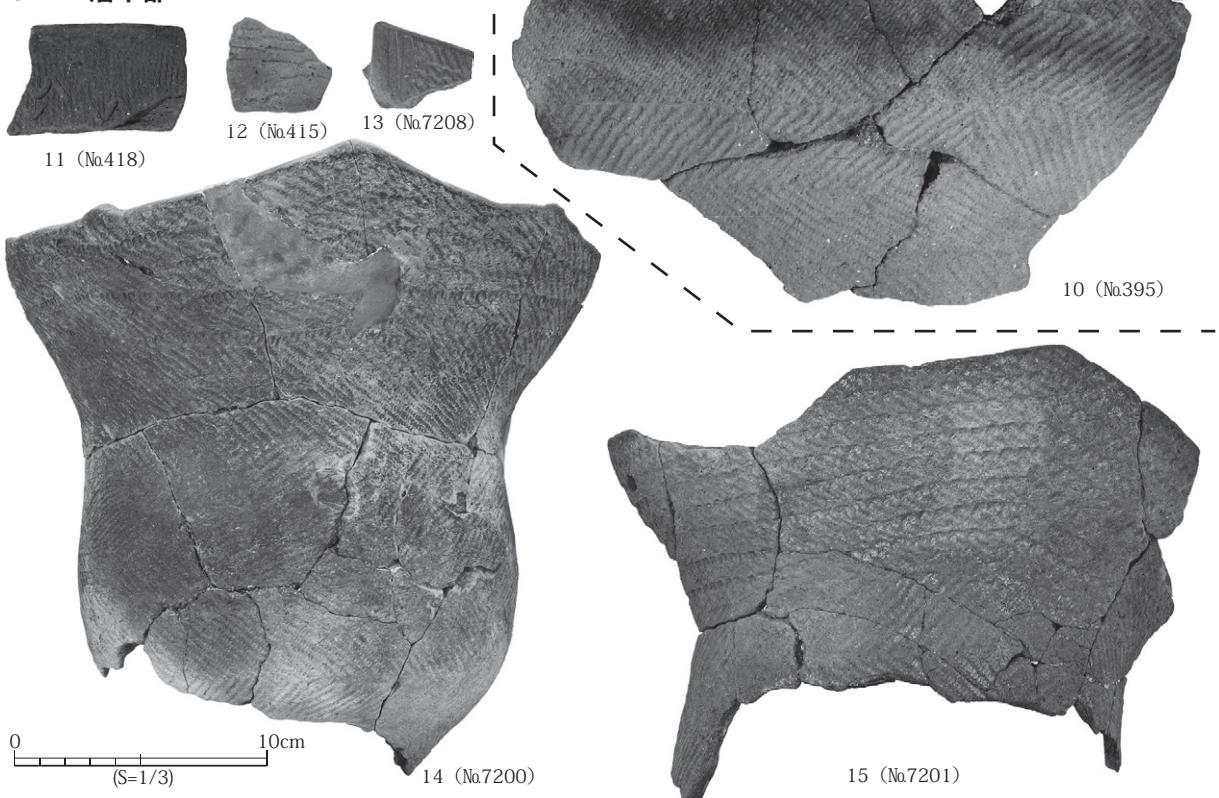
0 10cm  
(S=1/3)

図版4-170 SX3 出土土器 (22)

3～4層上部～下部

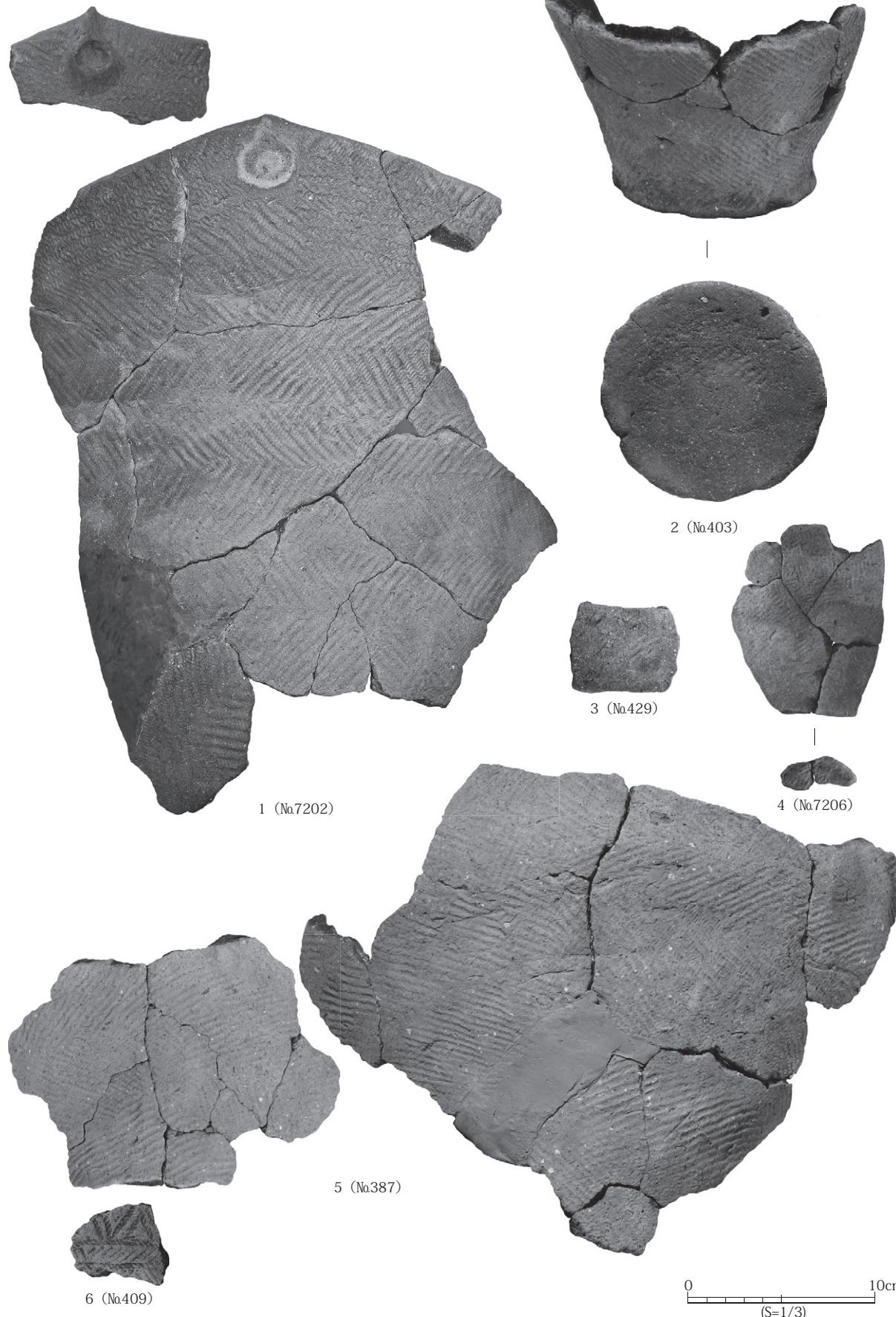


3～4層下部



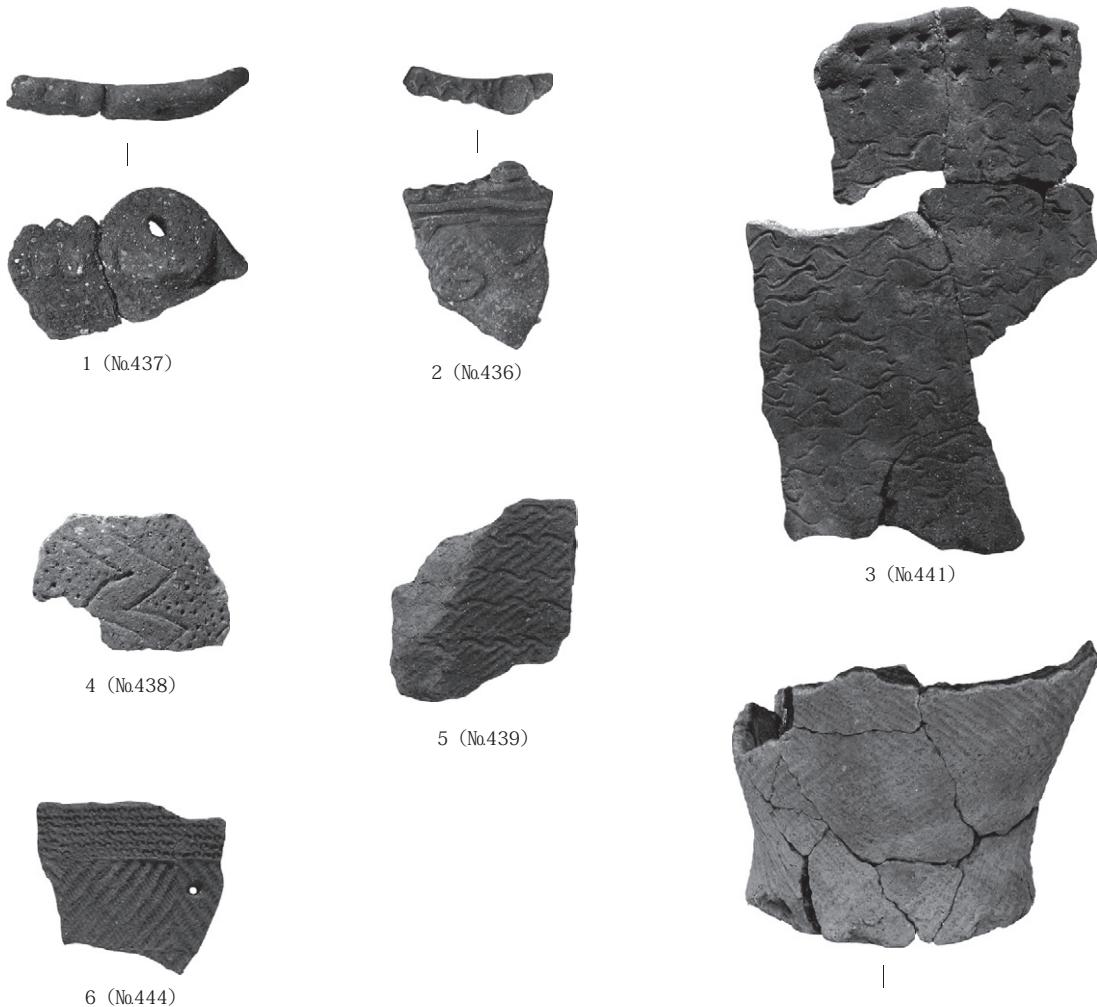
図版4-171 SX3 出土土器 (23)

3～4層下部



図版4-172 SX3 出土土器 (24)

4層



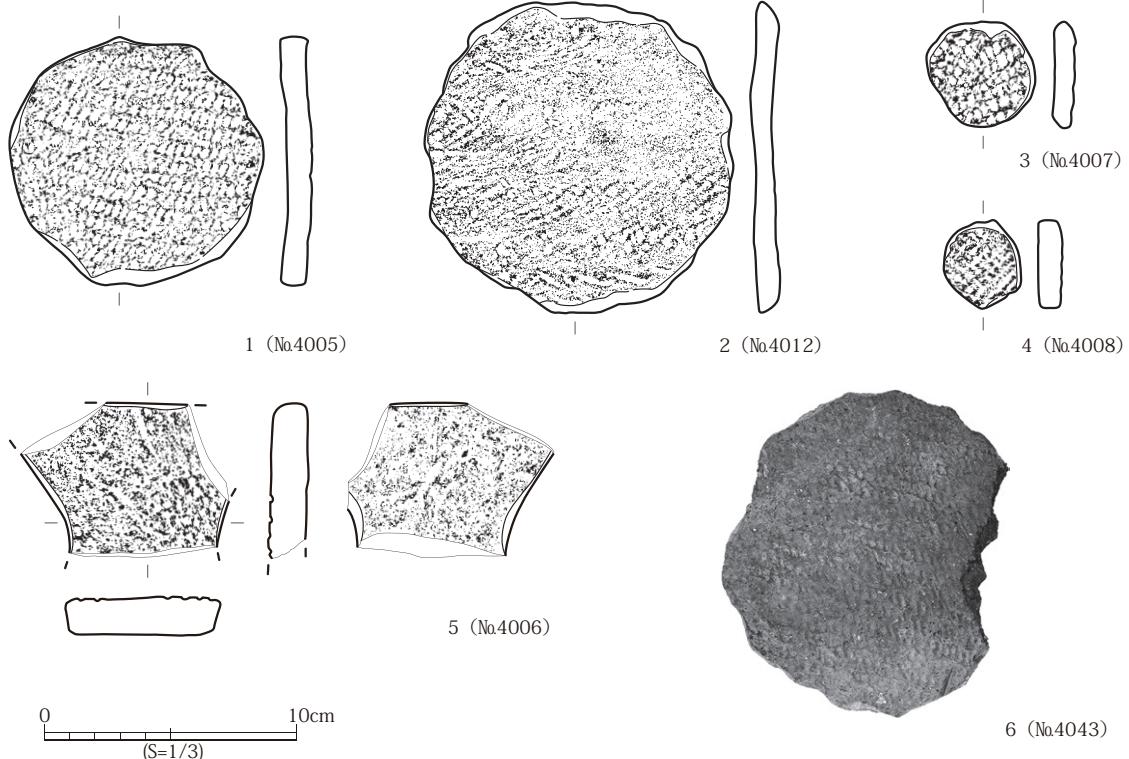
5～6層



0 10cm  
(S=1/3)

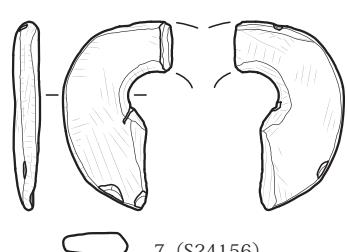
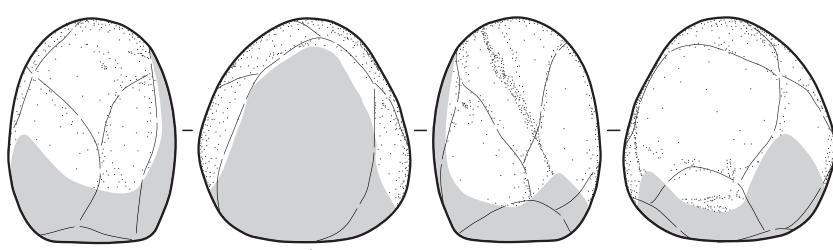
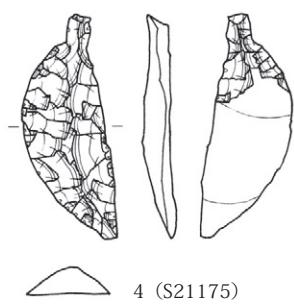
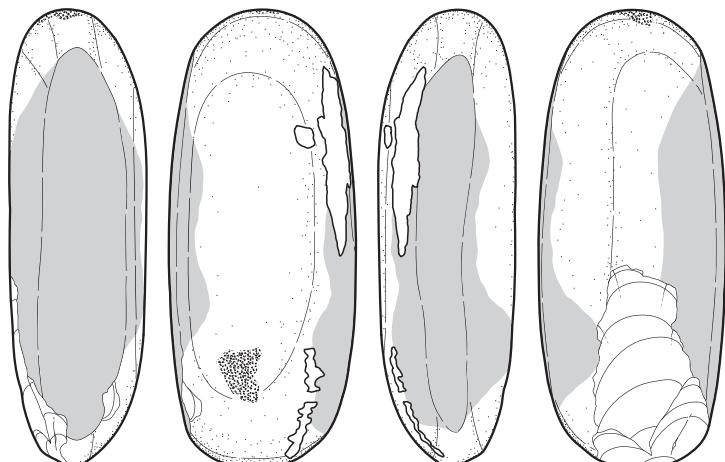
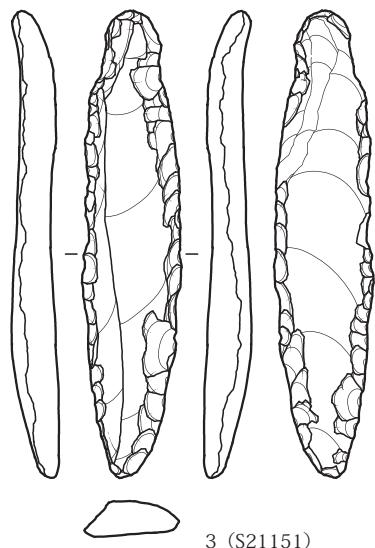
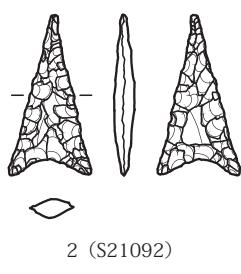
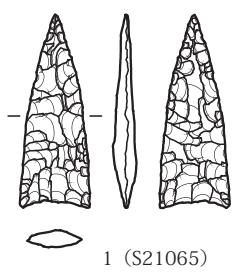
図版4-173 SX3 出土土器 (25)

SX3



図版 4-174 SX3 出土土製品

表土・検出

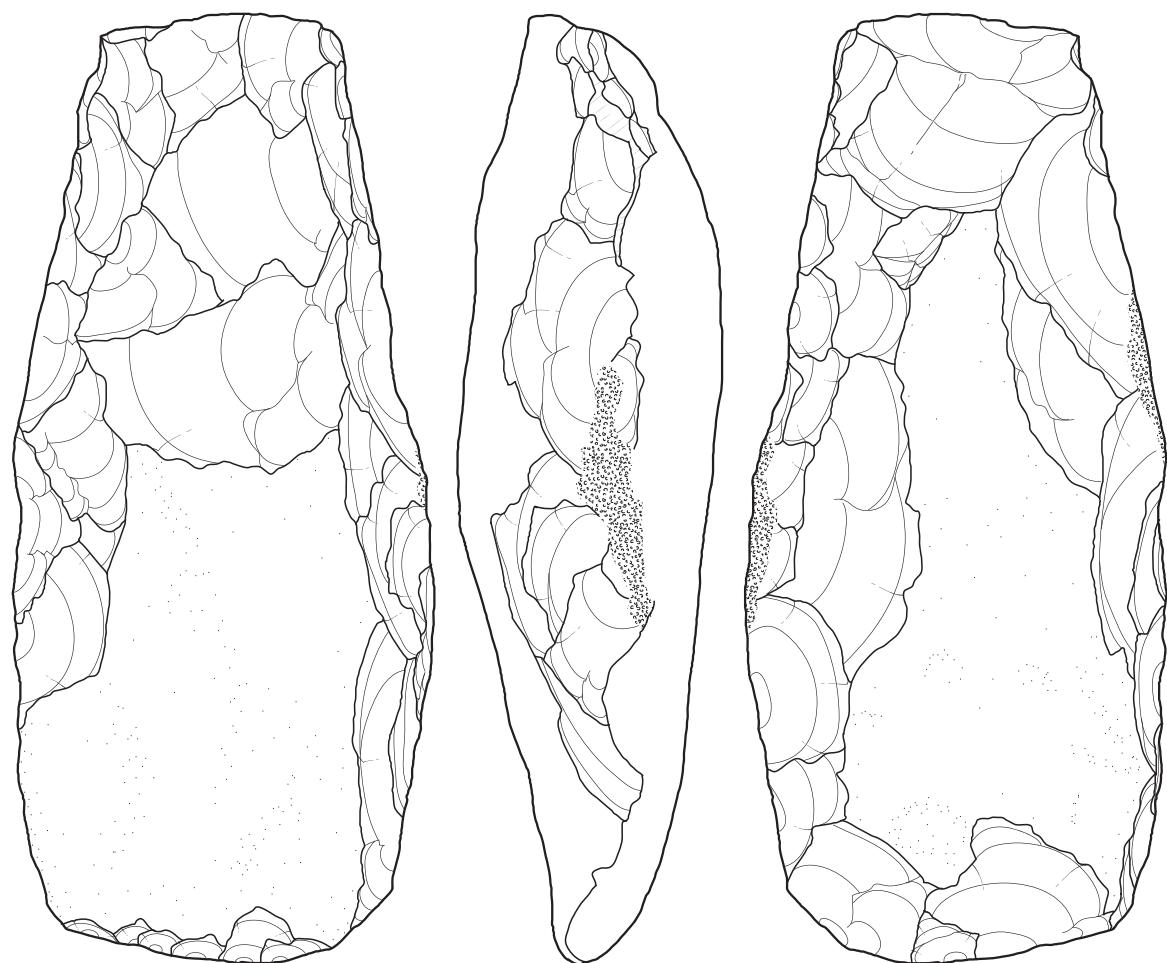
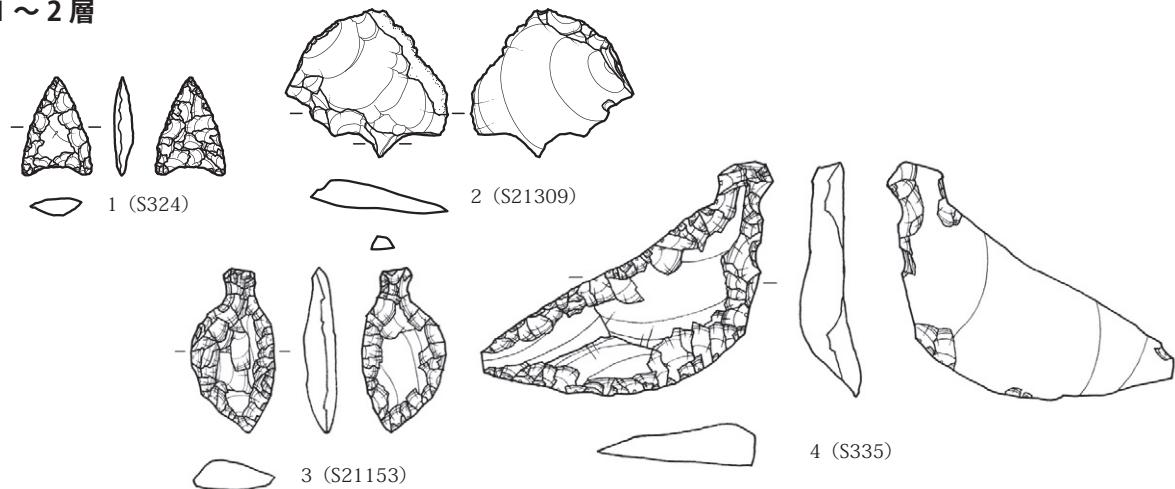


0 5cm  
(5, 6:S=1/3)

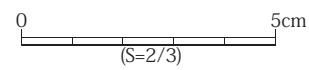
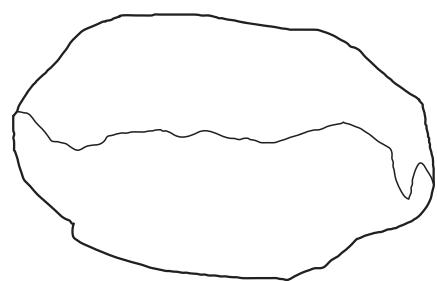
0 5cm  
(1~4, 7:S=2/3)

図版 4-175 SX3 出土石器・石製品 (1)

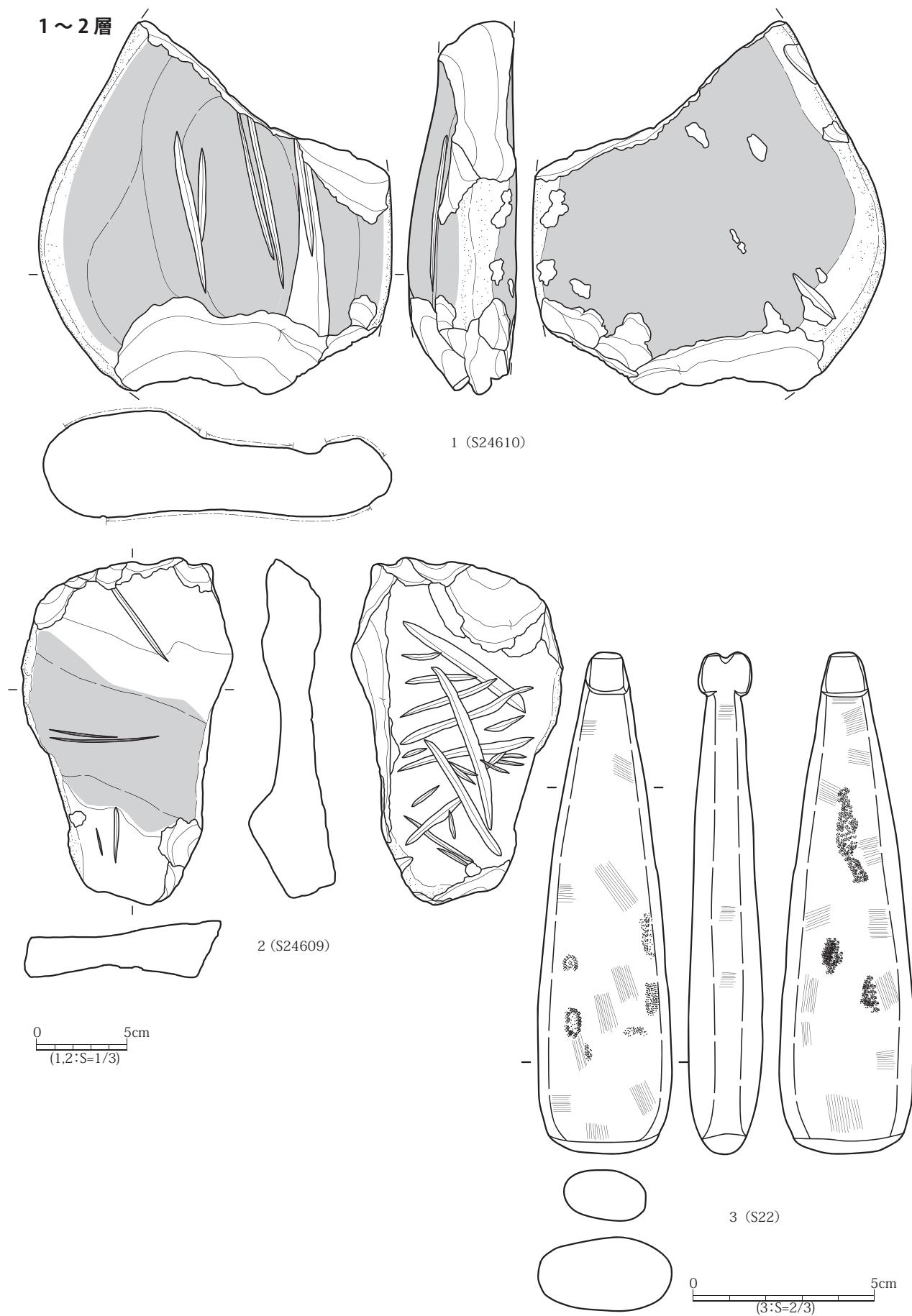
1 ~ 2 層



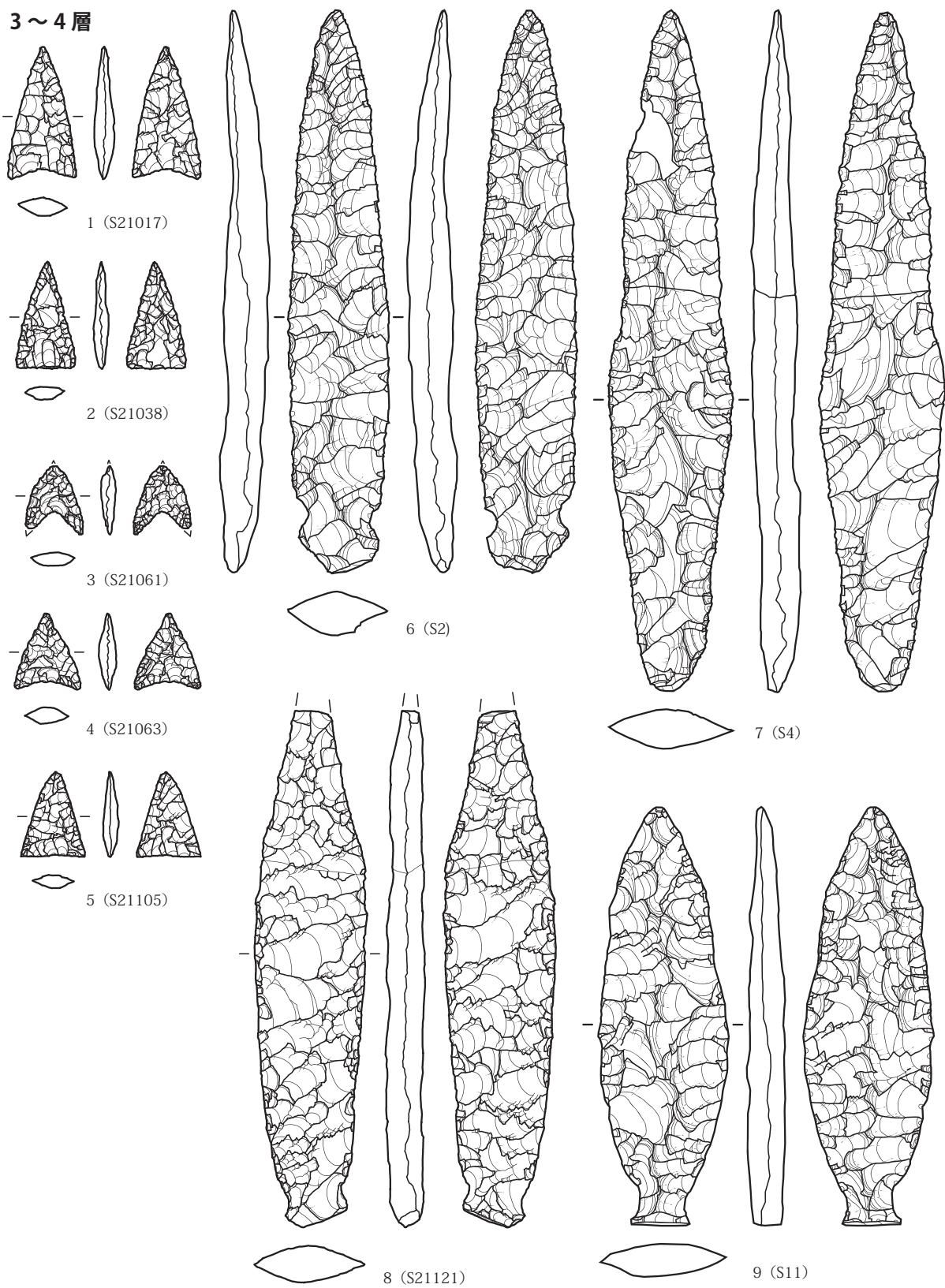
5 (S24139)



図版 4-176 SX3 出土石器・石製品 (2)



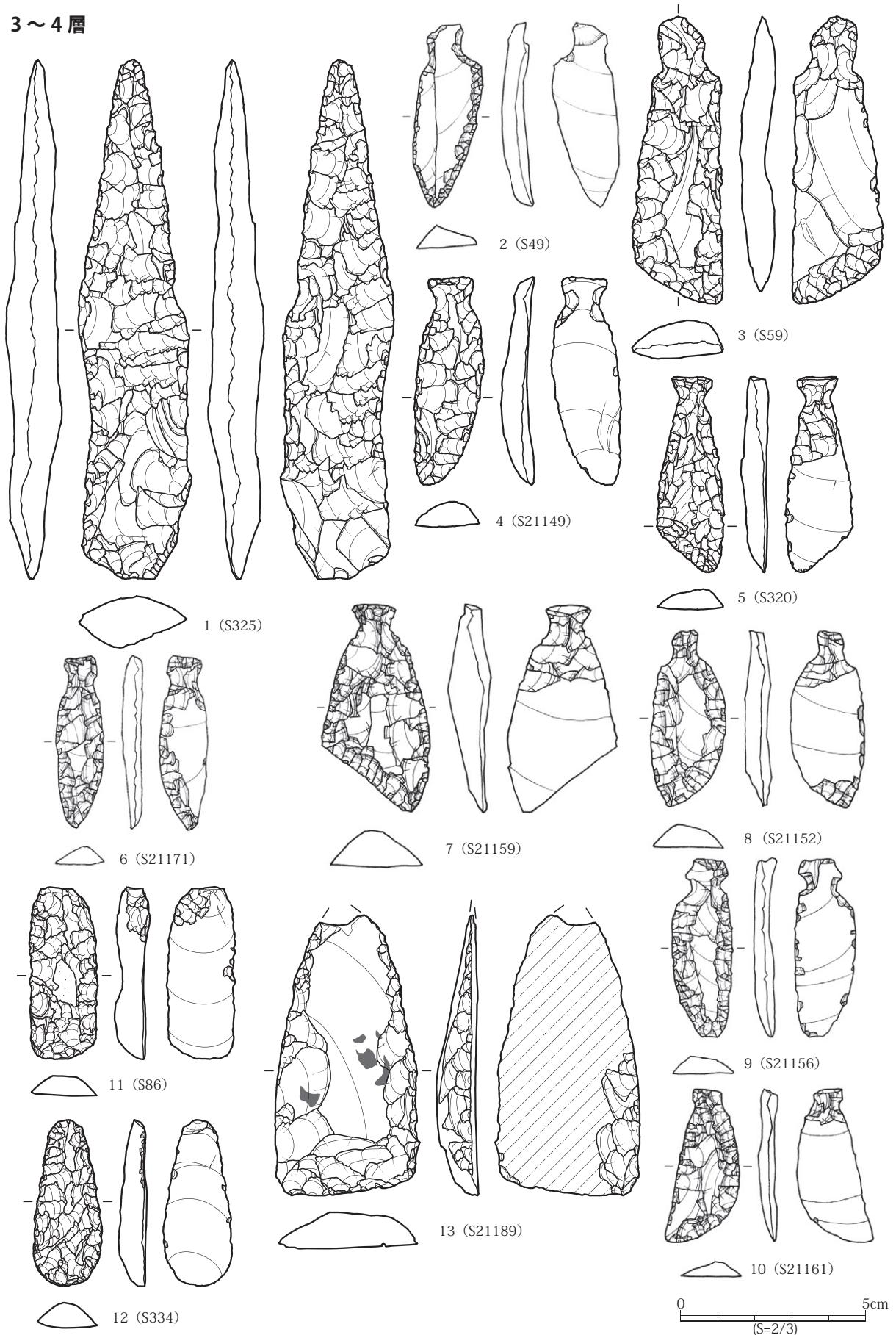
図版 4-177 SX3 出土石器・石製品 (3)



0 5cm  
(S=2/3)

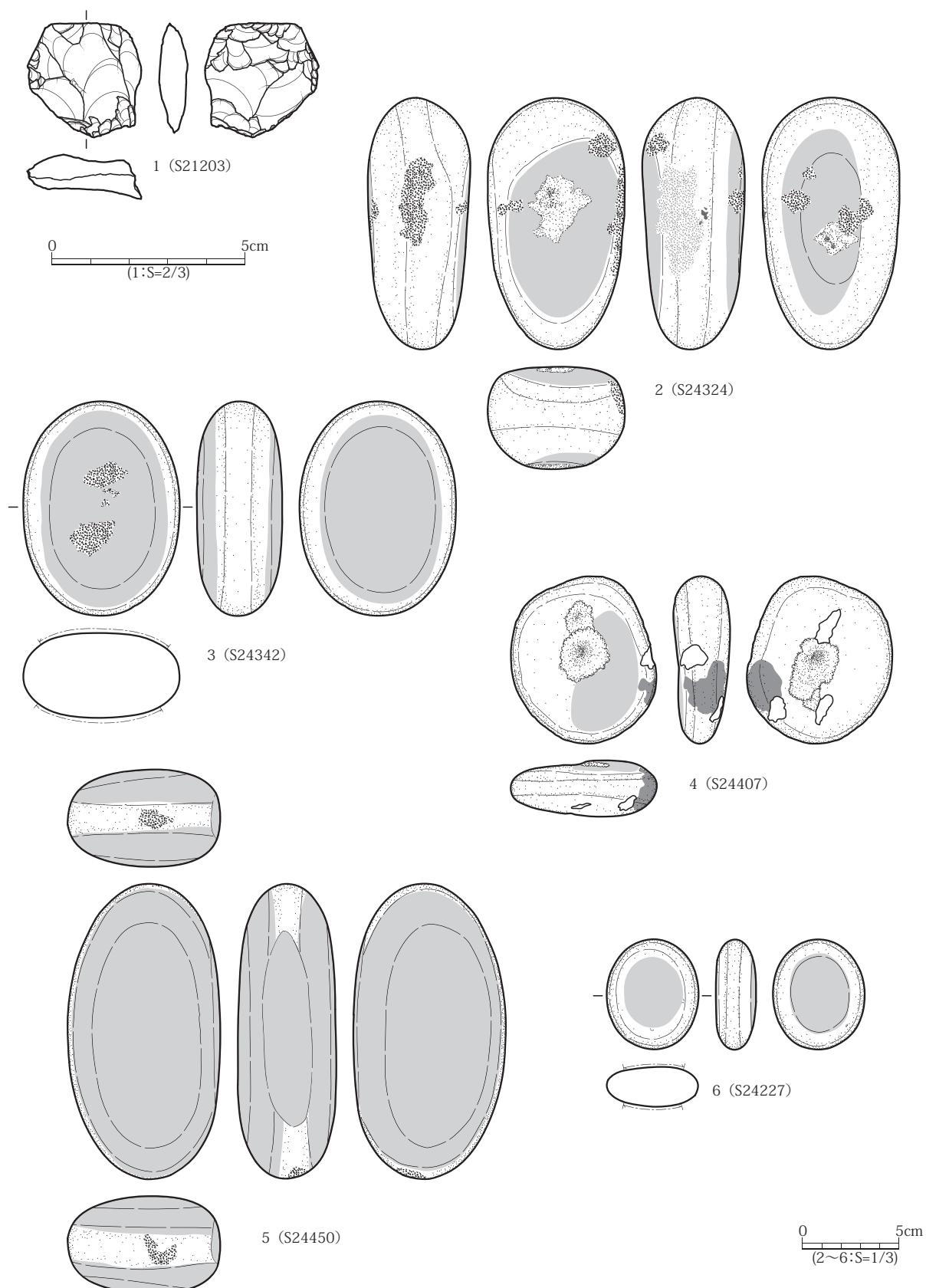
図版 4-178 SX3 出土石器・石製品 (4)

3～4層



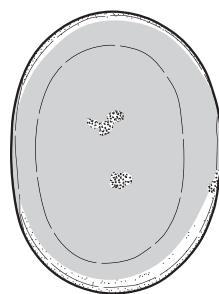
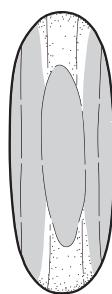
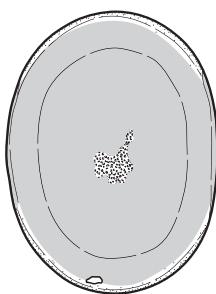
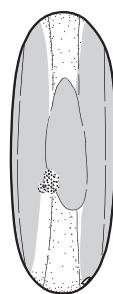
図版 4-179 SX3 出土石器・石製品 (5)

3～4層

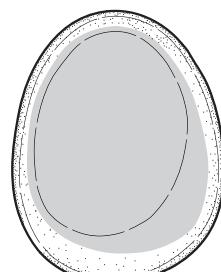
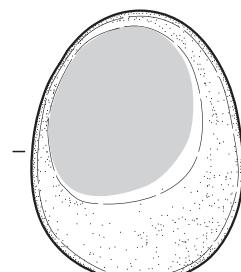


図版 4-180 SX3 出土石器・石製品 (6)

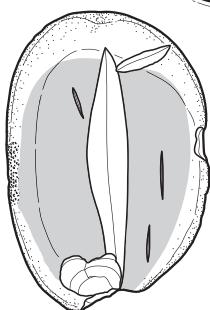
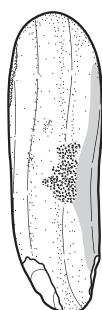
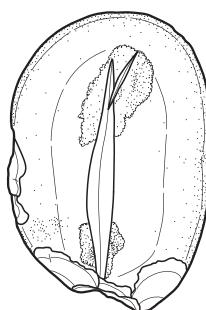
3～4層



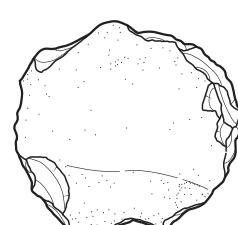
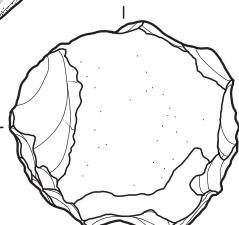
1 (S24487)



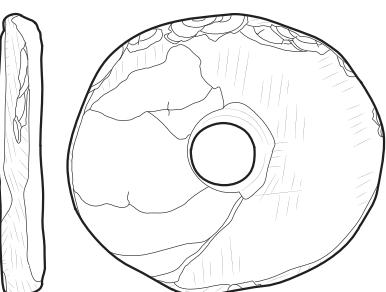
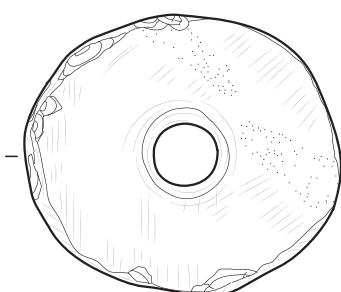
2 (S24339)



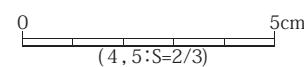
3 (S24534)



4 (S24153)

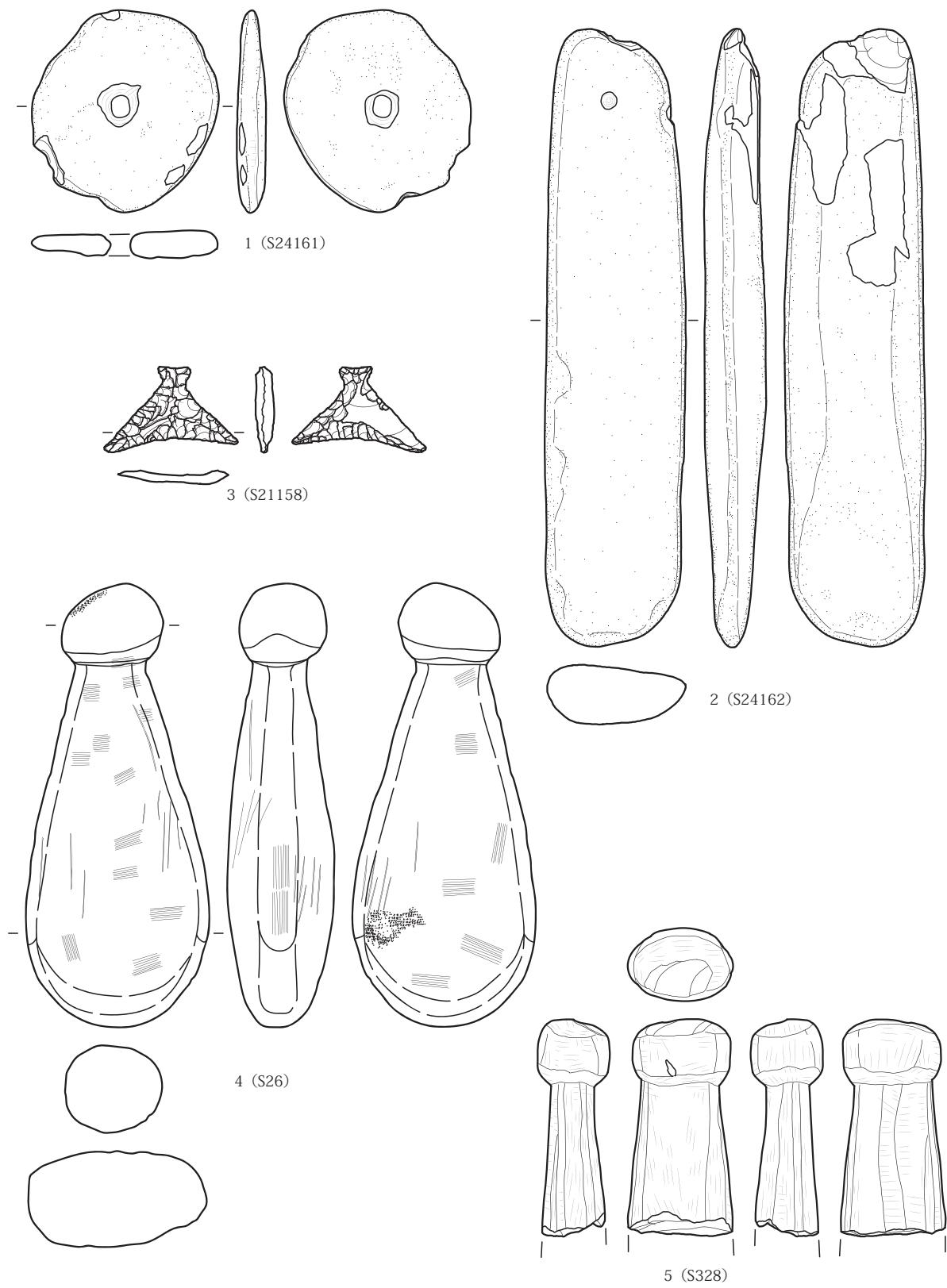


5 (S24159)



図版 4-181 SX3 出土石器・石製品 (7)

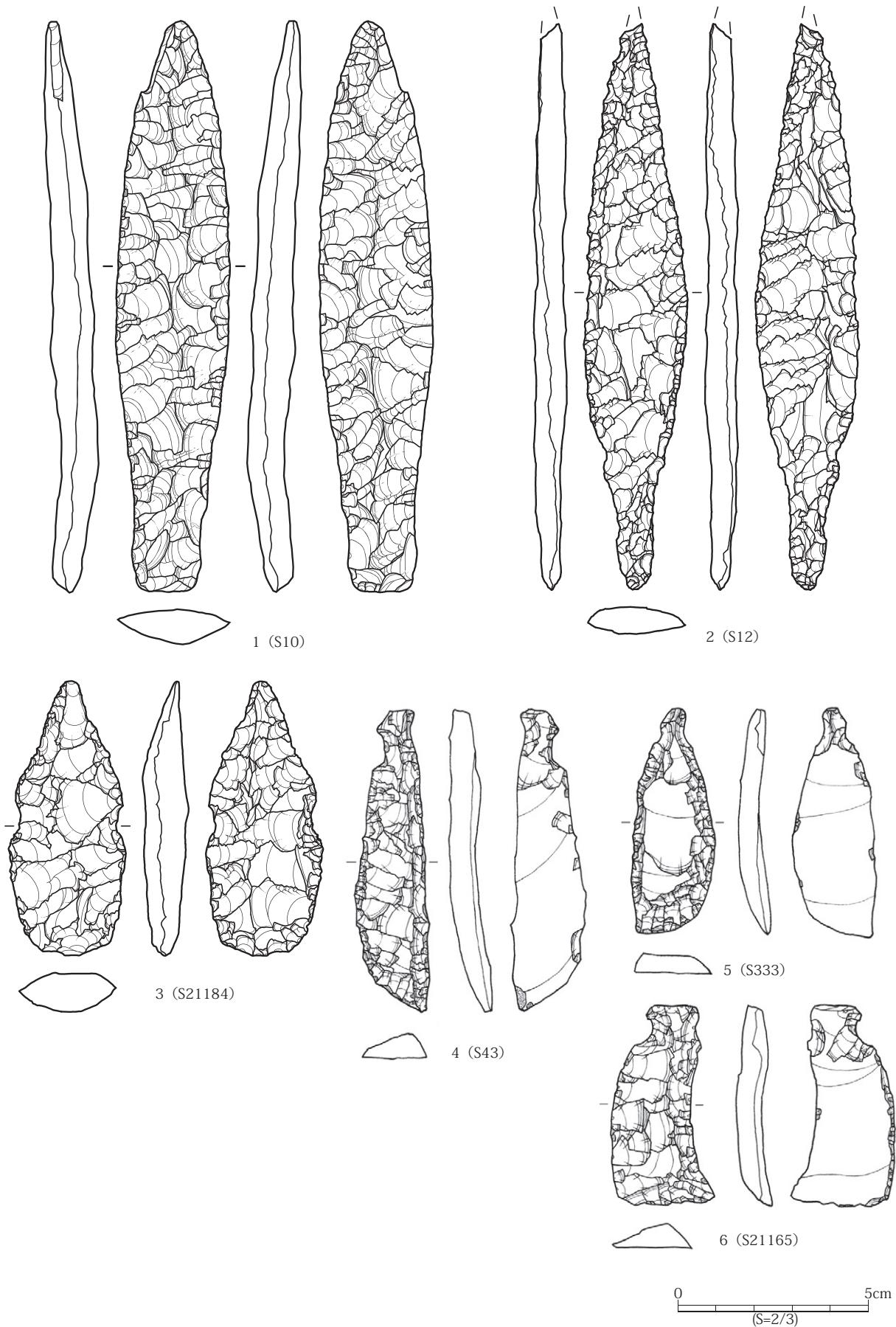
3～4層



0 5cm  
(S=2/3)

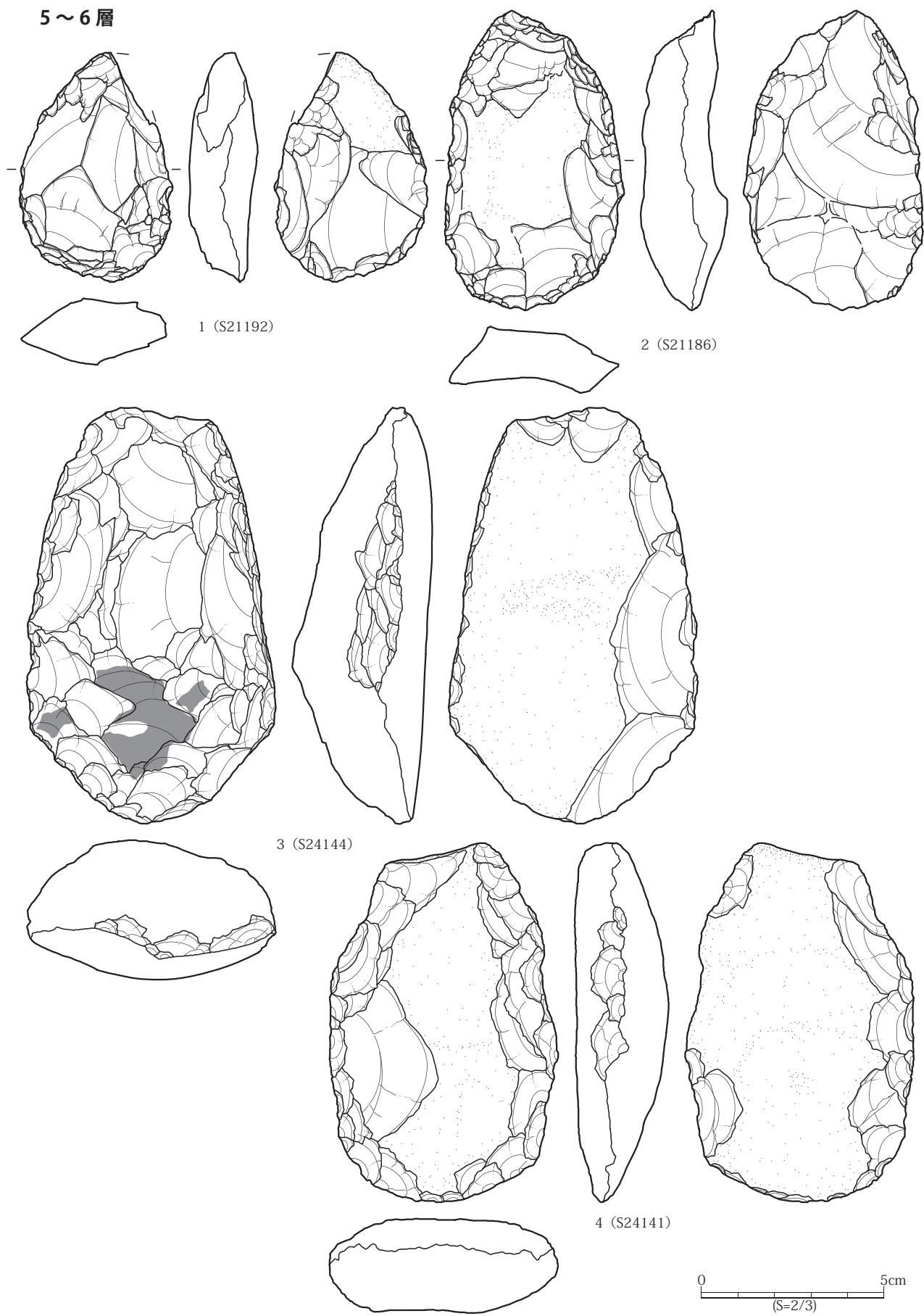
図版 4-182 SX3 出土石器・石製品 (8)

5～6層



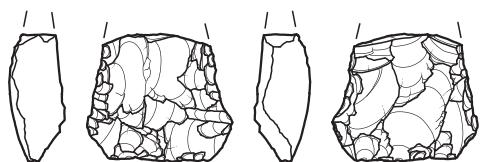
図版 4-183 SX3 出土石器・石製品 (9)

5～6層



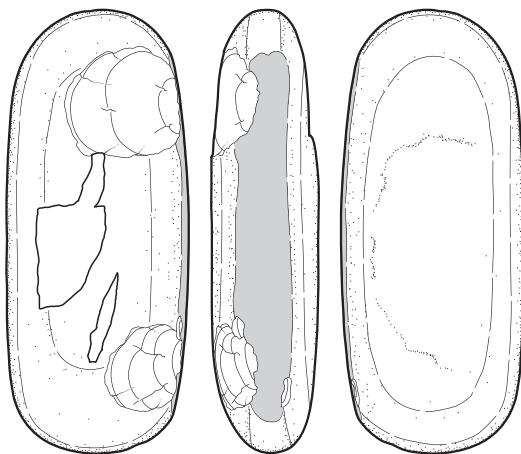
図版 4-184 SX3 出土石器・石製品 (10)

5～6層

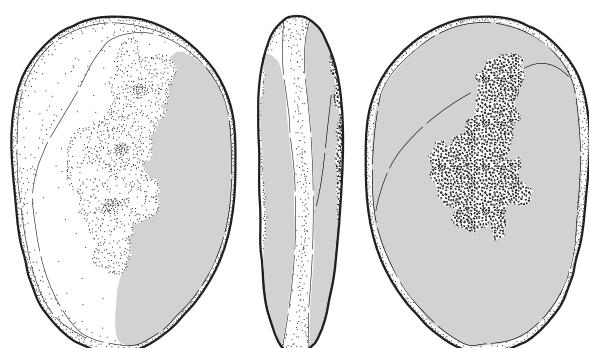


1 (S21225)

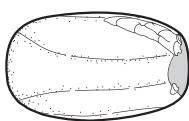
0 5cm  
(1:S=2/3)



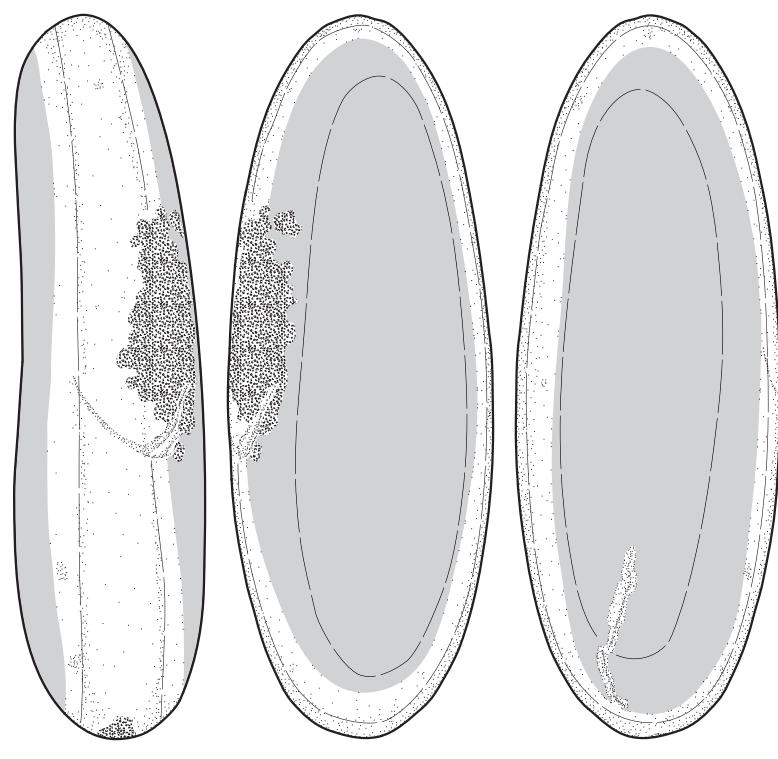
2 (S24297)



3 (S24425)



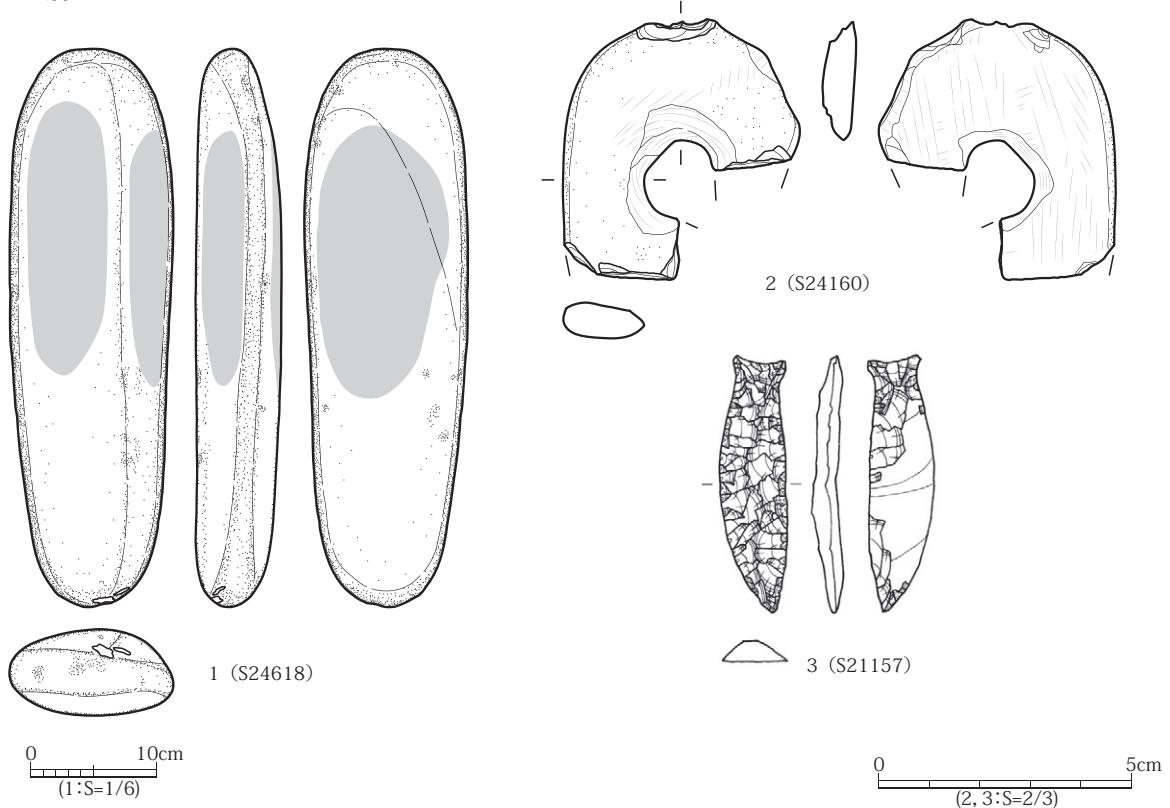
4 (S24625)



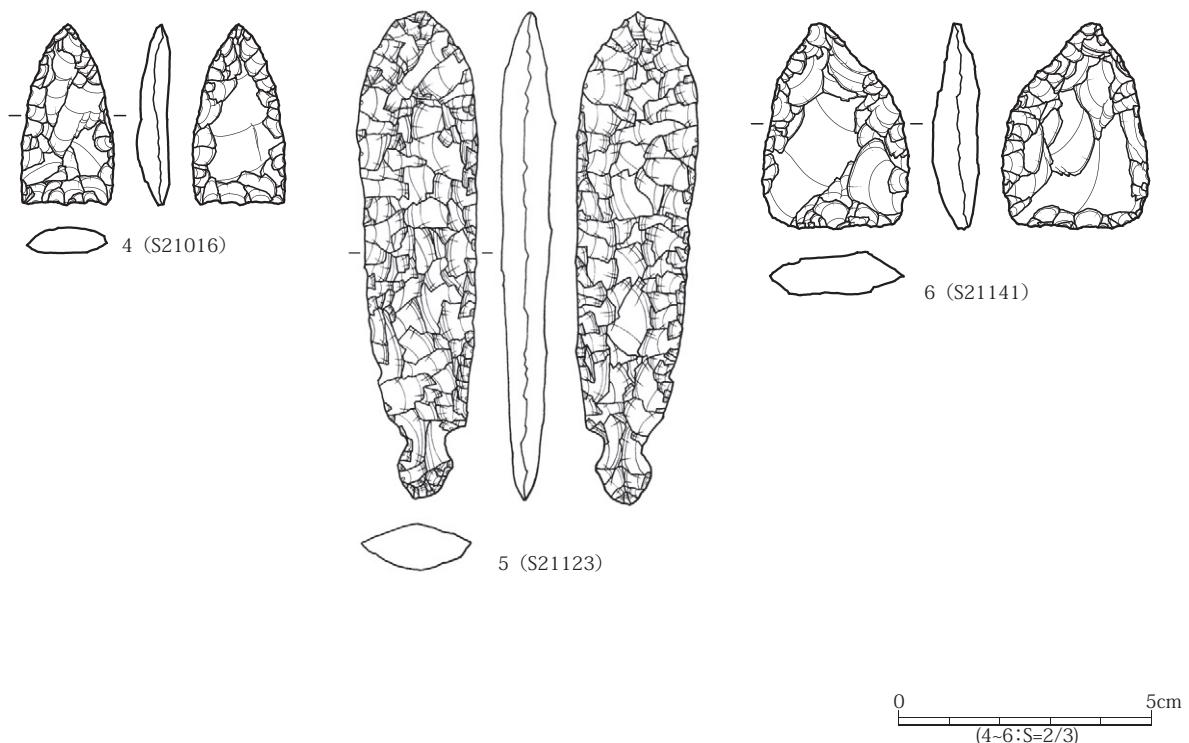
0 5cm  
(2~4:S=1/3)

図版 4-185 SX3 出土石器・石製品 (11)

5～6層



層不明その他



図版 4-186 SX3 出土石器・石製品 (12)

〈SX3 出土土器観察表〉

図	登録No	ゲット	層位	器種類型	装飾類型	部位	形態(法量)	装飾・調整	織維	写真図版
149-1	286	東	表土	深鉢 B	V～VI C	口縁部	平縁	【外面】横位鋸歯状沈線文、斜位短沈線横列		109-1
149-2	293	E-4トレンチ	表土	不明	L1	口縁部～底部	波状縁(口縁、底 部とも角張る)	【外面】ナデ	含	109-2
149-3	314	E-3～4トレンチ	検出	深鉢 B3	IX	口縁部	波状縁	【外面】横位・横位弧状沈線文(半截竹管)		109-3
149-4・5	242・ 320	E～I 3 ～4(242は SX2 C-3)	検出(242は SX2 3層)	深鉢	IX	口縁部	平縁	【外面】横位貼付文、横位弧状貼付文+刺突、撫糸文(R)		109-4・5
149-6	299	中	検出	深鉢 B	VII～VIII B	口縁部	平縁+貼付文	【口唇部】波状貼付文 【外面】ナデ 【内面】波状貼付文		109-6
149-7	316	E-6トレンチ	検出	深鉢 B3	VII B2	口縁部～体部上半	平縁	【外面】斜位・弧状貼付文、斜位・弧状貼付文+刻目、斜行縄文(RL)		109-8
149-8	306	北東	検出	深鉢 C	VII B1	口縁部	平縁+貼付文	【口唇部】波状貼付文 【外面】横位貼付文、斜行縄文(LR)		109-9
149-9	317	E～I 3 ～4	検出	深鉢 C	IV～VI A1f	口縁部	平縁	【外面】横位貼付文+刺突、横位沈線文、横位刺突列、S字状連鎖撫糸文(O段) (粘土の隆起は貼付によらない可能性あり)	含	109-10
149-10	294	E-6トレンチ	検出	深鉢 A2	V～VI D1	口縁部～体部	平縁(口径 16.2cm)	【外面】横位・縦位・山形沈線文(半截竹管)、斜行縄文(RL)		109-7
150-1	318	中	検出	深鉢 A1	IV～VI A1a	口縁部	平縁	【外面】横位貼付文+押圧(指頭)、S字状連鎖撫糸文(O段)	含	109-12
150-2	315	E-6トレンチ	検出	深鉢	IV～VI C	体部		【外面】斜位・弧状沈線文、S字状連鎖撫糸文(O段)	含	109-11
150-3	341	D-4ベルト	1～2層	深鉢	VII～VIII B	口縁部	波状縁+貼付文・ 突起	【口唇部】波状貼付文 【外面】縦位波状貼付文、斜行縄文(L)		110-1
150-4	365	C-4	1～2層	深鉢 B	VIII～IX J1	口縁部	平縁((推)口径 30cm)	【外面】撫糸文(L)		110-2
150-5	333	C-6	1～2層	深鉢 B3	VII B2	口縁部	平縁+貼付文	【口唇部】波状貼付文 【外面】横位波状・斜位貼付文、斜行縄文(LR)		110-3
150-6	336	C-5	1～2層	深鉢 A2	V～VII D2	口縁部～体部下半	平縁	【外面】縦位沈線文(半截竹管)、斜行縄文(RL)		110-4
150-7	334	D-3	1～2層	深鉢 B	IV～VI A1f	口縁部	平縁	【外面】横位貼付文+押圧、横位押圧列、横位刺突列(円形竹管)、斜行 縄文(RL)		110-5
150-8	351	E-6	1～2層	深鉢 B3	IV～VI A	口縁部	平縁((推)口径 15cm)	【外面】横位・縦位貼付文+刻目、S字状連鎖撫糸文(O段)	含	110-6
151-1	330	C-4	1～2層	深鉢 B2	V～VII C1	口縁部	平縁	【外面】横位・縦位沈線文、縦位短沈線文、刺突文(円形竹管)、斜行縄文(RL)		110-7
151-2	329	B-5	1～2層	深鉢 B3	V～VII B	口縁部	波状縁	【外面】弧状貼付文、縦位短沈線横列、斜行縄文(RL)		111-1
151-3	337・ 356	C-5、E-4	1～2層	深鉢	IV～VI A	口縁部	波状・小波状縁	【口唇部】押圧 【外面】渦巻状貼付文+刺突、S字状連鎖撫糸文(O段)	含	111-2
151-4	349	E-6	1～2層	深鉢	IV～VI A1a	口縁部	波状縁	【外面】縦位貼付文+刺突、横位貼付文+刻目		111-3
151-5	325	B-3	1～2層	深鉢	I～II J6	口縁部	波状縁+突起	【外面】結束第1種羽状縄文(LR、RL)	含	111-4
152-1	367	C-4	1～2層	深鉢 C	II J3b	口縁部～体部上半	波状縁+突起(口径 19.3cm) 修孔	【外面】重層末端ループ文(LR)、非結束羽状縄文(LR、RL) 【その他】補 修孔	含	111-5
152-2	430	H-7	3～4層上部	深鉢 A1	IV～VI A1b	口縁部～体部	平縁(口径 9cm)	【外面】横位貼付文+押圧(指頭)、横位・斜格子状沈線文、縄文(原体不明)	含	111-6
152-3	398	C-6	3～4層上部 ～下部	深鉢	V～VII D2	口縁部～体部下半	波状縁	【外面】横位押引文(半截竹管)、縦位鋸歯状・菱形沈線文(半截竹管)、 縦位沈線文		111-7
152-4	384	BC-5トレンチ	3～4層上部 ～下部	深鉢 B2	V～VI A1a	口縁部～体部下半	平縁((推)口径 19cm)	【外面】横位・垂下貼付文+刻目、斜行縄文(RL) +附加条(L) 【その他】 内面炭化物付着(年代測定実施)	含	111-8
153-1	362・ 422	E-5	3～4層上部 ～下部	深鉢 B3	IV C2	口縁部	波状縁((推)口径 18cm)	【外面】斜位・弧状・環状沈線文、斜行縄文(RL) +結節		112-1
153-2	411	D-5	3～4層上部 ～下部	深鉢 B3	IV D1	口縁部～体部下半	波状縁+突起	【外面】横位・縦位・環状沈線文(半截竹管)、S字状連鎖撫糸文(O段)	含	112-2
153-3	413	D-6	3～4層上部 ～下部	深鉢 A2	IV A1a	口縁部～体部	平縁+突起((推)口径 12cm)	【外面】横位貼付文+刺突、縦位貼付文+押圧、S字状連鎖撫糸文(O段)	含	112-3
153-4	471	C-6	3～4層上部 ～下部	深鉢	IV A1f	口縁部	平縁	【外面】横位貼付文+刺突、横位刺突列、横位盲孔列	含	112-4
153-5	350	C-6	3～4層上部 ～下部	深鉢	IV D1	口縁部	小波状縁	【口唇部】刻目 【外面】横位沈線文+刺突(半截竹管)、斜位沈線文(半 截竹管)		112-5
154-1	370	E-6	3～4層上部 ～下部	深鉢 C1	IV A1a	口縁部～底部	波状縁+突起(口径 24.4cm)、平 底(底径 13cm)	【外面】横位・縦位貼付文+刺突、S字状連鎖撫糸文(O段)	含	113-1
154-2	424	E-6	3～4層上部 ～下部	深鉢 A2	IV A1a	口縁部～体部下半	平縁(口径 25cm)	【外面】横位貼付文+刺突・刻目、網目状撫糸文(r)	含	112-6
154-3	400	C-6	3～4層上部 ～下部	深鉢 B3	IV A1f	口縁部～体部下半	平縁	【外面】横位貼付文+刺突(円形竹管)、横位刺突列(円形竹管)、横位 沈線文(貼付文に沿う) 【その他】補修孔	含	114-1
154-4	366	D-6	3～4層上部 ～下部	深鉢 A2	IV A1e	口縁部～底部	平縁(口径 20.5cm)、平底(底径 11.8cm)	【外面】横位貼付文+刻目、縦位刻目横列、S字状連鎖撫糸文(O段)	含	114-2
155-1	420	E-6	3～4層上部 ～下部	深鉢 C2	IV D1	口縁部～底部	平縁((推)口径 30cm)、平底(底 径 11.2 cm)	【外面】横位沈線文+刺突、網目状撫糸文(O段)	含	114-3
155-2	421	E-6	3～4層上部 ～下部	深鉢 A2	IV L	口縁部～体部下半	平縁	【外面】ナデ(凹線状)	含	114-4
155-3	470・ 474	3～4層上部 ～下部	深鉢	IV J13a	体部			【外面】結節縄文(L)	含	114-5
155-4	396	C-5	3～4層上部 ～下部	深鉢 B	II G	口縁部～体部上半	波状縁	【外面】重層末端ループ文(RL、左側のみ)、縦位刺突列(縄端?)、非 結束羽状縄文(LR、RL)	含	114-6
155-5	397	C-6	3～4層上部 ～下部	深鉢	I～II G	体部		【外面】横位刺突列、横位コンバス文(半截竹管)	含	114-7
155-6	394	C-5	3～4層上部 ～下部	深鉢 C	II J3b	口縁部～体部上半	波狀+突起((推)口径 52cm)	【外面】重層末端ループ文(RL)、非結束羽状縄文(LR、RL)	含	114-8
155-7	123	B-5～6	3～4層上部 ～下部	深鉢 C2	II J5	口縁部～体部下半	波狀((推)口径 54cm)	【外面】非結束羽状縄文(LR、RL) 【その他】補修孔	含	115-2
156-2	382	BC-5トレンチ	3～4層上部 ～下部	深鉢	II J3c	口縁部	平縁	【外面】重層末端ループ文(RL、異方向施文)	含	115-1
156-3	399	CD-5トレンチ	3～4層上部 ～下部	深鉢 A2	II J5	口縁部～底部	平縁、上底(底 径 7cm)	【外面】非結束羽状縄文(LR、RL) 【底面】斜行縄文(LR)	含	115-3
157-1	369	B-5	3～4層上部 ～下部	鉢 B	II J7	口縁部～底部	波狀((口径 17.6cm)、上底(底 径 8.2cm))	【外面】斜行縄文(RL) +結節 【底面】斜行縄文(RL)	含	115-4
157-2	402	D-3	3～4層下部	深鉢 B3	VII A1	口縁部～体部上半	平縁	【外面】横位・梯子状貼付文+斜行縄文(LR)、斜行縄文(LR)		115-5
157-3	376	B-3	3～4層下部	深鉢 B	V～VII D2	口縁部	平縁	【外面】縦位・縦位鋸歯状沈線文(半截竹管)		115-6
157-4	373	A-4	3～4層下部	深鉢 B	V～VII D2	口縁部	平縁	【外面】縦位沈線文+刺突(半截竹管)、斜行縄文(RL)		116-1
157-5・6	423・ 392	E-6、C-4	3～4層下部	深鉢 C	II D	口縁部	波狀+突起	【外面】斜位・弧状沈線文(半截竹管)、刺突文(円形竹管)、斜行縄文(RLR)	含	116-2・3
158-1	388	C-3～4	3～4層下部	深鉢 C3	II C	口縁部～体部上半	波狀+突起((推)口径 50.5cm)	【外面】縦位貼付文、横位・斜位・弧状沈線文(半截竹管)、刺突文(円形竹管)、 斜行縄文(RLR)	含	116-4
158-2	406	D-4	3～4層下部	深鉢 B	II C	口縁部～体部上半	波狀((推)口径 39cm)	【外面】横位沈線文、横位刺突列、重層末端ループ文(RL)、非結束羽状 縄文(LR、RL)	含	116-6

図	登録No	ゲリット*	層位	器種類型	装飾類型	部位	形態(法量)	装飾・調整	纖維	写真 図版	
159-1	393	C-4	3~4層下部	深鉢 B3	II J3c	口縁部~底部	平線+突起(〔推〕口径18.6cm)、上底(〔推〕底径8cm)	【外面】重層末端ループ文(RL)、異方向施文、非結束羽状繩文(LR, RL) 【底面】斜行繩文(RL)	含	116-5	
159-2	407	D-4	3~4層下部	深鉢	II J3b	体部		【外面】重層末端ループ文(RL)、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	116-7	
159-3・4	416-2	E-3~4トレンチ	3~4層下部	深鉢 C3	II D	口縁部~体部上半	波状線	【外面】横位・弧状押引文(半截竹管)、非結束羽状繩文(LR, RL、一部幅狭)	含	117-1・2	
160-1	372	C-3~4	3~4層下部	深鉢 C3	II J3b	口縁部~体部下半	波状線+突起(〔推〕口径32.4cm)	【外面】重層末端ループ文(LRL)、非結束羽状繩文(LRL, RLR)	含	117-3	
160-2	377	B-4	3~4層下部	深鉢 B2	II J3b	口縁部~体部下半	平線(〔推〕口径45cm)	【外面】重層末端ループ文(LR)、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	117-4	
161-1	385	C-3	3~4層下部	深鉢 B3	II J3b	口縁部~体部下半	平線+突起	【外面】重層末端ループ文(LR)、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	117-5	
161-2	389	C-3~4、B-4	3~4層下部	深鉢 B2	II J3b	口縁部~体部下半	波状線+突起(〔推〕口径42cm)	【外面】柔道末端ループ文(RL)、結束羽状繩文(LR, RL)	含	118-1	
162-1	408	D-4	3~4層下部	深鉢 B2	II J3b	口縁部~体部下半	波状線(〔推〕口径26cm)	【外面】重層末端ループ文(LR)、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	118-3	
162-2	405	D-4	3~4層下部	深鉢 B2	II J3b	口縁部~体部上半	波状線+突起(〔推〕口径42cm)	【外面】重層末端ループ文(LR)、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	118-2	
163-1	2450	D-4	3~4層下部	深鉢 B2	II J3b	口縁部~体部下半	波状線+突起	【外面】重層末端ループ文(LR)、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	118-4	
163-2	417	E-3	3~4層下部	深鉢	I J1a	底部	尖底	【外面】斜行繩文(LR)	含	119-1	
163-3	383	C-2	3~4層下部	深鉢 Cor 鉢	II J3b	口縁部	波状線	【外面】重層末端ループ文(LR)、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	119-2	
163-4	2452	D-4	3~4層下部	深鉢	II J5	口縁部~体部上半	波状線+突起(〔推〕口径36cm)	【外面】非結束羽状繩文(LR, RL、口縁部のみ閉端あり、幅狭施文)	含	119-3	
163-5	419	E-4トレンチ	3~4層下部	鉢 A2	II J1a	口縁部~底部	波状線(〔推〕口径11cm)、(〔推〕底径6.9cm)	【外面】斜行繩文(LR) 【底面】繩文(原体不明)	含	119-4	
163-6	401	D-3	3~4層下部	深鉢 B	II J7	口縁部~体部下半	波状線+突起(〔推〕口径23cm)	【外面】斜行繩文(L) +結節 【その他】補修孔	含	119-5	
164-1	391	C-4	3~4層下部	深鉢 A2	II J5	口縁部~体部下半	平線(口径25cm)	【外面】非結束羽状繩文(LR, RL)	含	119-6	
164-2	2451	EF-4ベルト	3~4層下部	深鉢	I A1	口縁部	平線	【外面】横位貼付文+刻目、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	119-7	
164-3	428	F-4	3~4層下部	深鉢 A2	I I1a	口縁部~体部上半	平線	【外面】横位貼付文+斜行繩文(RL)、渦巻状・蕨手状・梯子状撚糸圧痕文(R)、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	119-8	
164-4	446・E-5トレンチ	4層	深鉢 C3	IV A1e	口縁部~体部上半	波状線(〔推〕口径38cm)	【外面】横位・縱位貼付文+押压(指頭)、斜位短沈線横列、結節繩文(O段)	含	120-2		
165-1	435	C-5	4層	深鉢	II J3c	口縁部	平線	【外面】重層末端ループ文(RL)、異方向施文、非結束羽状繩文(LR・RL)	含	120-1	
165-2	433	B-4	4層	深鉢 C3	II J3b	口縁部~体部上半	波状線+突起(〔推〕口径32cm)	【外面】重層末端ループ文(LRL)、非結束羽状繩文(LRL, RLR) 【その他】補修孔	含	120-3	
165-3	449	D-5	4層	深鉢 B2	II J3b	口縁部~体部上半	平線+突起	【外面】重層末端ループ文(RL)、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	120-4	
165-4	440	D-5	4層	深鉢 B	II J3b	口縁部~体部上半	波状線	【外面】重層末端ループ文(RL)、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	120-5	
166-1	390・434	C-4	4層	鉢 D	II J3b	口縁部~体部上半	波状線+突起(〔推〕口径17.2cm)、上底(底径8.7cm)	【外面】重層末端ループ文(RL)、非結束羽状繩文(LR, RL) 【底面】非結束羽状繩文(LR, RL)	含	121-1	
166-2	371	E-6	4層	深鉢 C3	II J5	口縁部~体部上半	波状線+突起(〔推〕口径29cm)	【外面】非結束羽状繩文(LR, RL) 【その他】補修孔	含	121-2	
166-3	450	D-5	4層	深鉢 B2	II J5	口縁部~体部下半	平線+突起(〔推〕口径33cm)	【外面】非結束羽状繩文(LR, RL) 【その他】補修孔	含	121-3	
166-4	368	E-5トレンチ	4層	鉢 A2	II J1a	口縁部~底部	平線(口径12.7cm)、平底(底径7cm)	【外面】斜行繩文(RL)、部分的にLR) 【底面】斜行繩文(RL)	含	121-4	
167-1	431	A-5	4層	深鉢 B2	II J1a	口縁部~体部上半	平線(〔推〕口径34cm)	【外面】斜行繩文(LR, RL) 【その他】補修孔	含	121-5	
167-2	445	E-5トレンチ	4層	鉢 A2	II J1a	口縁部~底部	平線(〔推〕口径12.3cm)、平底(底径8.7cm)	【外面】斜行繩文(RL) 【底面】斜行繩文(RL) 【その他】補修孔	含	121-6	
167-3	448	C-2	5~6層	深鉢	I I1b	口縁部	平線	【外面】横位・斜位・渦巻状撚糸圧痕文(L)+刻目	含	122-1	
167-4	7204	B-2	5~6層	深鉢	I I1b	体部上半		【外面】斜位・渦巻状撚糸圧痕文(L)+刻目、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	122-2	
167-5	454	C-2	5~6層	深鉢 B	I I2	口縁部~体部上半	平線	【外面】斜位・蕨手状撚糸圧痕文(RL)、横位貼付文+撚糸圧痕(RL)、非結束羽状繩文(LR, RL) 【その他】補修孔	含	122-3	
167-6	7203	C-4	5~6層	深鉢 B	I J5	口縁部~体部上半	波状線	【外面】非結束羽状繩文(LR, RL)	含	122-4	
168-1	451	E-5	5~6層	深鉢 B	I I	口縁部~体部	平線	【口唇部】撚糸文(ℓ) 【外面】縦位絡条体圧痕文(ℓ)、撚糸文(ℓ)	含	122-5	
168-2	359	A-5トレンチ	1~4層	深鉢	V~VII A	口縁部	平線	【外面】横位貼付文+刻目、斜行繩文(LR)		122-6	
168-3	357	D-5ベルト	1~4層	深鉢	III B	体部		【外面】渦巻状貼付文、横位押引文(櫛歯)、横位波状沈線文(一部コンバス文、半截竹管)	含	122-7	
168-4	361	E-9トレンチ	1~4層	深鉢	I E	口縁部	小波状線	【口唇部】押压(指頭) 【外面】横位波状沈線文(櫛歯)	含	122-8	
168-5	360	A-5トレンチ	1~4層	深鉢	II J3c	口縁部	平線	【外面】重層末端ループ文(RL)、異方向施文	含	122-9	
168-6	442	E-6~9トレンチ	3~6層	深鉢 A3	IV A1f	口縁部~体部下半	平線(口径33cm)	【外面】横位貼付文+刻目、横位刺突列、結束第1種羽状繩文(LR, RL) +結節	含	123-1	
168-7	447	E-6トレンチ	3~6層	深鉢 C3	IV A1d	口縁部~体部上半	波状線+把手(〔推〕口径15cm)	【外面】横位・縦位貼付文+刻目、斜位刻目横列、弧状沈線文(櫛歯)、繩文(原体不明) +結節	含	123-2	
168-8	455	東西トレンチ	層不明	深鉢	I~II J4	口縁部~体部	平線	【外面】側面ループ文(RL) 【その他】補修孔	含	122-10	
169-1	477			地割れ(NC128)	深鉢 A2	IV A1a	口縁部~底部	平線(〔推〕口径29cm)、平底(底径12.2cm)	【外面】横位貼付文+刻目、S字状鎖縫糸文(0段)	含	123-3
169-2	476			地割れ(NC128)	深鉢 A2	IV J14a	口縁部~底部	平線(〔推〕口径24cm)、上底(底径12.4cm)	【外面】網目状撚糸文(0段)	含	123-4
169-3	475			地割れ(NC128)	深鉢	IV A1a	口縁部	平線	【外面】横位貼付文+押压	含	123-5
169-4	473			地割れ(NC128)	深鉢	II J3b	口縁部	平線	【外面】重層末端ループ文(RL)、非結束羽状繩文(LR, RL)	含	123-6
170-1	289	E-3~5トレンチ	表土	深鉢	VII B	口縁部~体部上半	平線	【外面】貼付文、斜行繩文(LR)		-	
170-2	288	E-3~5トレンチ	表土	深鉢	V~VII D	口縁部	平線	【外面】沈線文(半截竹管)、刺突文(円形竹管)、斜行繩文(LR)		-	

図	登録No	グリッド	層位	器種類型	装飾類型	部位	形態(法量)	装飾・調整	織維	写真図版
170-3	319	E ~ I -3 ~ 4	検出	深鉢	IX	口縁部～体部上半	小波状縁+把手(口唇部鋸歯状)	【外面】貼付文+刻目(彫去)、縄文(原体不明)、貫通孔		-
170-4	300	中	検出	深鉢	IX	口縁部	小波状縁(口唇部鋸歯状)	【外面】貼付文+刻目(彫去)、貼付文、撚糸文(R)		-
170-5	311	A ~ D-5	検出	深鉢	VII~IX B	口縁部	波状縁+把手	【外面】貼付文、斜行縄文(LR)		-
170-6・7	305・308	北東	検出	深鉢	VII~VIII B	口縁部	平縁+貼付文	【口唇部】貼付文【外面】ナデ		-
170-8	307	北東	検出	深鉢	IV~VI A	口縁部～体部上半	平縁	【外面】貼付文+刺突、刺突文、S字状連鎖撚糸文(O段)	含	-
170-9	296	北	検出	深鉢	II J3b	口縁部	平縁	【外面】重層末端ループ文(RL)、斜行縄文(LR)	含	-
170-10	301	北東	検出	深鉢	I ~ II J4	体部		【外面】側面ループ文(RL)	含	-
170-11	7205	D-3	1 ~ 2 層	深鉢	IX	口縁部	波状縁+把手(鋸歯状)	【口唇部】貼付文+刻目(彫去)【外面】貼付文、縄文(原体不明)		-
170-12	332	C-2	1 ~ 2 層	深鉢	VII~VIII B	口縁部	平縁+貼付文	【口唇部】貼付文【外面】貼付文		-
170-13	338	D-5ベルト	1 ~ 2 層	深鉢	VII~VIII B	口縁部	平縁+貼付文	【口唇部】貼付文【外面】貼付文、斜行縄文(LR)		-
170-14	348	E-4	1 ~ 2 層	深鉢	IV~VI A	口縁部～体部上半	平縁(口径 15.4cm)	【外面】貼付文+刺突、刺突文(円形竹管)、結節縄文(R)		-
170-15	345	E-6トレンチ	1 ~ 2 層	深鉢	IV~VI A	口縁部	平縁	【外面】貼付文+刺突、沈線文(櫛歯)	含	-
170-16	354	E-4	1 ~ 2 層	深鉢	IV~VI C	口縁部	波状縁	【外面】沈線文+刺突		-
170-17	344	E-6トレンチ	1 ~ 2 層	深鉢	IV~VI G	口縁部	平縁	【外面】刺突文(円形竹管)、S字状連鎖撚糸文(O段)	含	-
170-18	355	E-4	1 ~ 2 層	深鉢	IV~VI G	口縁部	波状縁	【外面】刺突文		-
170-19	323	A-4	1 ~ 2 層	深鉢	II G	口縁部	平縁	【外面】刺突文、非結束羽状縄文(LR, RL)	含	-
170-20	340	D-4	1 ~ 2 層	深鉢	J1a	口縁部～体部上半	平縁+突起	【外面】斜行縄文(LR)+結節【その他】補修孔	含	-
171-1	374	AB-5トレンチ	3 ~ 4 層上部～下部	深鉢	IX	口縁部～体部上半	平縁	【口唇部】刺突【外面】貼付文+刺突、斜行縄文(原体不明)		-
171-2	375	AB-5トレンチ	3 ~ 4 層上部～下部	深鉢	V~VII B	体部		【外面】貼付文(断面三角形)、斜行縄文(ILR)		-
171-3	7209	C-5	3 ~ 4 層上部～下部	深鉢	V~VII B	体部		【外面】貼付文(断面三角形)、沈線文(半截竹管)、斜行縄文(RL)		-
171-4	412	D-6	3 ~ 4 層上部～下部	深鉢	IV A	口縁部～体部上半	平縁+突起	【外面】貼付文+刺突、斜行縄文(RL)	含	-
171-5	472	C-6	3 ~ 4 層上部～下部	深鉢	IV A	口縁部	波状縁?	【外面】貼付文+刻目、S字状連鎖撚糸文(O段)	含	-
171-6	414	D-6	3 ~ 4 层上部～下部	深鉢	IV A	口縁部	波状縁?	【外面】貼付文+押圧、刻目文、押引文(半截竹管)【その他】補修孔	含	-
171-7	425	EF-5トレンチ	3 ~ 4 层上部～下部	深鉢	III D	体部		【外面】押引文(半截竹管)、撚糸文(L)	含	-
171-8	7207	E-6	3 ~ 4 层上部～下部	深鉢	II B	口縁部	波状縁	【外面】貼付文、結節縄文(L)	含	-
171-9	379	B-5	3 ~ 4 层上部～下部	深鉢	II J3c	体部		【外面】重層末端ループ文(RL)、異方向施文【その他】補修孔	含	-
171-10	395	C-5	3 ~ 4 层上部～下部	深鉢	II J5	体部上半～下半		【外面】非結束羽状縄文(LR, RL)	含	-
171-11	418	E-4	3 ~ 4 层下部	深鉢	IX	口縁部	平縁	【外面】貼付文、撚糸文(R)		-
171-12	415	E-3 ~ 4 ドレンチ	3 ~ 4 层下部	深鉢	III J13b	体部下半～底部	平底	【外面】葺瓦状撚糸文(L)【その他】内面炭化物付着(年代測定実施)	含	-
171-13	7208	F-4	3 ~ 4 层下部	深鉢	II B	口縁部	波状縁(双頭)	【外面】貼付文、沈線文(半截竹管)、重層末端ループ文(RL)、斜行縄文(RL)	含	-
171-14	7200	C-3 ~ 4	3 ~ 4 层下部	深鉢	II J3b	口縁部～体部下半	波状縁+突起(口径[推] 27.6cm)	【外面】重層末端ループ文(RL)、非結束羽状縄文(LR, RL)	含	-
171-15	7201	B-3	3 ~ 4 层下部	深鉢	II J3b	口縁部～体部上半	波状縁	【外面】重層末端ループ文(RL)、非結束羽状縄文(LR, RL)	含	-
172-1	7202	D-4	3 ~ 4 层下部	深鉢	II B	口縁部～体部下半	波状縁	【外面】貼付文、重層末端ループ文(RL)、非結束羽状縄文(LR, RL)	含	-
172-2	403	D-3	3 ~ 4 层下部	深鉢	II J5	体部下半～底部	平底(底径 11.2cm)	【外面】非結束羽状縄文(LR, RL)【底面】斜行縄文(LR)	含	-
172-3	429	G-4	3 ~ 4 层下部	深鉢	II J7	体部下半～底部	底部形態不明	【外面】斜行縄文(L)+結節【その他】内面炭化物付着	含	-
172-4	7206	B-4	3 ~ 4 层下部	深鉢(小型土器)	II J5	口縁部～底部	平縁、上底	【外面】非結束羽状縄文(LR, RL)【底面】斜行縄文(RL)	含	-
172-5	387	C-3 ~ 4 、B-4	3 ~ 4 层下部	深鉢	II J5	体部		【外面】非結束羽状縄文(LR, RL)【その他】内面炭化物付着	含	-
172-6	409	D-4	3 ~ 4 层下部	深鉢	II I	体部		【外面】撚糸圧痕(L)+刻目	含	-
173-1	437	C-6	4層	深鉢	IX	口縁部	小波状縁+把手(口唇部鋸歯状)	【外面】貼付文+刻目(彫去)、貼付文、斜行縄文(RL)		-
173-2	436	C-6	4層	深鉢	VII B	口縁部～体部上半	平縁+突起	【口唇部】突起、貼付文【外面】貼付文、斜行縄文(LR)		-
173-3	441	E-5	4層	深鉢	IV A	口縁部～体部	平縁	【外面】刺突文、S字状連鎖撚糸文(O段)	含	-
173-4	438	C-6	4層	深鉢	IV C	体部		【外面】沈線文、刺突文		-
173-5	439	D-4	4層	深鉢	J7	口縁部	平縁	【外面】斜行縄文(LR)+結節	含	-
173-6	444	D-5 西	4層	深鉢	II J3b	体部		【外面】重層末端ループ文(RL)、非結束羽状縄文(LR, RL)【その他】補修孔	含	-
173-7	432	B-3	4層	深鉢	II J5	体部下半～底部	平底(底径 12cm)	【外面】非結束羽状縄文(LR, RL)【底面】斜行縄文(LR)	含	-
173-8	452	E-5	5 ~ 6 層	深鉢	IV A	口縁部～体部上半	波状縁	【外面】貼付文+刺突、S字状連鎖撚糸文(O段)	含	-
173-9	453	H-6	5 ~ 6 層	深鉢	IV A	口縁部～体部	平縁	【外面】貼付文+刺突、刺突文、斜行縄文(LR)【その他】補修孔	含	-
173-10	7210	C-5 トレンチ	5 ~ 6 層	深鉢	II I	口縁部	平縁	【外面】撚糸圧痕(L, R)+刻目	含	-

SX3 出土土製品観察表

図	登録No	グリッド	層位	器種	形態(法量)		装飾・調整	織維	写真図版
174-1	4005	中	検出	大型円盤状土製品	最大長 10.1cm、幅 9.7cm、厚さ 1cm		【表面】斜行縄文(LR)【縁辺】打ち欠き、磨滅	含	123-8
174-2	4012	E-6	3 ~ 4 層	大型円盤状土製品	最大長 12.8cm、幅 12.5cm、厚さ 0.9cm		【表面】斜行縄文(LR)+結節【縁辺】打ち欠き、磨滅	含	123-9
174-3	4007	E-3 ~ 4 トレンチ	検出	円盤状土製品	最大長 4.5cm、幅 4.2cm、厚さ 0.8cm		【表面】斜行縄文(LR)【縁辺】打ち欠き、磨滅	含	123-10
174-4	4008	A-4	1 ~ 2 層	円盤状土製品	最大長 3.6cm、幅 3.1cm、厚さ 1cm		【表面】斜行縄文(LR、羽状?)【縁辺】打ち欠き、磨滅	含	123-11
174-5	4006	A ~ D-5	検出	板状土偶	最大長 8.6cm、幅 6.7cm、厚さ 1.5cm(欠損)		【表面】沈線文による区画、内部に刺突 【裏面】磨滅のため不明		123-7
174-6	4043	C-5	1 ~ 2 層	大型円盤状土製品	最大長 12.5cm、幅 10.4cm、厚さ 0.8cm(一部欠損)		【表面】斜行縄文(R L)	含	-



## 【SX4 遺物包含層】

### (1) 堆積状況と分布範囲

7・9 区の丘陵南西部の南斜面に位置し、南から北に向かって入る浅い谷地形に形成されている（図版 4-187）。遺物包含層は 5 層に大別されるが、遺物を含むのは主に 1～4 層で、5 層は上部から少量出土するのみのため、基本的には包含層形成前の旧表土（基本層 III 層）と考えられる。6 層は地山漸移層である。

中央に東西方向の造成による段があり、段より下方では上層の 1～3 層が大きく削平され、谷筋に近い部分に下層堆積土が残存する。幅 39 m、奥行きは 27 m 以上で、南側は調査区外に及んでいる。段の周辺の 4 か所で立木による搅乱を受けている。なお、SX4 では遺物出土地点の記録は行なっていない。

#### [1 層]

36 × 10m の広い範囲に最大 60cm の厚さで分布する黒色土層で、炭化物・地山礫を含む。a・b の上下に細分され下層の 1b 層では、地山礫が多くなる。層中から土器埋設炉（SL19・20・22）が検出されている。

#### [2 層]

包含層中央部の 23 × 11m の範囲に最大 40cm の厚さで分布する層で、分布の東半部では下面が落ち込むか所がある。焼土粒・炭化物粒を含み径 5～10mm の地山礫を多く含む土層で、色調により a・b の上下に細分され、2a 層は極暗褐色、2b 層は黒褐色を呈する。本包含層において最も遺物の含有量が多い。また、丘陵頂部に分布する住居跡・柱穴群の埋土と特徴が似ておりこれらの機能時に形成された包含層とみられる。

#### [3 層]

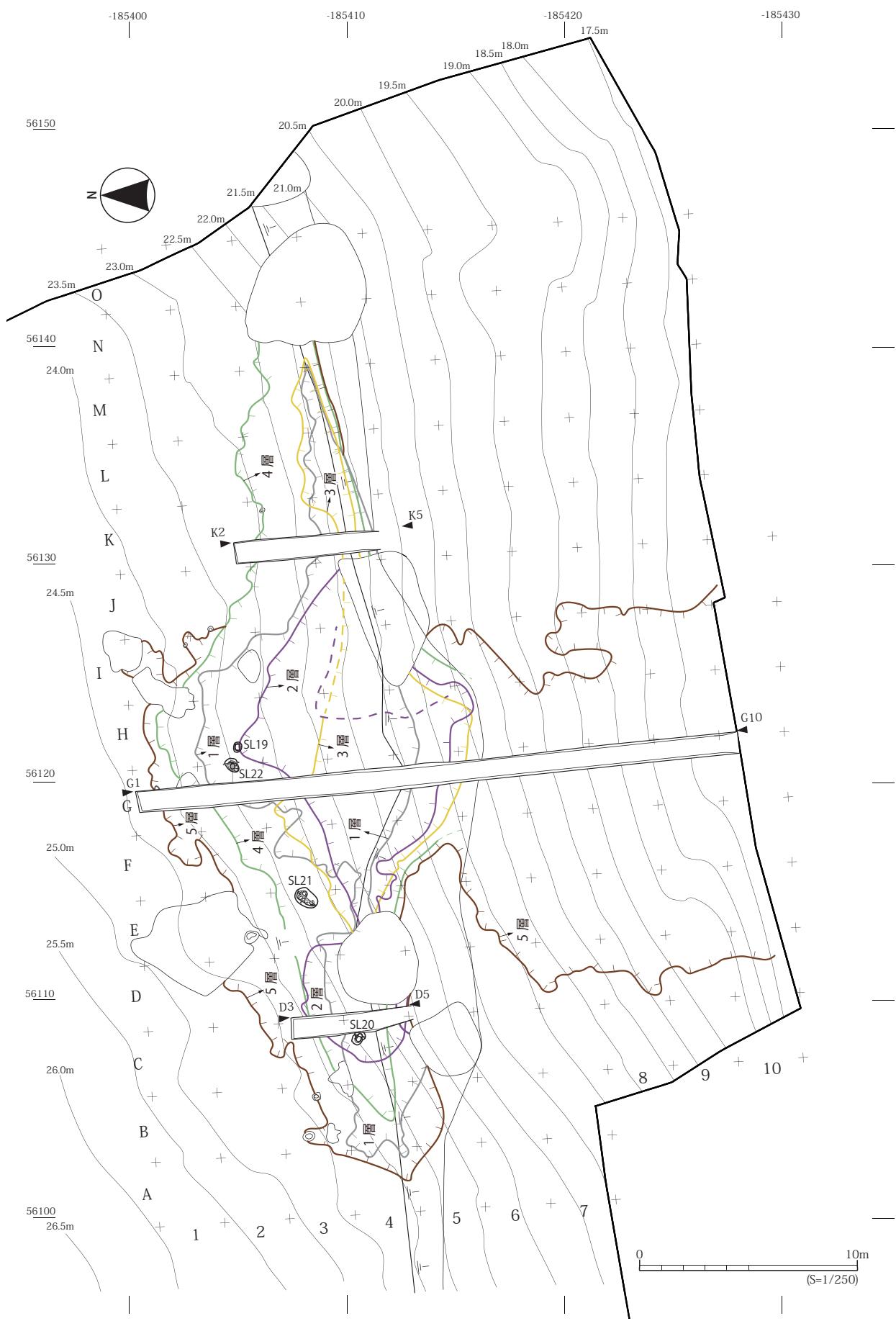
遺物包含層の中央部～東側の 27 × 9m の範囲に、5cm ほどの厚さで分布する。火山灰ブロック主体の灰黄褐色で火山灰の二次堆積層と考えられる。層中に遺物を含む。

#### [4 層]

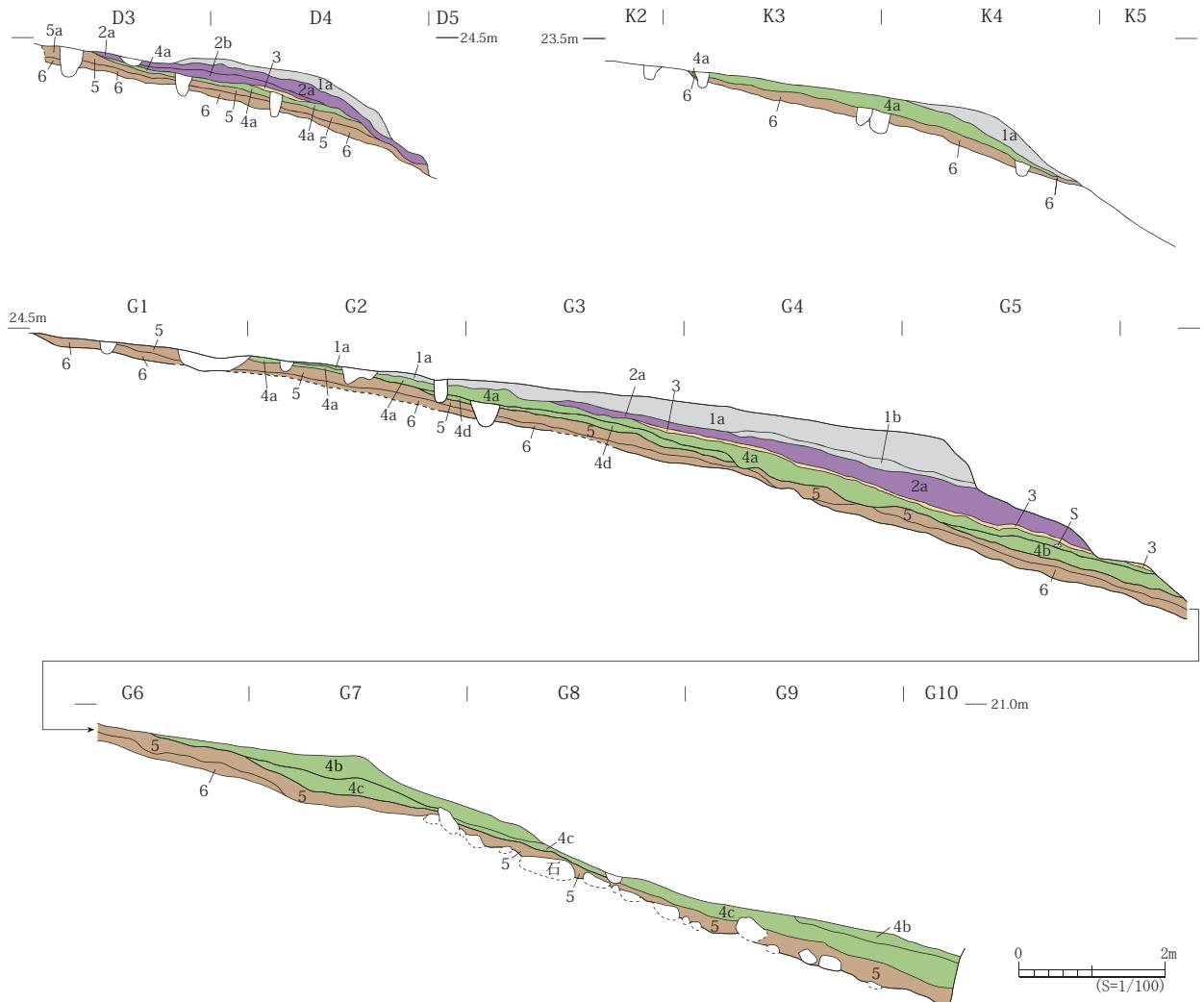
36 × 25m の広い範囲に最大 60cm の厚さで分布し、南側は調査区外に及ぶ。焼土粒・炭化物粒・地山礫を含む黒褐色土である。含有物の多寡により 4 層に細分される。4c・4d 層では地山礫がやや少くなり遺物の量が減少し、4c 層では遺物をほとんど含まない。

#### [5・6 層]

包含層範囲全体に分布する。上部の 5 層は焼土粒・炭化粒・地山礫を少量含む黒褐土で、上半部に遺物を若干含む。下部の 6 層は地山漸移層である。



図版 4-187 SX4 遺物包含層平面図



層	土色	土質	混入物等	性格
1a	黒 (10YR2/1)	シルト	焼粒・炭化物粒を含む・礫・径 2 ~ 5mm の風化礫粒を多く含む	
1b	黒 (10YR2/1)	シルト	1a層より若干黒味が強く・礫・風化礫粒の含有量が増す	
2a	極暗褐 (7.5YR2/3)	シルト	赤みが強いことが特徴・焼粒・炭化物粒を含む・礫・径 5 ~ 10mm の風化礫粒を多く含む	
2b	黒褐 (10YR2/3)	シルト	2 層と含有物の特徴など共通しているが、やや黒みが強い。	
3	灰黄褐 (10YR2/2)	シルト	火山灰ブロック (10YR5/3 にぶい黄褐色) 主体の層	火山灰二次堆積
4a	黒褐 (10YR2/2)	シルト	焼土粒・炭化物粒を含む・礫・径 10mm 程の風化礫多く含む	
4b	黒褐 (7.5YR3/1)	シルト	焼土粒・炭化物粒を少量含む・礫・径 10mm 程の風化礫多く含む	
4c	黒褐 (10YR2/3)	シルト	焼土粒・炭化物粒を少量含む・礫・径 5mm 程の風化礫を含むが他層より含有量が少なめ	
4d	黒褐 (7.5YR2/2)	シルト	焼土粒・炭化物粒を少量含む・礫・径 4mm 程の風化礫を含むが他層より含有量が少なめ	
5	黒褐 (7.5YR3/2)	シルト	焼土粒・炭化物粒を少量含む・礫・径 5 ~ 10mm の風化礫を含むが他層より含有量が少なめ。若干の遺物 (特に層上半・分層不可)・焼土粒・炭化物粒を含む。遺物の含有量がきわめて少ない	旧表土
6	褐 (7.5YR4/4)	シルト	層の堆積にやや凸凹がみられ 5 層と地山が漸移的に混じる・礫・径 20 ~ 30mm 大粒の風化礫を多く含む	漸移層
7	明褐～褐 (7.5YR5/6 ~ 7.5YR4/6)	シルト	礫・風化礫混じり (部分的に砂質シルト層が認められる)	地山

図版 4-188 SX4 遺物包含層断面図

## (2) SX4 出土土器

### [表土・検出] (図版 4-189、図版 4-195、写真図版 124)

検討対象土器は 137 点で、5 点を掲載した。図版 4-189-1 は、体部上半に加飾のない貼付文と刻目のある貼付文が連携して展開する。図版 4-189-2 は、半截竹管による押引きで頸部が横位に区画され、口縁部に縦位鋸歯状文が施される。図版 4-189-3 は、体部が膨らみ、頸部でくびれ、口縁部が外反する深鉢で、口縁部を中心に半截竹管の横位・縦位の刺突列と鋸歯状沈線文が施される。

### [1 層] (図版 4-189 ~ 4-190、図版 4-195、写真図版 124 ~ 125)

検討対象土器は 202 点で、14 点を掲載した。いくつか特徴の異なる土器群が出土している。図版 4-189-4 ~ 6、4-190-1 ~ 3 は、加飾のある貼付文、半截竹管等の沈線文、刺突文などが施される。図版 4-195-4 ~ 7 は、隆線文、沈線文、刺突文が施され、縄文はこれらの区画内に見られる。図版 4-195-9 は口唇部が鋸歯状になり、頸部に刺突を加えられた貼付文がめぐる。類似する横位貼付文が図版 4-195-8 にも見られる。

### [2 層] (図版 4-190 ~ 4-192、図版 4-195、写真図版 125 ~ 126)

検討対象土器は 202 点で、18 点を掲載した。

図版 4-190-4、5 は加飾のない貼付文を主とする土器で、4 は口唇部が鋸歯状になり、体部上位に鋸歯状の貼付文が施される。5 は波状など曲線的な貼付文が施される。

図版 4-191-1 ~ 7 は、加飾のある貼付文や半截竹管の沈線文、押引文等による文様が施される土器である。図版 4-191-8、9 にも加飾のある貼付文が用いられる。他に、図版 4-192-1 は、棒状工具の沈線に刺突を加えるもの、図版 4-192-2 は横位刺突列が口縁部にめぐる。

### [3 層] (図版 4-192 ~ 図版 4-193、図版 4-195 ~ 4-196、写真図版 127)

検討対象土器は 170 点で、13 点を掲載した。図版 4-192-3 ~ 5、4-193-1 ~ 6 は、口縁部を中心 加飾のある貼付文、棒状工具の沈線文、刺突列等を単独または組み合わせた文様が展開する。

### [4 層] (図版 4-194、図版 4-196、写真図版 128)

検討対象土器は 214 点で、11 点を掲載した。図版 4-194-1 は、沈線文の区画内に撚糸文が施される。口縁部に弧状の隆線が加えられる。他に、粘土紐貼付文(図版 4-196-2 等)、沈線文(図版 4-194-2 等)、刺突文(図版 4-194-3 等)、撚糸圧痕文(図版 4-194-4 等)など、多様な文様の土器が出土している。

### [その他] (図版 4-194、図版 4-196、写真図版 128)

上記以外に、SX4 出土で出土層を詳細に捉えられない土器を補足資料として 10 点掲載した。1 ~ 4 層、2 ~ 3 層、2 ~ 4 層、3 ~ 4 層、4 ~ 5 層、5 ~ 6 層、層不明の土器がある。

## (3) SX4 出土土製品 (図版 4-196、写真図版 128)

土製品と見られる 1 点を掲載した。図版 4-196-17 は、1 層から出土した板状土偶の一部と見られる無文の破片である。

#### (4) SX4 出土石器・石製品

SX4 では、石器・石製品が 1669 点出土している。器種別の点数は、石鏃 63 点、尖頭器 19 点、石錐 3 点、石匙 18 点、箆状石器 7 点、打製石斧 13 点、礫器 1 点、磨製石斧 2 点、板状石器 6 点、楔形石器 4 点、不定形石器 55 点、磨石・敲石類 269 点、砥石 6 点、石皿・台石類 70 点、剥片 1063 点、石核 27 点、円盤状石製品 1 点、石錐 1 点、玦状耳飾 6 点、扁平円形状石製品 10 点、ヘラ状石製品 1 点、石棒・石劍類 21 点、岩偶 1 点、石器模造品 1 点である。

##### [表土・検出] (写真図版 187)

表土・検出からは 108 点出土し、石鏃 8 点、尖頭器 2 点、箆状石器 1 点、礫器 1 点、磨製石斧 1 点、不定形石器 1 点、磨石・敲石類 39 点、石皿・台石類 20 点、剥片 30 点、石棒・石劍類 5 点である。石鏃は、基部の形態が凹基で抉りが深いもの (写真図版 187-1) と浅いものが主体的にみられる。

##### [1 層] (図版 4-197 ~ 4-198、写真図版 187)

1 層からは 348 点出土し、石鏃 6 点、尖頭器 2 点、石錐 1 点、石匙 2 点、箆状石器 2 点、打製石斧 2 点、板状石器 2 点、楔形石器 2 点、不定形石器 13 点、磨石・敲石類 64 点、砥石 1 点、石皿 13 点、剥片 213 点、石核 10 点、円盤状石製品 1 点、扁平円形状石製品 4 点、石棒・石劍類 9 点、石器模造品 1 点である。

図版 4-197-1 の石匙は、つまみ部に対して先端部が斜方向に長いものである。箆状石器は、左右対称で刃部がやや開くものと全体の形状が橢円形を呈するもの (図版 4-197-2) がある。楔形石器は、対になる 2 辺 1 組に両極剥離痕がみられるもの (図版 4-197-3) である。不定形石器は、剥片等の縁辺に二次加工を施すものが主体を占めており、図版 4-197-4 と図版 4-197-5 はともに縁辺の大半に連続的な二次加工を施すものである。磨石・敲石類は、円礫・橢円礫を素材とし、磨面や敲打痕、凹痕、剥落痕を複合的に持つもの (図版 4-197-6、7、図版 4-198-1) が主体を占めている。図版 4-198-2 の石器模造品は、尖頭部をもち、先端が薄く扁平なもので、全面的に研磨による丁寧な調整がなされている。基部の形態は、浅い抉りが入れられており、2 個の逆刺が作出されている。尖頭器の模造品と考えられる。

##### [2 層] (図版 4-198 ~ 4-199、写真図版 187 ~ 188)

2 層からは 594 点出土し、石鏃 23 点、尖頭器 4 点、石錐 2 点、石匙 4 点、箆状石器 2 点、磨製石斧 1 点、楔形石器 1 点、不定形石器 21 点、磨石・敲石類 47 点、砥石 2 点、石皿・台石類 10 点、剥片 457 点、石核 6 点、石錐 1 点、玦状耳飾 3 点、扁平円形状石製品 3 点、ヘラ状石製品 1 点、石棒・石劍類 5 点、岩偶 1 点である。

石鏃は、基部の形態が抉りの浅い凹基 (図版 4-198-4) が主体を占めているが、抉りの深い凹基 (図版 4-198-3) もみられる。また点数は凹基よりも少ないが平基 (図版 4-198-5) もみられる。図版 4-198-6 の尖頭器は、基部を直線的に調整しているものである。石匙は、つまみ部に対して先端部が縦型のものと斜め方向に長いもの (図版 4-198-7) がみられる。不定形石器は、剥片等の縁辺に二次加工を施すものが主体を占めており、図版 4-198-8 と図版 4-198-9 は、縁辺の大半に連続的な二次加工を施しているものである。磨石・敲石類は、円礫・橢円礫を素材とし、磨面や敲打

痕、凹痕、剥落痕を複合的に持つものが最も多い以外に、側面稜部に幅の狭い磨面をもつもの（図版 4-198-10）や 70mm 以下の小形の礫を素材として、磨面をもつもの（図版 4-198-11）がみられる。図版 4-199-1 の砥石は、側面稜部に幅の狭い磨面をもつ磨石の片面に多数の溝をもつものであり、磨石・敲石類からの転用と考えられる。図版 4-199-2～4 の玦状耳飾は、全て平面形が長方形を呈するものである。図版 4-199-5 のヘラ状石製品は、全面を研磨により成形されており、特に下半部は薄く成形されている。縦の断面をみると、全体的に若干湾曲した形状を呈している。一端に貫通孔がみられる。貫通孔は、両面からの穿孔により加工されている。貫通孔より上部は欠損している。石棒・石剣類は、剥離や敲打により角棒状にしたものや、敲打や研磨により成形されているもの（図版 4-199-6）、ほぼ全面が研磨により成形されているものがみられる。図版 4-199-7 の岩偶は、板状を呈しており、剥離と研磨によって成形されている。平面形は、両側辺が直線的で、下部に向かって若干開く長方形状を呈している。2 種類の幅で横位・縦位・斜位などの沈線による文様が描かれている。表面の上部には複数の斜位の沈線によって「V」字状の文様が描かれており、裏面の上部には縦位と横位の沈線の連続によって網目状の文様が描かれている。

### [3 層] (図版 4-200、写真図版 188)

3 層からは 156 点出土し、石鏃 2 点、石匙 6 点、打製石斧 1 点、楔形石器 1 点、不定形石器 2 点、磨石・敲石類 18 点、砥石 1 点、石皿・台石類 4 点、剥片 114 点、石核 5 点、玦状耳飾 2 点である。

石匙は、つまみ部に対して先端部が縦型のもの（図版 4-200-1～3）である。玦状耳飾は、平面形が円形で断面形が扁平なもの（図版 4-200-5）と未完成品（図版 4-200-4）である。

### [4 層] (図版 4-200～4-201、写真図版 189)

4 层からは 293 点出土し、石鏃 17 点、尖頭器 9 点、石匙 5 点、打製石斧 6 点、板状石器 1 点、不定形石器 7 点、磨石・敲石類 56 点、石皿・台石類 10 点、剥片 175 点、石核 2 点、玦状耳飾 1 点、石製品素材 3 点、石棒・石剣類 1 点である。

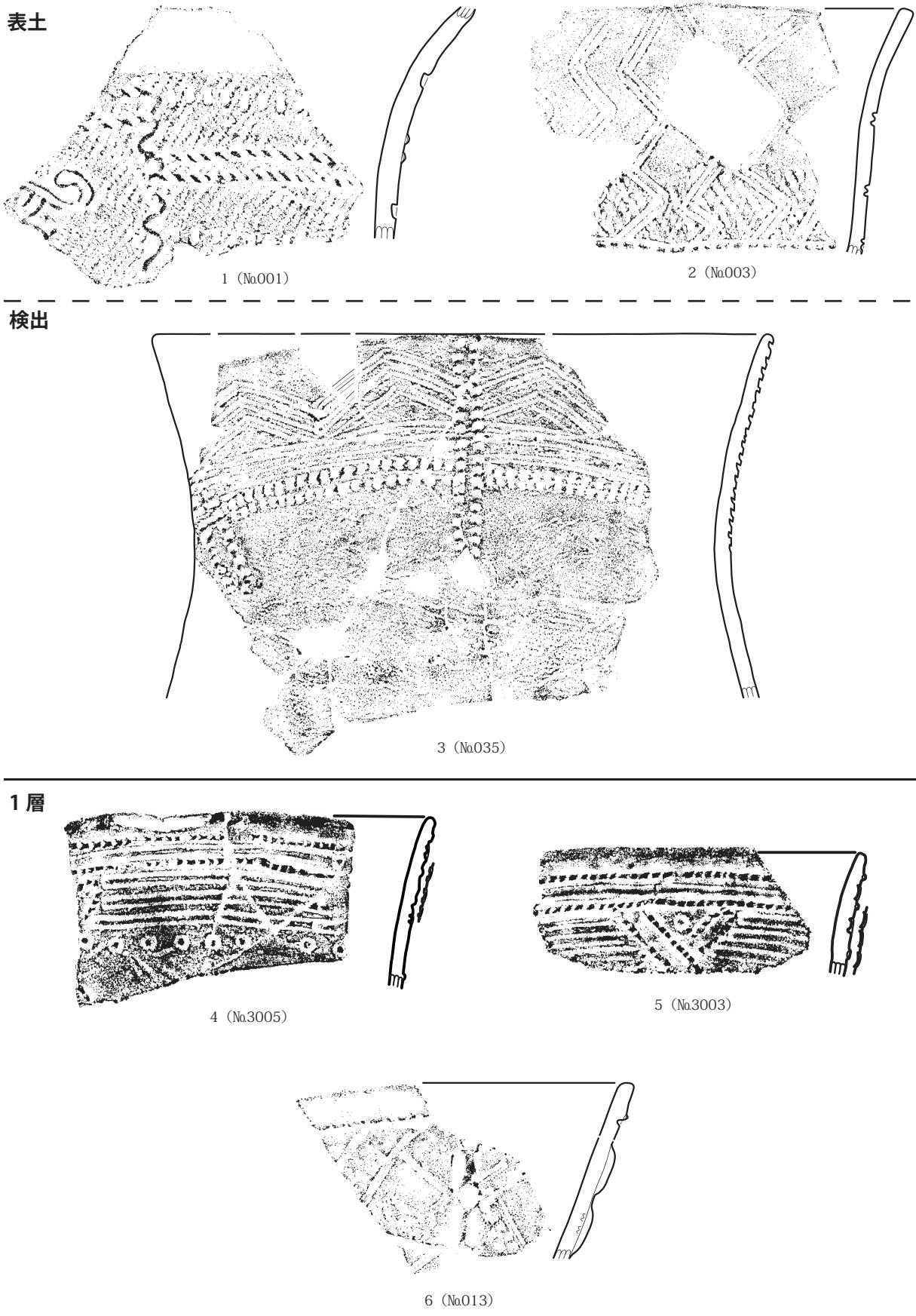
尖頭器は、基部を半円形に調整しているもの（図版 4-200-6）と基部に浅い抉りを入れ、2 個の逆刺を作出しているものがみられる。石匙は、つまみ部に対して先端部が縦型のものと斜め方向に長いもの（図版 4-200-7、図版 4-201-1）がみられる。磨石・敲石類は、円礫・楕円礫を素材とし、磨面や敲打痕、凹痕、剥落痕がみられるものが主体を占め、図版 4-201-3 と図版 4-201-4 は凹痕を有するものである。図版 4-201-5 の玦状耳飾は、平面形が円形のもので、切れ目の部分に貫通孔がみられる。図版 4-201-2 の石棒・石剣類は、全面研磨され、断面形が楕円形を呈し、柄頭を沈線で区画して両端に貫通孔を有するものである。

### [5 層]

5 層からは磨石・敲石類 3 点が出土している。

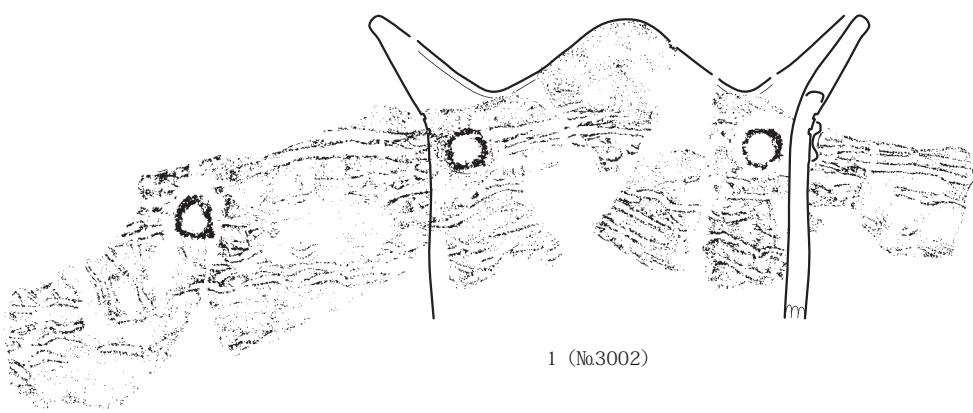
### [層不明・攪乱]

層不明・攪乱からは 101 点が出土し、石鏃 1 点、尖頭器 2 点、打製石斧 3 点、板状石器 3 点、不定形石器 7 点、磨石・敲石類 30 点、砥石 2 点、石皿・台石類 7 点、剥片 42 点、石核 3 点、石錘 1 点である。

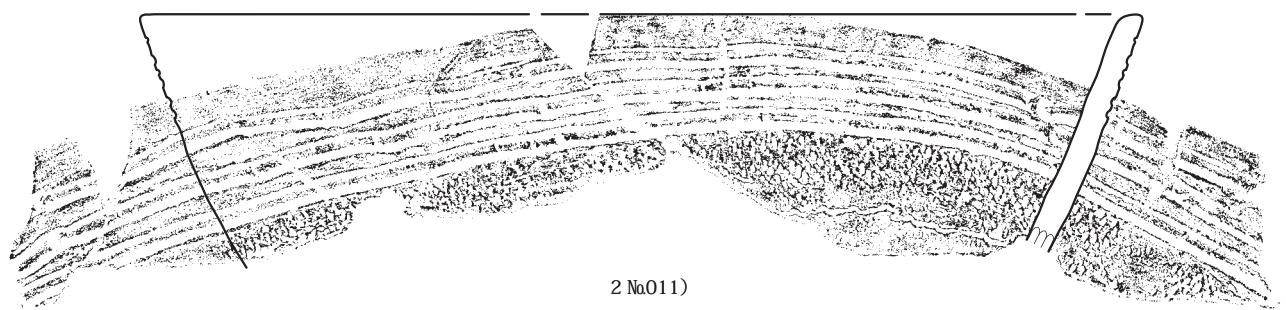


図版 4-189 SX4 出土土器 (1)

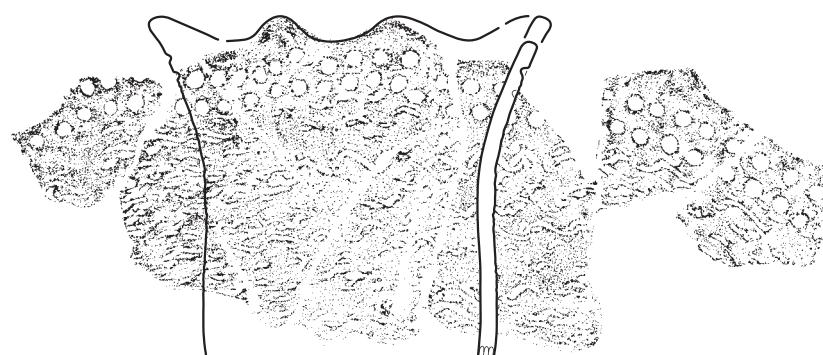
1層



1 (No.3002)



2 No.011



3 (No.3001)

0 10cm  
(S=1/3)

2層



4 (No.032)

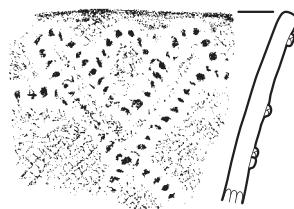
5 (No.021)

図版 4-190 SX4 出土土器 (2)

2層



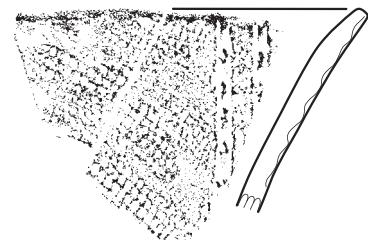
1 (No.026)



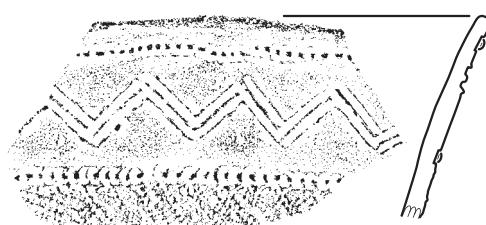
2 (No.034)



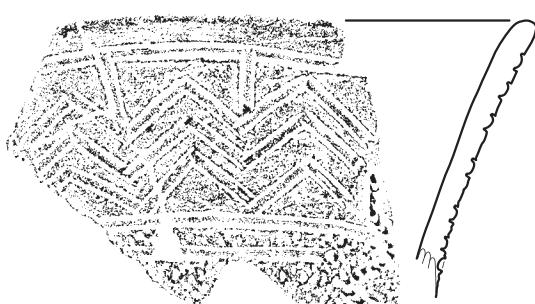
3 (No.024)



4 (No.040)



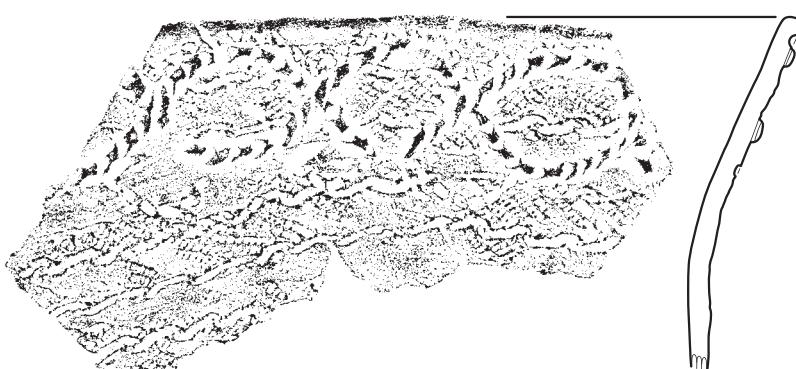
5 (No.041)



7 (No.029)



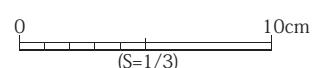
6 (No.023)



8 (No.022)

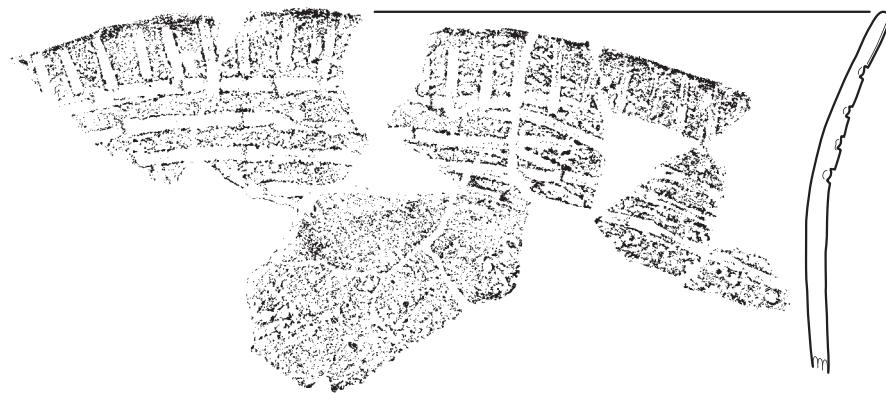


9 (No.039)



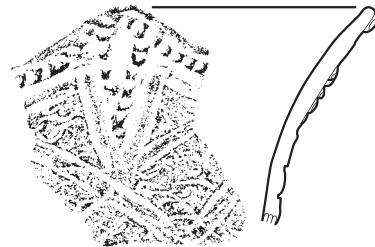
図版 4-191 SX4 出土土器 (3)

2層

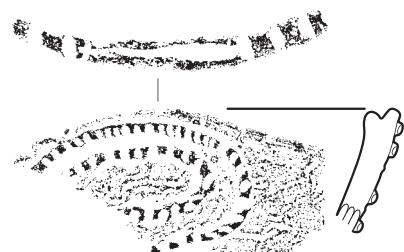


1 (No.036)

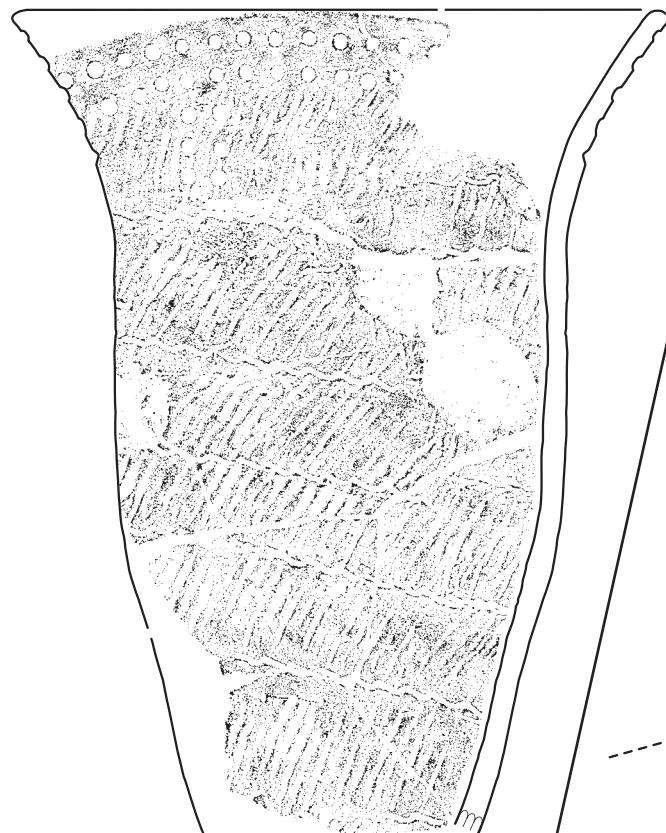
3層



3 (No.060)



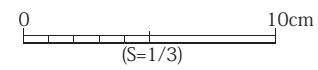
4 (No.046)



2 (No.038)

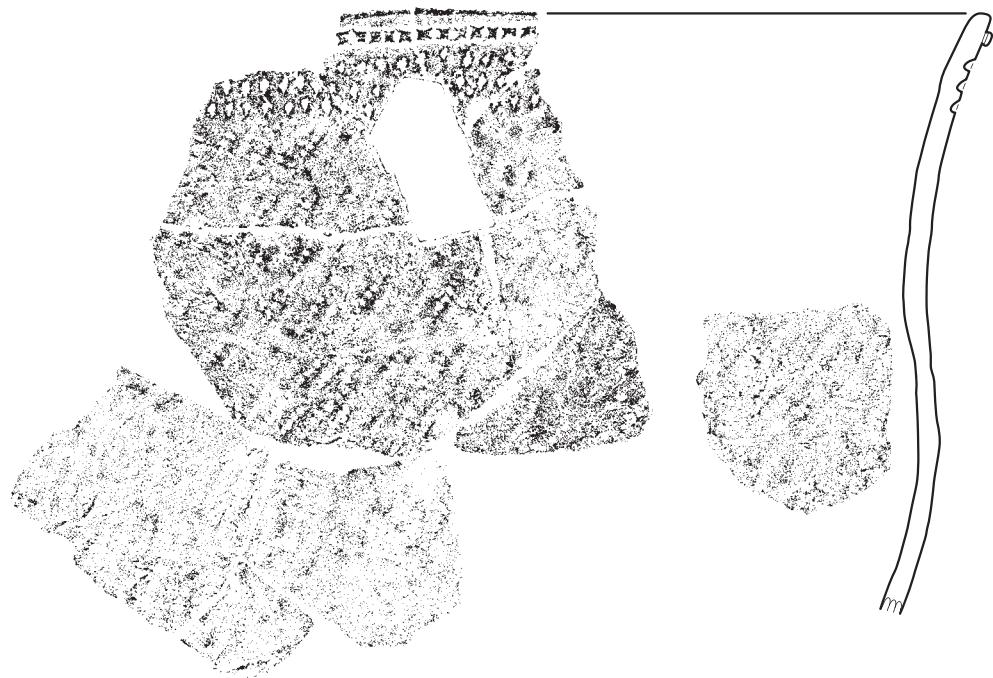


5 (No.031)

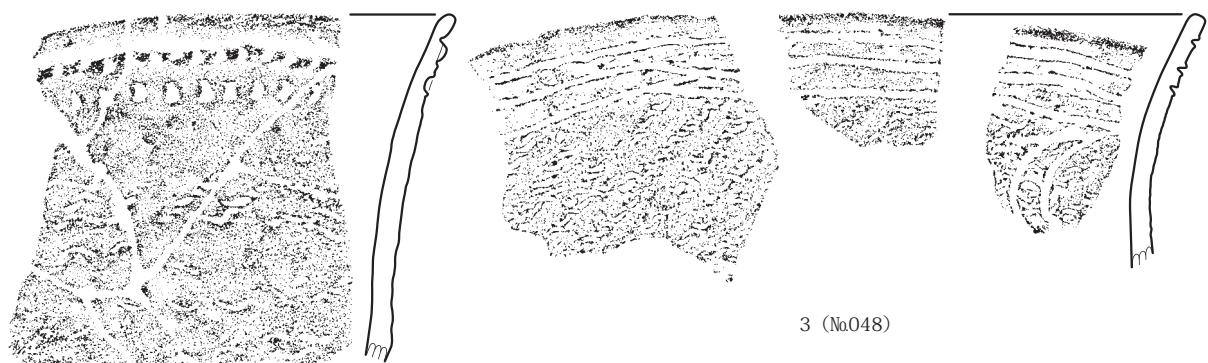


図版 4-192 SX4 出土土器 (4)

3層



1 (No.051)



3 (No.048)

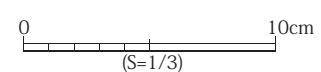
2 (No.062)



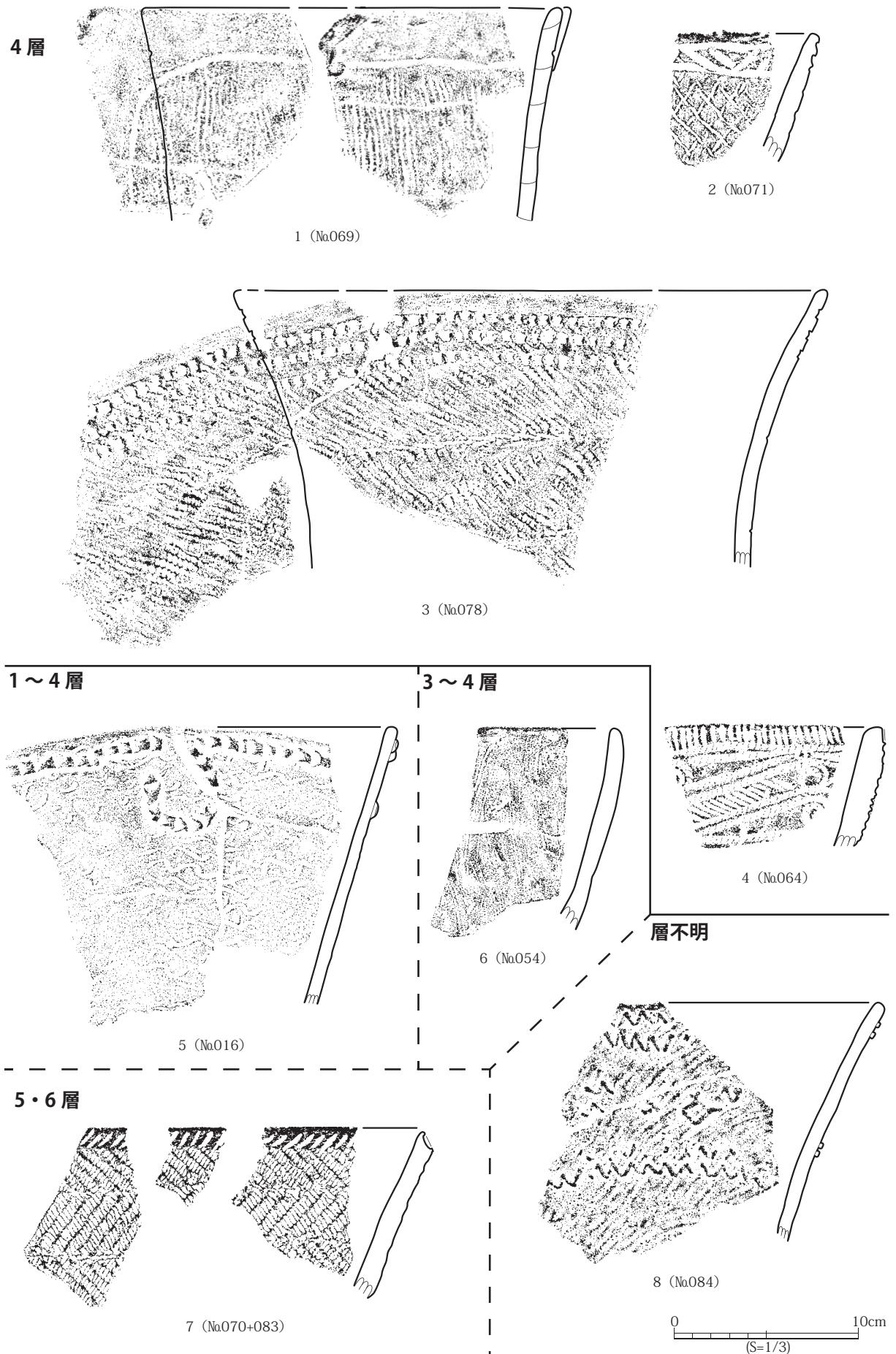
4 (No.061)

5 (No.015+052)

6 (No.058)



図版 4-193 SX4 出土土器 (5)



図版 4-194 SX4 出土土器 (6)

表土・検出



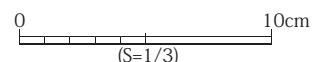
1層



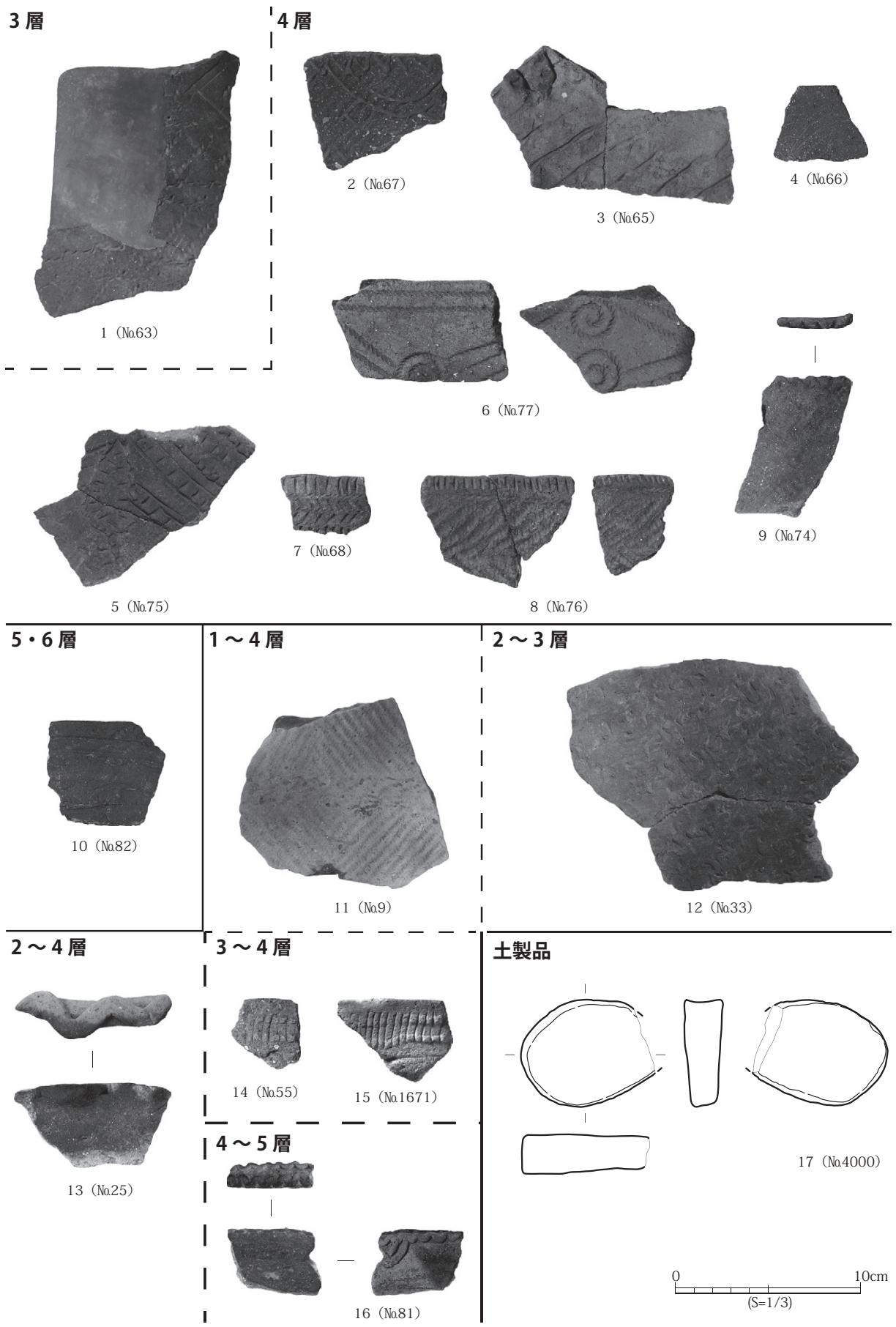
2層



3層

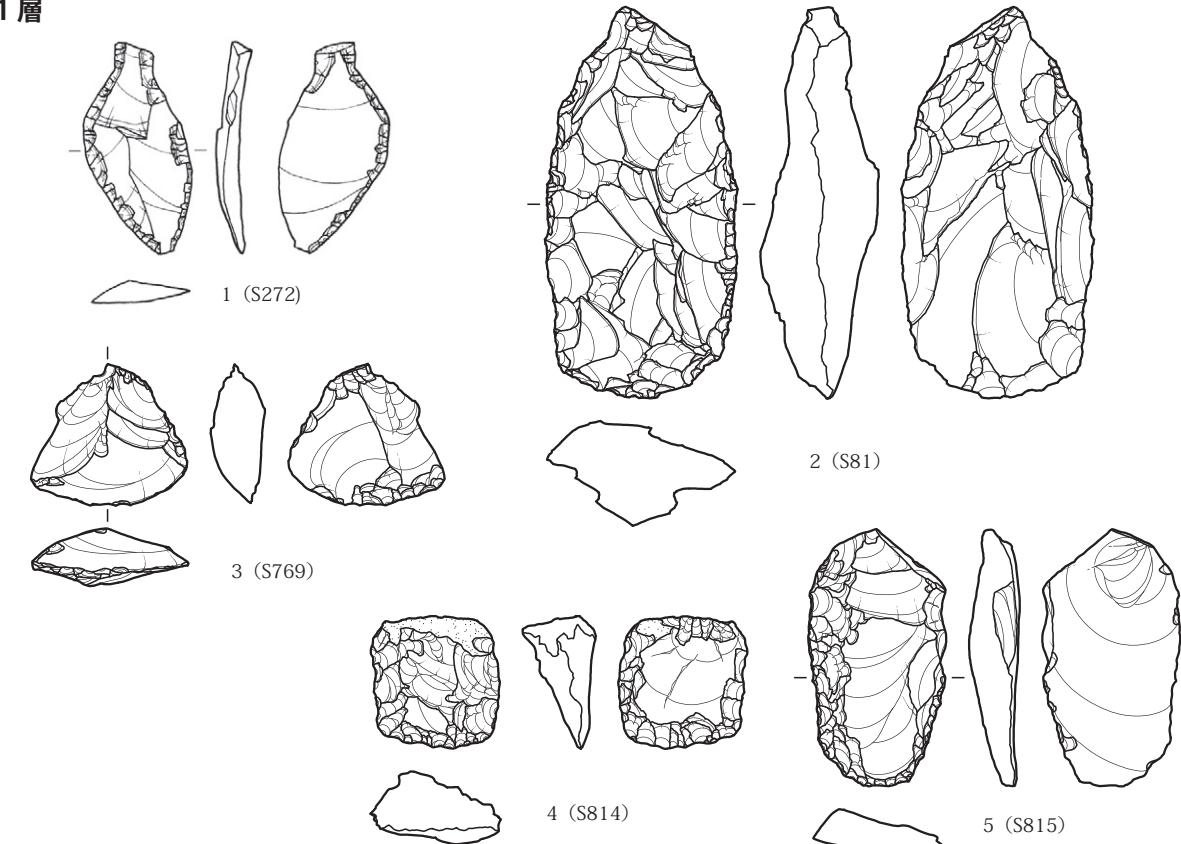


図版 4-195 SX4 出土土器 (7)

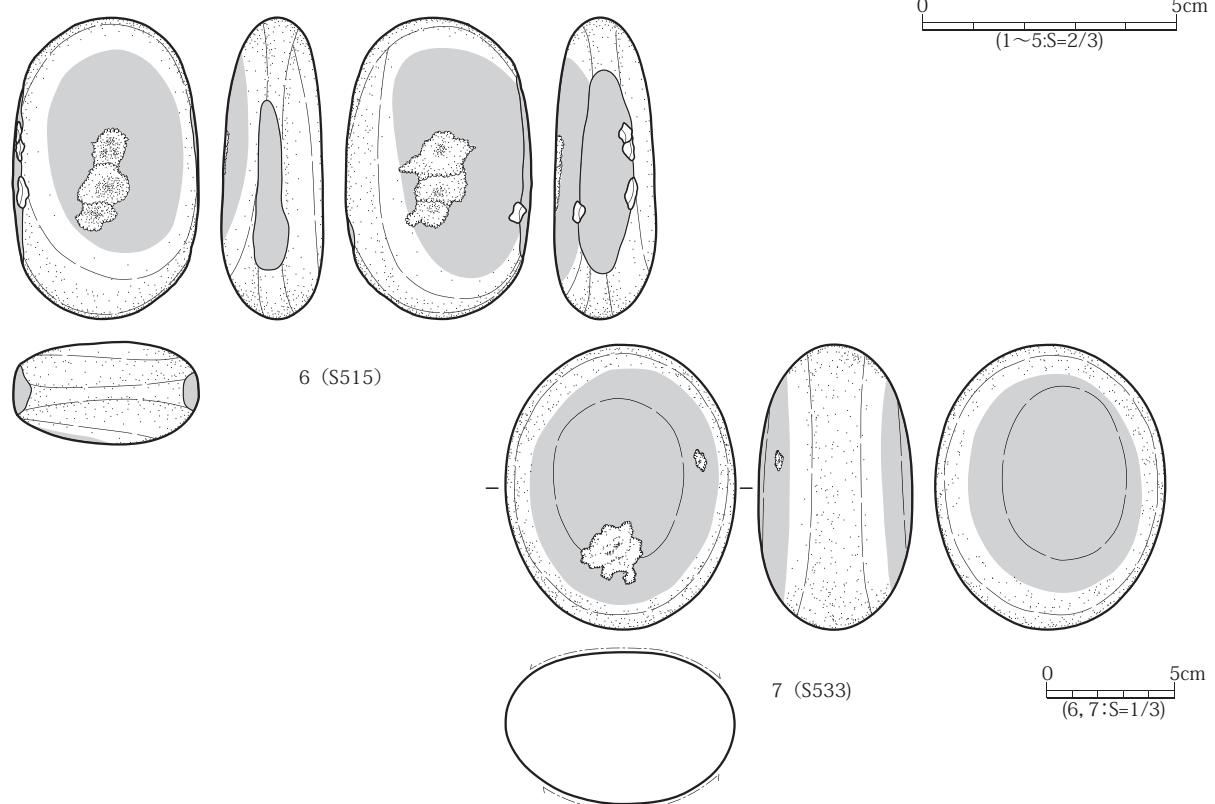


図版 4-196 SX4 出土土器 (8) · 土製品

1層

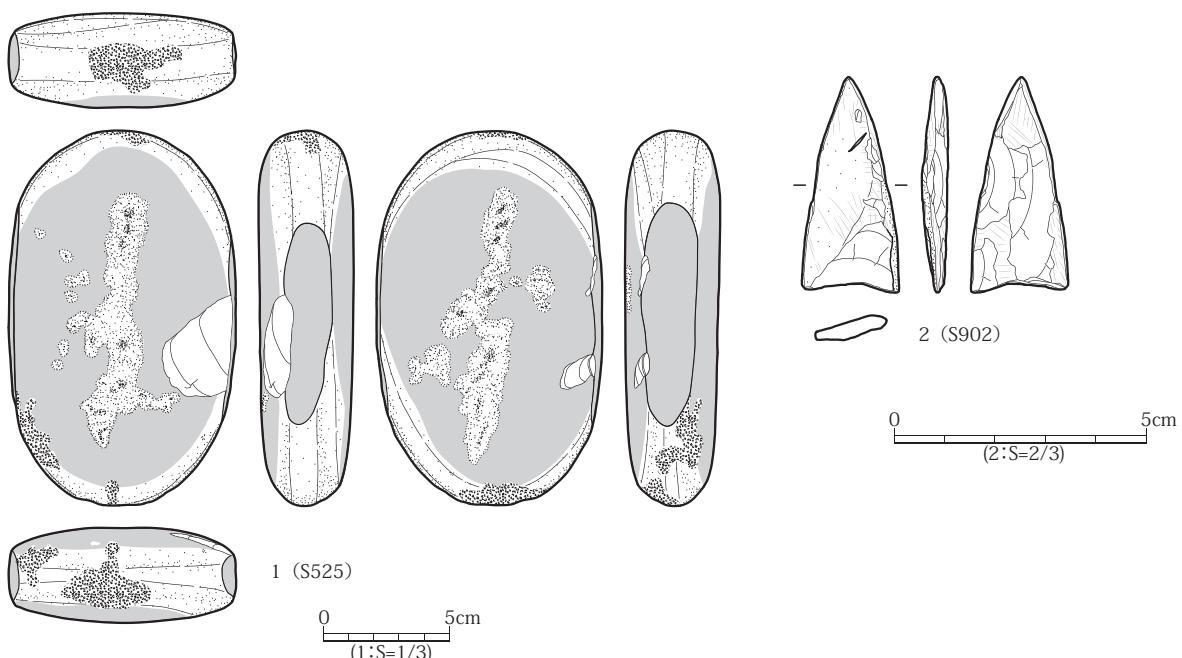


0 5cm  
(1~5:S=2/3)

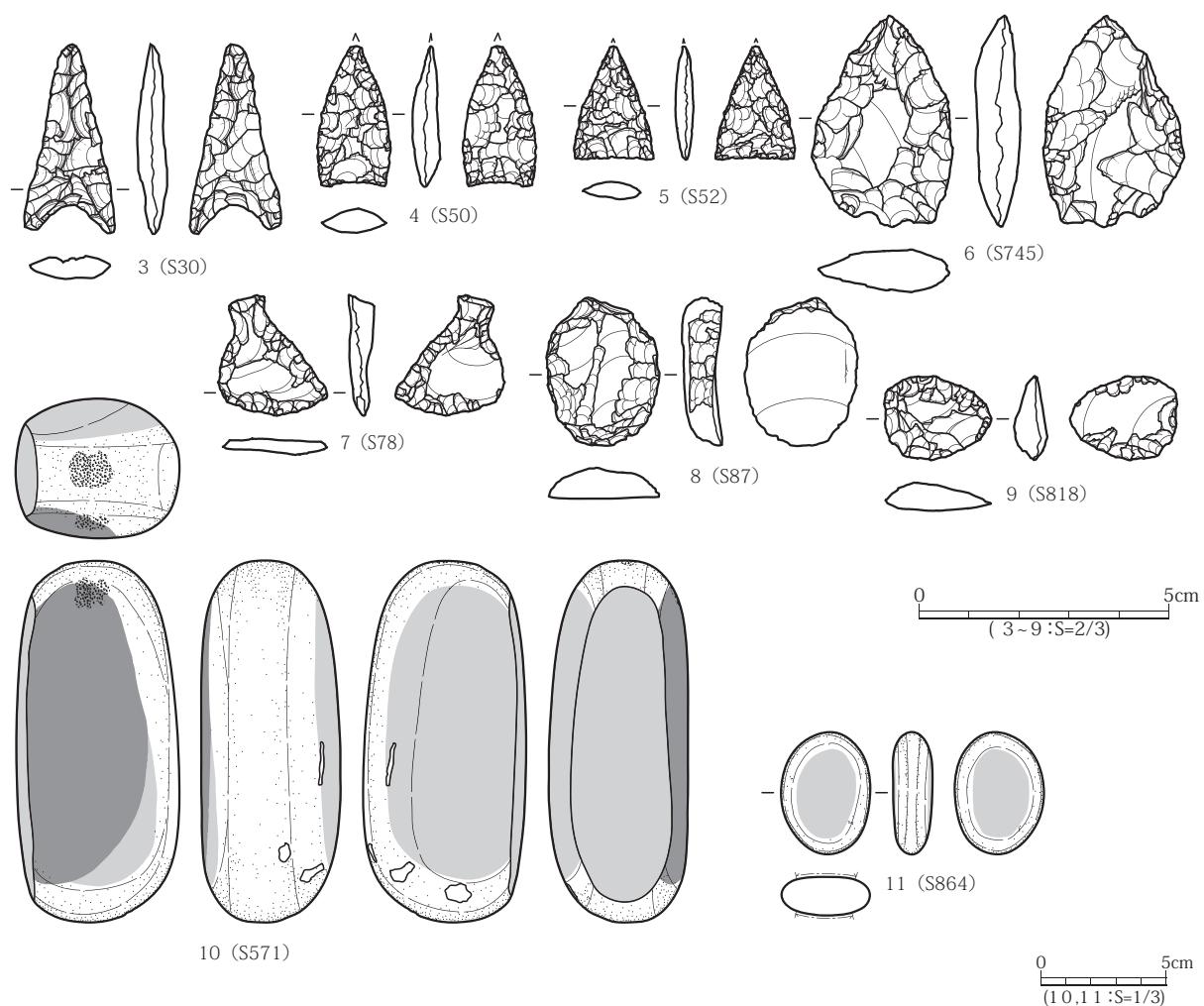


図版 4-197 SX4 出土石器・石製品 (1)

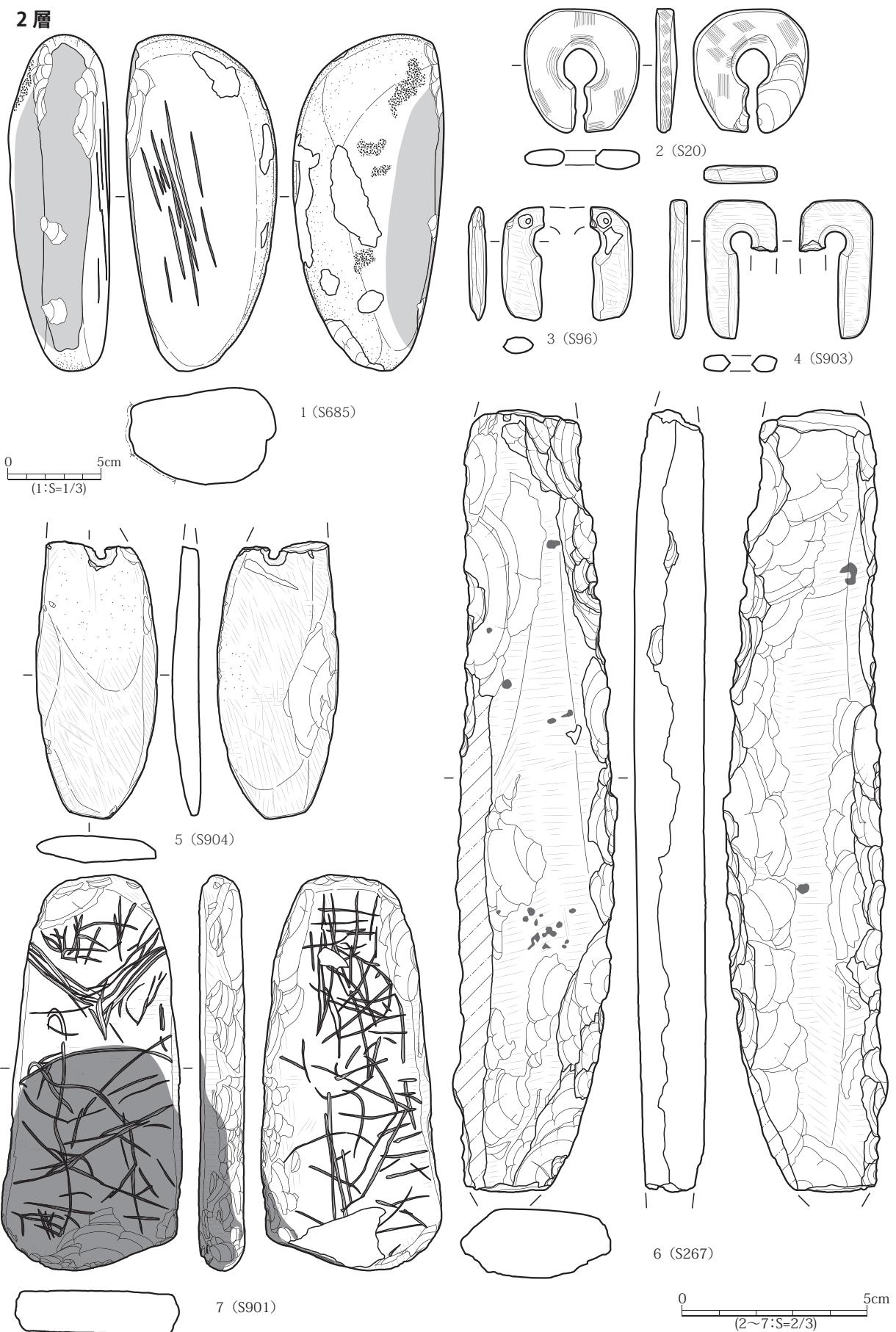
1層



2層

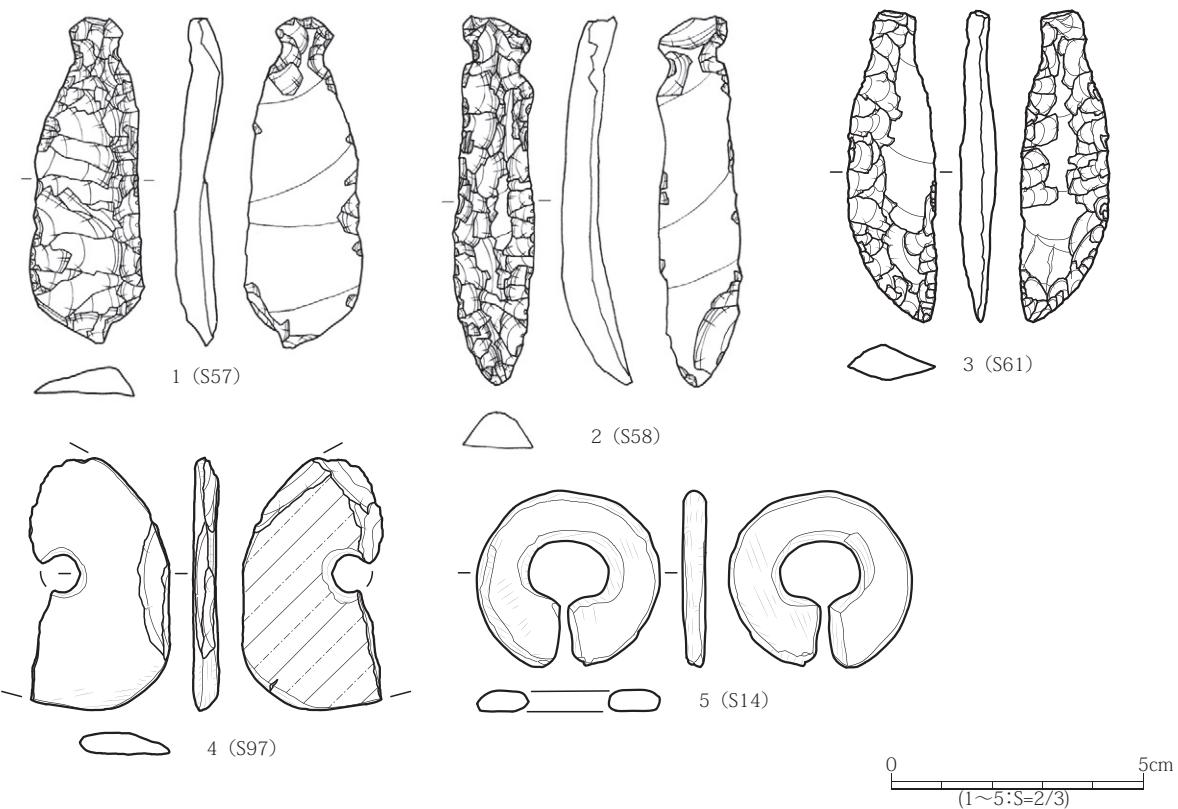


図版 4-198 SX4 出土石器・石製品 (2)

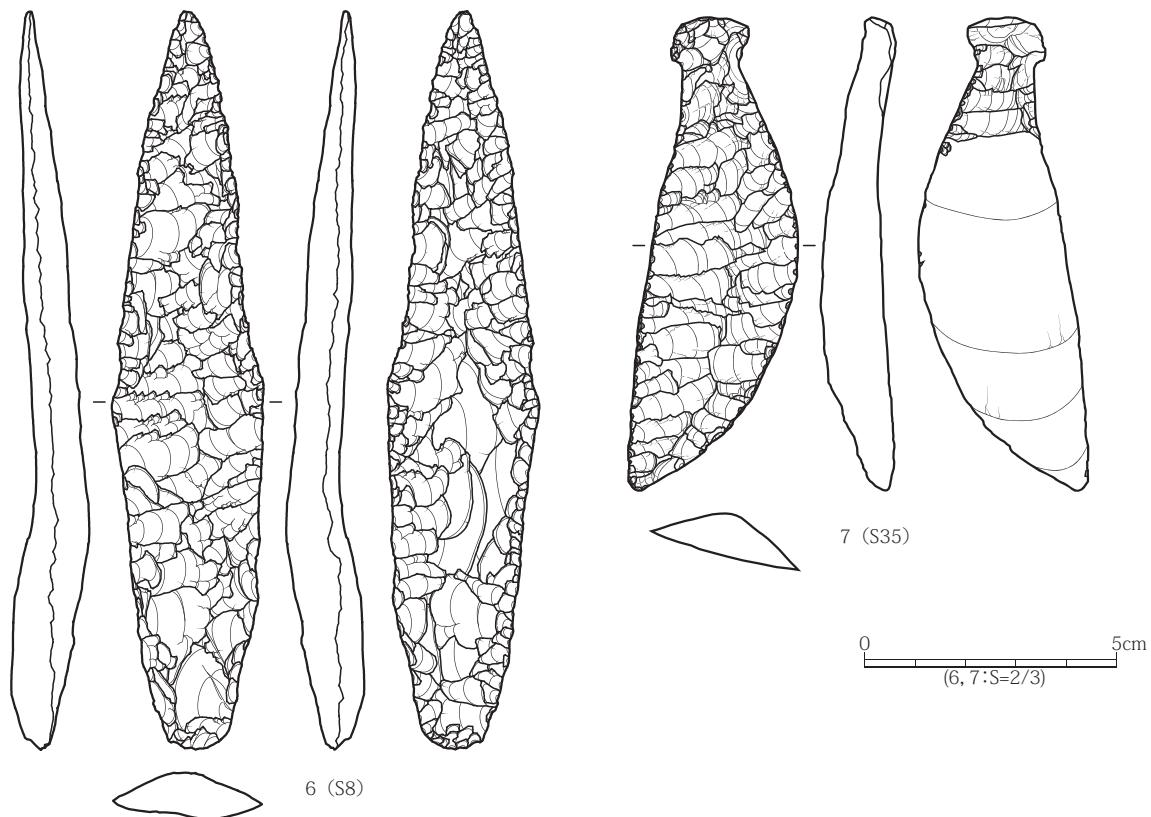


図版 4-199 SX4 出土石器・石製品 (3)

3層

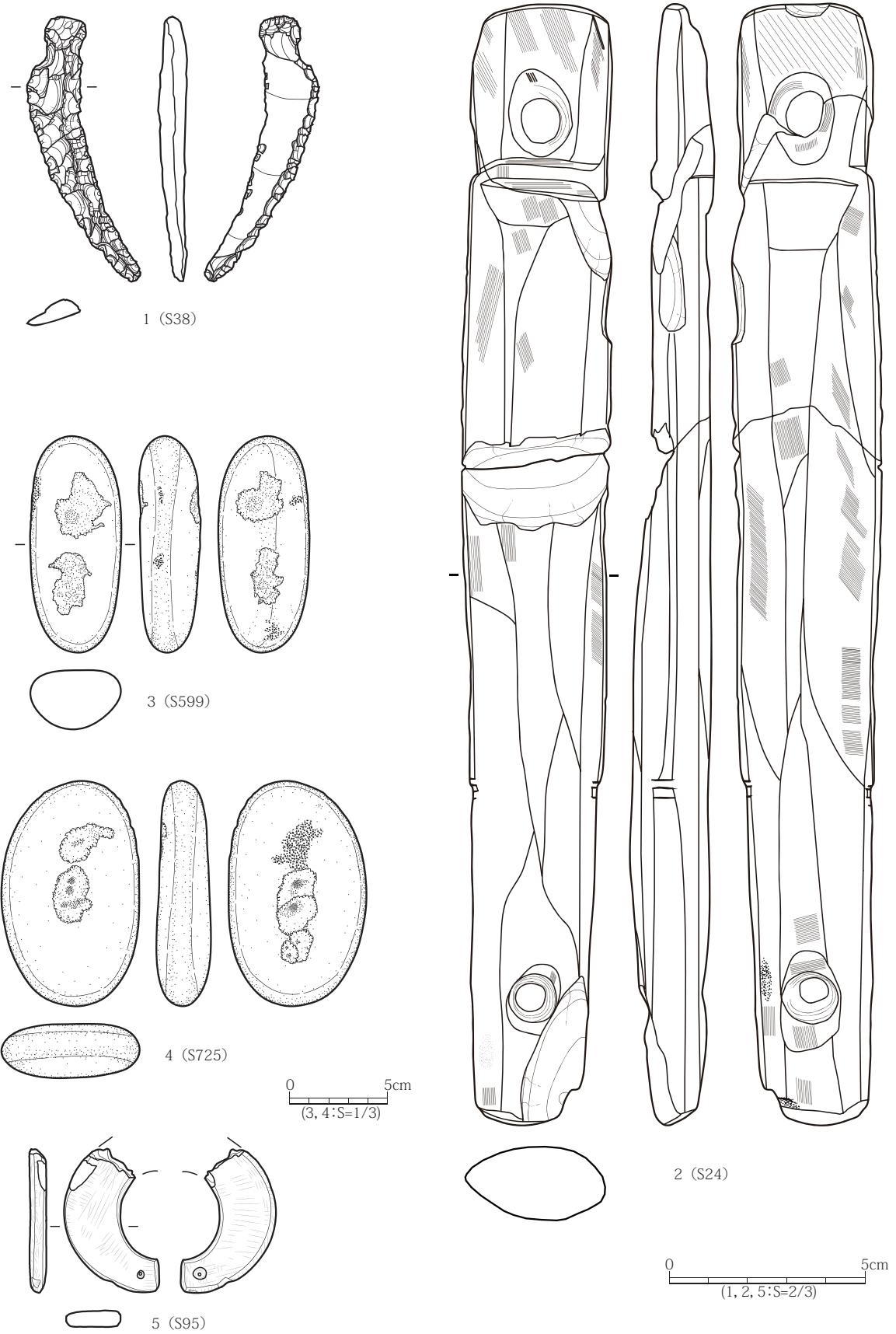


4層



図版 4-200 SX4 出土石器・石製品 (4)

4層



図版 4-201 SX4 出土石器・石製品 (5)

〈SX4 出土土器観察表〉

図	登録 No	グリッド	層位	器種 類型	装飾類型	部位	形態 (法量)	装飾・調整	織維	写真 図版
189-1	1	中央	表土	深鉢	VII B2	体部上半		【外面】縦位波状・蕨手状貼付文+横位貼付文+刻目、縦位刻目横列、斜行繩文 (LR)		124-1
189-2	3	中央	表土	深鉢 B	V～VII D	口縁部～体部上半	平縁	【外面】縦位鋸歯状沈線文(半截竹管)、横位押引文(半截竹管)、斜行繩文 (RL)		124-2
189-3	35	中央トレンチ	検出	深鉢 B3	V～VI D	口縁部～体部上半	平縁 ((推)口径 33cm)	【外面】横位・横位鋸歯状沈線文(半截竹管)、横位・縦位刺突列(半截竹管)、斜行繩文 (RL) +結節		124-3
189-4	3005・ 3003	試掘 1 トレンチ西	1 層	深鉢	IV～VI A2	口縁部	口縁 ((推)口径 36cm)	【外面】横位・斜位貼付文+押引き(半截竹管)、横位沈線文+刺突(半截竹管)、横位刺突文(円形竹管)、結節繩文 (RL)	含	124-4・ 5
189-6	13	東トレンチ 西側 K-4	1 层	深鉢	IV～VI A1c	口縁部	波状縁	【外面】横位貼付文+刻目、縦位貼付文+押压、斜位沈線文(半截竹管)、刺突文(半截竹管)	含	124-6
190-1	3002	試掘	1 层	深鉢 B2	IV～VI C1	口縁部～体部上半	波状縁 (口径 20cm)	【外面】環状貼付文、横位沈線文、結節繩文 (O段)	含	124-7
190-2	11	L-4	1 层	深鉢	IV～VI D1	口縁部	平縁 ((推)口径 42cm)	【外面】横位沈線文+刺突(半截竹管)、斜行繩文 (RL ℓ) +結節	含	124-8
190-3	3001	試掘	1 层	深鉢 B3	IV～VI G1	口縁部～体部上半	波状縁 (口径 16cm)	【外面】横位刺突列 S字状連鎖撚糸文 (O段)	含	125-1
190-4	32	H-4	2 层	深鉢 B	IX	口縁部～体部上半	波状縁+把手 (鋸歯)	【外面】貼付文+刻目(彫去)、横位鋸歯状・縦位鋸歯状貼付文、斜行繩文 (LR)		125-2
190-5	21	I-5 オチ	2 层	深鉢 B	VII B2	口縁部～体部上半	平縁+貼付文	【口縁部内面】横位波状・弧状貼付文 【外面】横位波状・蕨手状貼付文、斜行繩文 (LR)		125-3
191-1	26	J-4	2 层	深鉢 B	V～VI A2	口縁部～体部	平縁	【外面】横位連携・縦位連携貼付文+押引き(半截竹管)、刺突文(半截竹管)、斜行繩文 (LR) +結節		125-4
191-2	34	H-4 オチ	2 层	深鉢	V～VI A	口縁部	平縁	【外面】横位・縦位連携貼付文+押引き(半截竹管)、斜行繩文 (LR) +結節		125-5
191-3	24	H-5	2 层	深鉢 B2	V～VI A3c	口縁部～体部上半	平縁	【外面】縦位山形貼付文+刻目、斜位沈線文(半截竹管)+盲孔、斜行繩文 (LR) +結節	含	125-6
191-4	40	G-5	2 层	深鉢 B	V～VI D2	口縁部	平縁	【外面】縦位沈線文+刺突(半截竹管)、斜行繩文 (RL)		125-7
191-5	41	G-5	2 层	深鉢 B	V～VI A1c	口縁部～体部上半	平縁	【外面】横位貼付文+押引き(半截竹管)、横位鋸歯状沈線文(半截竹管)、斜行繩文 (RL)		125-8
191-6	23	H-5	2 层	深鉢	V～VI D1	口縁部	平縁	【外面】横位・横位鋸歯状押引文(半截竹管)		125-9
191-7	29	H-3 ベルト	2 层	深鉢 B	V～VI A4c	口縁部～体部	平縁	【外面】縦位連携貼付文+刺突、横位・縦位・横位鋸歯状沈線文(半截竹管)、刺突文(半截竹管)、斜行繩文 (RL)		126-1
191-8	22	H-5	2 层	深鉢 B	IV～VI A2	口縁部～体部上半	平縁	【外面】横位縦状貼付文+刻目、刺突文、斜行繩文 (RL) +結節	含	126-2
191-9	39	G-5	2 层	深鉢 B	IV～VI A1b	口縁部	波状縁	【外面】横位貼付文+刻目、斜位沈線文、刺突文		126-3
192-1	36	F-4	2 层	深鉢 B3	IV～VI C1	口縁部～体部上半	平縁	【外面】横位・縦位沈線文+刺突、斜行繩文 (RL)、繩文(原体不明)	含	126-4
192-2	38	F-4	2 层	深鉢 B2	IV～VI G1	口縁部～体部下半	平縁 ((推)口径 26cm)	【外面】横位刺突列、斜行繩文 (L r) +結節	含	126-5
192-3	60	L-4	3 层	深鉢 B	IV～VI A1c	口縁部～体部上半	波状縁	【外面】横位・縦位状貼付文+刺突、横位・縦位・横位鋸歯状沈線文(半截竹管)、S字状連鎖撚糸文 (O段)	含	127-1
192-4	46	F-4	3 层	深鉢	IV～VI A	口縁部	波状縁	【口唇部】沈線、刻目 【外面】渦巻状貼付文+刻目、S字状連鎖撚糸文 (O段)	含	127-2
192-5	31	H-4	3 层	深鉢 B2	IV～VI A1a	口縁部～体部上半	波状縁	【外面】横位貼付文+刻目、組紐(撚り不明)	含	127-3
193-1	51	H-4	3 层	深鉢 B3	IV～VI A1f	口縁部～体部下半	平縁	【外面】横位貼付文+刺突、横位刺突列、斜行繩文 (LR)	含	127-4
193-2	62	M-4	3 层	深鉢 B	IV～VI A1f	口縁部～体部上半	平縁	【外面】横位貼付文+刺突、横位刺突列、S字状連鎖撚糸文 (O段)	含	127-5
193-3	48	H-5	3 层	深鉢 B	IV～VI C1	口縁部～体部上半	平縁	【外面】横位・弧状沈線文、S字状連鎖撚糸文 (O段)	含	127-6
193-4	61	L-4	3 层	深鉢	IV～VI C3	体部～底部	平底 ((推)底径 8cm)	【外面】斜格子状沈線文	含	127-7
193-5	15・52	K-4	3 层	深鉢 A2	IV～VI G1	口縁部～体部	平縁+突出	【口唇部(突起)】刻目 【外面】横位刺突列、繩文(原体不明) +附加条 (r)	含	127-8
193-6	58	L-4	3 层	浅鉢 D	IV～VI D3	口縁部	平縁	【外面】横位沈線文+刺突(半截竹管)、盲孔		127-9
194-1	69	F-3	4 层	深鉢	X	口縁部～体部上半	平縁 ((推)口径 21.5cm)	【外面】弧状隆線文、沈線文、撚糸文 (R)		128-1
194-2	71	H-3	4 层	深鉢	IV～VI C1	口縁部～体部	平縁	【外面】横位沈線文+刻目、網目状撚糸文 (O段)		128-2
194-3	78	K-3	4 层	深鉢 B	IV～VI G1	口縁部～体部上半	平縁 ((推)口径 32cm)	【外面】横位刺突列(半截竹管)、斜行繩文 (RL) +結節		128-4
194-4	64	F-2	4 层	深鉢	I II b	口縁部	平縁	【外面】横位・斜位・渦巻状撚糸痕文 (R) +刻目		128-3
194-5	16	東トレンチ	1～4 層	深鉢 A2	IV～VI A1a	口縁部～体部	平縁	【外面】横位・垂下貼付文+刻目、S字状連鎖撚糸文 (O段)		128-5
194-6	54	D-3	3～4 层	深鉢	L1	口縁部～体部	平縁、内面指頭圧痕明瞭	【外面】擦痕 【内面】指頭圧痕明瞭		128-6
194-7	70+83	中央トレンチ	5・6 層	深鉢	I F	口縁部～体部	平縁	【口唇部】刻目 【外面】非結束羽状繩文 (LR, RL)		128-7
194-8	84		層不明	深鉢 B	IX	口縁部～体部	平縁	【外面】横位鋸歯状貼付文、斜行繩文 (LR)		128-8
195-1	4	中央	表土・ 検出	深鉢	IV～VI A	体部		【外面】貼付文+押引き(半截竹管)、斜行繩文 (RL) +結節		-
195-2	7	南	表土・ 検出	深鉢	IV～VI A	口縁部	平縁	【外面】貼付文+押压、刺突文(半截竹管)		-
195-3	8	H-4	表土・ 検出	深鉢	I I	口縁部	平縁	【外面】絡条体圧痕文 (R ?)	含	-
195-4	7004	F-3	1 層	深鉢	X	口縁部	波状縁+把手	【外面】隆線文、沈線文、刺突文 【内面】隆線文		-
195-5	7003	H-2	1 层	深鉢 or 鉢	X	口縁部	平縁	【外面】隆線文、刺突文		-
195-6	7005	東トレンチ	1 层	深鉢	X	口縁部	波状縁	【外面】隆線文、沈線文、繩文 (LR)		-
195-7	7001	L-4	1 层	深鉢	X	体部上半～下半		【外面】沈線文、繩文 (RL)		-
195-8	20	G-4	1 层	深鉢	IX	口縁部	平縁	【外面】貼付文+刺突(円形竹管)、斜行繩文(原体不明)		-
195-9	7002	中央トレンチ	1 层	深鉢	IX	口縁部	小波状縁 (口唇部鋸歯状)、把手(貫通孔)	【口唇部】貼付文+刻目(彫去) 【外面】貼付文+刺突		-
195-10	10	H-4	1 层	深鉢	IV～VI A	口縁部	平縁	【外面】貼付文+刺突		-
195-11	14	東トレンチ 西側 K-4	1 层	深鉢	IV～VI A	口縁部	平縁	【外面】貼付文+押压、斜行繩文 (LR) +結節	含	-
195-12	19	G-3	1 层	深鉢	IV～VI D	口縁部～体部	平縁	【外面】沈線文(半截竹管)、S字状連鎖撚糸文 (O段)	含	-
195-13	30	H-3	2 层	深鉢	IX	口縁部	波状縁	【外面】貼付文、斜行繩文 (LR)		-
195-14	7007	H-4	2 层	深鉢	IX	口縁部～体部上半	波状縁	【外面】貼付文、斜行繩文 (RL)		-
195-15	7006	H-4	2 层	深鉢	IX	体部上半		【外面】沈線文(半截竹管)		-
195-16	37	F-4	2 层	深鉢	IV～VI A	体部		【外面】貼付文+刺突、斜行繩文 (RL) +結節 【その他】補修孔	含	-
195-17	42	G-4	2 层	深鉢	IV～VI C	口縁部	平縁	【外面】沈線文	含	-
195-18	56	M-4	3 层	深鉢	IV～VI A	口縁部	波状縁	【外面】貼付文+刺突、S字状連鎖撚糸文 (O段)	含	-



## 【SX10 遺物包含層】

### (1) 堆積状況と分布範囲

丘陵の南東斜面、10 区に形成された幅 54m 以上、奥行き 38m 以上の遺物包含層である（図版 4-202）。立地は南西から北東方向に入る緩やかな谷地形の北西側上方に当たる。傾斜は緩やかで、斜面下方の末端近くでは水平に近くなる。斜面中腹は高低差 1.5 ~ 2m ほどの段により大きく削平され、包含層が斜面上方と下方に分断されている。南東側は調査区外へと伸びる。

層は大きく 9 層に分かれる。9 層は包含層形成以前の旧表土（基本層 III 層）で、谷地形を全体的に覆っていた。その上部の 8 層から遺物を含む層が堆積する。7 層は主に北西方向に入る小規模な谷筋より東側に、SX42・48 遺物集中を覆うように堆積し、6 層はその東側、斜面やや下方に分布する。6・7 層の前後関係は堆積状況からは捉えられていない。5 層以降は北西方向に入る小規模な谷全体を埋めるように形成されている。5 層は斜面下方では薄い層の重なりとして認識される。この箇所を除いた 2 ~ 5 層は比較的均質な厚みのある層である。

なお、斜面上半部において包含層中から竪穴遺構、炉跡、石器埋納、剝片集中、一括土器などが検出された。また、斜面上半の地山面で多数のピットが検出されているが、ピットの平面図は第 2 分冊に掲載する。

#### [1 層]

斜面上方の 38 × 11m の範囲に分布し、厚さは最大 70cm である。炭化物・焼土粒を多く、地山礫を若干含む黒褐色土である。古代竪穴 SI25・27 が掘り込まれる。層直下から SK30 土坑、SL38・71 炉跡が検出されている。

#### [2 層]

斜面上方の 20 × 8m の範囲に分布し、厚さは最大 30cm である。径 5mm 以下の炭化物、径 5 ~ 30mm の地山礫を含むにぶい黄橙～にぶい褐色土である。中央ベルトでは焼土粒を極めて多く含む部分や、やや淡色で砂質の部分がある。層中から SL75 炉跡、層下部から SL77 炉跡が検出されている。

#### [3 層]

44 × 32m 以上の広い範囲に斜面上半と下半に分かれて分布し、厚さは最大 45cm である。径 3 ~ 5mm の炭化物や焼土粒を多く含む暗褐～黒褐色を基調とする土層で、地山礫の多寡などにより細分される。下半部では焼骨粒を極めて多く含む箇所がある。層中・層直下から SX63 炭層、SU164 石鏃集中、SU55・166・167 剥片集中、SI46 竪穴建物跡、SK36 土坑、SL34・41・56 炉跡が検出されている。

#### [4 層]

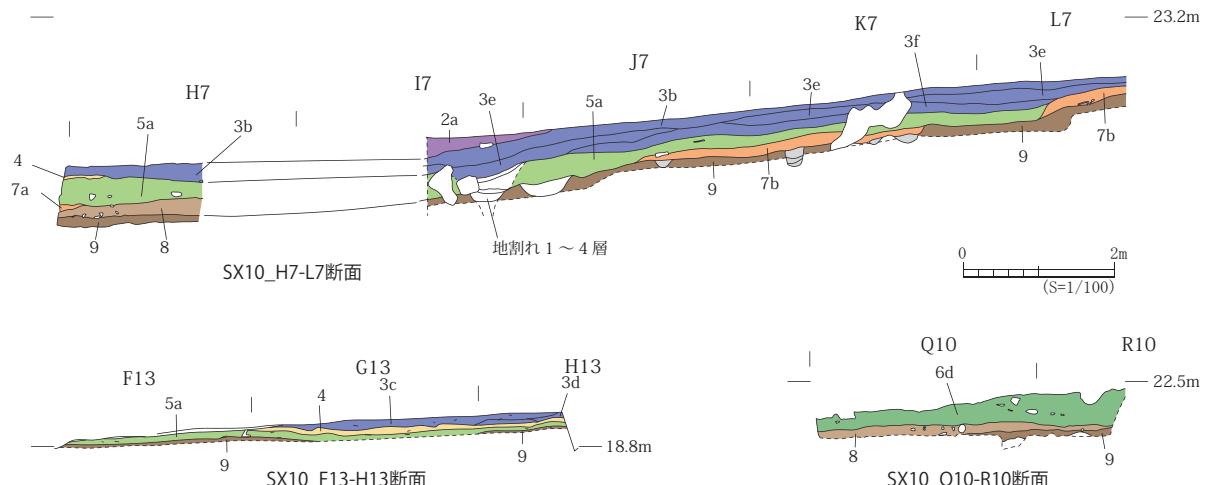
火山灰層である。主な分布は、斜面下半南東部の傾斜が水平に近いか所、22 × 7m の範囲で、厚さは 10cm 程である。斜面上方から中程では径 0.5m 以下の小規模な層がまばらに分布する状況であるが、SI43 竪穴内では厚い堆積が認められる。また、SL154 炉跡が検出されている。

#### [5 層]

43 × 38m 以上の広い範囲に斜面上半と下半に分かれて分布し、厚さは最大 40cm である。径 3 ~ 30mm の炭化物・焼土粒を多く含む褐色～黒褐色の土層で、斜面上方では地山礫を含む。斜面下

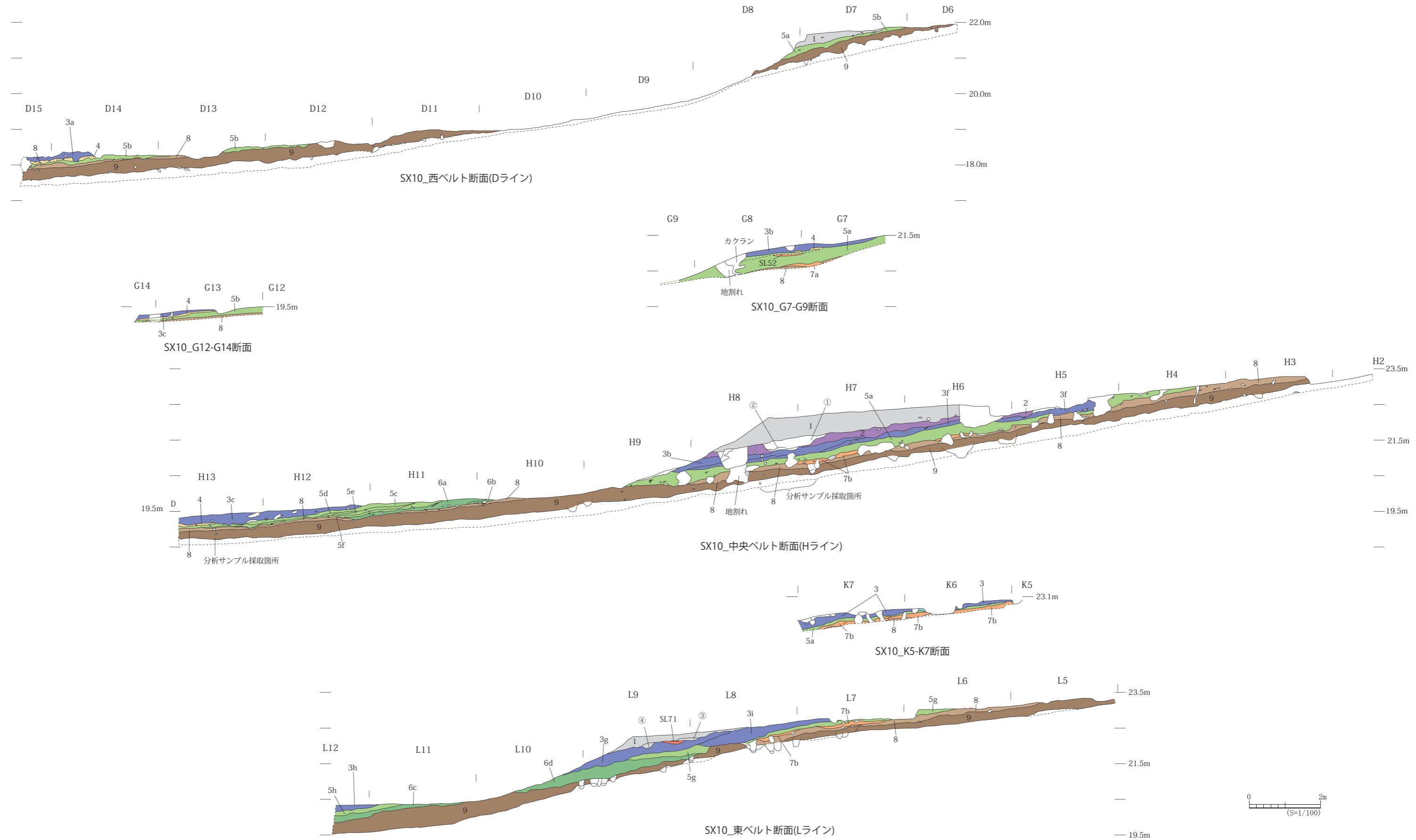


図版 4-202 SX10 遺物包含層平面図



層	土色	土質	混入物等	性格
1	黒褐 (7.5YR3/1)	シルト	径5mmの炭化物・焼土粒・径1cmの山礫を多く含む。黄褐色土(地山)が径5mmのブロック状に若干混入する。	
2	にぶい褐 (7.5YR5/4)	シルト	ほぼ均一な土層。径5mmの炭化物を多く、焼土粒・径3cmの地山礫を若干含む。層上位を中心には1層土がしみ状・ブロック状に若干混入する。	
3a	暗褐 (10YR3/4)	シルト	炭粒・焼土粒を微量含む。	
3b	にぶい褐 (7.5YR5/4)	シルト	径3mmの炭化物・焼土粒を多く、5mmの地山礫を若干含む。	
3c	黒褐 (7.5YR3/2)	シルト	ほぼ均一な土層。径5mmの炭化物・焼土粒・骨粉を極めて多く、径1cmの山礫を若干含む。	
3d	暗褐 (10YR3/3)	粘土質シルト	炭粒・焼土粒を微量含む。こなれた火山灰由来? 4層の火山灰ブロックの間にに入る土に近い。	
3e	にぶい黄褐 (10YR5/4)	シルト	径3cmの炭化物・焼土粒を多く、径1cmの地山礫を若干含む。火山灰がしみ状・ブロック状に若干混入する。3b層より炭化物が大きい。	
3f	暗褐 (7.5YR3/4)	シルト	径5mmの炭化物を極めて多く、焼土粒・5mmの地山礫を多く含む。	
3g	黒褐 (7.5YR3/2)	シルト	径3mmの炭化物・焼土粒・5mmの地山礫を極めて多く含む。	
3h	灰褐 (7.5YR4/2)	シルト	径5mmの炭化物・焼土粒を多く、径1cmの地山礫を若干含む。	
3i	にぶい褐 (7.5YR5/3)	シルト	径5mmの炭化物・焼土粒・径1cmの地山礫を多く含む。5a層とほぼ同質だが、色調が暗い。	3b・e層に対応
4	灰白 (10YR8/1)		3層土がしみ状に若干混入する。	火山灰層
5a	褐 (7.5YR4/3)	粘土質シルト	径3mmの炭化物・焼土粒・5mmの地山礫を極めて多く含む。	
5b	暗褐 (10YR3/3)	粘土質シルト	炭粒・焼土粒を微量含む。地山粒(細粒)を少し含む。	
5c	黒褐 (7.5YR3/2)	粘土質シルト	径1cmの炭化物・焼土粒・骨粉を極めて多く、径1cmの地山礫を多く含む。黄褐色土(丘陵頂部の地山)がブロック状・しみ状にやや多く混入する。	
5d	黒褐 (7.5YR3/2)	粘土質シルト	径1cmの炭化物・径1cmの焼土粒を極めて多く、骨粉を多く含む。5c層より炭化物・焼土粒の含有量が多い。	
5e	褐 (7.5YR4/3)	粘土質シルト	径5mmの炭化物・焼土粒・骨粉を若干含む。5c層より色調が明るい。	
5f	褐 (7.5YR4/3)	粘土質シルト	径3cmの炭化物・焼土粒を多く含む。層上位に炭化物が集中する。	
5g	褐 (7.5YR4/3)	粘土質シルト	径5mmの炭化物を多く、焼土粒を極めて多く含む。粘性あり。	
5h	黒褐 (7.5YR3/2)	粘土質シルト	径3cmの炭化物・焼土粒を多く、径1cmの地山礫を若干含む。3h層がしみ状に多く混入。	
6a	暗褐 (7.5YR3/3)	粘土質シルト	径5mmの炭化物を極めて多く含む。焼土粒・径3cmの地山礫を若干含む。5層より色調が暗い。	
6b	褐 (7.5YR4/3)	粘土質シルト	部分堆積層。径3mmの炭化物・焼土粒を若干含む。	
6c・6d	極暗褐 (7.5YR2/3)	粘土質シルト	径5mmの炭化物・焼土粒を極めて多く、径1cmの地山礫を多く含む。粘性あり。	
7a	暗褐 (10YR3/4)	粘土質シルト	炭粒・焼土粒を含む。地山粒を少量含む。	
7b	暗褐 (7.5YR3/3)	粘土質シルト	径3mmの炭化物・焼土粒・5mmの地山礫を多く含む。3a層がしみ状・ブロック状に多く混入。SX48の土器を含む。	
8	黒褐 (5YR3/1)	粘土質シルト	径5mmの炭化物・焼土粒・径1cmの山礫を多く含む。	
9	暗褐 (7.5YR3/3)	粘土質シルト	径3cmの地山礫を極めて多く含む。鉄分を多く含む。南側では色調がより濃色となる。	
10	明黄褐 (10YR6/6)	粘土質シルト	3cm以上の地山礫を極めて多く含む。鉄分を多く含む。9層から10層へは漸位的に変化する。	
地割れ-1層	にぶい黄褐 (10YR5/3)	粘土質シルト	径2mmの炭化物を若干含む。暗褐色土がしみ状・ブロック状に多く混入する。	
地割れ-2層	暗褐 (10YR3/3)	粘土質シルト	5層と近似。	
地割れ-3層	灰黄褐 (10YR5/2)	砂質シルト	層下部は暗灰色土が主体となる。砂性あり。	
地割れ-4層	灰褐 (7.5YR4/2)	砂	砂利を主体とする。指頭～拳大の円礫が若干混入する。	

図版 4-203 SX10 遺物包含層断面図(1)



図版 4-204 SX10 遺物包含層断面図 (2)



方では焼骨粒を含み、それらの多寡により薄い層に細分される。これらは傾斜に沿った縞状構造をなし自然堆積状を呈する。直上には火山灰が堆積しており、窪地・谷地であった可能性がある。層中ないし層下部から SX47・72・159 焼土層、SU165 石器集中、SU33・54・168・169・170・171・172 剥片集中、SL35・74・73・40・50・52・53・64 炉跡が検出されている。

#### [6層]

北東寄りの 32 × 16m 以上の範囲に斜面上半と下半に分かれて分布し、厚さは最大 35cm である。径 5mm の炭化物を極めて多く、径 3mm の焼土粒、径 10 ~ 30mm の地山礫を含む暗褐色～極暗褐色の土層で比較的粘性が強い。特に、調査区南東壁際の I12 ~ K12 グリッドにかけて、炭・焼土を多く含む部分がある (SX162・163)。東ベルト付近以東では 5 層、8 層との区別が付きにくい。層下部から SL79 炉跡が検出されている。

#### [7層]

F ~ L グリッドの斜面上半部に分布し、厚さはおよそ 20cm である。径 3mm の炭化物・焼土粒を多く、径 5 ~ 30mm の地山礫を含む褐色土層である。層下部から SX42・48 遺物集中が検出された。中央ベルト - 東ベルト間では 8 層との区別は明瞭でない。J-K,6-7 グリッド周辺では、この層の直下に地山ブロックを比較的多く含む層が分布する。

#### [8・9層]

8 層は、径 2 ~ 5mm の炭化物・焼土粒・径 10 ~ 30mm の地山礫を含む黒褐色土層で、遺物を含む。厚さは最大 20cm である。

9 層は、径 5mm の炭化物・焼土粒を若干、径 30mm の地山礫を多く含む層で、斜面上方では灰褐色、斜面下方では暗褐色～黒褐色を呈し、層下部は漸位的に黄色化する。遺物をほとんど含まない。

### (2) SX10 内の炭・焼土層

#### [SX44 焼土層] (図版 4-206、写真図版 24) [グリッド] K6 [層] 7 層上部～上面

焼土粒、炭化粒を含むにぶい黄褐色土層で、1.7 × 1.4m の不整形に分布する。SX42・48 遺物集中より新しい。底面はやや凹凸のある皿状で若干傾斜し、厚さは最大 5cm である。図版 4-227-2 の縄文土器が出土した。

#### [SX47 焼土層] (図版 4-206、写真図版 24) [グリッド] K6 [層] 5 層中

径 5 ~ 20mm の焼土ブロック・炭化物を含む褐色土層で、0.6 × 0.2m の不整な楕円形に分布する。底面は若干傾斜する。厚さは不明である。岩偶 (図版 4-288-2) が出土した。

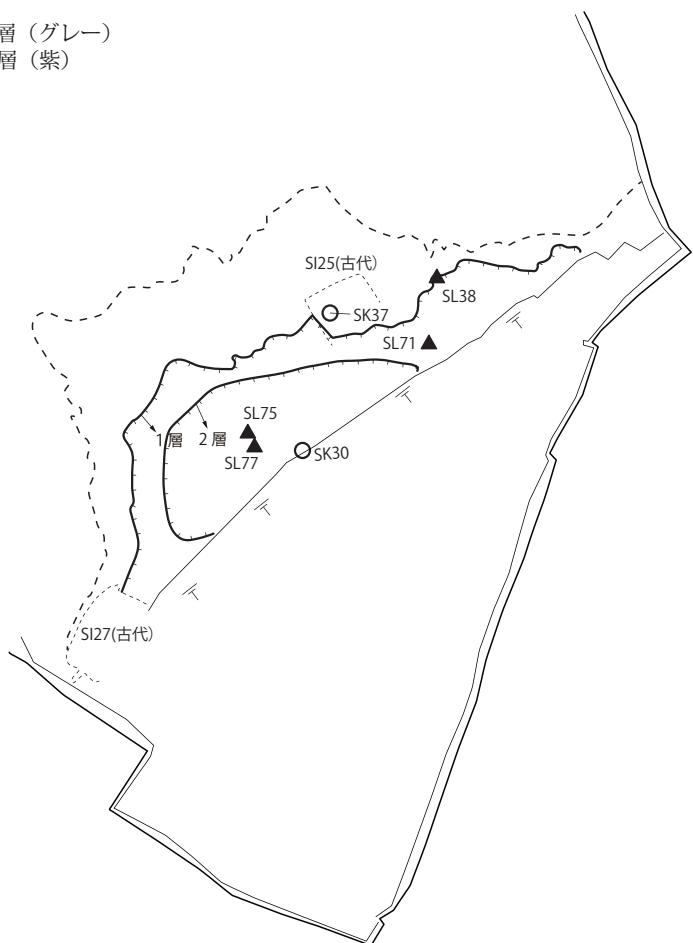
#### [SX63 炭層] (図版 4-205、写真図版 24) [グリッド] L8 [層] 5 層上面～3 層直下

径 10 ~ 50mm の炭化物を非常に多く含む褐色土で、1.0 × 0.6m の不整形に分布する。底面は皿状で南にやや傾斜し、厚さは最大 5cm である。土器 (図版 4-264-15)、磨石・敲石類 (図版 4-288-1)、その他の石製品 (図版 4-288-3) が出土した。

#### [SX72 焼土層] (図版 4-202、写真図版 24) [グリッド] I5 [層] 5 層中

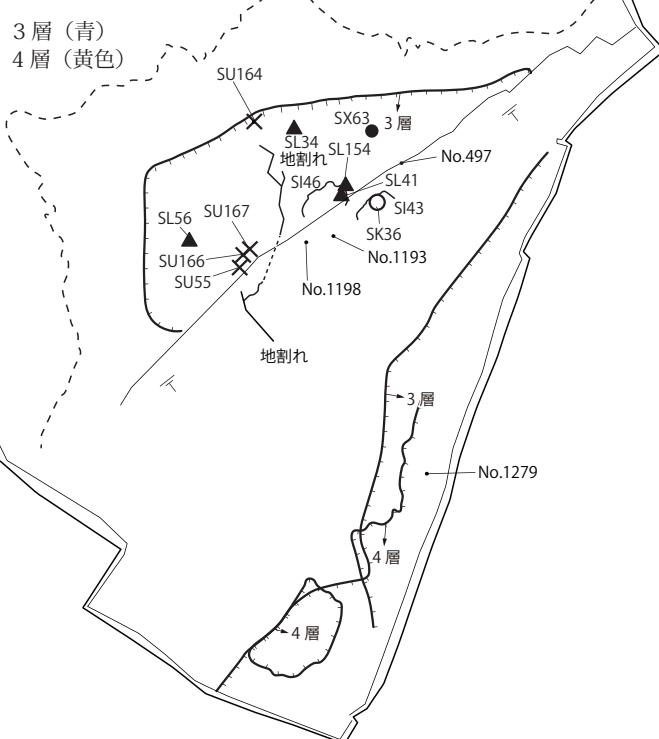
径 5 ~ 20mm の焼土ブロック・焼土を含む暗褐色土層で、0.6 × 0.5m の歪な楕円形に分布する。

1層(グレー)  
2層(紫)



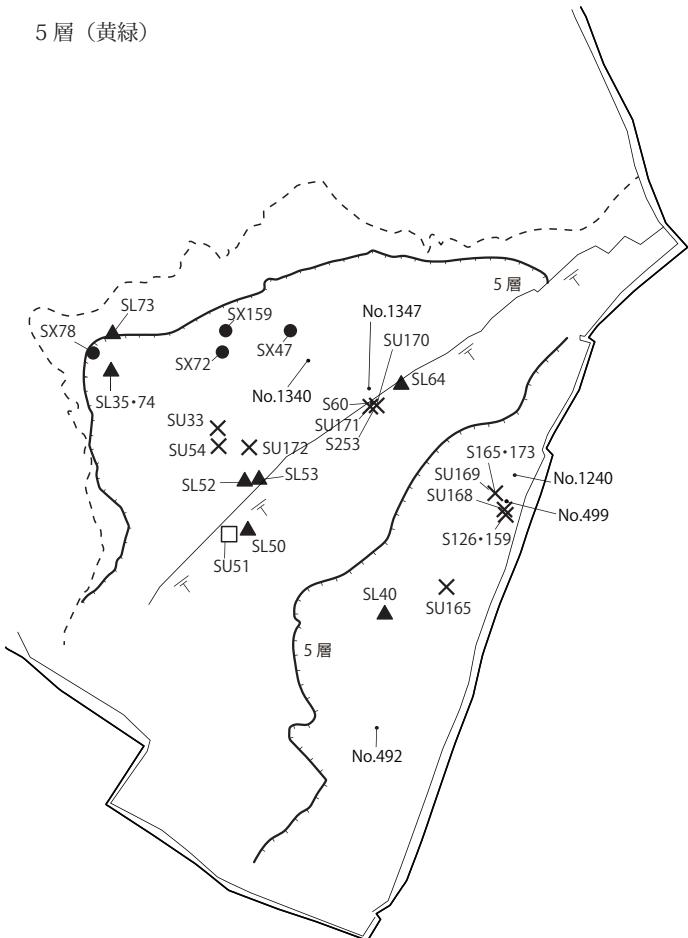
- 炭・焼土層
- ▲ 炉跡
- 磚集中
- × 石器・剥片集中
- 土坑

0 20m  
(S=1/500)

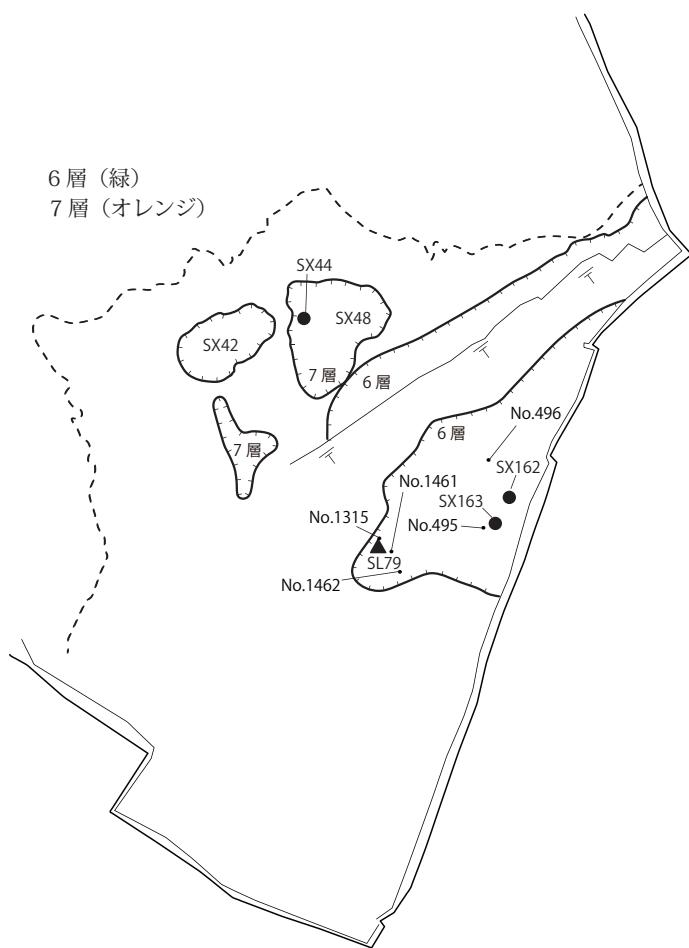


図版 4-205 SX10 層別分布図(1)

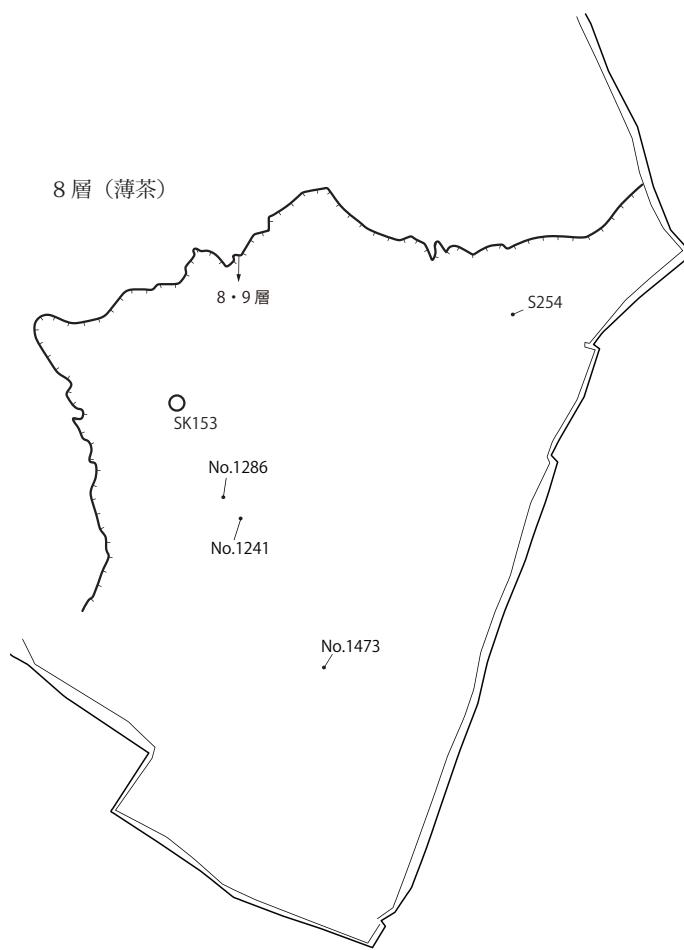
5層(黄緑)



6層(緑)  
7層(オレンジ)



図版 4-206 SX10 層別分布図(2)



図版 4-207 SX10 層別分布図 (3)

底面は皿状、ほぼ水平で、厚さは 2cm である。遺物は縄文土器数点が出土した。

[SX78 炭層] (図版 4-202、写真図版 24) [グリッド] G3・H3 [層] 8層上～5層下

3.7 × 1.4m の帯状の範囲に広がる薄い炭層で、被熱した礫群 (SU261) を伴う。付近の同一面から検出した SL35・SL73 炉跡と一連の遺構群の可能性がある。

[SX159 焼土層] (図版 4-206、写真図版 24) [グリッド] J5 西・I5 東 [層] 5層中

径 5～10mm の焼土ブロックをまだらに多く、炭化物を含む暗褐色土層で、1.8 × 1.2m の不整形に分布する。底面は皿状で若干傾斜し、厚さは最大 8cm である。

[SX162・163 炭・焼土層] (図版 4-206) [グリッド] K12・J12 [層] 6層下部

隣り合って検出された。SX162 は炭化物・焼土粒を多く含む黒色土層で、径 1.5m の不整楕円形に分布する。底面は皿状でわずかに傾斜し、厚さは最大 7cm である。遺物は縄文土器片がまとまって出土しており、3 点 (図版 4-264-16～18) を掲載した。非結束羽状縄文等が見られる。

SX163 は径 2cm 以下の大粒炭化物・焼土粒を多く含む黒褐色土層で、1.6 × 1.3m の楕円形に分布する。底面は皿状でわずかに傾斜し、厚さは最大 5cm である。剥片がまとめて出土しており、18 点登録され、珪質頁岩と珪化凝灰岩 A が 4：6 ほどの比率でみられる。



図版 4-208 SX42・48 遺物分布状況

### (3) SX10 内の遺物集中

[SX42・48 遺物集中] (図版 4-206・208) [グリッド] SX42:J5・6、SX48:K7 [層] 7 層下

縄文土器・礫石器・石皿・礫などの面的な広範囲の分布である。包含層分布斜面上方、中央トレンチ - 東トレンチ間の 8 層上面で 7 層に覆われる状況で検出した。大きく西と東の 2 か所のまとまりがあり、西を SX42、東を SX48 とした。

SX42 の密な分布範囲は 4 × 3m で、潰れた状態ないし大破片の土器が 5 個体以上 (図版 4-225-3 ~ 図版 4-227-1)、30 ~ 40cm 程の大型の石皿などが認められる。小型礫にはまとまりが認められ、J5 グリッドの南西半、2 × 1.5m の範囲に 5 ~ 15cm 程度の礫が比較的密に分布する。構成礫には礫石器を含む円礫が目立つ。

SX48 の密な分布範囲は 6m 以上 × 5.2m で、東トレンチ部へと延びる。潰れた状態ないし大破片の土器が 8 個体以上認められる (図版 4-227-1 ~ 図版 4-233-3)。礫は、礫石器を含む 10 ~ 20cm の円礫ないし角礫が主体で、20 ~ 30cm の石皿を含み、土器と同じような分布状況を示す (図版 4-282-1 ~ 3、図版 4-282-5・6、図版 4-283-1・2、図版 4-284-1・2)。

SX42・48 ともに、土器は共通した特徴を持つ同時期のものであり、個体ごとのまとまりを保つものが多く、限定された期間における廃棄の状況を示すものと捉えられる。

### (4) SX10 内の石器集中

[SU164 石鏸集中] (図版 4-205) [グリッド] K6 [層] 3 層

石鏸 4 点が一か所からまとまって出土した (図版 4-273-8 ~ 11)。いずれも大きさと形態が類似する。

[SU165 石器集中] (図版 4-206、写真図版 26) [グリッド] H12 [層] 5 層

包含層断面において石鏸 2 点、尖頭器 1 点が一か所からまとめて出土した (図版 4-276-8・9、図版 4-277-1)。

### (5) SX10 内の剥片集中

[SU33 剥片集中] (図版 4-206、写真図版 26) [グリッド] H6 [層] 5 層上面付近

0.2 × 0.2m の円形の範囲に 5cm ほどの厚みを持って剥片・チップが集中する。剥片を中心に 2471 点を登録しており、うち石核 3 点、不定形石器 2 点が含まれる。99% が同一石材 (珪化凝灰岩) である。埋存状態が塊状を呈していることから、ピットの底ないし袋に入った状態で埋存したと考えられる。

[SU54 剥片集中] (図版 4-206、写真図版 26) [グリッド] H7 [層] 5 層上面付近

0.2 × 0.2m の円形の範囲に 5cm ほどの厚みを持って剥片・チップが集中する。チップが大半を占める。極微細なチップを除いた内訳は、剥片 21 点、チップ 2 点、石鏸 (図版 4-276-14)・石鏸未製品・不定形石器が 1 点ずつである。これらは剥片 3 点を除き同一石材 (珪化凝灰岩) である。埋存状態が塊状を呈していることから、ピットの底ないし袋に入った状態で埋存したと考えられる。

[SU166・167 剥片集中] (図版 4-205、写真図版 26) [グリッド] H7・H8 [層] 3 層上面付近  
隣接する剥片・チップ集中範囲である。規模は南西側 (S269) が  $0.6 \times 0.4\text{m}$ 、北東側が  $0.4 \times 0.3\text{m}$  である。取り上げ時に両者を一括した。合わせて 190 点からなる。石材は珪化凝灰岩が大半を占めるが、珪質頁岩など他の石材も含む。

[SU168・169 剥片集中] (図版 4-206、写真図版 26) [グリッド] K12 [層] 5 層中  
近接する剥片集中範囲である。平面規模は S22 が  $1.6 \times 0.6\text{m}$ 、S23 が  $1.3 \times 0.8\text{m}$  である。ほぼ平坦な面上に平面的に分布する。取り上げ時に両者を一括した。石材はほぼ同一(珪化凝灰岩)である。

[SU170 剥片集中] (図版 4-206、写真図版 26) [グリッド] K9 [層] 5 層  
剥片・チップが  $0.6 \times 0.5\text{m}$  の範囲に 2 ~ 3cm の厚みで分布する。微細なチップを除いた点数は 3015 点で大半がチップである。全て同一石材(珪化凝灰岩)である。

[SU171 剥片集中] (図版 4-206) [グリッド] K9 [層] 5 層中  
分布範囲の一部を記録したのみで本来の規模・分布状況は不明である。点数は 289 点で、珪化凝灰岩の剥片・チップを主体とし、一部ツールを含む(うち磨石・砥石類を 4 点含む)。

[SU172 剥片集中] (図版 4-206、写真図版 26) [グリッド] H7 ベルト内 [層] 5 層中  
 $0.3 \times 0.2\text{m}$  の範囲に剥片・チップが分布する。微細なチップを除くと、剥片・チップが 120 点、不定形石器が 1 点で、ほとんどが同一石材(珪化凝灰岩)であるが、他の石材も少量含む。

#### (6) SX10 内の地割れ痕跡 (図版 4-205、写真図版 27)

G9-K6 グリッド間に屈曲しながら 14m に渡って延びる。上幅は最大 80cm、深さは最大 50cm 以上で下端は地山に達する。南端部では堆積土中に小礫が多く含まれていた。多くの場合 5 層以下で検出された。SX10 では地割れ堆積土と包含層堆積土との違いがわかりにくく、断面観察によっても、2 層より下層、5 層を切りこんでいることは確認できたが 3・4 層との前後関係は明確にできなかった。5 層より新しく 2 層より古いと捉えておく。

出土土器 7 点を掲載した。貼付文に刻目や刺突が加えられる土器(図版 4-264-19 ~ 24)等が見られる。また、石匙(図版 4-288-4)は、つまみ部に対して先端部が横方向のものである。

#### (7) SX10 出土土器 (図版 4-209 ~ 4-264、写真図版 129 ~ 150)

##### [表土・検出] (図版 4-244)

検討対象土器は 126 点で、表土 3 点、検出 4 点を掲載した。加飾のない貼付文(図版 4-244-4)、刻目を加えられた貼付文(図版 4-244-5)、沈線文(図版 4-244-2)、半截竹管の沈線文(図版 2-244-1)などの土器が出土している。

##### [1 層] (図版 4-209、図版 4-244 ~ 4-245、写真図版 129)

検討対象土器は 822 点で、20 点を掲載した。様々な土器が出土しており、図版 4-244-8 は、隆線文と沈線文による楕円形等の区画が縦に接する。図版 4-244-10 は、鋸歯状の貼付文が施される。図版 4-209-1 は、半截竹管の刺突が加えられた貼付文が頸部にめぐり、口縁部には半截竹管による縦位、斜位沈線文が展開する。図版 4-209-2 は、口唇部が軽く内屈する波状口縁の深鉢で、波頂部の刺突

を加えられた貼付文を中心に、刺突列が連携して文様が構成される。図版 4-209-3 は、木目状撲糸文が横方向に回転施文される。

〔2層〕(図版 4-209、図版 4-245、写真図版 129)

検討対象土器は 463 点で、8 点を掲載した。図版 4-245-5 は細い鋸歯状の貼付文、図版 4-245-6、7 は幅広い貼付文が施される。図版 4-209-4 は、口唇部に波状の貼付文、口縁部に幅広い粘土帯が貼付され、その上に刺突が加えられて梯子状に似た状態になる。図版 4-209-5 は、梯子状、蕨手状等の貼付文が施される。他に半截竹管の沈線文(図版 4-209-6)等も見られる。

〔3層〕(図版 4-210～4-214、図版 4-245～4-248、写真図版 130～133)

検討対象土器は 1443 点で、72 点を掲載した。

器種は深鉢が主体で、少量の浅鉢が伴う(図版 4-214-5、6)。

深鉢の器形は、体部から直線的に外傾するもの(図版 4-213-3 等)、体部が直線的に外傾し、口縁部が軽く外反するもの(図版 4-210-8)、体部が膨らみ、頸部でくびれ、口縁部が外反するもの(図版 4-211-1・2 等)などが見られる。浅鉢は、体部から口縁部が内彎しながら強く開く器形が確認される(図版 4-214-5)。口縁部形態は、平縁がほとんどで、波状口縁が少量ある。底部は基本的に平底で、軽く上底となるものがある。

文様は、粘土紐貼付文と沈線文を主とする。

粘土紐貼付文は、刻目等の加飾のあるものがほとんどで、沈線文や刺突文と組み合わせて用いられるものも多い。口縁部を中心に展開し、口縁部に横線等の横位文様がめぐるものは、貼付文のみの場合(図版 4-213-2、3 等)と、刺突文や盲孔等が平行する場合(図版 4-213-1 等)がある、口縁部から体部にかけて縦位文様が展開するもの(図版 4-211-1・2)は、半截竹管の横位沈線文に刺突を加える文様が伴う。横位と縦位の貼付文が施されるものもある(図版 4-212-3)。加飾のない貼付文を主とする土器も出土している(図版 4-210-1 等)。

沈線文は、棒状工具で 1 条ずつ引かれるものと、半截竹管による 2 条 1 組のものがある。1 条単位の沈線文は、口縁部に縦線が施されるもの(図版 4-210-4・5)が見られる。なお、この土器は、SI46 で同一個体破片が出土し、口縁部に刻目のある貼付文が施される。半截竹管の沈線文は、横線(図版 4-210-8)、横線と縦位文様(図版 4-210-2、3)、縦位山形文(図版 4-212-1)等が見られ、沈線文と押引文を併用した文様が口縁部に展開するもの(図版 4-210-6・7)もある。

浅鉢には、半截竹管による横位押引文(図版 4-214-5)、半截竹管による横位沈線文(図版 4-214-6)が確認される。

縄文は、ほとんどの土器に施され、斜行縄文、斜行縄文に結節が伴うもの(図版 4-210-3 等)、網目状撲糸文(図版 4-210-2 等)、S 字状連鎖撲糸文(図版 4-212-4 等)などがあり、斜行縄文、結節を伴う斜行縄文、網目状撲糸文が多い。体部を中心に施文され、口縁部には施されない場合がある。縄文だけで、他の文様を持たない土器は少ない。

胎土に纖維を含む土器と含まない土器がある。含む場合も少量である。

#### [4層] (図版 4-214、図版 4-248、写真図版 133)

検討対象土器は 95 点で、3 点を掲載した。図版 4-214-7 は、口縁部が緩やかに外反する深鉢で、刻目を加えられた横線と縦位に連携する貼付文が施される。図版 4-248-2 には刻目のある貼付文、図版 4-248-3 には半截竹管の刺突文が見られる。

#### [5層] (図版 4-215～4-221、図版 4-248～図版 4-252、写真図版 133～138)

検討対象土器は 3372 点で、100 点を掲載した。

器種はほとんどが深鉢で、少量の浅鉢（図版 4-220-4）が伴う。深鉢には小型土器（図版 4-220-3）がある。

深鉢の器形は、体部から口縁部にかけてほぼ直立するもの（図版 4-219-2）、体部から口縁部にかけて直線的に外傾するもの（図版 4-217-2 等）、体部が緩やかに開きながら立ち上がり、口縁部が外反するもの（図版 4-218-1 等）、体部から口縁部にかけて緩やかに内彎しながら立ち上がるもの（図版 4-220-3）などがある。口縁部は平縁が多いが、波状口縁（図版 4-216-2 等）や、平縁に突起を有するもの（図版 4-215-4）もある。底部は基本的に平底で、軽く上底になるものがある。浅鉢は、体部が丸く膨らみ、口縁部が内彎してすぼまるもの（図版 4-220-4）が見られる。

文様は、粘土紐貼付文、沈線文、刺突文が主で、それらを単独または組み合わせて文様が構成される。

粘土紐貼付文は、刻目、刺突、押圧等の様々な加飾のあるものがほとんどである。貼付文の横位文様が基調となるものが多く、貼付文の横線のみのもの（図版 4-216-6 等）、貼付文の横線に刻目文、刺突文、盲孔等の他の要素が組み合わせて用いられるもの（図版 4-215-6、4-216-1～5 等）、貼付文の横線に縦線、弧線、渦巻状等が連携あるいは垂下するもの（図版 4-215-1～5 等）等がある。他に、向かい合う弧線と小さな円形の貼付文を配するもの（図版 4-218-1）、縦位あるいは環状等の貼付文に横位沈線文、横位刺突列等が伴うもの（図版 4-217-2～4）もある。

沈線文は、棒状工具で 1 条ずつ施されるもの（図版 4-217-5、6、4-219-3）と、半截竹管で 2 条平行して施されるもの（図版 4-219-1、2）がある。口縁部を中心に展開し、横線、環状、山形等の意匠が組み合わされ、刺突を伴う場合もある。沈線文が体部全体に広がるものもある（図版 4-219-3）。

刺突文は、1～3 列の横列をなして口縁部にめぐるもの（図版 4-219-5、6 等）が多く、波状口縁の波頂下を中心に縦位にも展開するもの（図版 4-220-1）も見られる。

小型土器（図版 4-220-3）は、縄文が施されず、口縁部に刺突文がめぐる。浅鉢には、半截竹管の沈線に刺突を加えた文様が施される（図版 4-220-4）。

縄文は、ほとんどの土器に施される。斜行縄文、斜行縄文に結節が伴うもの（図版 4-218-1 等）、S 字状連鎖撚糸文（図版 4-216-6 等）が多い。他に斜行縄文に附加条を伴うもの（図版 4-221-1）もある。体部を中心に施文され、口縁部には施されない、もしくはやや施文が浅くなる場合がある。縄文だけで、他の文様を持たない土器（図版 4-221-1）は少ない。

多くの土器は、胎土に纖維を含む。ただし量はあまり多くない。

## [6層] (図版 4-222～4-224、図版 4-252～4-254、写真図版 138～140)

検討対象土器は 740 点で、28 点を掲載した。

器種は深鉢が確認される。深鉢の器形は、体部が緩やかに開きながら立ち上がり、口縁部が外反するもの（図版 4-222-1 等）、口縁部が緩やかに内彎するもの（図版 4-224-4 等）などがある。口縁部は平縁が多いが、波状口縁（図版 4-224-5 等）もある。

文様は、粘土紐貼付文、沈線文、刺突文等が見られる。

粘土紐貼付文は、刻目、刺突、押圧等の様々な加飾のあるものがほとんどである。貼付文の横線に沈線文、刻目文、刺突文等の他の要素が平行して施文されるもの（図版 4-222-1、4-223-1～3 等）、環状の貼付文に刺突列が伴うもの（図版 4-224-1・3）等がある。

沈線文は、棒状工具で 1 条ずつ施されるもの（図版 4-223-5）と、半截竹管で 2 条平行して施されるもの（図版 4-223-6）、櫛歯状工具による複数条平行のもの（図版 4-224-5）がある。口縁部から体部上半に施され、刺突文（図版 4-223-5）、半截竹管の押引文と盲孔（図版 4-224-5）が伴うものもある。

刺突文は、1～4 列の横列をなして口縁部にめぐるもの（図版 4-224-1・3 等）がある。

縄文は、ほとんどの土器に施される。斜行縄文、斜行縄文に結節が伴うもの（図版 4-223-1 等）、S 字状連鎖撚糸文（図版 4-222-1 等）が多い。体部を中心に施文され、口縁部には施されない、もしくはやや施文が浅くなる場合がある。縄文だけで、他の文様を持たない土器は少ない。

ほぼすべての土器は、胎土に纖維を含む。ただし量はあまり多くない。

## [7層] (図版 4-225～4-233、図版 4-255～図版 4-256、写真図版 140～144)

検討対象土器は 826 点で、31 点を掲載した。遺物集中の SX42、SX48、焼土層の SX44 を含む。

器種は深鉢を主体とし、少量の鉢（図版 4-230-2、4-233-3）を伴う。

深鉢の器形は、体部が緩やかに開きながら立ち上がり、くびれて口縁部が外反するもの（図版 4-225-3 等）、体部が膨らみ、くびれて口縁部が外反するもの（図版 4-233-1 等）体部が緩やかに開きながら立ち上がり、口縁部が内彎するもの（図版 4-232-2）、体部が緩やかに開きながら立ち上がり、くびれて口縁部が内彎して開くもの（図版 4-226-1 等）、体部が膨らみ、くびれて口縁部が内彎するもの（図版 4-226-2 等）などが見られる。鉢は、体部から口縁部にかけて外傾するもの（図版 4-230-2）と、体部中位でくびれ、口縁部にかけて直立するもの（図版 4-233-3）が認められる。口縁部は平縁と波状口縁があり、小さな突起や凹みを伴うものも見られる。底部形態は、平底（図版 4-227-3 等）、上底（図版 4-230-2）がある。

文様は、円形竹管の刺突文（図版 4-225-2）等が見られるが少なく、回転施文の縄文のみの土器が多い。なお、別の遺物包含層 SX1 の 7 層出土として図版 4-66-4・5 に掲載した個体のうち、4(No.1466) の破片は、この SX10 7 層から出土した同一個体破片で、刺突列による菱形や渦巻状の意匠が見られる。

縄文は、斜行縄文（図版 4-233-1 等）、非結束羽状縄文（図版 4-227-1 等）、末端ループ文（図版 4-225-3 等）が主で、他に結節縄文（図版 4-225-1）等がある。末端ループ文は、ループの部分

だけを重層施文するものがほとんどで、無文部を残して方向を変えて施文する装飾的なもの（図版4-225-2、4-227-2）もある。縄文は底面にも施文される（図版4-233-1等）。

これらの全ての土器の胎土に纖維が含まれる。

#### [8層]（図版4-234～4-236、図版4-256～4-257、写真図版144～145）

検討対象土器は2022点で、26点を掲載した。8層上部、8層として取り上げられたものがある。器種は深鉢が確認され、図版4-234-1は、刻目を加えられた貼付文が口縁部にめぐり、さらに刻目の横列が平行して施文される。図版4-234-3・4は、刻目を加えられた2条の横位貼付文（上下で連携する部分がある）に沈線文が伴う。図版4-236-5は、口縁部に刺突列がめぐる。図版4-236-1は末端ループ文と非結束羽状縄文、図版4-236-7は結節縄文と非結束羽状縄文が施される。図版4-236-2は撚糸圧痕文が施される。

#### [9層]（図版4-236、図版4-257、写真図版145）

検討対象土器は163点で、4点を掲載した。図版4-236-8は、口唇部に押圧が加えられて小波状となり、外面に非結束羽状縄文、内面に斜行縄文が施される深鉢である。

#### [その他]（図版4-237～4-243、図版4-257～4-264、写真図版145～150）

上記以外に、SX10出土で出土層を詳細に捉えられない土器を補足資料として130点掲載した。1～7層、1～9層、2～7層上面、2～7層、2～9層、3～7層、3～9層、4・5層、5・7層、5～8層、6層？、8～9層、カクラン層、層不明の土器がある。

図版4-237-1・2は、口縁部が強く内屈する土器で、横位沈線文が施される。図版4-237-3は、細い粘土紐貼付文が施される。図版4-237-5は、曲線的な粘土紐貼付文が連携して単位文をなし、周囲に横位沈線文、刺突列が展開する。図版4-240-4は、半截竹管の沈線および沈線に刺突を加えた文様が施される。図版4-242-2、3は、加飾のある横位貼付文と半截竹管の押引文が施される。図版4-242-4は、口縁部の縦位・弧状貼付文の末端および貼付文の周囲に円形の刺突が加えられ、体部にかけて葺瓦状撚糸文が施される。

### (8) SX10出土土製品（図版4-265、写真図版150）

土製品と見られる8点をすべて掲載した。土偶と見られるもの、袖珍土器の可能性のあるもの、円盤状土製品がある。図版4-265-1～3は、土偶もしくはその可能性のある破片である。図版4-265-1、3は、沈線の区画内に刺突が加えられる。図版4-265-2は、沈線が施される。図版4-265-7は、袖珍土器の可能性がある。丸底で、上部に刺突文が加えられる。全体的に指頭圧痕の凹凸で不整な形状となる。図版4-265-4～6、8は土器片を加工した円盤状土製品で、図版4-265-4、8は最大長が10cmを超える大型品である。他に、焼土塊（焼成粘土塊）が遺物収納箱で少なくとも約1箱分出土している。

## (9) SX10 出土石器・石製品

SX10 では、石器・石製品が 16,575 点出土している。器種別の点数は、石鏃 188 点、尖頭器 41 点、石錐 20 点、石匙 58 点、箆状石器 10 点、打製石斧 24 点、礫器 13 点、磨製石斧 25 点、板状石器 4 点、楔形石器 59 点、不定形石器 317 点、磨石・敲石類 631 点、砥石 26 点、石皿・台石類 149 点、その他の礫石器 3 点、剥片 14,509 点、石核 375 点、円盤状石製品 20 点、石錘 10 点、玦状耳飾 7 点、扁平円形状石製品 7 点、有孔石製品 3 点、男根状石製品 1 点、石棒・石劍類 50 点、岩偶・線刻礫 15 点、石器模造品 3 点、その他の石製品 7 点である。

### [表土・検出] (図版 4-266 ~ 4-268、写真図版 190 ~ 191)

表土・検出では 135 点出土し、石鏃 7 点、石錐 1 点、石匙 2 点、箆状石器 1 点、楔形石器 1 点、不定形石器 8 点、磨石・敲石類 32 点、砥石 2 点、石皿・台石類 8 点、その他の礫石器 1 点、剥片 53 点、石核 9 点、石棒・石劍類 9 点、線刻礫 1 点である。

石鏃は、基部の形態が凹基のもの (図版 4-266-1) と平基のもの (図版 4-266-2) である。石匙は、つまみ部に対して先端部が縦型になっているものと斜方向に長いもの (図版 4-266-3) がみられる。図版 4-266-4 の箆状石器は、左右対称で両側辺が内湾するように開き、全体の形状が撥形を呈するものである。不定形石器は、剥片の縁辺の一部に二次加工を施すものが主体を占めるが、鋸歯状の二次加工を施すもの (図版 4-266-5) や二次加工により尖頭部を作り出しているもの (図版 4-266-6) などもみられる。磨石・敲石類は、円礫・橢円礫を素材とし、磨面や敲打痕、凹痕、剥落痕がみられるものが主体を占め、図版 4-266-7 は磨面と剥落痕を有するものである。図版 4-267-1 のその他の礫石器は、棒状の自然礫を素材とし、平面形が二等辺三角形状を呈するものである。表面の風化は激しい。図版 4-268-1 の石棒・石劍は、ほぼ全面研磨により成形されているもので、断面が扁平で刃先と柄頭の区別が明瞭ではないものである。図版 4-268-2 の石棒・石劍は、同じくほぼ全面研磨により成形されているもので、断面形は橢円形で瘤状の突起をもつものである。石棒・石劍類では、それ以外には剥離により角棒状にしたもので断面形が扁平のものもみられる。

### [1 層] (図版 4-268 ~ 4-269、写真図版 191)

1 層からは 202 点出土し、石鏃 3 点、尖頭器 2 点、石匙 1 点、箆状石器 1 点、打製石斧 1 点、磨製石斧 2 点、楔形石器 2 点、不定形石器 17 点、磨石・敲石類 56 点、石皿・台石類 7 点、剥片 87 点、石核 13 点、石錘 1 点、石棒・石劍類 8 点、線刻礫 1 点である。

尖頭器は、基部を半円形に調整しているもの (図版 4-268-3) である。図版 4-268-4 の石匙は、つまみ部に対して先端部が縦型になっているものである。図版 4-269-2 の箆状石器は、刃部の加工が明確ではない未成品である。図版 4-269-1 の楔形石器は、対になる 2 辺 1 組に両極剥離痕が観察されるものである。図版 4-269-3 の線刻礫は、小橢円礫の表面に二条の沈線が描かれており、側面にも縦位と横位の組み合わせによる十字状の文様が描かれているものである。ただし、側面と表面では沈線の幅が異なっている。

### [2 層] (図版 4-269 ~ 273、写真図版 192 ~ 194)

2 層からは 1729 点出土し、石鏃 42 点、尖頭器 6 点、石錐 5 点、石匙 12 点、箆状石器 2 点、打